

## 満足度調査中間分析(各目標の結果分析)

ここでは、各目標等について、属性クロス集計を行うとともに、平成15年からの変化について整理を行いました。属性クロス集計については、性別、年齢別、中部の5県1市による集計に加え、各県の地域別による集計も実施、それぞれについて平成15年調査との比較により、特徴的な結果が見られた点について整理しました。

なお、静岡県の政令指定都市への移行や浜松市の市町村合併に伴い、平成15年から一部地域区分が変更されたため、2時点間の比較分析については、以下のように実施しました。

地域名	平成15年の比較対象
静岡市	静岡庵
静岡庵(静岡市以外)	静岡庵
北西遠	北遠と西遠の結果を現在の枠組みで再集計

## 1. 満足度調査中間分析概要

### (1) 満足度（平成 15 年度 平成 17 年度）

- ・ 平成 15 年度と比較して、概ね満足度は向上し、目指すべき方向別では、「モノづくりなど産業の国際競争力の強化」、「世界都市を目指した名古屋と各拠点都市の魅力向上」、「日本のまんなかである優位性を活かし、国土の東西・南北軸の強化や交流拠点整備による国内外交流の推進」の分野で大きく満足度が向上しました。
- ・ 項目別では、中部国際空港の開港、「愛・地球博」の開催とそれに伴い整備が進められた高規格幹線道路等の社会資本整備に関連した項目で大きく増加し、事業の実施により満足度が高まりました。
- ・ 「災害」分野の全ての項目で満足度は向上しているものの、低い結果となりました。
- ・ 一方、「公共交通機関の利便性」、「農山漁村の魅力」に関する満足度は低下しており、今後の中部の課題と言えます。

### (2) 関心度（平成 15 年度 平成 17 年度）

- ・ 平成 15 年度調査と比較して、最も関心度が増加したものは「中部国際空港や『愛・地球博』をきっかけにして、国内外から観光客を増やすこと」、「『愛・地球博』の会場へのスムーズな移動を実現すること」でした。
- ・ 「中部地方における港湾や空港までの行きやすさ」、「環伊勢湾内（名古屋・豊田・岐阜・四日市など）で都市間の移動のしやすさ」、「名古屋の賑わい」等、近年実施された中部地方のビッグプロジェクトに係る項目の関心度が高まる傾向となりました。
- ・ 一方、農山漁村地域を対象とした項目で関心度が大きく減少しました。

### (3) 新規項目

- ・ 平成 17 年度調査では、「まんなか懇談会ポスト万博宣言 テイクオフ中部 2005 国土の健康回復を実現する中部のモノづくり」等をもとに「近年の社会環境の変化から期待される地域の取組み」として新たに 8 問追加し、関心度及び満足度を聞き取りました。
- ・ その結果、概ね関心度が高く満足度が低い結果となり、中部の新たな課題として住民にとって認識されていることが裏付けられました。

目指すべき方向	設 問	満足度（得点）			関心度（％）		
		H15	H17	変化	H15	H17	変化
誰もが生き生きと暮らせる豊かでゆったりとした生活環境の実現	あなたの住む地域は、自分の暮らし方にあった住まいを探しやすい（選びやすい）状況にある。	3.0	3.1		79.2	79.2	
	あなたの住む地域は、自動車や歩行者が安全で安心して移動できる	2.1	2.2		95.7	95.4	
	あなたの住む地域は、誇りを持てるような場所やまちなみがある。	2.6	2.7		85.6	84.7	
	あなたの住む地域の住宅や住環境は、良好だ。	3.2	3.3		93.0	95.1	
	あなたの住む地域は、インターネットや携帯電話などを用いた暮らしに役立つ情報（防災情報、交通情報等）が入手しやすい。	3.1	3.1		65.1	69.1	
	あなたの住む地域では、ユニバーサルデザイン（誰にとっても利用しやすい建物や交通に配慮した整備の仕方）が行き届いている。	1.8	1.8		79.1	79.6	
	あなたの住む地域では、まちづくりや環境保全などへの住民参加がしやすい。	2.3	2.3		68.8	66.4	
	あなたの住む地域の公共交通機関は便利である。	2.7	2.6		83.3	82.4	
	あなたのお住まいの住宅は、地球環境への対応が十分なされている	-	2.2	-	-	84.1	-
東海・東南海・南海地震をはじめとした災害に強い安全・安心な地域づくり	あなたの住む地域は、あらゆる災害に対して、避難地・避難路の整備や情報提供の対策が進んでいる。	2.5	2.7		93.0	93.6	
	あなたの住む地域では、地震に対する住宅や道路・河川堤防などの防災対策が進んでいる。	2.2	2.4		92.4	93.4	
	あなたの身近な社会資本（道路・河川・港など）は、適切な維持・管理が行われている。	2.6	2.8		72.5	72.4	
	あなたの住む地域では、洪水・津波・高潮・土砂災害等の災害に対する対策が進んでいる。	2.3	2.4		86.0	85.6	
	あなたのお住まいの地域は、災害に対して安全性の高い場所にある	-	3.0	-	-	93.4	-
中部の豊かな自然環境、歴史、文化などを活かした地域づくり、観光振興	あなたの住む地域は、3R、焼却物の廃熱利用、適正処分など環境負荷軽減のための循環型社会の形成に向けた取組みが進んでいる。	1.7	3.0		85.3	86.8	
	あなたの住む地域は、もう一度訪れたいと思われるような魅力ある地域づくりの活動が進められている。	2.0	2.2		79.0	76.4	
	あなたの身近にある河川や海の水はきれいだ。	2.2	2.4		89.6	88.5	
	あなたの住む地域は、自然環境の保全・再生・創出および森林管理が進んでいる。	2.1	2.2		77.8	77.4	
	あなたの住む地域は、豊かな自然や歴史・文化を活かした場所やまちなみがある。	2.9	3.0		87.0	88.4	
	あなたの住む地域は、温室効果ガスの排出削減等の地球温暖化対策が進んでいる。	1.8	1.8		82.4	86.2	
	中部地方の農村や漁村には、住んでみたい（働いてみたい）と思う魅力がある。	2.4	2.3		61.4	56.8	
	あなたの住む地域では、近隣市町村同士や河川の上流地域と下流地域の間で連携した取り組みや交流が活発に行われている。	2.0	1.9		50.6	47.0	
	あなたのお住まいの地域は、風力や太陽光、燃料電池など化石資源に依存しない新たなエネルギーが積極的に導入されている。	-	1.6	-	-	85.4	-
モノづくりなど産業の国際競争力の強化	過疎化など地域社会の存続が危ぶまれる地域の後継者確保や新規就業者、転入者獲得など地域の担い手づくりは十分なされている。	-	1.6	-	-	53.0	-
	中部地方と国内外との物流について、港湾や空港のサービスは、経済的に確実性が高い。	3.1	3.8		59.4	59.2	
	中部地方にある港湾や空港まで、道路、鉄道、船舶などを使って行きやすい。	2.3	3.1		72.8	75.8	
	中部地方は企業が設備投資や立地しやすい地域である。	3.4	3.7		42.1	42.1	
世界都市を目指した名古屋と各拠点都市の魅力向上	中部地方は、港湾・空港での貨物引き取りまでの時間（リードタイム）は短縮されている。	3.2	3.1		48.3	36.6	
	中部地方の都市部においては、大気汚染や騒音等による生活への影響は改善されている。	2.1	2.4		93.0	92.6	
	中部地方の都市部は、安全で快適に生活できる。	2.5	2.8		82.9	80.1	
	名古屋は各種の国際会議が開催されるなど、国際色豊かな都市である。	2.8	3.0		49.3	50.2	
	中部地方の都市部において、水辺や緑地のような心やすらげる空間（公園・歩道等）が豊富にある。	2.5	2.7		85.5	82.7	
	名古屋は人が集い、賑わいがある都市である。	3.7	3.9		58.1	62.3	
	あなたの住む地域の中心的な都市の駅前等は賑わっている。	2.0	2.1		77.9	76.5	
	あなたの住む地域から、日々の生活の中心的な都市まで渋滞することなく快適に行くことができる。	2.7	2.8		85.9	85.5	
	あなたの住む地域は、自家用車に頼らなくても、バス、自転車などの他の交通手段を用いて暮らせる。	2.5	2.4		87.9	85.5	
東海環状都市圏・環伊勢湾広域交流圏などの形成による新たな交流の拡大	あなたの住む地域における公共空間は外国人にとって使いやすく、わかりやすい案内誘導がなされている。	-	2.0	-	-	47.3	-
	あなたが日頃利用している公共交通機関や駅・公園・公共施設等の公共的な場所は、テロ等の犯罪に対して安全性が確保されている。	-	1.9	-	-	79.8	-
	環伊勢湾域内（名古屋・豊田・岐阜・四日市など）での都市と都市との間の移動はしやすい。	2.8	3.4		48.9	52.8	
日本のまんなかである優位性を活かし、国土の東西軸・南北軸の強化や交流拠点整備による国内外交流の推進	環伊勢湾域内（名古屋・豊田・岐阜・四日市など）での都市と都市との間の経済や文化の交流は活発である。	2.3	2.5		36.7	37.0	
	中部国際空港や「愛・地球博」をきっかけに、国内外からの観光客は増えた。	3.0	3.4		53.8	59.9	
	「愛・地球博」の会場には、スムーズに移動できた。	2.8	3.1		58.3	63.1	
	中部地方は、東京・大阪圏や日本海側、アジアをはじめとする諸外国との経済・社会活動の交流拡大が進んでいる。	2.6	2.9		51.7	51.5	
	北陸方面や紀州方面へ向かう交通網（道路や鉄道）は便利である。	2.5	2.6		61.8	62.4	
	旧東海道・旧中山道等においては、街道を活かしたまちづくりやまちなみ整備が進んでいる。	2.8	2.9		69.9	69.4	
	東名・名神高速道路、J R東海道新幹線などは、わが国の大動脈として安全・円滑・快適で信頼性が高い。	3.9	3.9		83.1	84.1	
「愛・地球博」の理念が継承され、国内外との交流が活発に行われている。	-	2.8	-	-	54.5	-	

  増加項目(0.3以上)
   増加項目(3.0以上)

  減少項目
   減少項目(2.0以上)

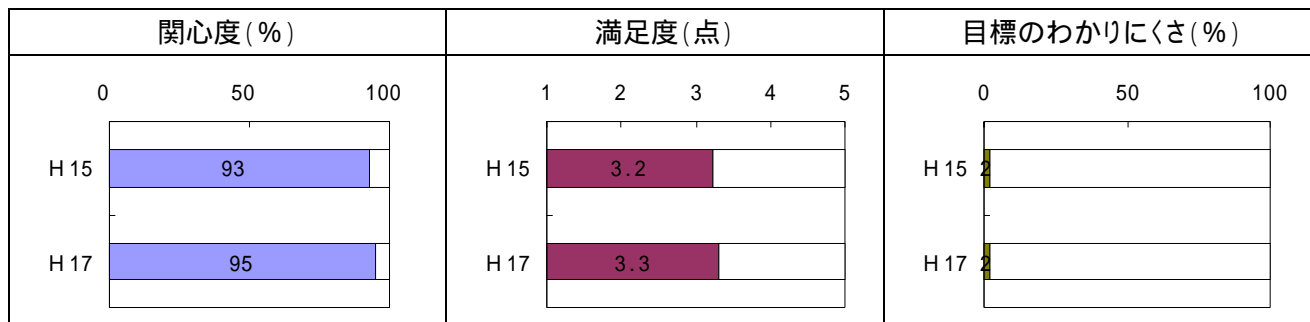
  前々年度記載項目
   前年度記載項目

## 2. 各目標の結果分析

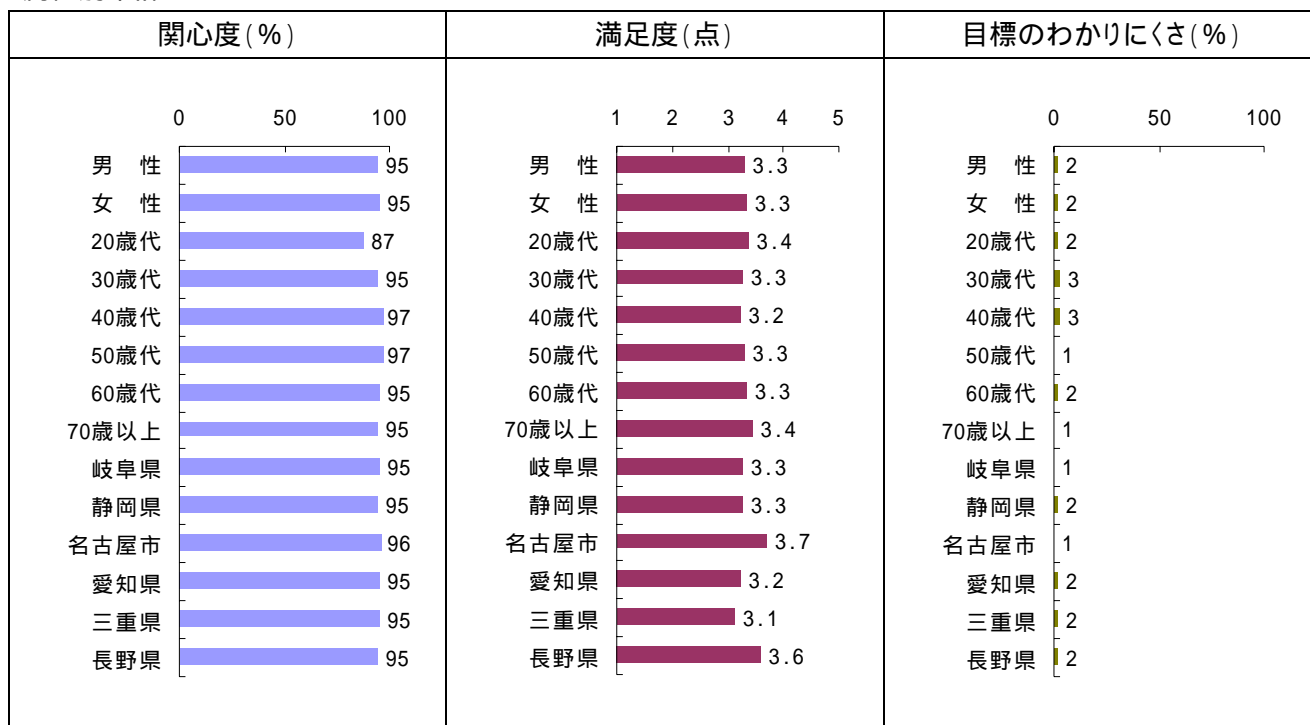
目標	- 1	住宅や住環境の水準を高め、健康でより豊かな住まいづくりを推進します
関心度 設問	問 1 - 1	住宅や住環境について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 1 - 2	あなたの住む地域の住宅や住環境は、良好だと思いますか？

- ・ 満足度は3.3点と中間値の3点を上回り、平成 15 年度調査と比較して0.1ポイント増加しています。
- ・ 関心度は95%と非常に高く、平成 15 年度調査と比較して2ポイント増加しています。
- ・ 地域別で満足度が3.5点以上となったのは、飛騨(3.6)、富士(3.5)、名古屋市(3.7)、豊田・加茂(3.6)、衣浦東部(3.5)、新城南北設楽(3.5)、鈴鹿・亀山(3.6)、尾鷲(3.6)、諏訪(3.7)、上伊那(3.6)、木曽(3.9)の11地域です。これらの地域は、平成 15 年度調査以降、概ね得点が増加しており、特に名古屋市(+0.6)、新城南北設楽(+0.6)、尾鷲(+0.9)、諏訪(+0.7)の増加が著しくなっています。
- ・ 一方、3点以下となったのは、静清庵(2.9)、海部津島(2.8)、尾張中部(2.9)、尾張東部(2.9)、桑名・員弁(2.9)、伊勢志摩(2.7)の6地域であり、平成 15 年度調査と比較して、桑名・員弁(-0.6)と伊勢志摩(-0.6)をはじめとして減少しており、地域格差が拡大しています。

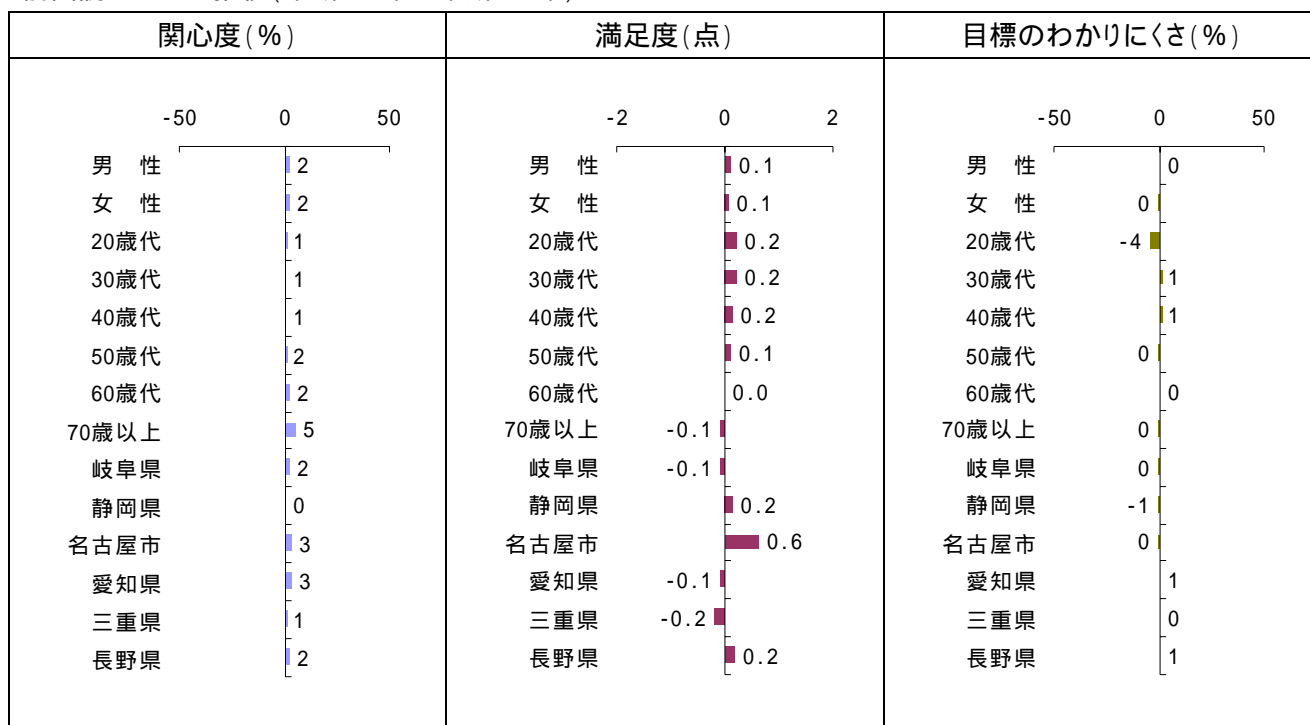
調査結果



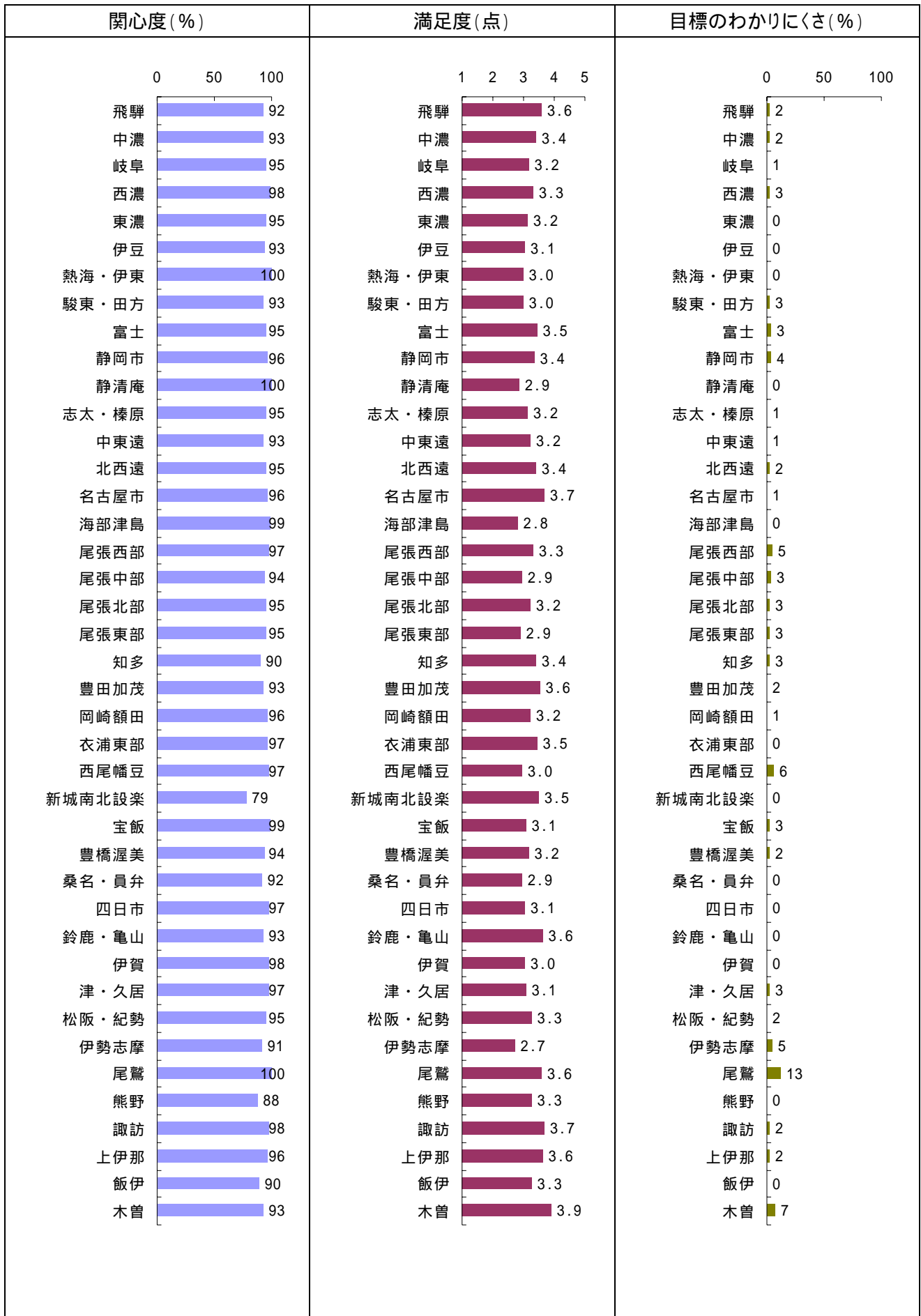
属性別集計



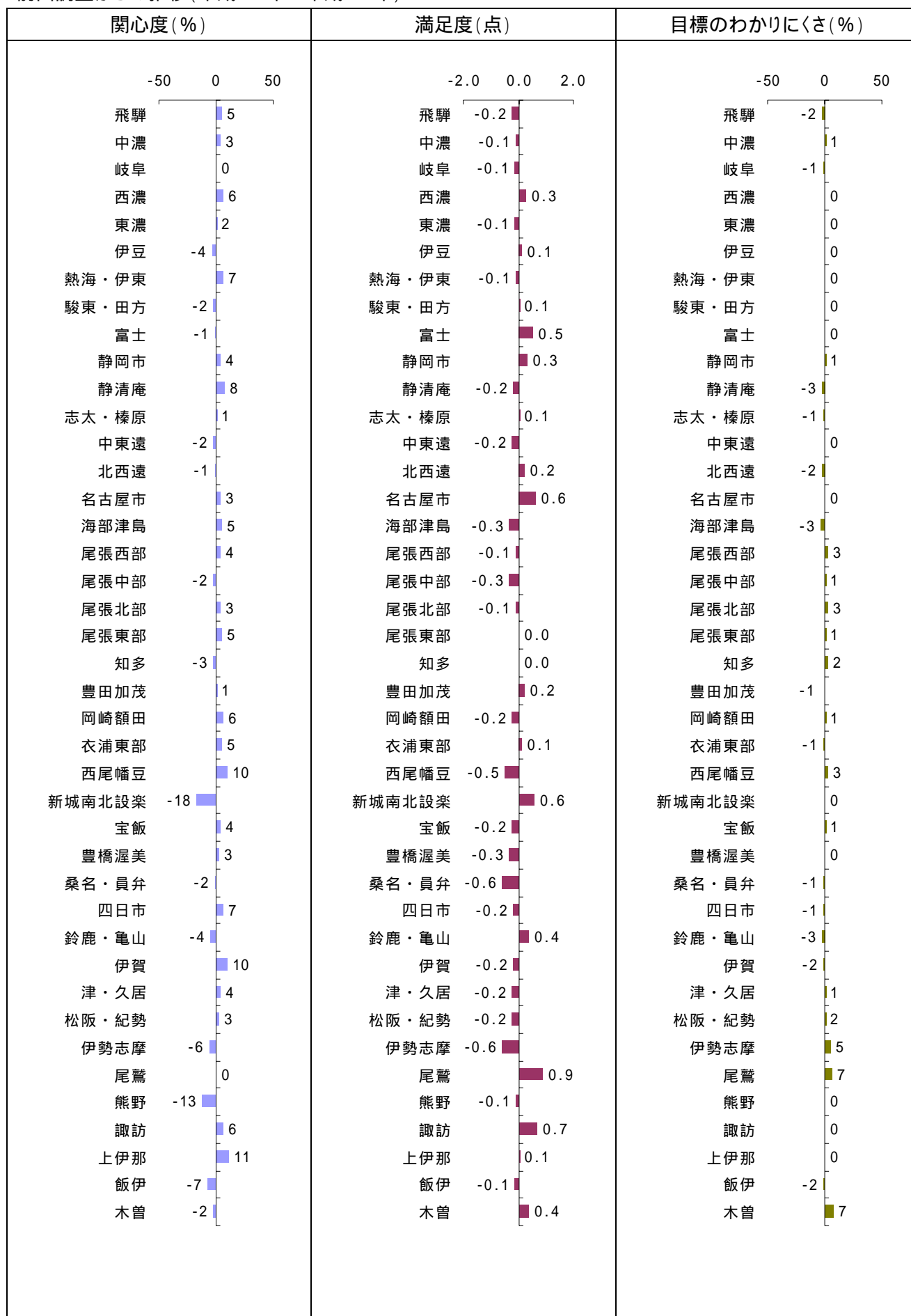
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

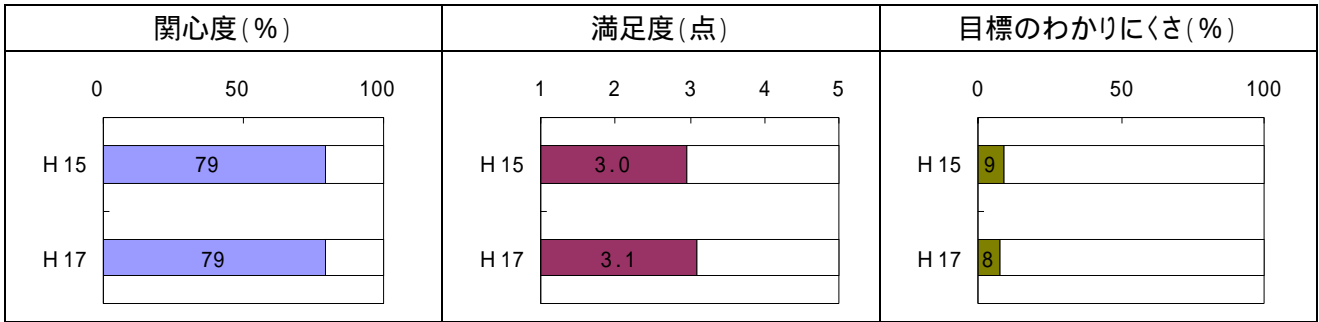


目標	- 2	ニーズにあった住宅を安心して選択できる環境を整備します
関心度 設問	問 2 - 1	自分の暮らしぶりにあった住まいを探したり選んだりすることについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 2 - 2	あなたの住む地域は、自分の暮らしぶりにあった住まいを探しやすい(選びやすい)状況にあると思いますか？

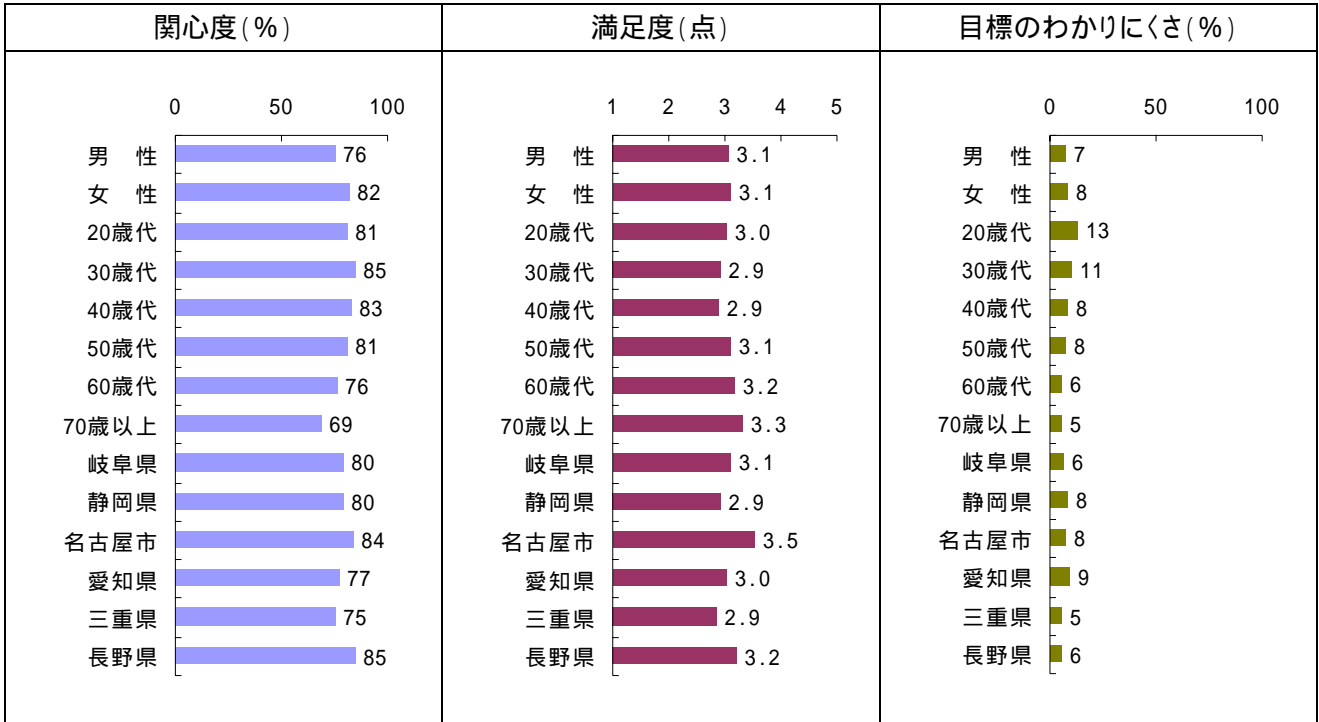
- ・ 満足度は 3.1 点であり、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 79% であり、平成 15 年度調査と比較して変化は見られませんでした。
- ・ 地域別では、名古屋市が 3.5 点、上伊那が 3.6 点と高く、岐阜県北部、愛知県西三河部でも 3 点以上の地域が多くを占めています。こうした地域では、平成 15 年度調査と比べて、満足度が増加したところが多く、特に中濃 (+0.5) や名古屋市 (+0.6) の伸びが大きくなっています。
- ・ 一方、静清庵や西尾幡豆、新城南北設楽、伊賀、熊野といった比較的人口規模の小さい地域の満足度が 2.4 点と低く、平成 15 年度調査と比較して減少しており、満足度の格差が拡大しています。
- ・ 関心度は、ほとんどの地域で 70~90% となっていますが、平成 15 年度調査と比較して、熱海・伊東 (+18)、西尾幡豆 (+18)、熊野 (+26) の伸びが著しいです。西尾幡豆や熊野は満足度の低い地域であり、住宅供給に対するニーズが高まっていると見ることができます。



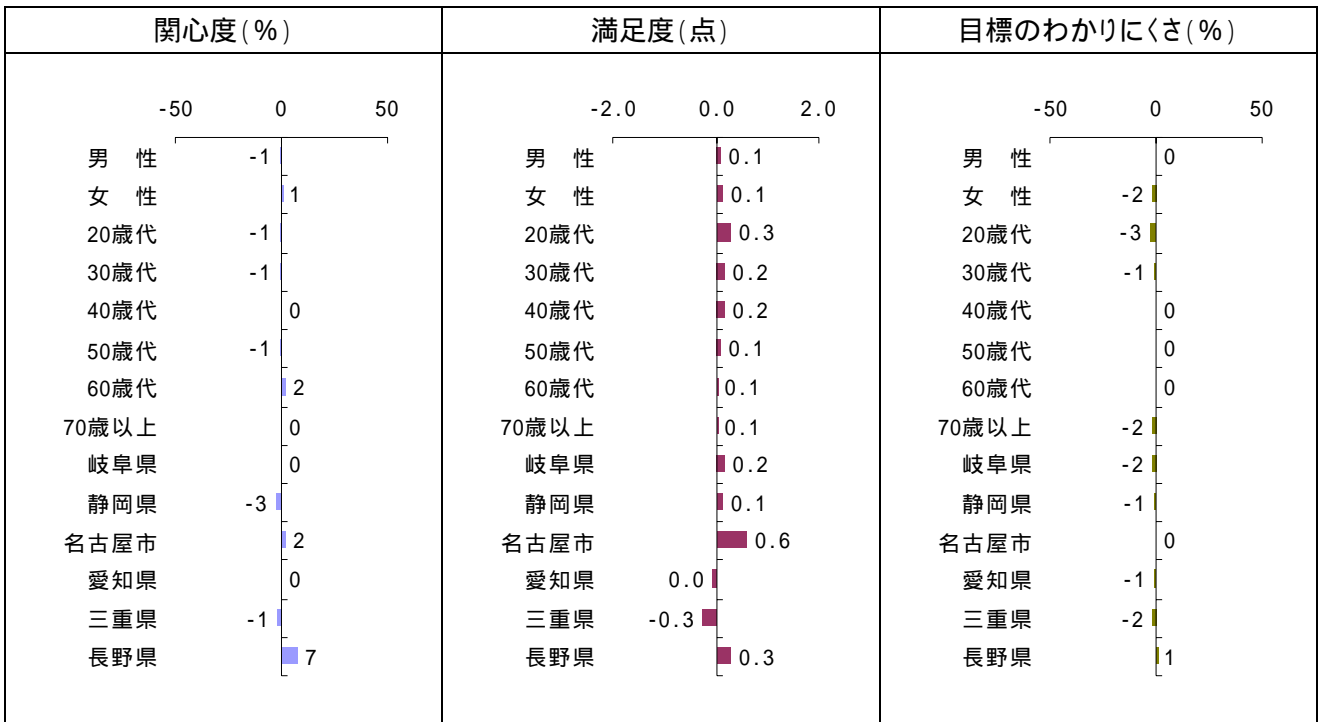
調査結果



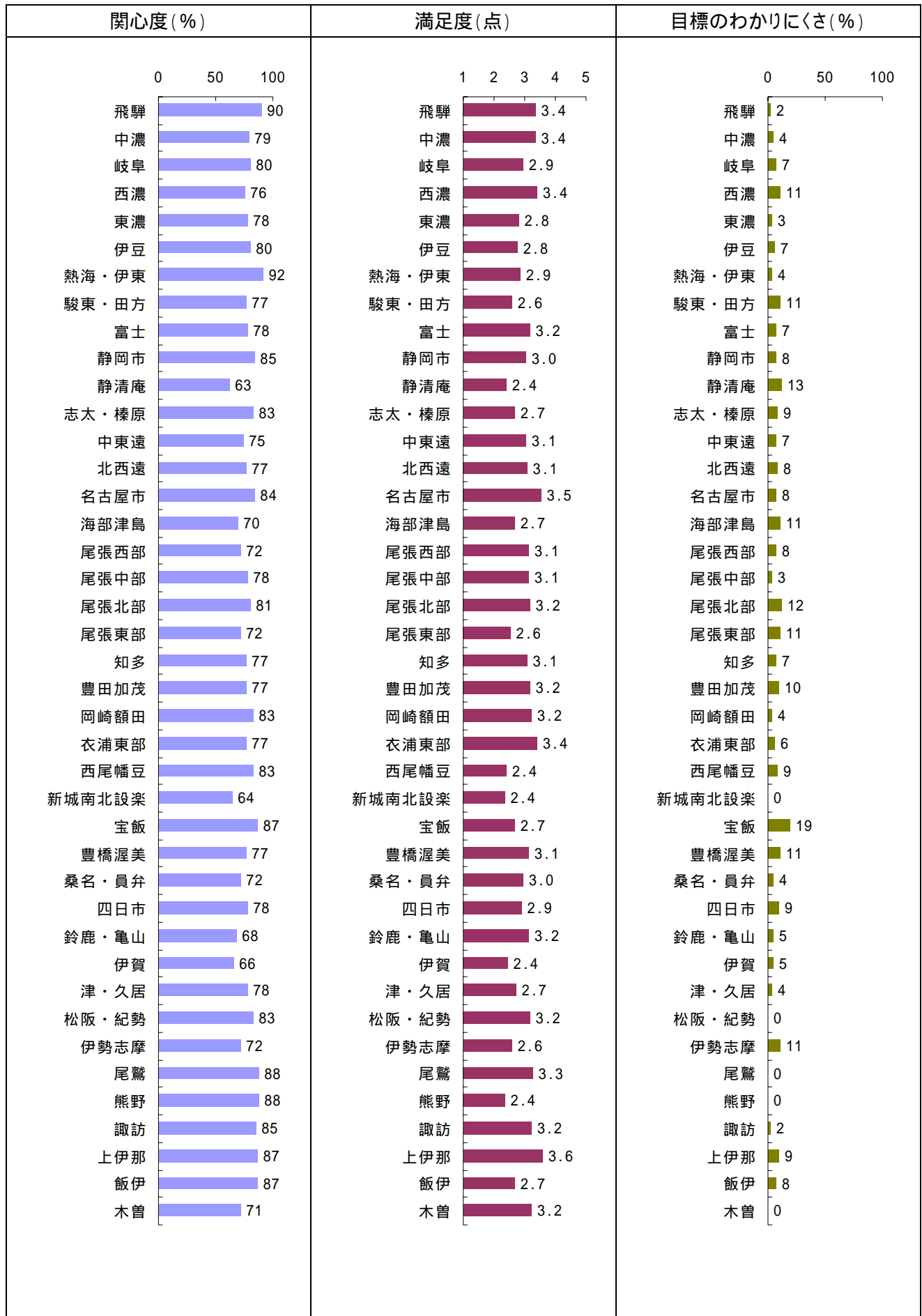
属性別集計



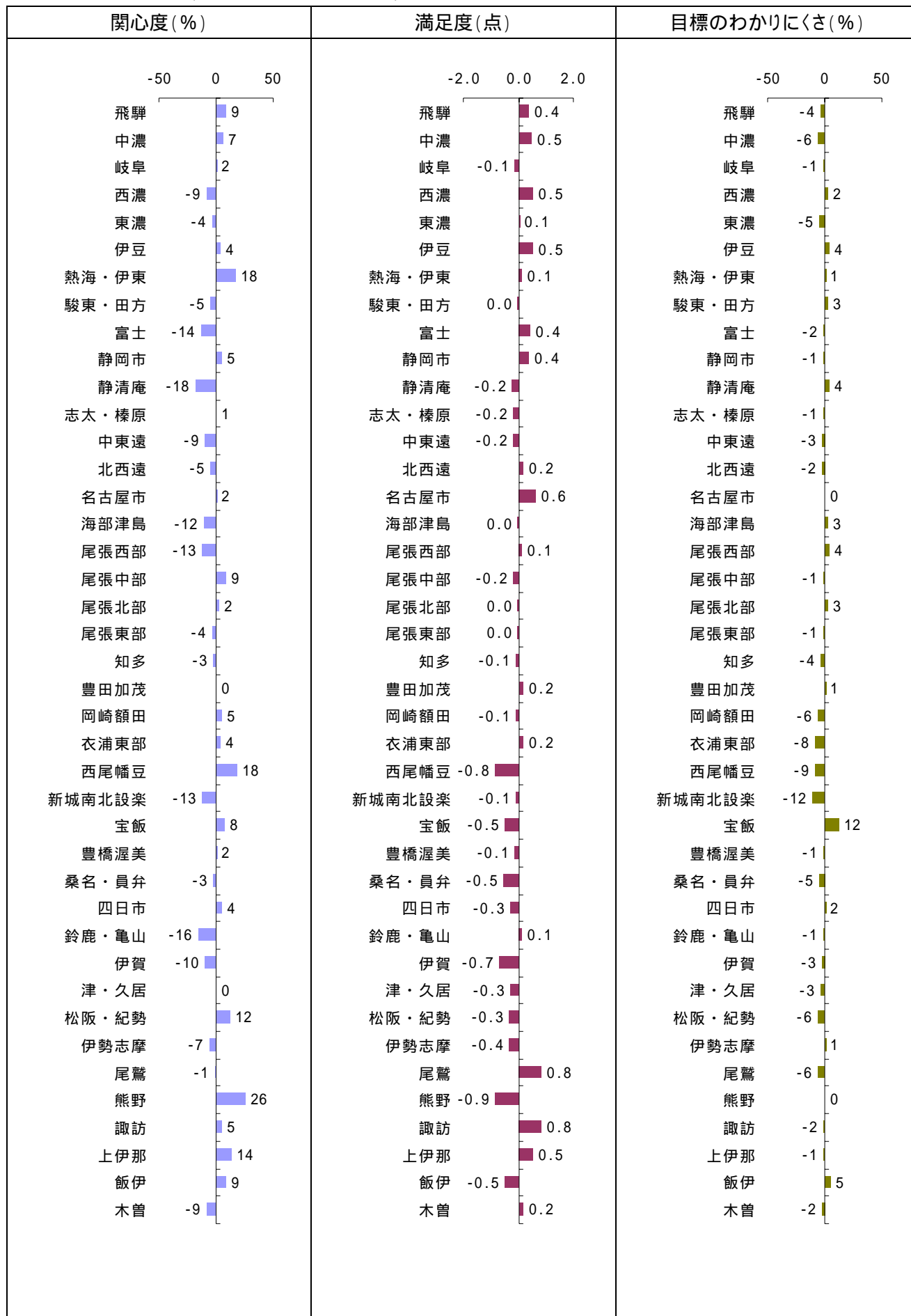
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



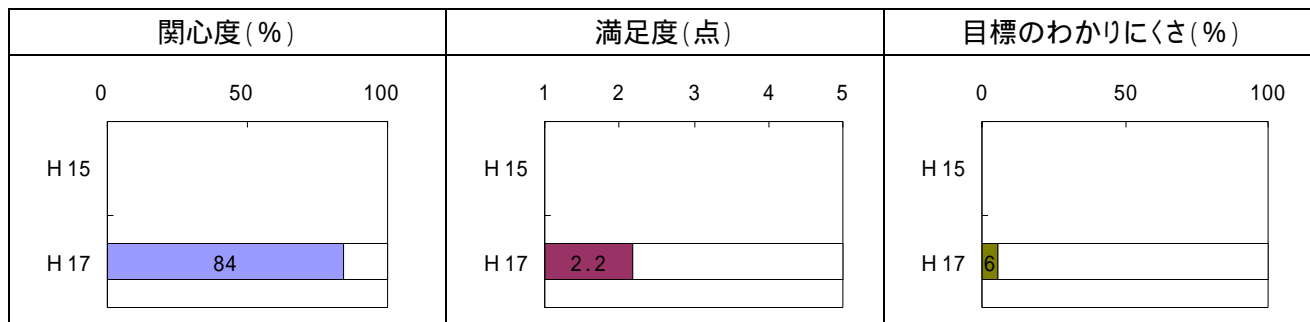
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



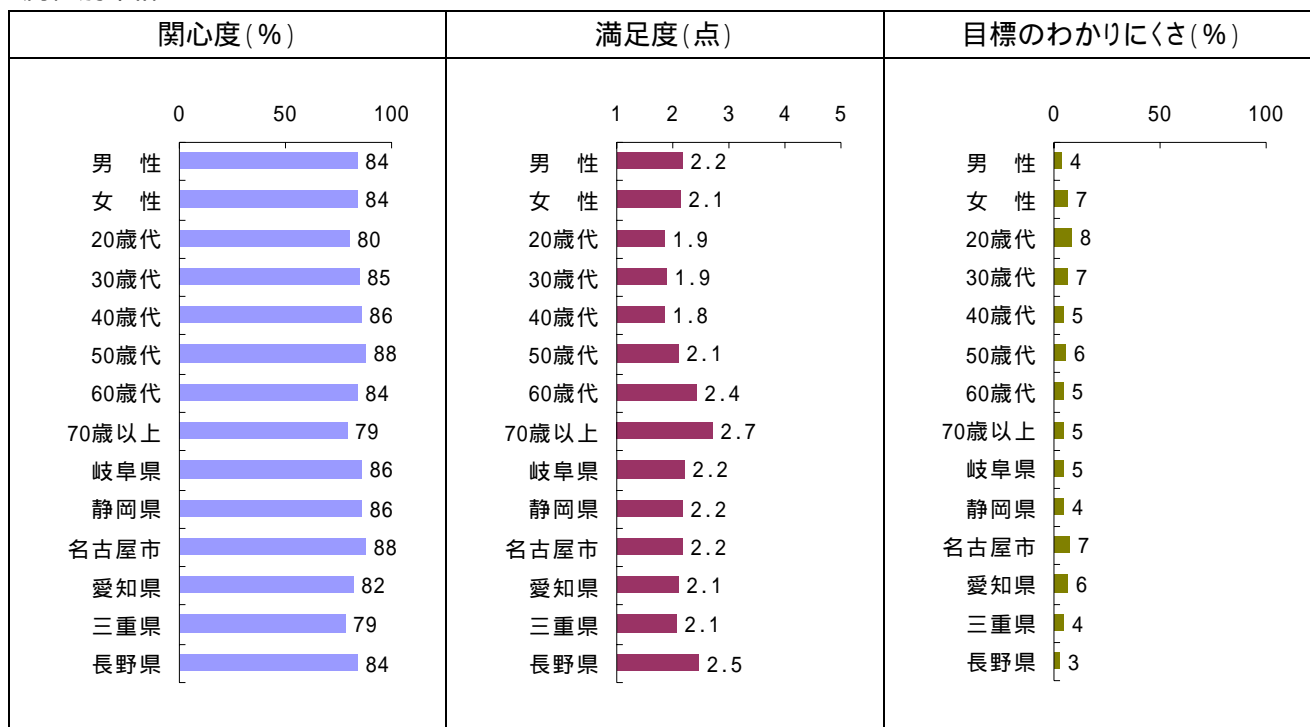
目標		(新規項目)
関心度 設問	問3-1	省エネルギー型住宅や屋上・壁面緑化など地球環境に配慮した住宅について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問3-2	あなたのお住まいの住宅は、地球環境への対応が十分為されていると思いますか？

- ・ 満足度は 2.2 点で非常に低く、関心度は 84%と高く、積極的な取り組みが期待されている。
- ・ 地域別では、満足度が 3 点以上の地域はなく、伊豆の 2.7 点が最も高い。
- ・ 一方、2 点以下となったのは、西濃（2.0）、静岡市（2.0）、静岡庵（1.7）、中東遠（2.0）、海部津島（2.0）、知多（2.0）、尾張東部（1.8）、新城南北設楽（1.9）、桑名・員弁（2.0）、四日市（2.0）、津・久居（1.9）、伊勢志摩（2.0）であり、地域性は見られない。
- ・ 目標のわかりにくさは、6%と低く、評価の難しい項目となっていない。

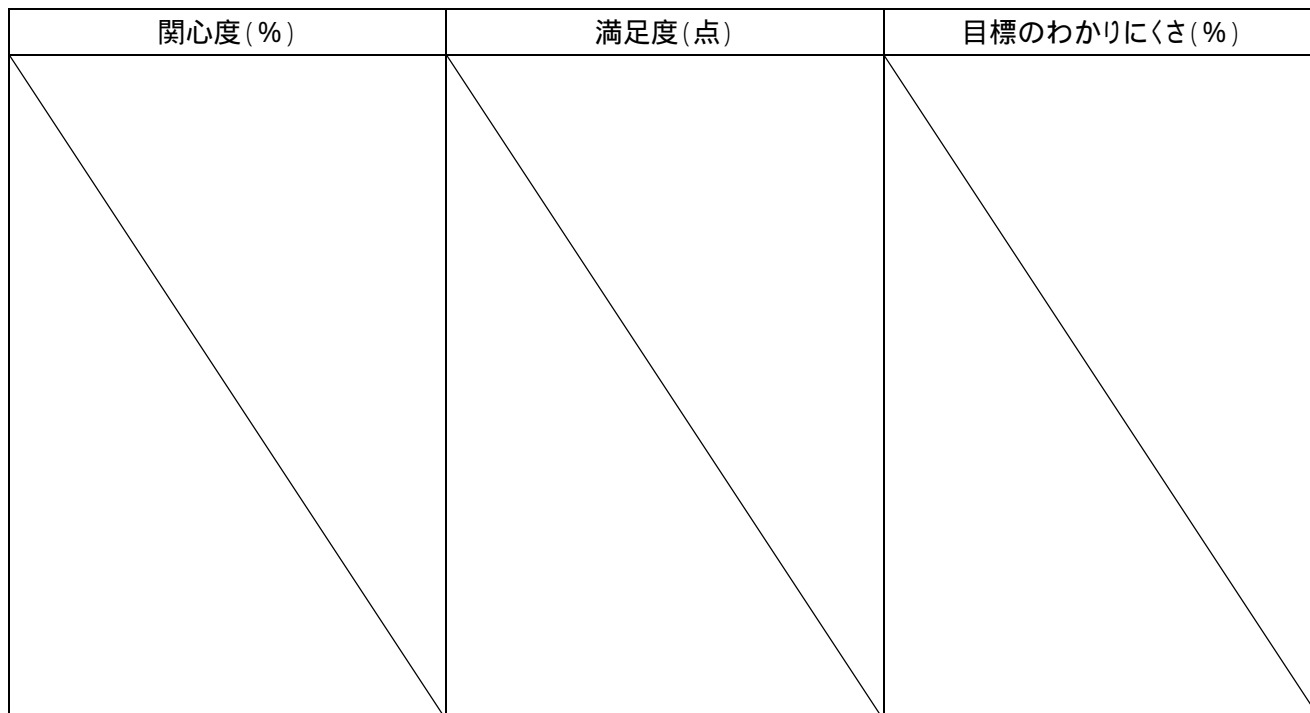
調査結果



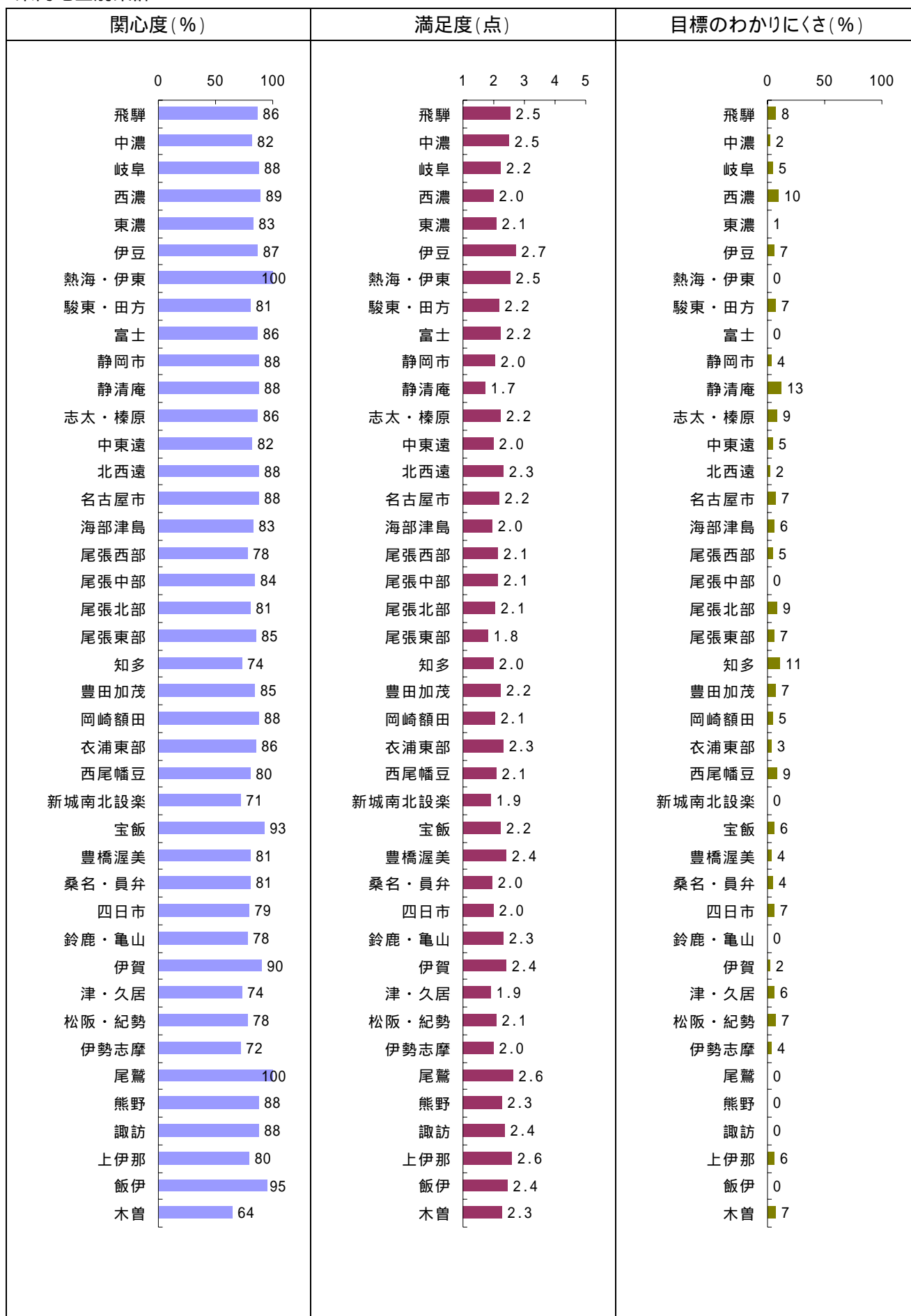
属性別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

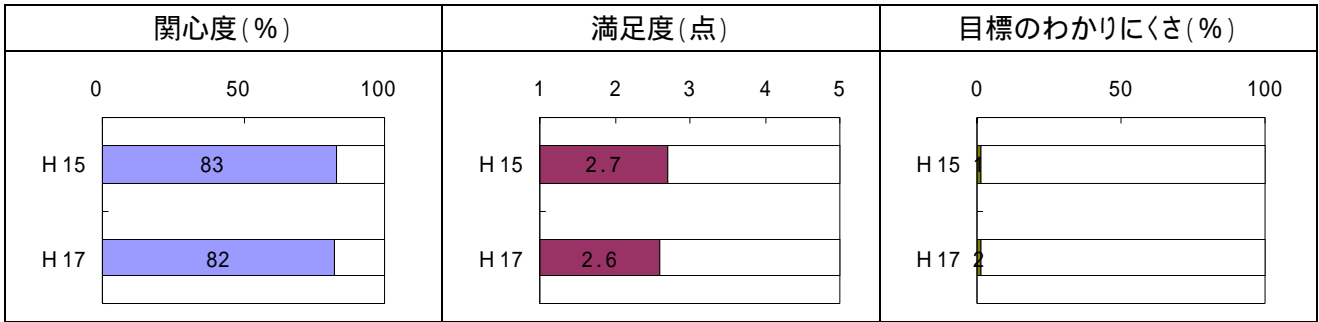
関心度 (%)	満足度(点)	目標のわかりにくさ (%)

目標	- 3	公共交通機関の利便性を向上します
関心度 設問	問 4 - 1	公共交通機関の利用について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 4 - 2	あなたの住む地域の公共交通機関は便利だと思いますか？

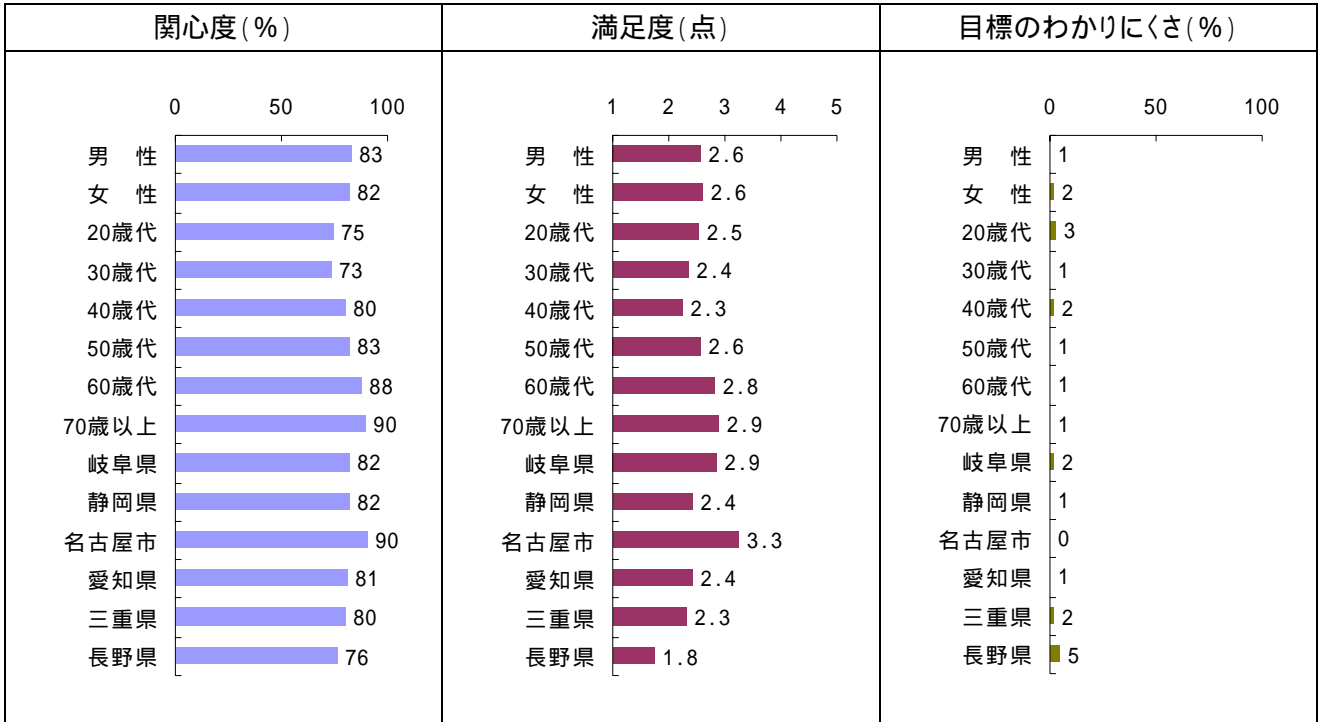
- ・ 満足度は 2.6 点と中間値の 3 点を下回っており、また、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント減少し、関心度は 82% と高いものの、前回と比較して減少しています。
- ・ 地域別では岐阜、静岡市、名古屋市など都市部の満足度が 3 点以上となっています。平成 15 年度調査と比較して、岐阜と静岡市は増加しているものの、名古屋市は 0.4 ポイント減少しました。これは、地下鉄環状化や名鉄小牧線との接続が実現しましたが、バス路線の縮小再編や地下鉄の昼間運行本数の減少、新規開通区間の運行本数が期待より少ない等が要因として考えられます。
- ・ 一方、満足度が 1 点台の地域は、伊豆、熱海・伊東、富士、伊勢志摩、熊野、上伊那、伊飯、木曾等農山漁村地域が多くを占めます。これらの地域では、平成 15 年度調査以降、ほとんどの地域で得点が減少しています。
- ・ 満足度の低い地域について関心度を見ると、伊豆（93）や熱海・伊東（96）では 90% 台と極めて高く、公共交通に対する期待が大きくなっています。一方、西尾幡豆（69）、伊勢志摩（72）、木曾（57）は最も関心の低い地域となっています。



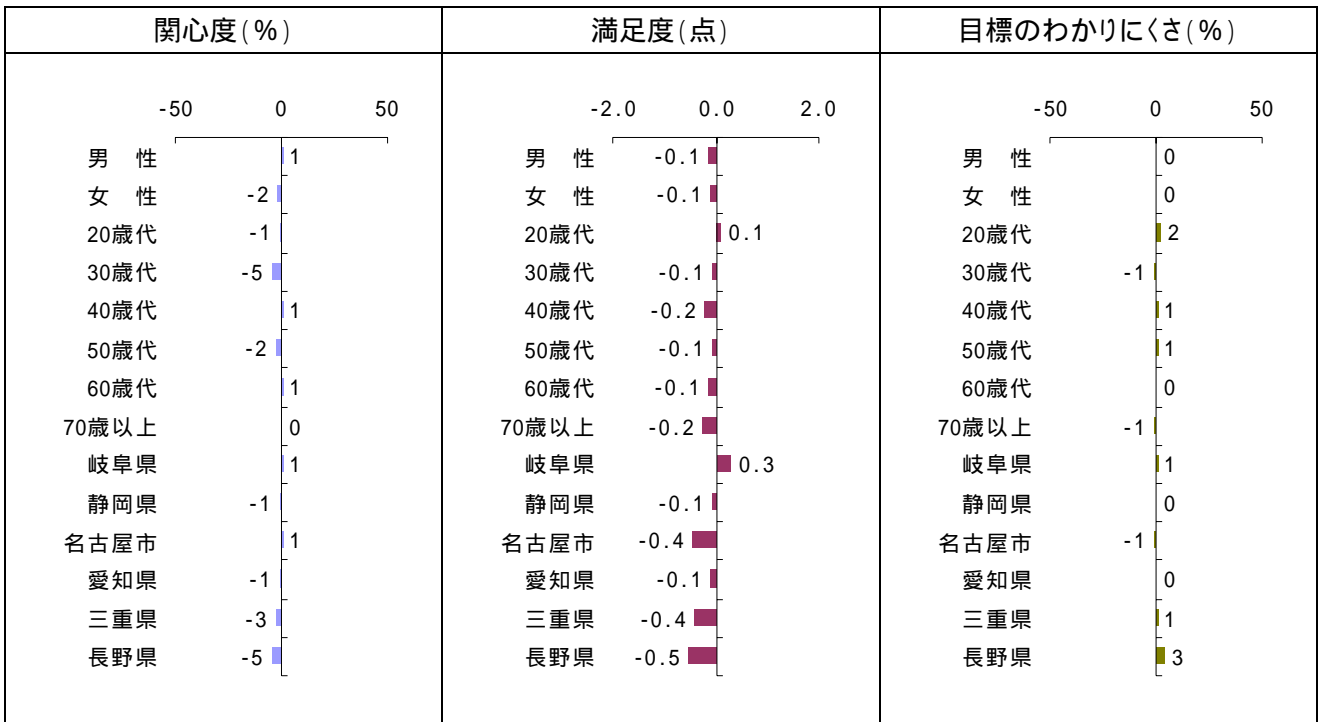
調査結果



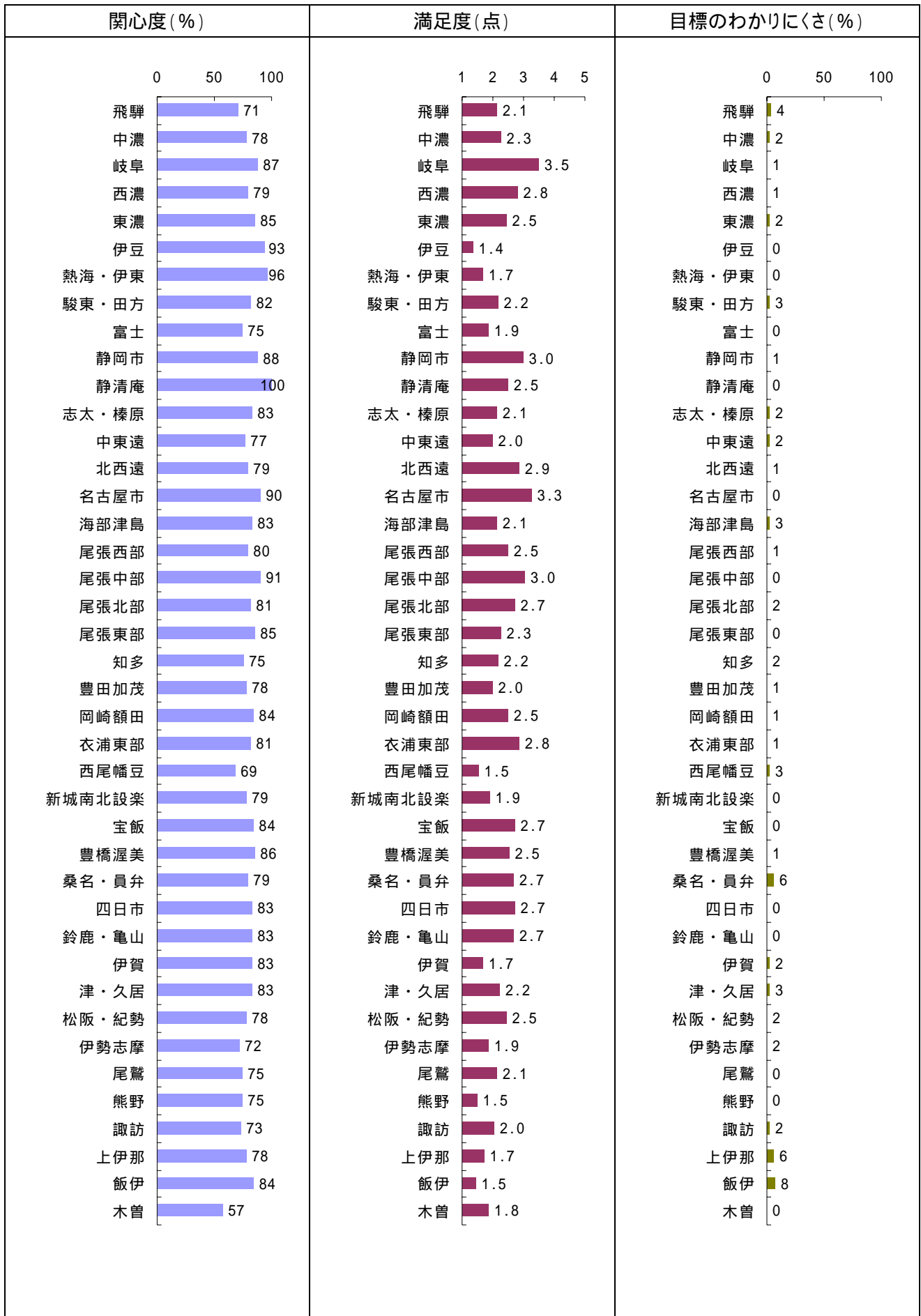
属性別集計



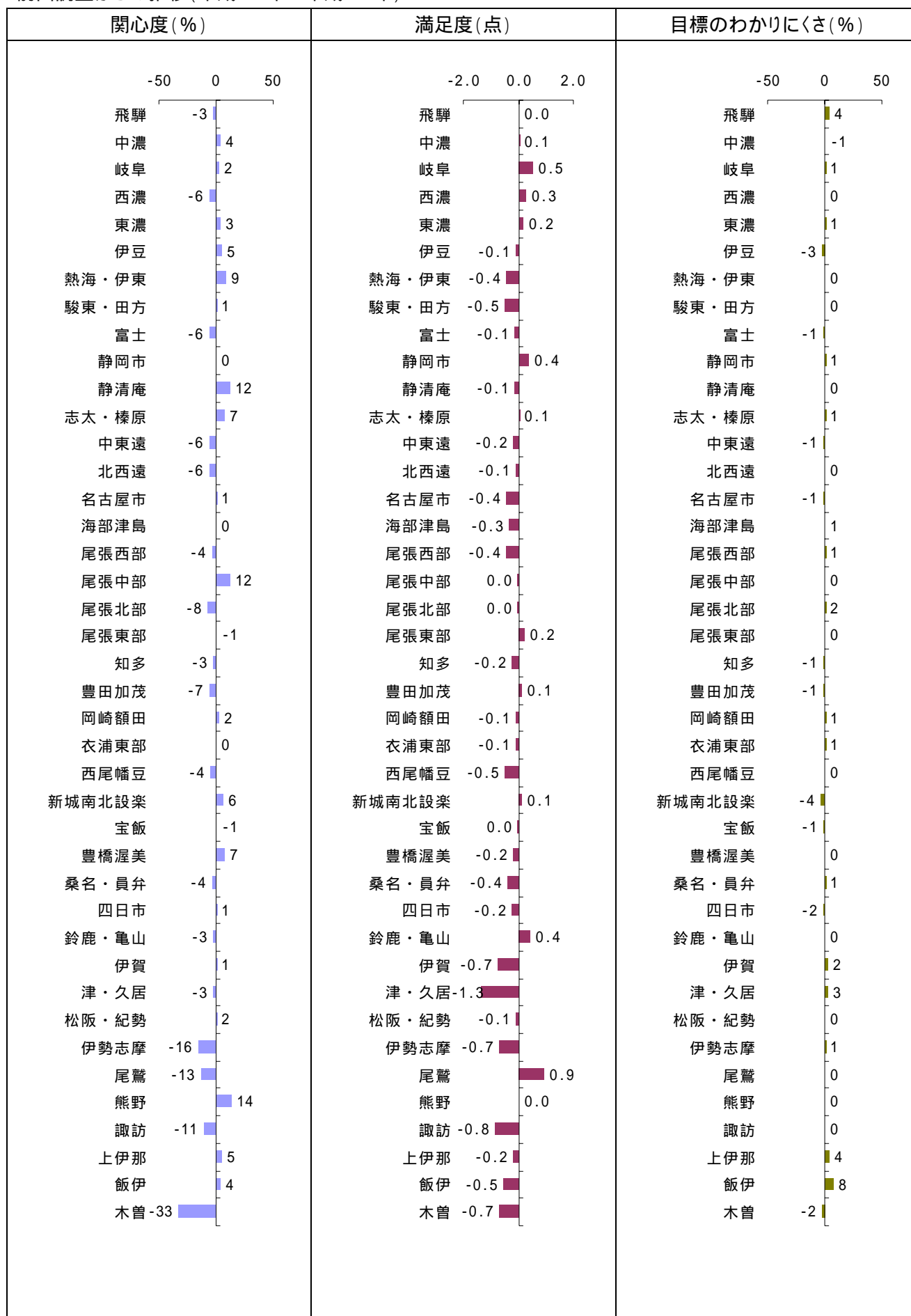
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



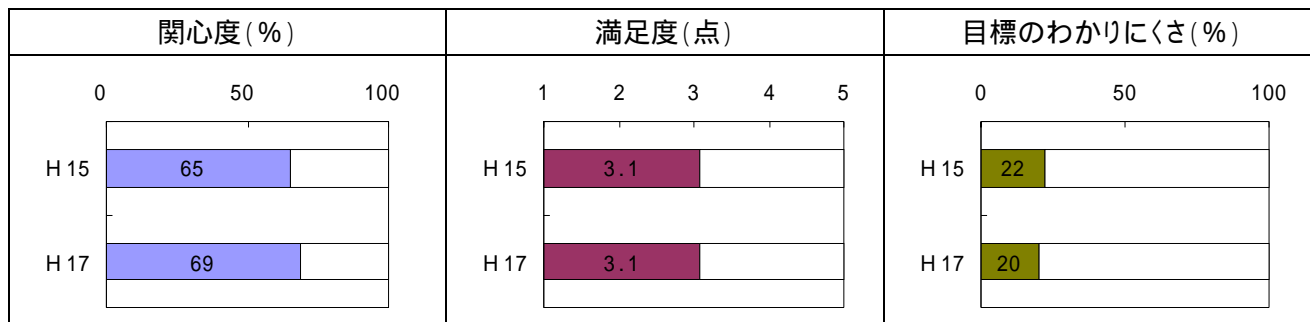
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



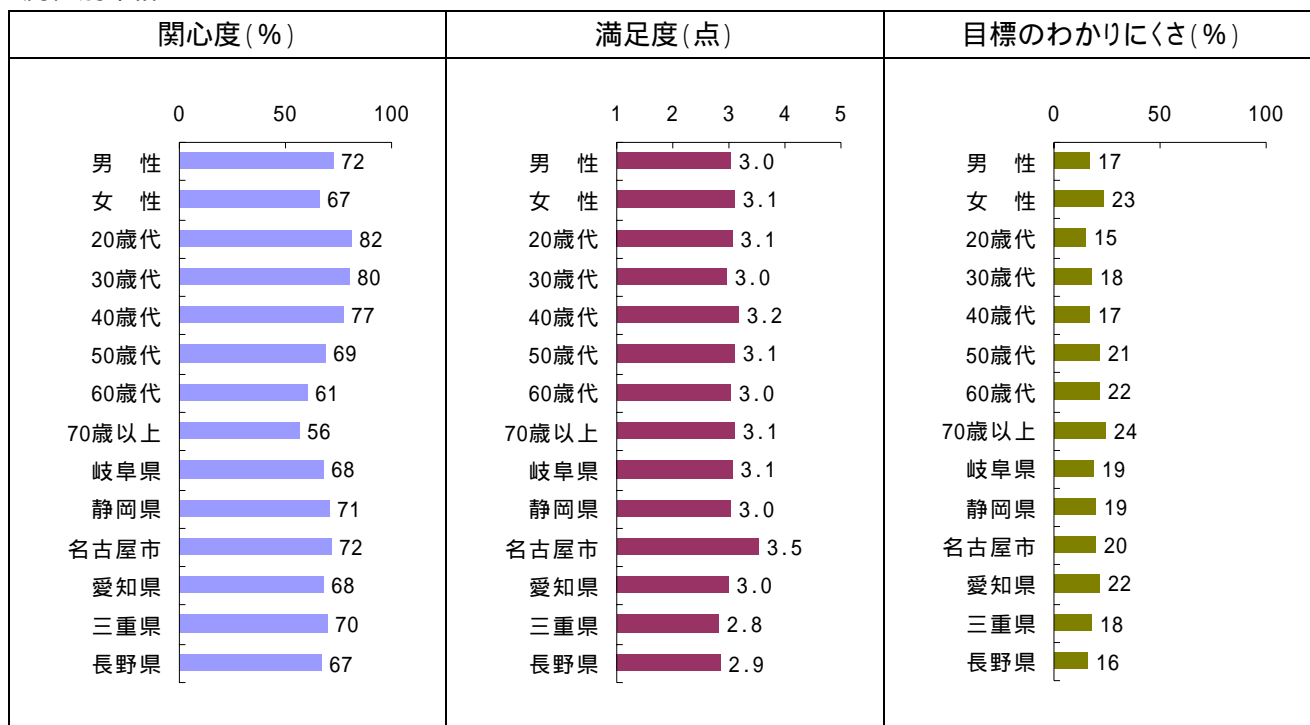
目標	- 4	IT技術を活用した暮らしに役立つ情報を入手しやすくします
関心度 設問	問5-1	インターネットや携帯電話などを用いて暮らしに役立つ情報(防災情報、交通情報)を入手することについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問5-2	あなたの住む地域は、インターネットや携帯電話などを用いた暮らしに役立つ情報(防災情報、交通情報)が入手しやすいと思いますか？

- ・ 満足度は3.1点であり、平成15年度調査と比較して変化は見られませんでした。
- ・ 関心度は69%と低いものの、平成15年度調査と比較して4ポイント増加しています。
- ・ 地域別では、名古屋市(3.5)を筆頭に、岐阜(3.4)や北西遠(3.4)といった都市部での得点が高く、平成15年度調査と比較して増加傾向にあります。
- ・ 一方、得点が2.5点以下となったのは、熱海・伊東(2.5)、駿東・田方(2.5)、新城南北設楽(2.3)、伊賀(2.5)、伊勢志摩(2.5)、尾鷲(2.5)など、農山漁村地域が多くなっています。また、平成15年度調査と比べて、特に三重県で減少している地域が多くなっています。

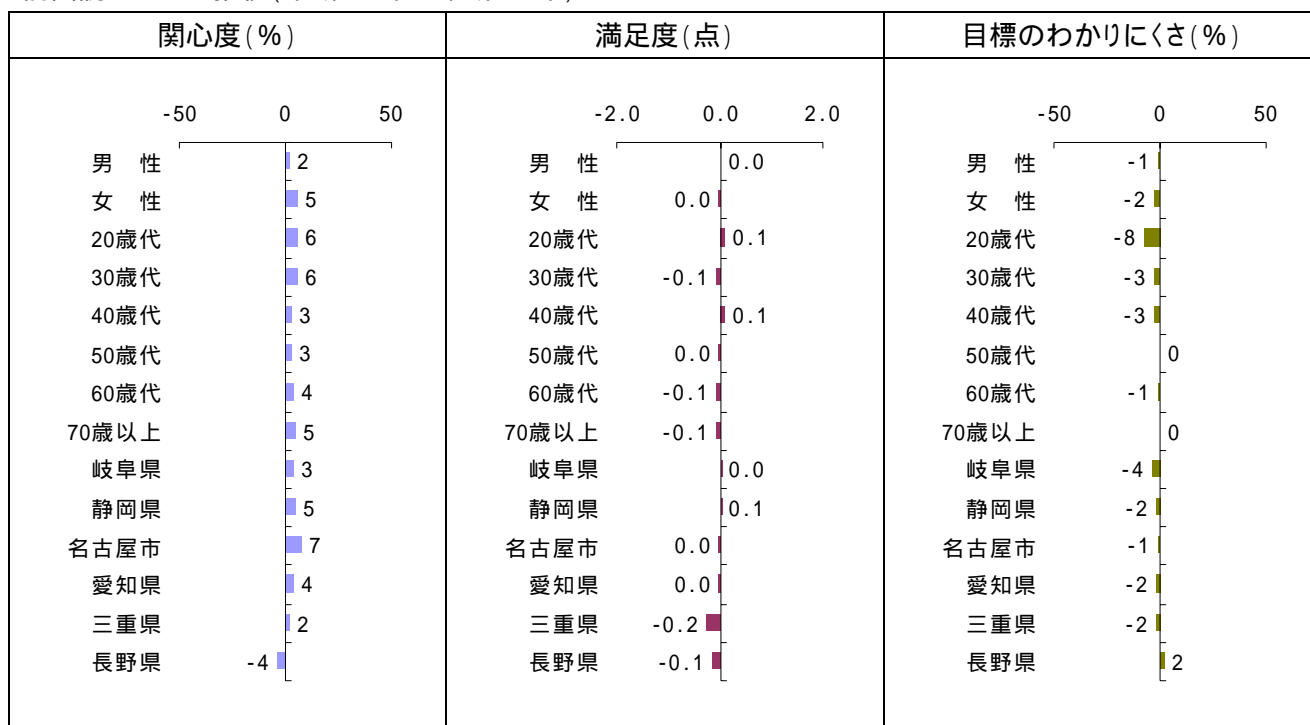
調査結果



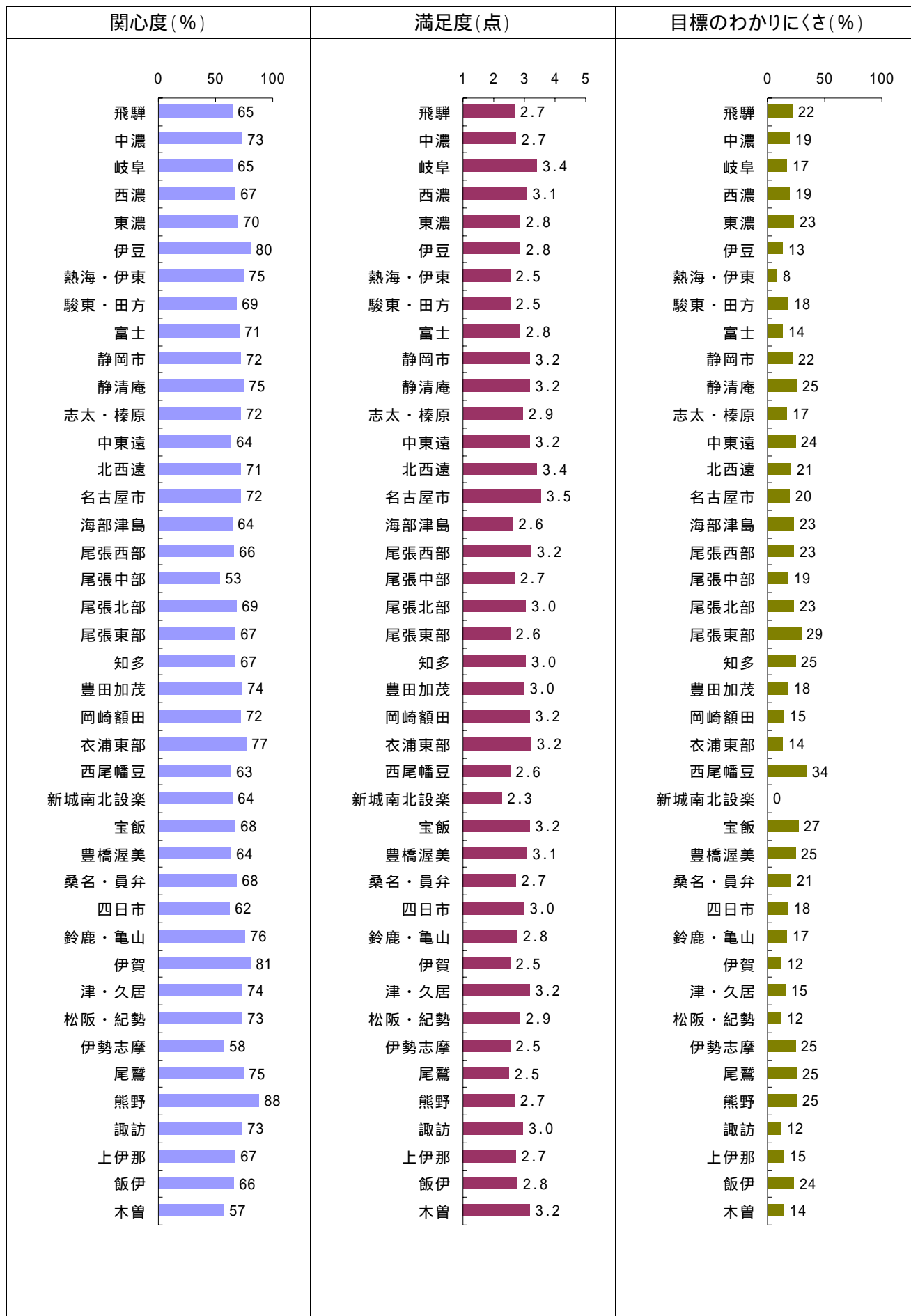
属性別集計



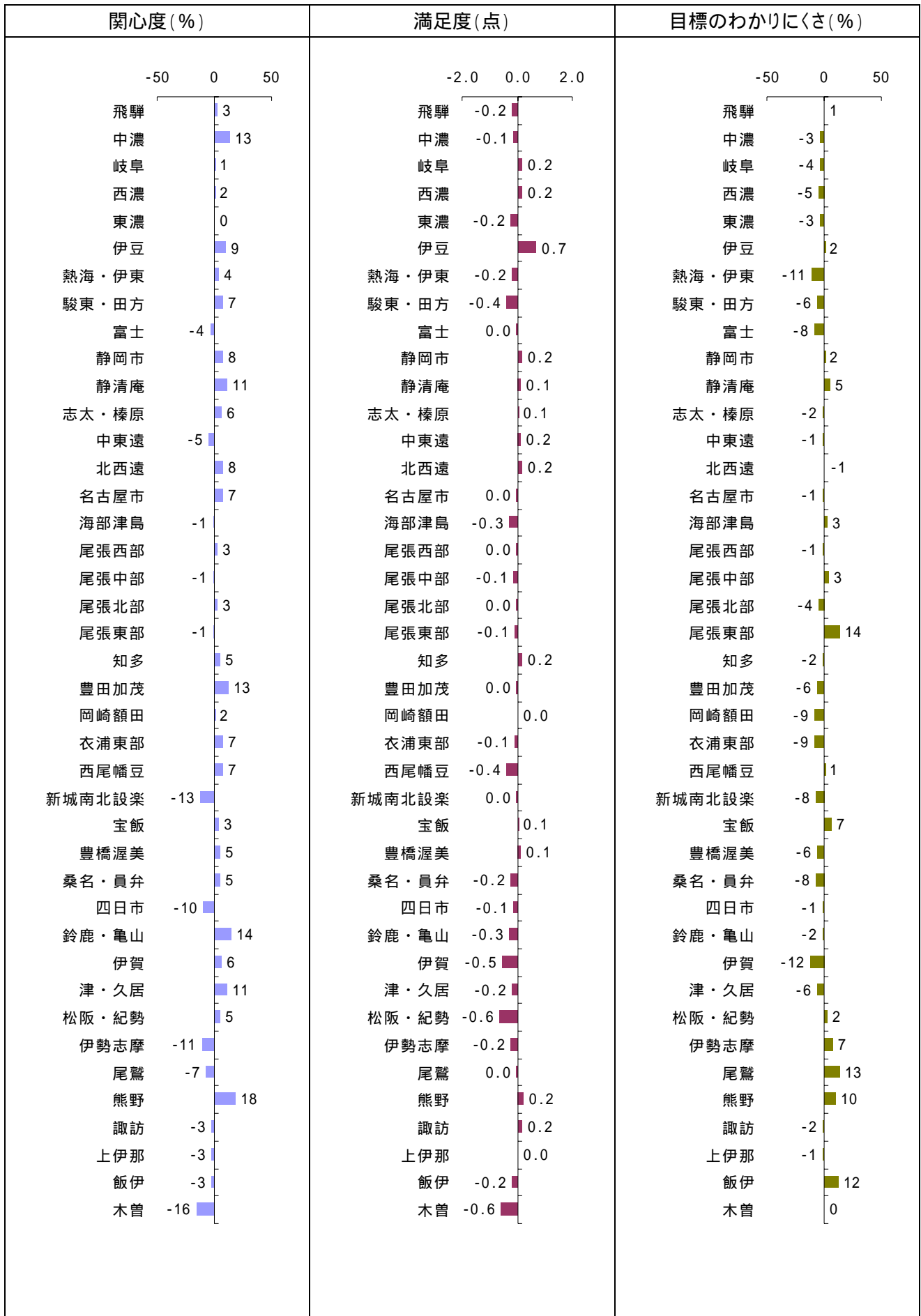
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

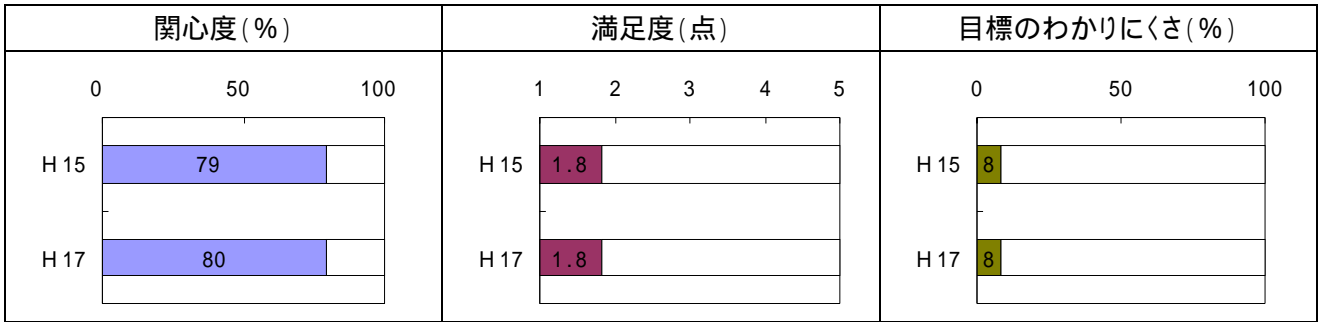


目標	- 5	ユニバーサルデザインが実感できる社会を実現します
関心度 設問	問 6 - 1	ユニバーサルデザイン(誰にとっても利用しやすい建物や交通に配慮した整備の仕方)について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 6 - 2	あなたの住む地域では、ユニバーサルデザイン(誰にとっても利用しやすい建物や交通に配慮した整備の仕方)が行き届いていると思いますか？

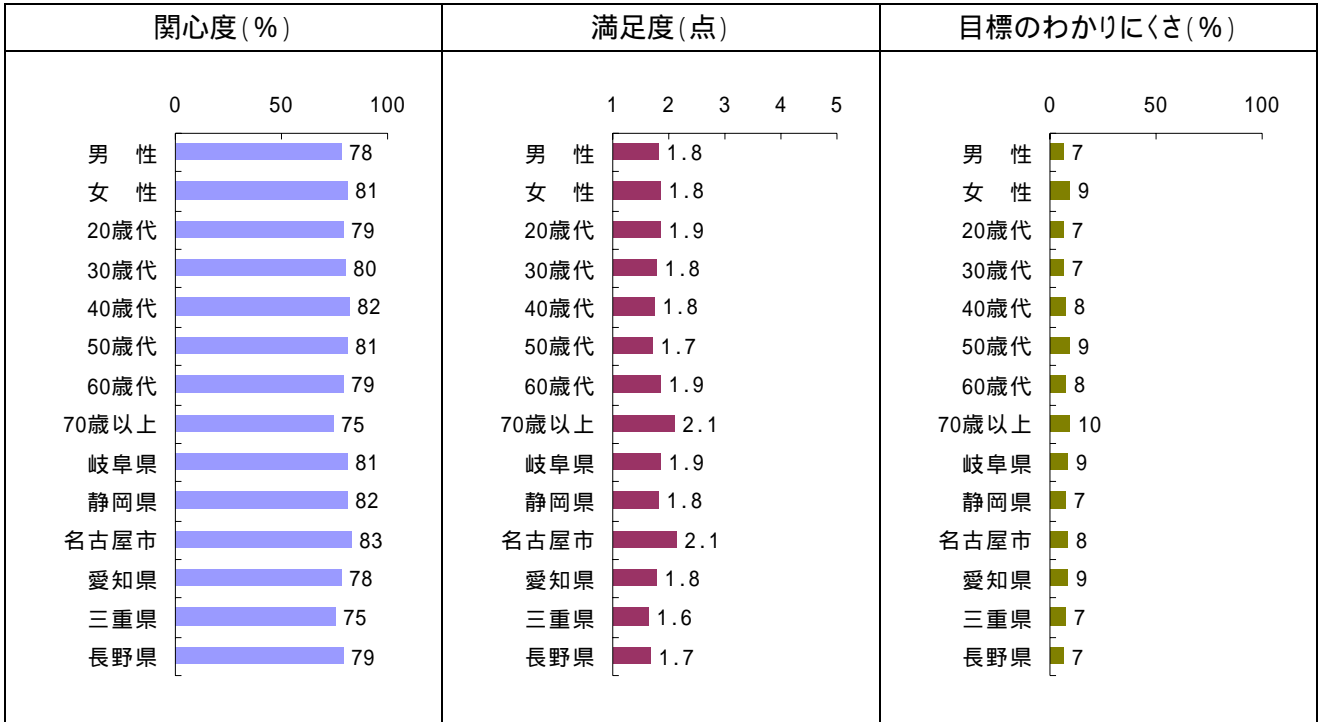
- ・ 満足度は、平成 15 年度調査と比較して変化は見られず、1.8 点と非常に低くなっています。
- ・ 関心度は 80%と高く、平成 15 年度調査と比較して 1 ポイント増加しています。
- ・ 地域別で、満足度が 3 点を超えているところはなく、北西遠の 2.2 点が最も高くなっています。また、2 点を超えているのは、主に都市部で、岐阜(2.0)、名古屋市(2.1)、豊田加茂(2.0)、豊橋渥美(2.1)のほか、伊豆(2.1)、衣浦東部(2.0)、諏訪(2.0)の 8 地域に過ぎません。
- ・ 平成 15 年度調査と比較して、特に愛知県西部や三重県のほとんどの地域で、満足度が減少しています。一方、こうした地域では、関心度が増加しており、ユニバーサルデザインの整備に対するニーズの高まりが反映されたと考えられます。



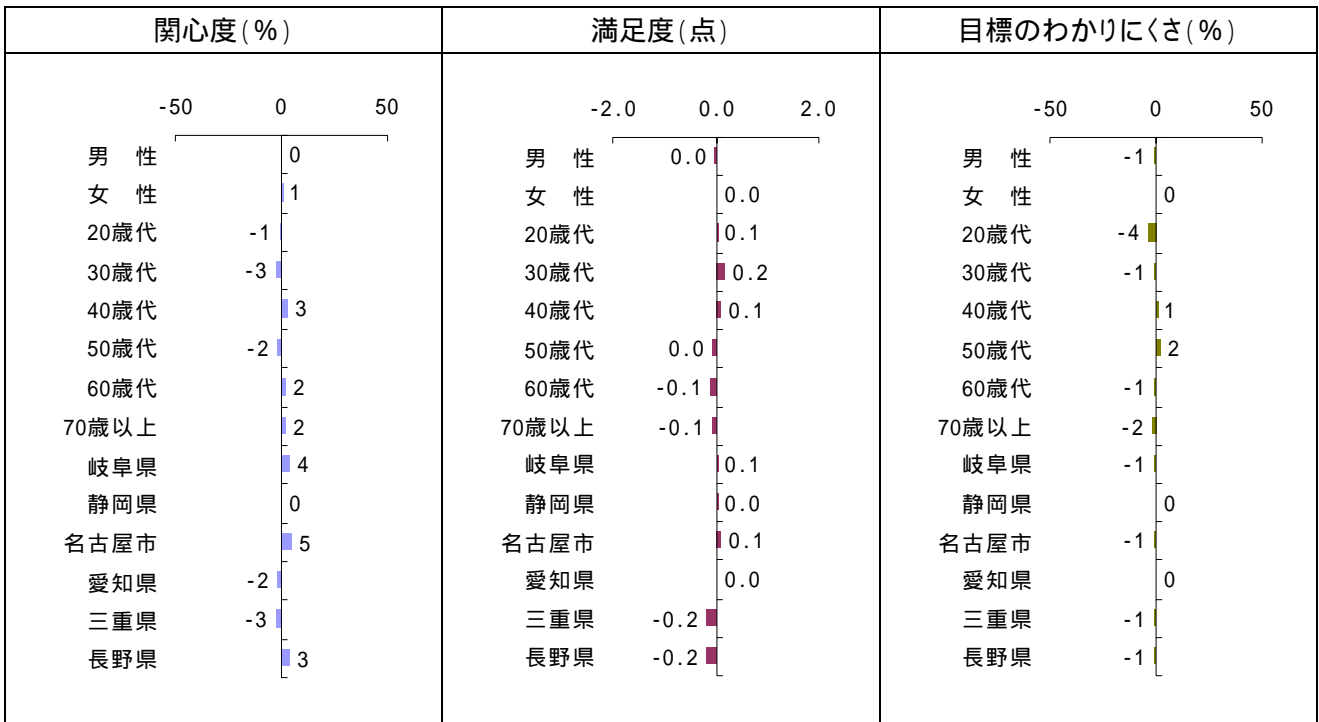
調査結果



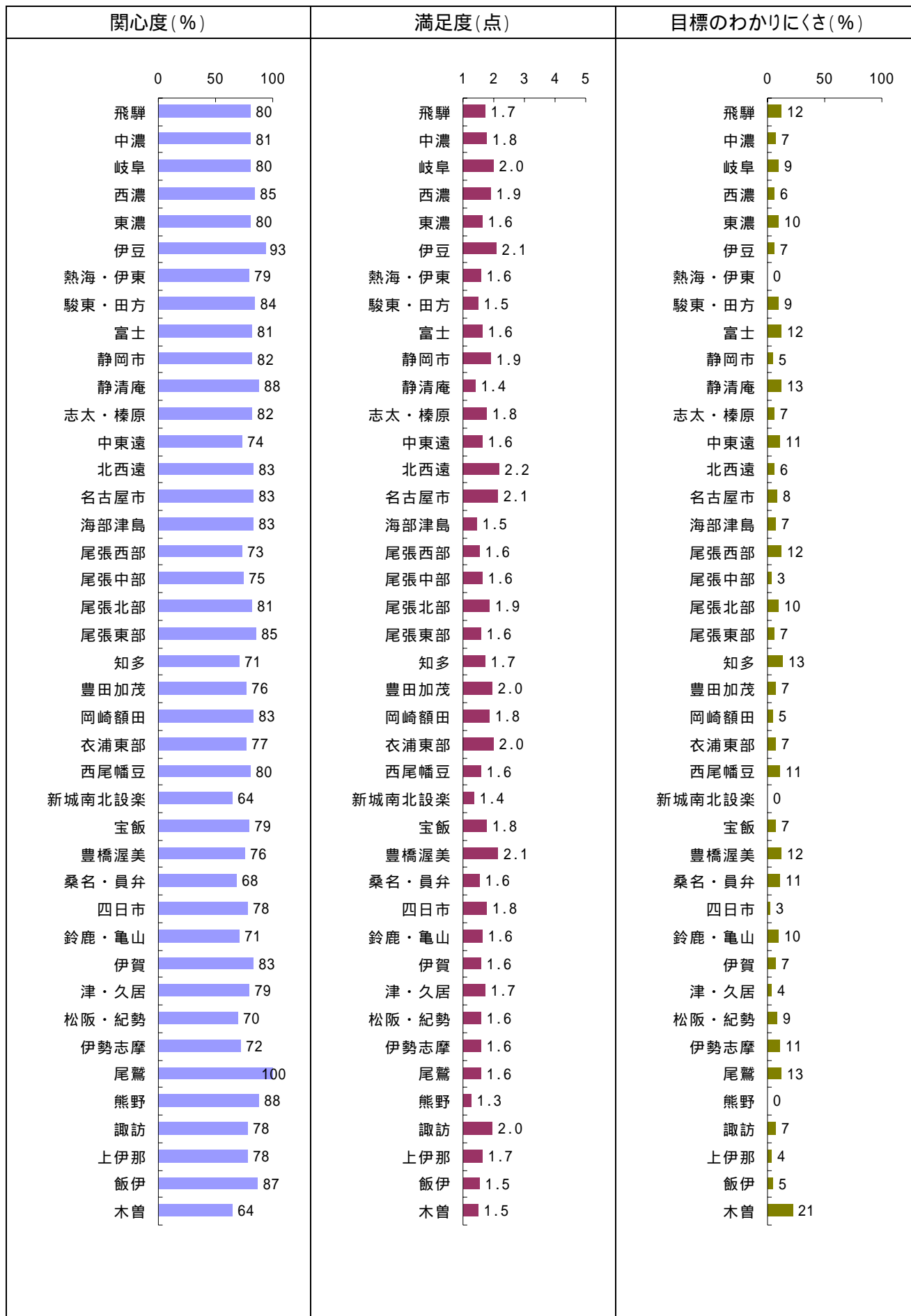
属性別集計



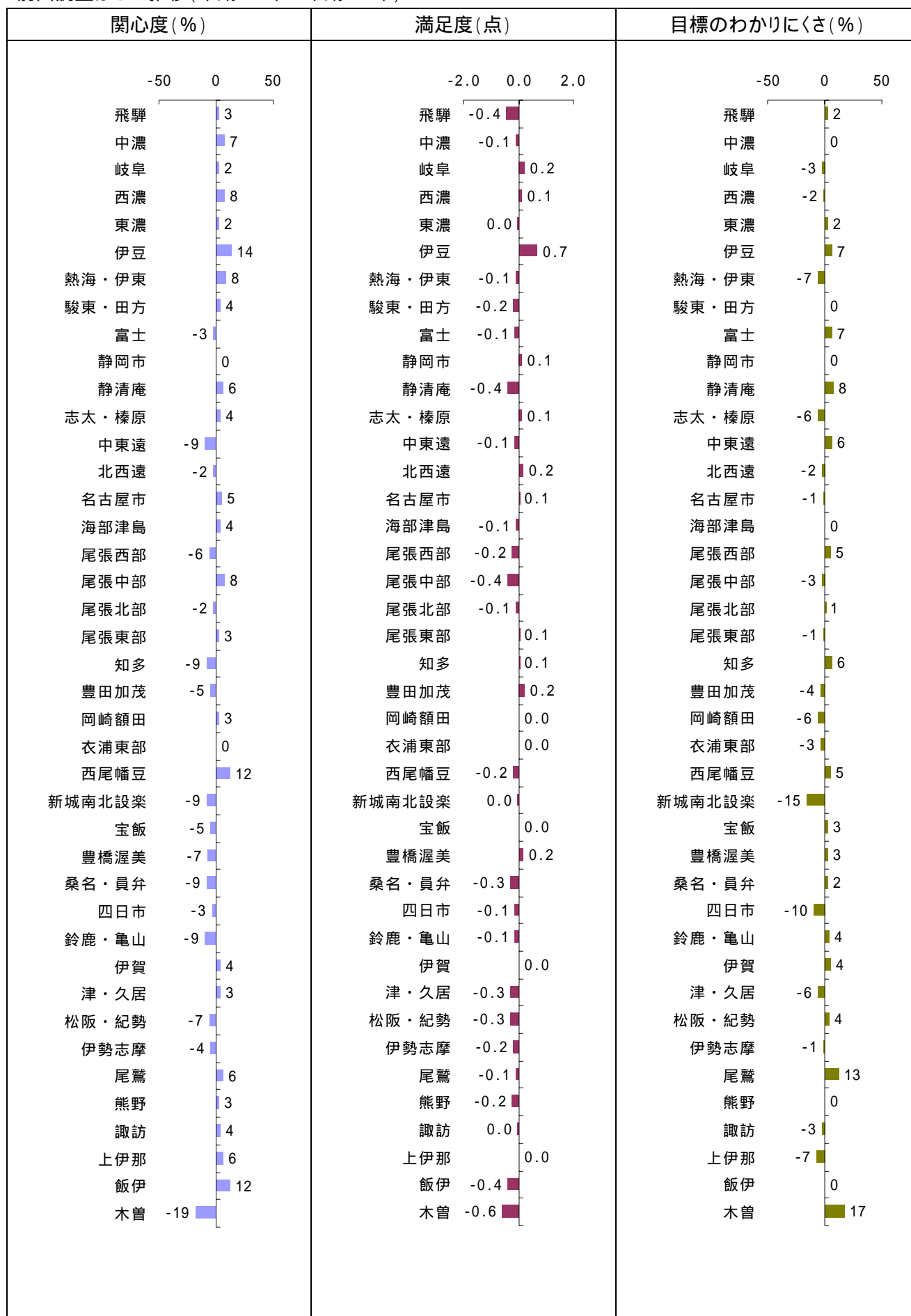
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



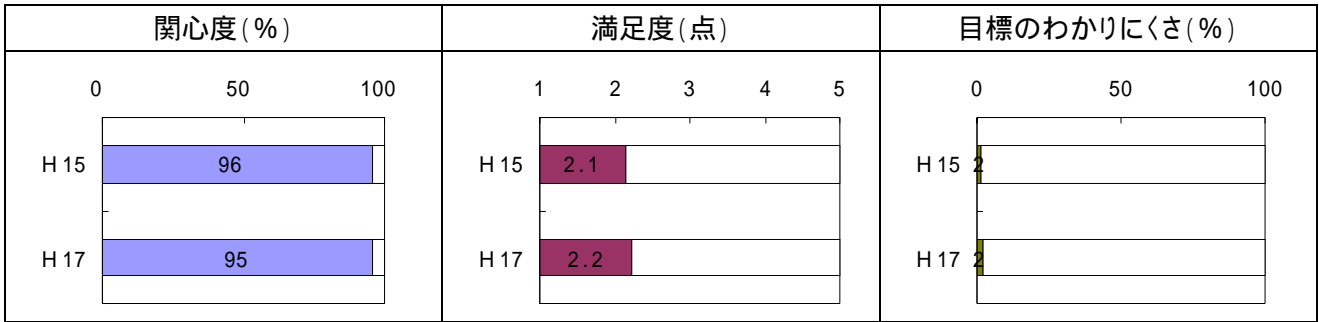
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



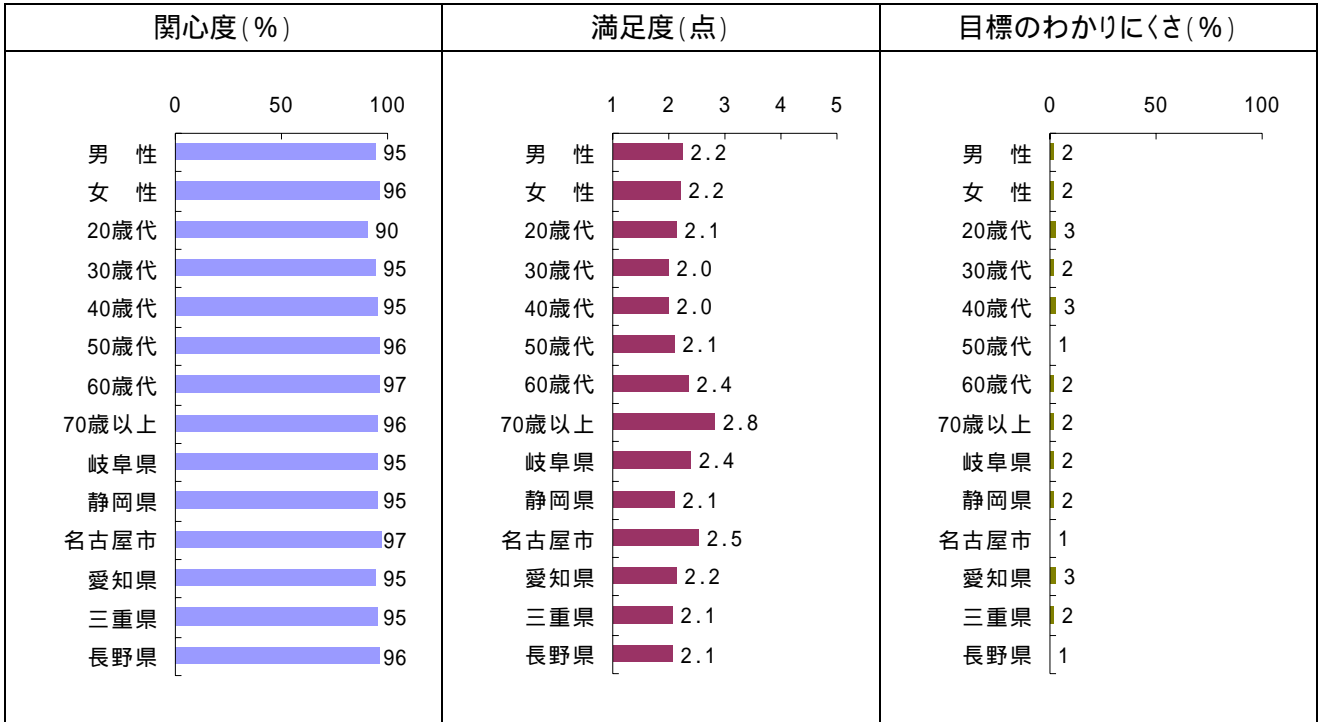
目標	- 6	安全で安心して移動できる生活環境をつくります
関心度 設問	問 7 - 1	自動車交通や歩行者が安全で安心して移動できることについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 7 - 2	あなたの住む地域は、自動車や歩行者が安全で安心して移動できると思いますか？

- ・ 満足度は 2.2 点と低いものの、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は平成 15 年度調査と比較して 1 ポイント減少しているものの、95%と非常に高いです。
- ・ 住民ニーズが極めて高い一方で、満足度が増加していない目標の一つとなっています。
- ・ 満足度が最も高い地域は西濃の 2.7 点であり、このほか、岐阜(2.5)、名古屋市(2.5)をはじめ、都市部での満足度が相対的に高く、平成 15 年度調査から増加しています。
- ・ 一方、駿東・田方(1.8)、中東遠(1.9)、尾張東部(1.9)、新城南北設楽(1.5)、宝飯(1.8)、木曽(1.6)の主に農山漁村地域で満足度が 1 点台となっており、うち中東遠(-0.4)、新城南北設楽(-0.6)、木曽(-0.8)で平成 15 年度調査以降の減少が大きく、満足度の格差が拡大しています。

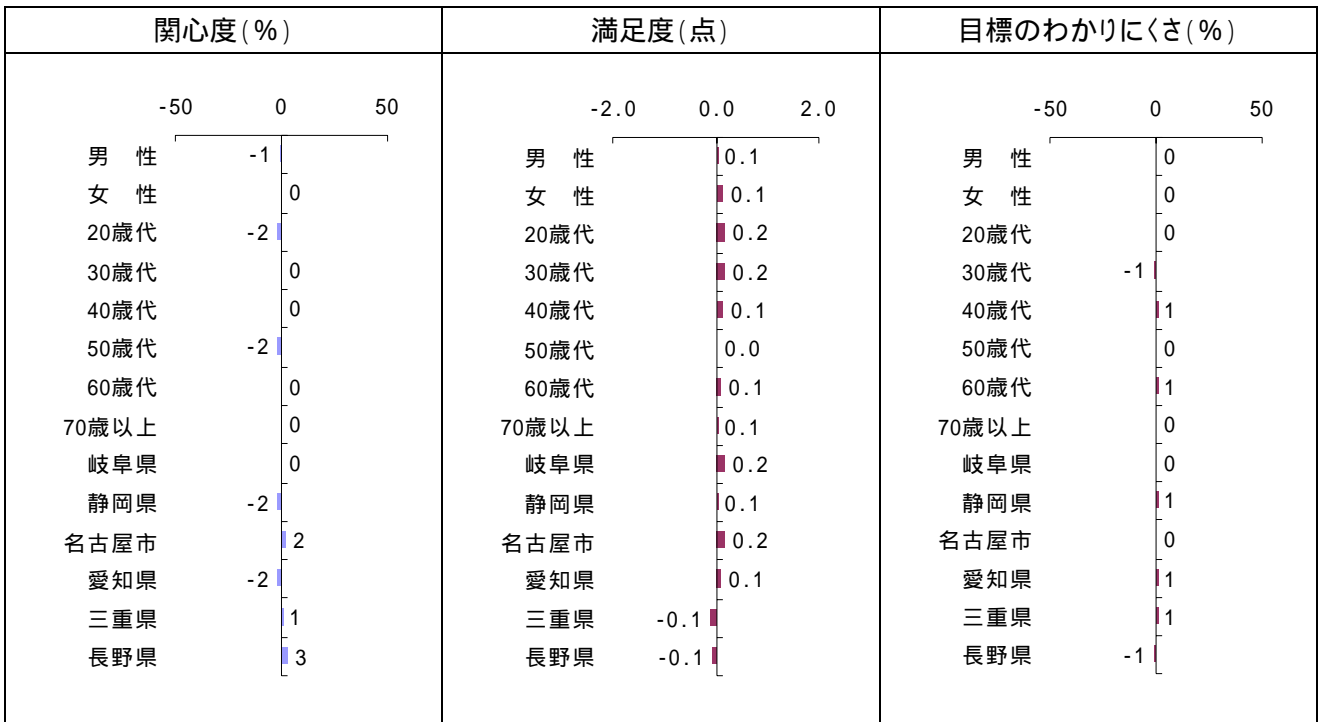
調査結果



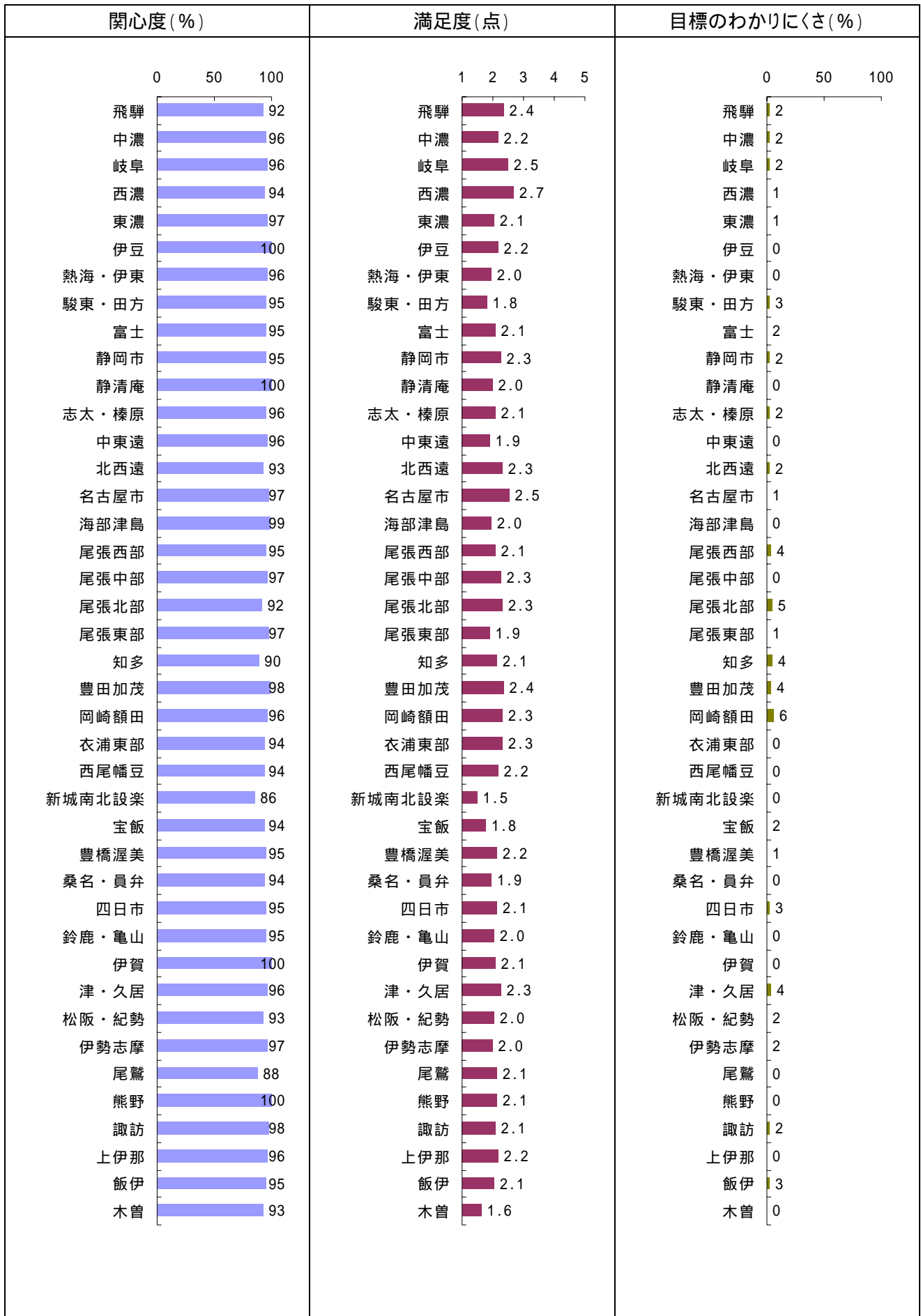
属性別集計



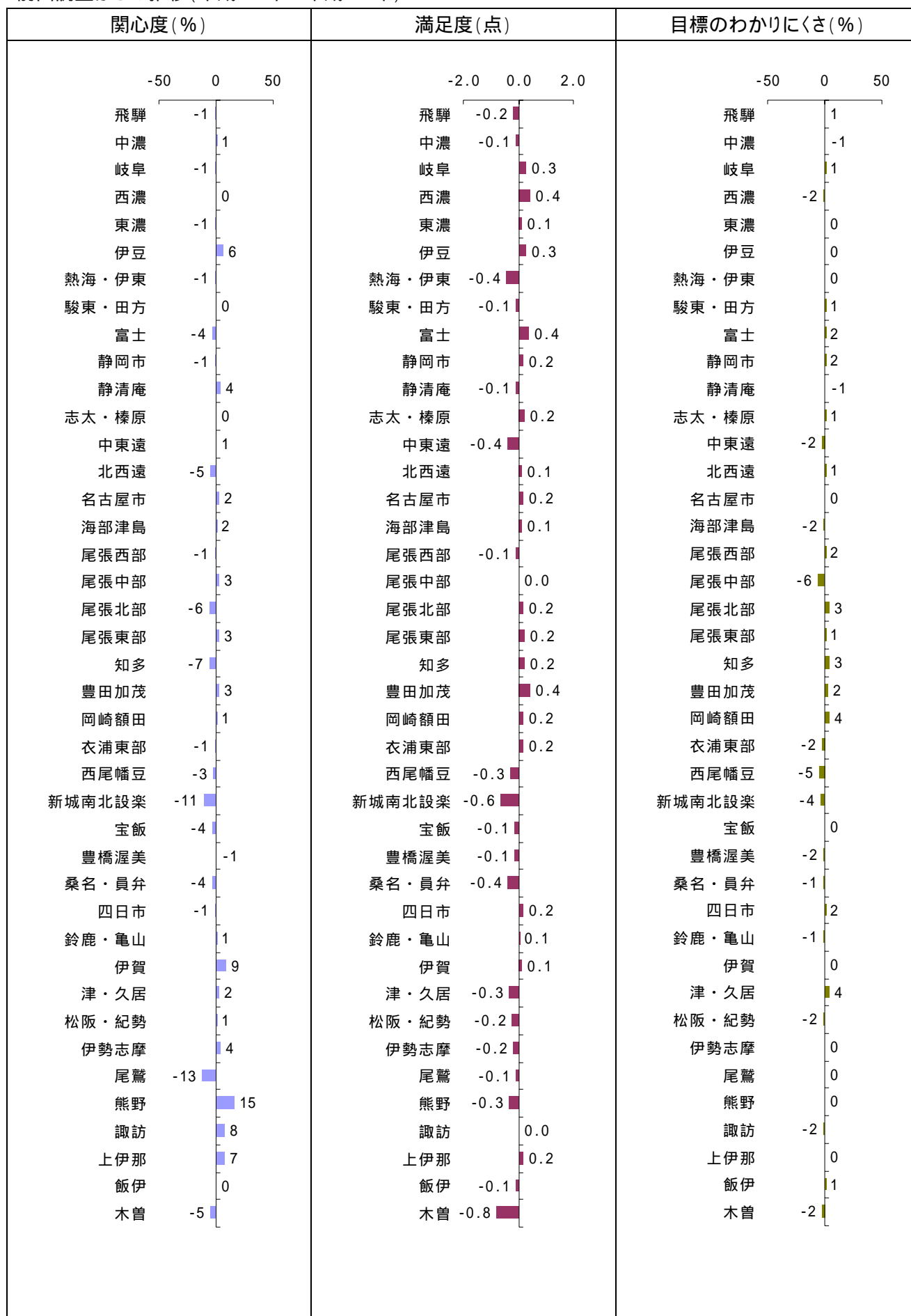
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

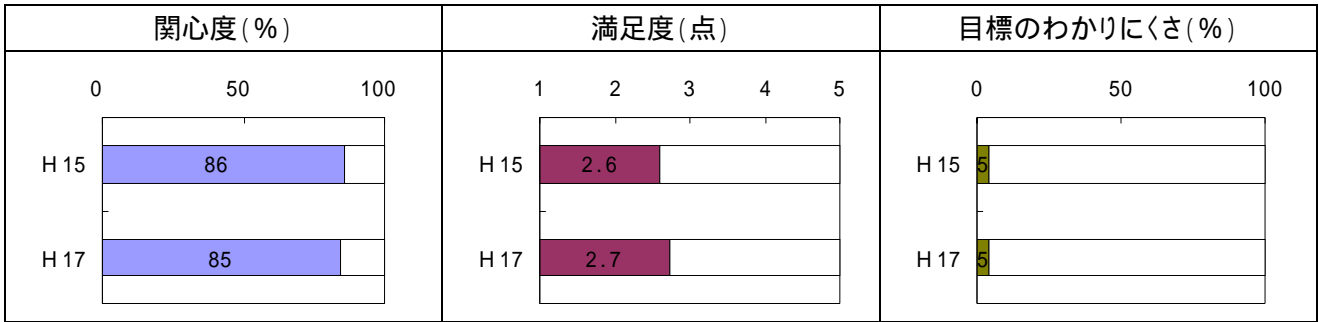


目標	- 7	誇りを持って住むことができる地域づくり・まちづくりを目指します
関心度 設問	問 8 - 1	地域に誇りを持てるような場所やまちなみがあることについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 8 - 2	あなたの住む地域は、誇りを持てるような場所やまちなみがあると思いますか？

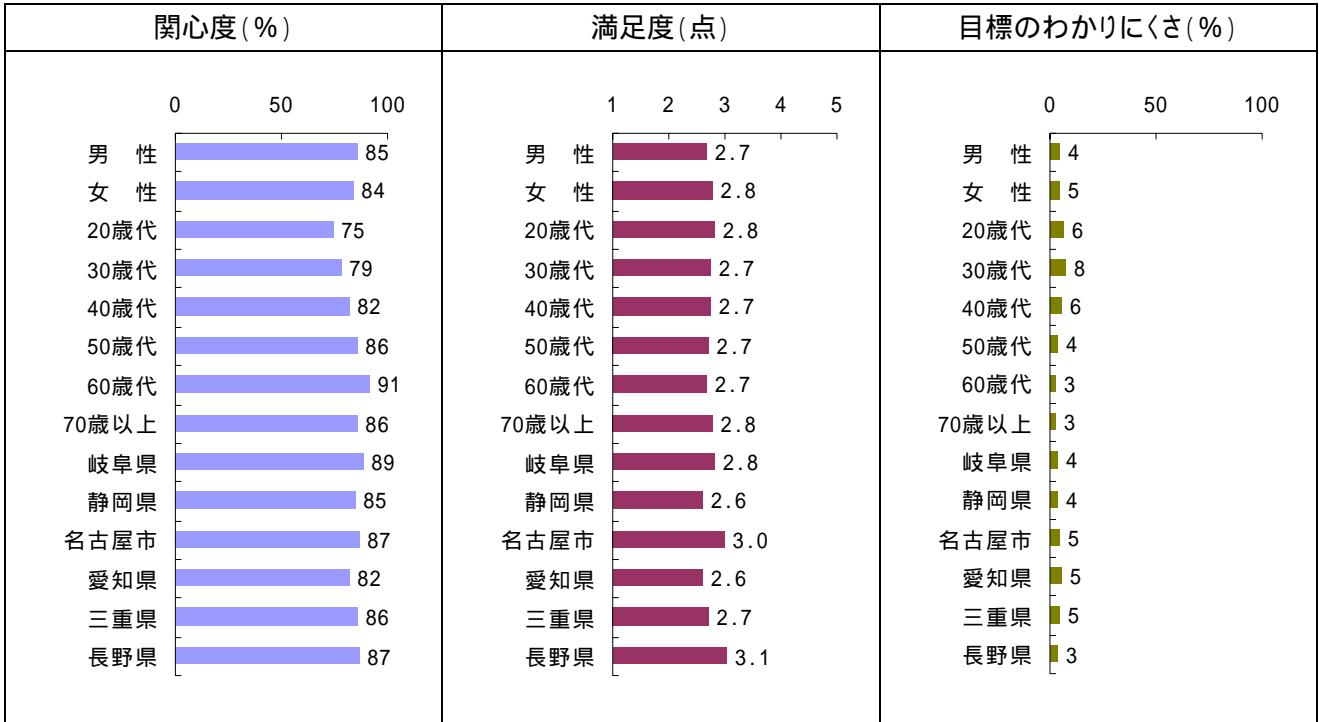
- ・ 満足度は 2.7 点と中間値の 3 点を下回っているが、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 85% と高いものの、平成 15 年度調査と比較して 1 ポイント減少しています。
- ・ 満足度が 3 点以上となった地域は、飛騨 (3.7)、伊豆 (3.1)、熱海・伊東 (3.8)、富士 (3.2)、名古屋市 (3.0)、伊賀 (3.3)、熊野 (3.8)、諏訪 (3.4)、上伊那 (3.0)、伊飯 (3.0) であり、主に知名度の高い観光地を有する地域です。これらの地域は、平成 15 年度調査と比較して、満足度が概ね増加しており、特に熊野で 1.1 ポイントと高い伸びを示しています。平成 16 年に熊野古道が世界遺産に登録されたことにより、地域住民にとって誇りを持てる地域になったと考えられます。
- ・ 一方、静清庵 (2.0) や新城南北設楽 (2.3) は、満足度が低くなっています。



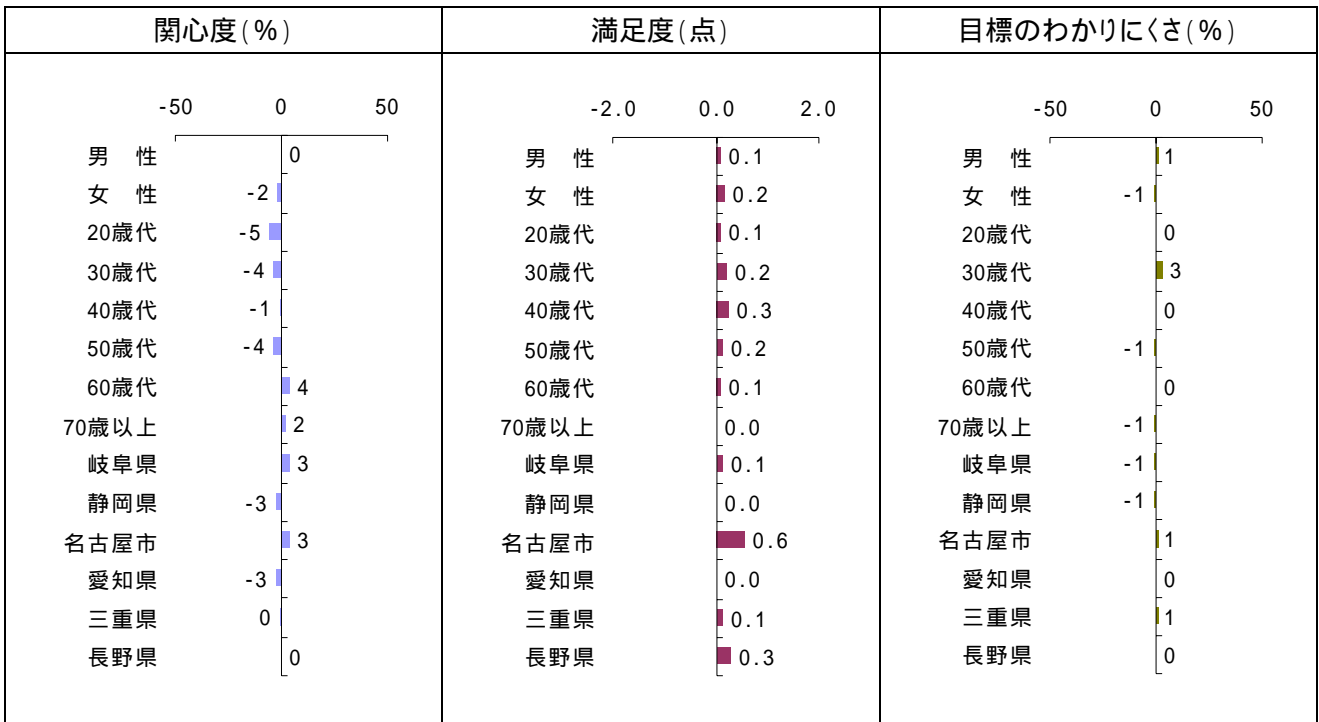
調査結果



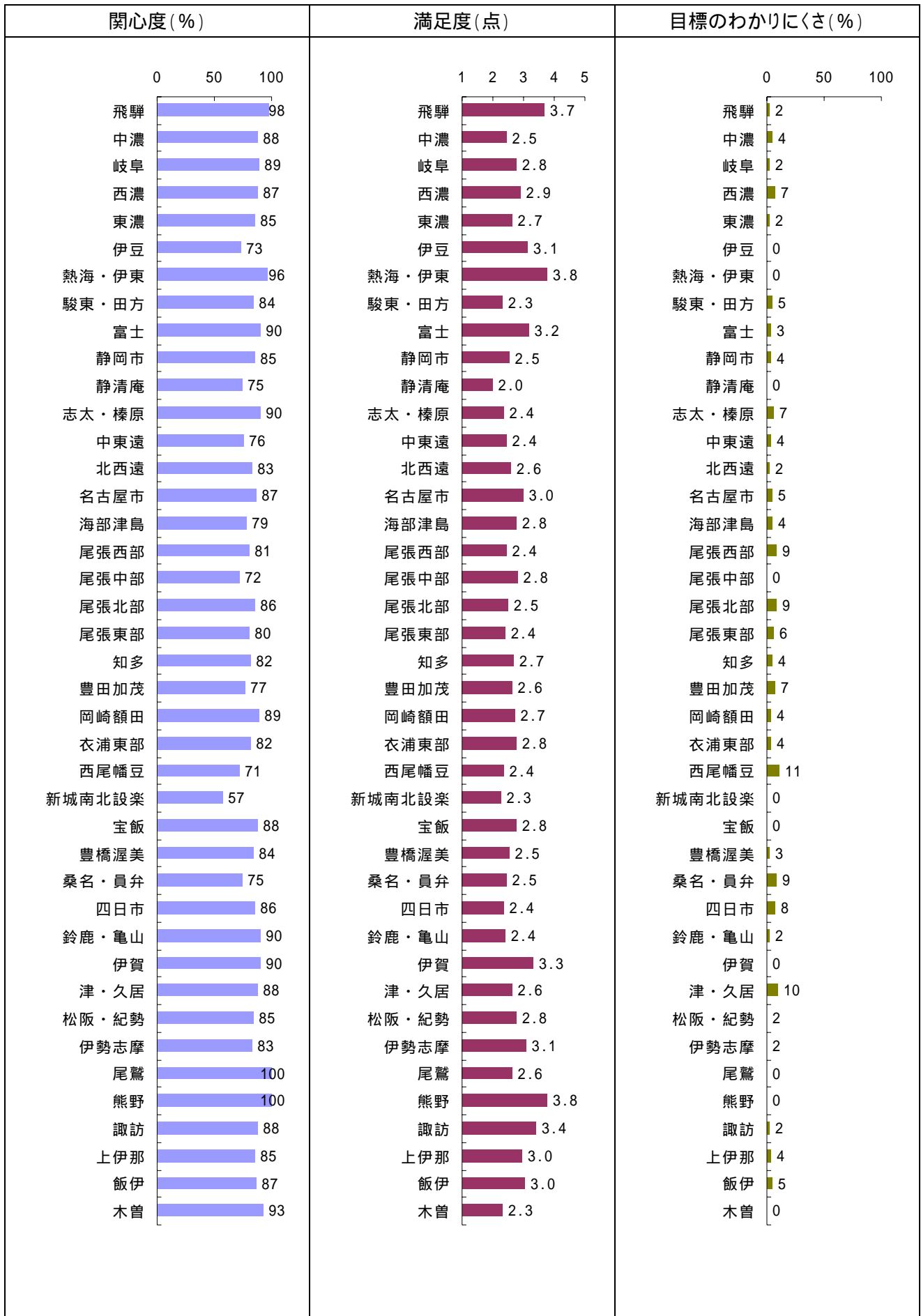
属性別集計



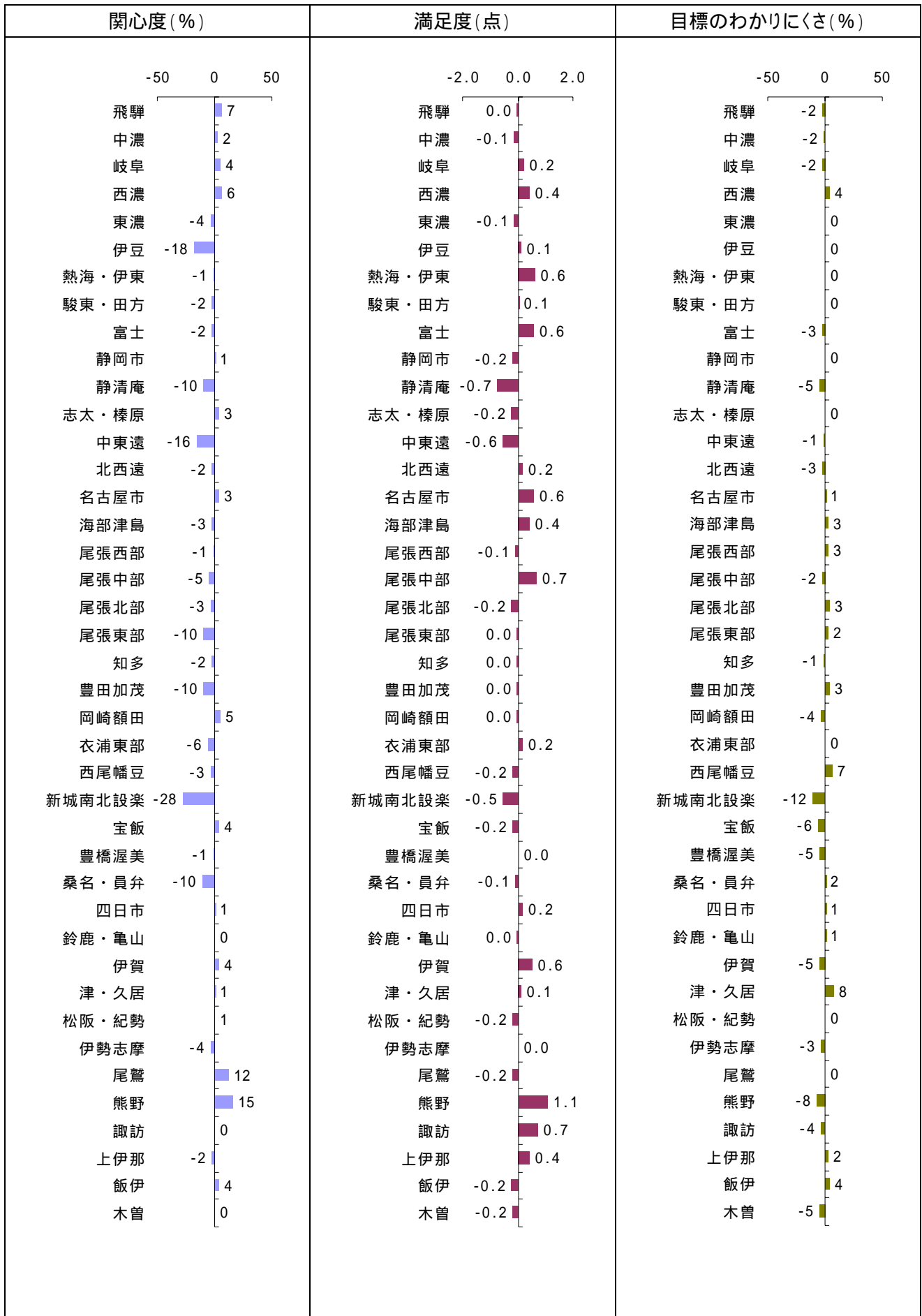
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



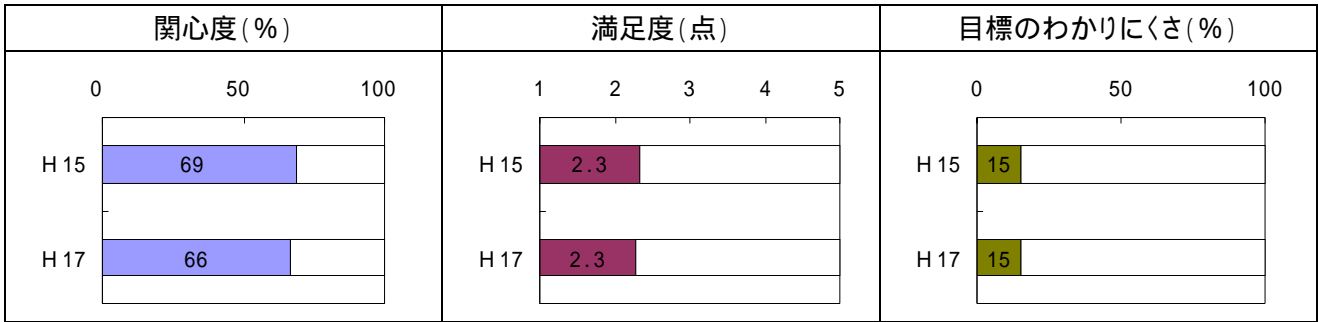
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



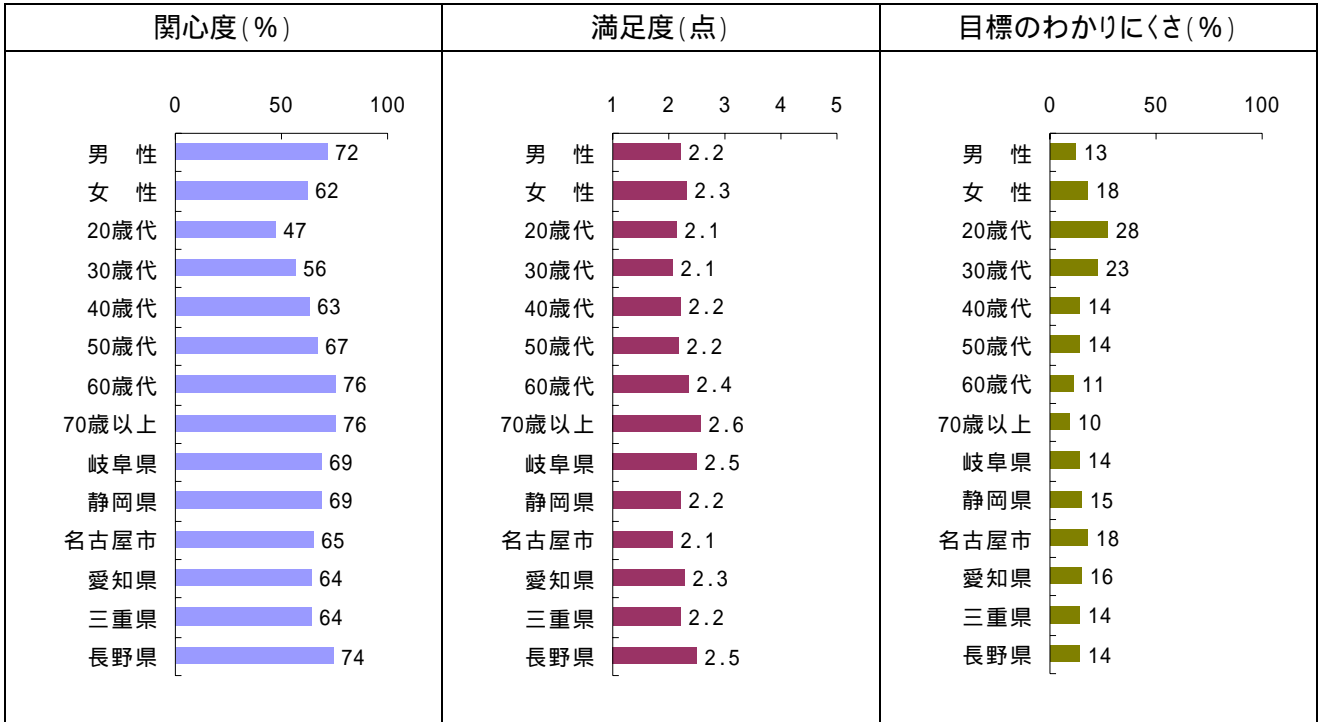
目標	- 8	まちづくりや水辺・海辺づくり等を進めるグループ作りやその活動及び女性や子供の視点に立った活動を支援します
関心度 設問	問9-1	まちづくりや環境保全などへの住民参加について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問9-2	あなたの住む地域では、まちづくりや環境保全などへの住民参加がしやすいと思いますか？

- ・ 満足度は、平成 15 年度調査と比較して変化は見られず、2.3 点と低くなっています。
- ・ 関心度は 66%と低く、平成 15 年度調査と比較して 3 ポイント減少しています。
- ・ 地域別で、満足度が 2 点以下となったのは、駿東・田方 (2.0)、中東遠 (2.0)、尾張西部 (1.8)、新城南北設楽 (2.0)、四日市 (2.0)、鈴鹿・亀山 (1.8)、木曾 (1.6) ですが、地域的な特徴はみられません。こうした地域では、平成 15 年度調査以降、全ての地域で満足度が減少しています。同様に、関心度も低く、新城南北設楽 (-23) や四日市 (-16) をはじめとして、平成 15 年度調査と比較して大きく減少しています。
- ・ こうしたことから、まちづくりや環境保全に対する住民参加について、積極的な意識が低下しつつある実状が伺えます。

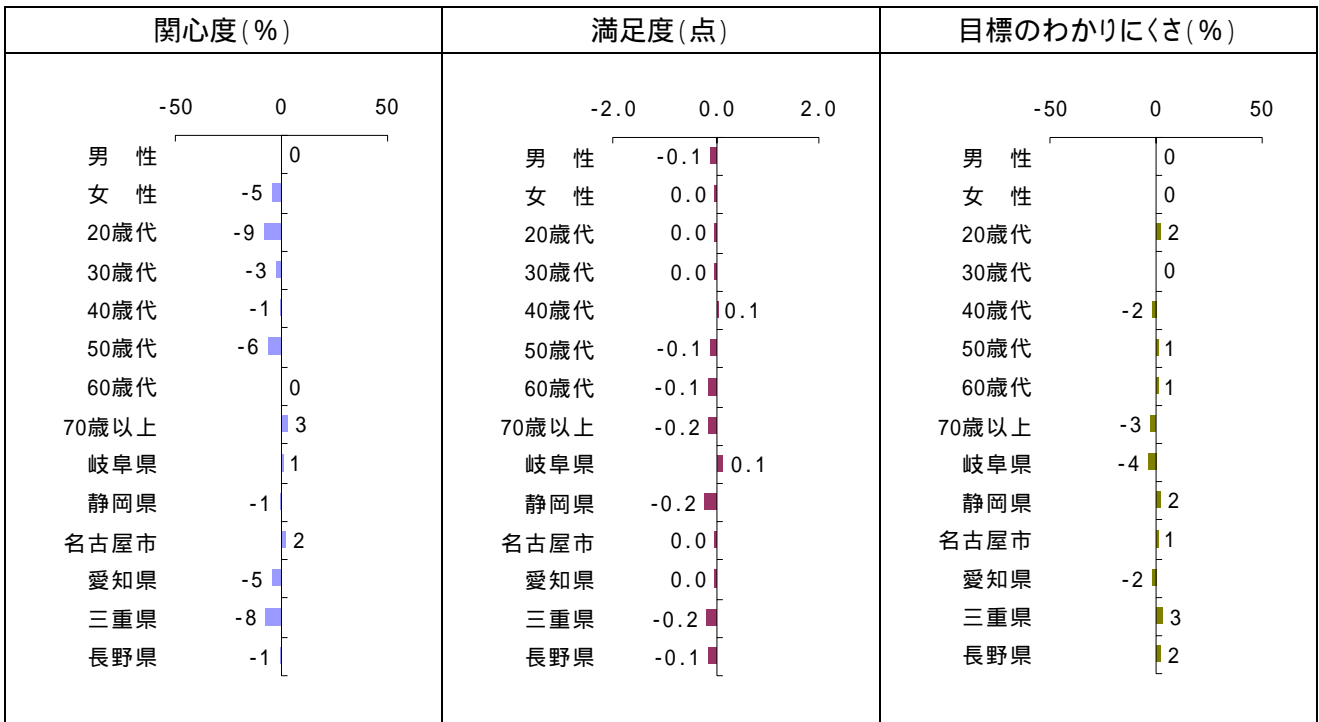
調査結果



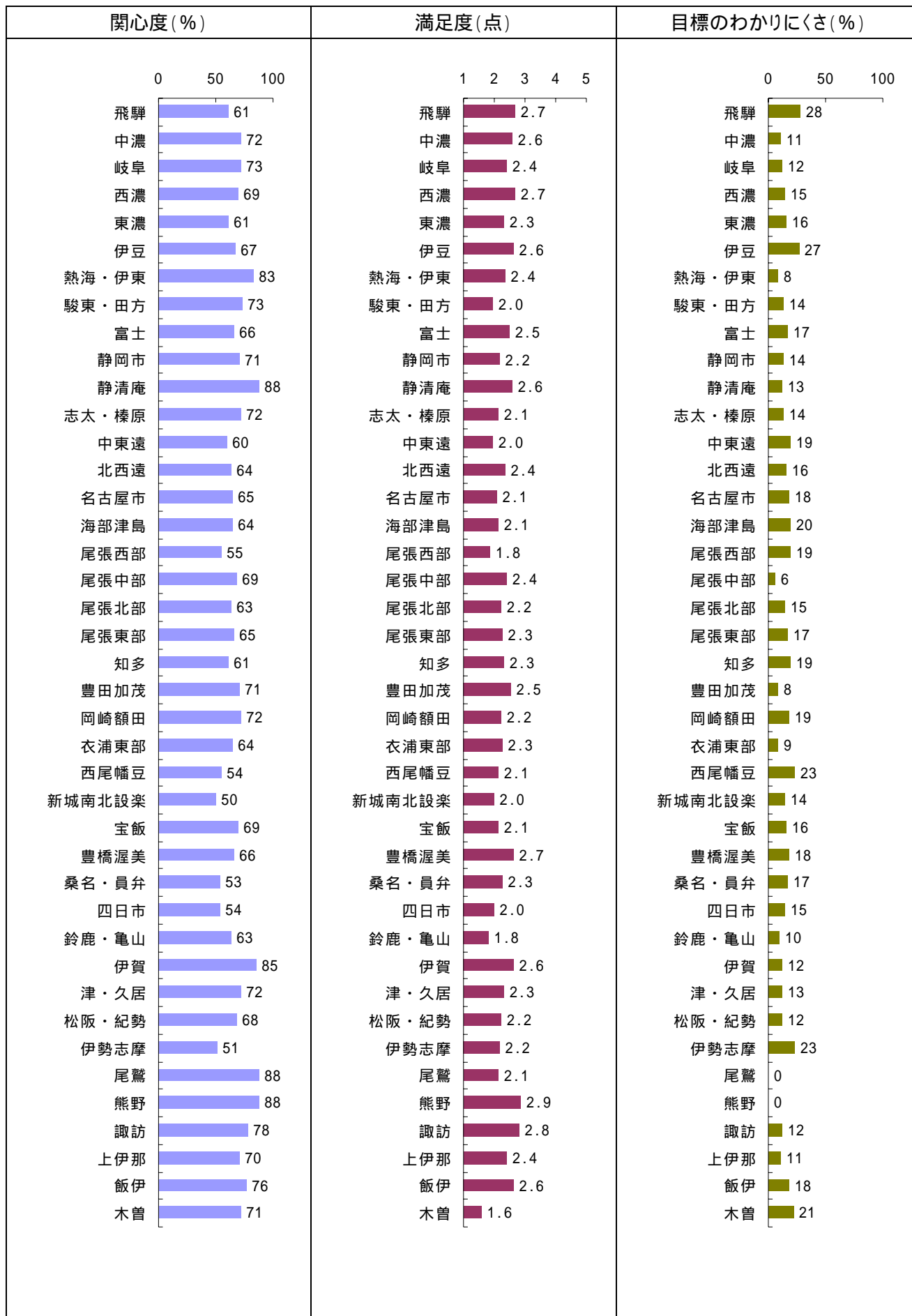
属性別集計



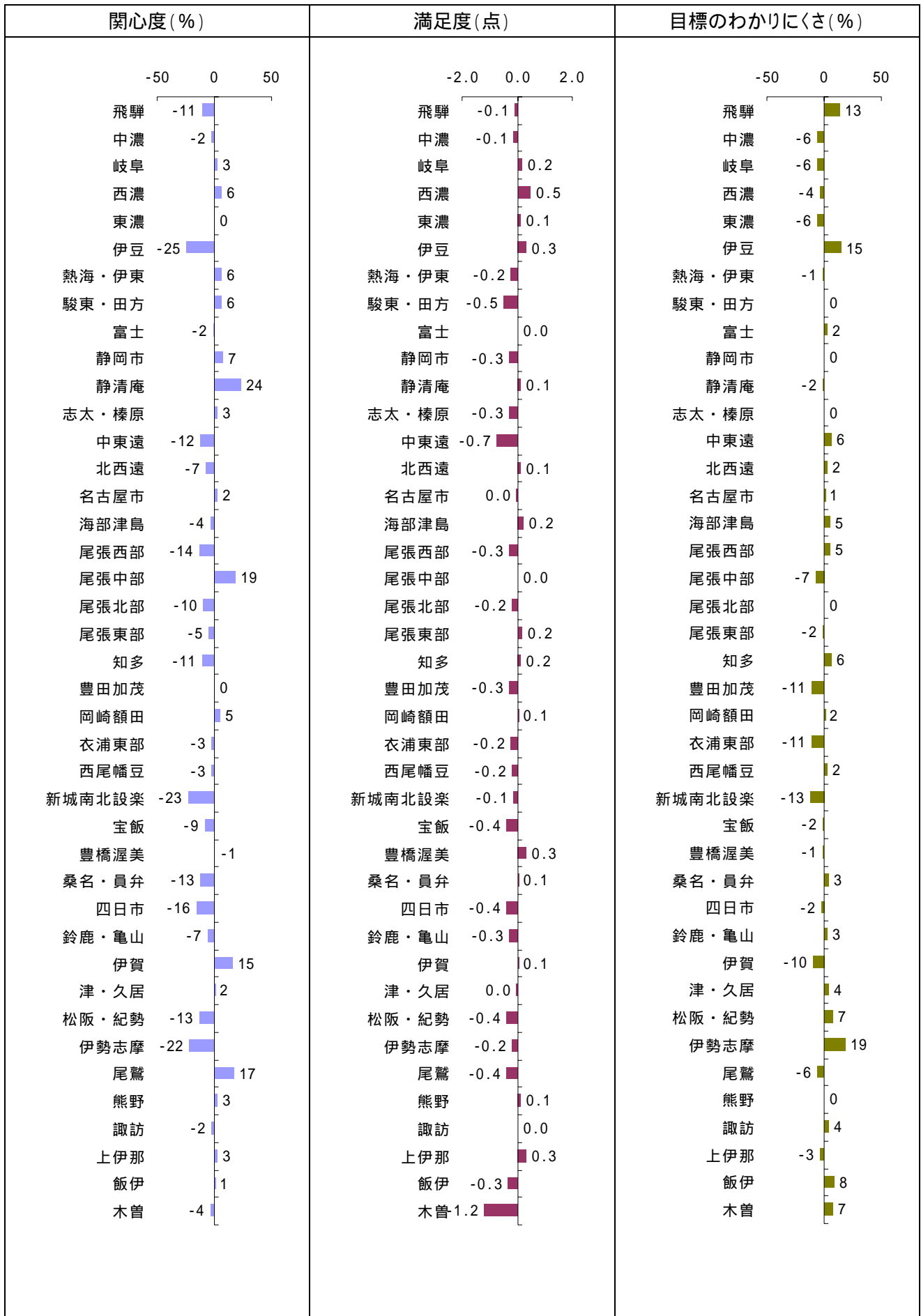
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

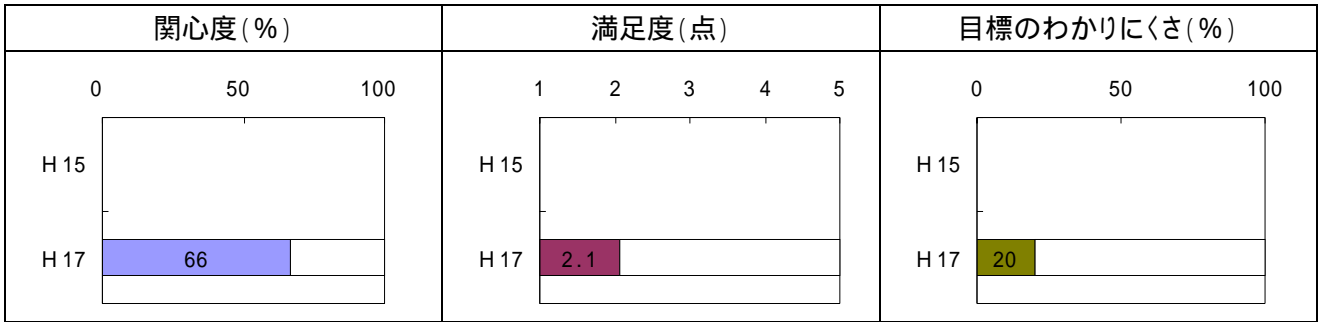


目標		(新規項目)
関心度 設問	問 10 - 1	地域づくりの担い手となる人づくり(人材育成)について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 10 - 2	あなたの住む地域では、地域に誇りや愛着を持った地域づくりの担い手となる人が育まれていると思いますか？

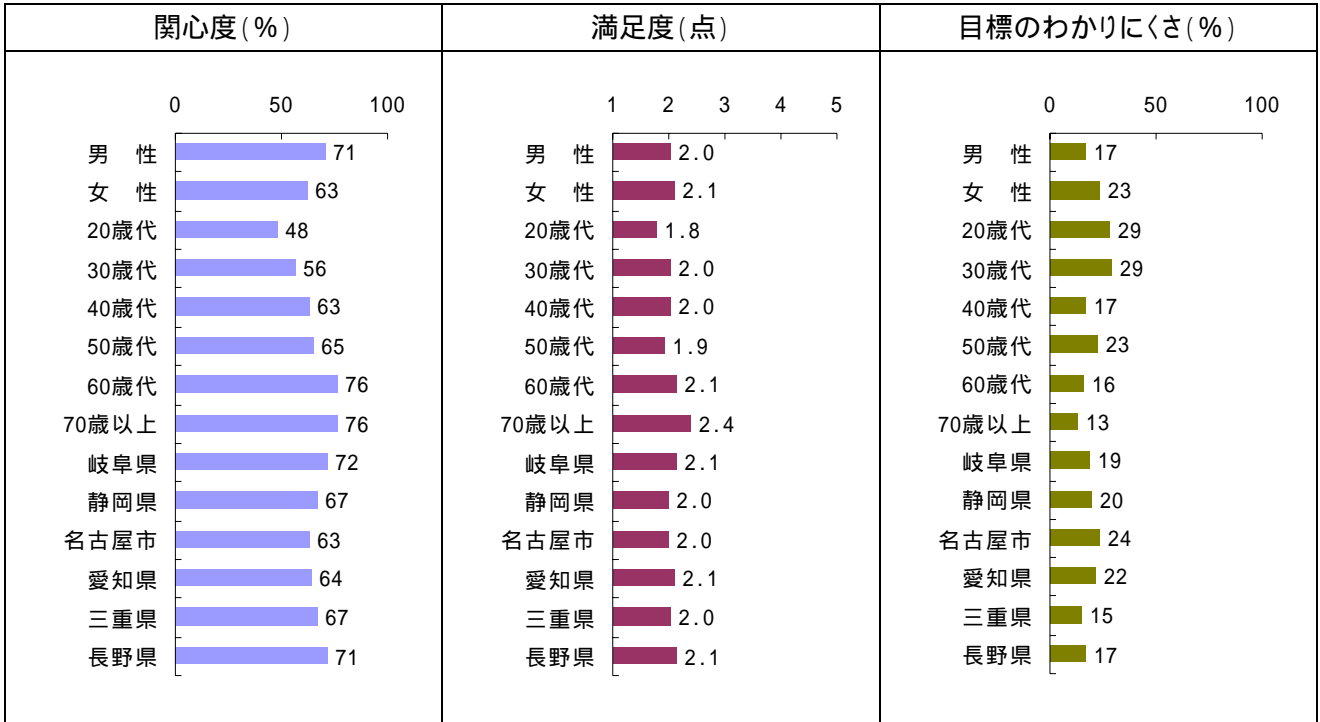
- ・ 満足度は 2.1 点と非常に低く、関心度も 66%と低い。
- ・ 満足度が 3 点以上となった地域はなく、最も高いのが尾張中部の 2.8 点。一方で、1 点台の地域が、駿東・田方(1.9)、静岡市(1.9)、志太・榛原(1.9)、中東遠(1.8)、尾張西部(1.9)、尾張北部(1.9)、西尾幡豆(1.9)、新城南北設楽(1.8)、宝飯(1.8)、鈴鹿・亀山(1.6)、津・久居(1.9)、木曽(1.7)の 12 か所あり、うち 9 か所は静岡県と愛知県となっている。
- ・ 地域別の関心度は、静清庵(88)や尾鷲(88)、熊野(88)が 9 割近くに達している一方、尾張西部(53)、西尾幡豆(51)、新城南北設楽(50)、木曽(43)では 40~50%程度であり、地域間格差が大きい。
- ・ 目標のわかりにくさは 20%に達している。



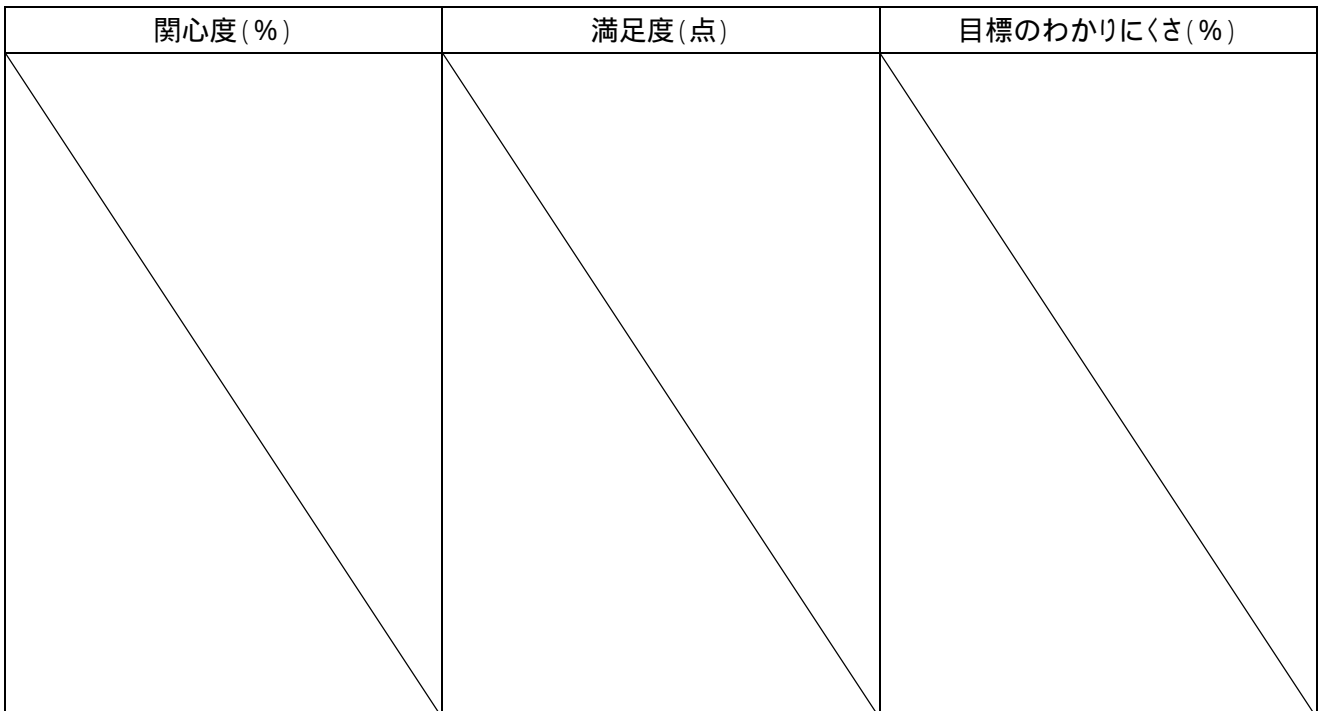
調査結果



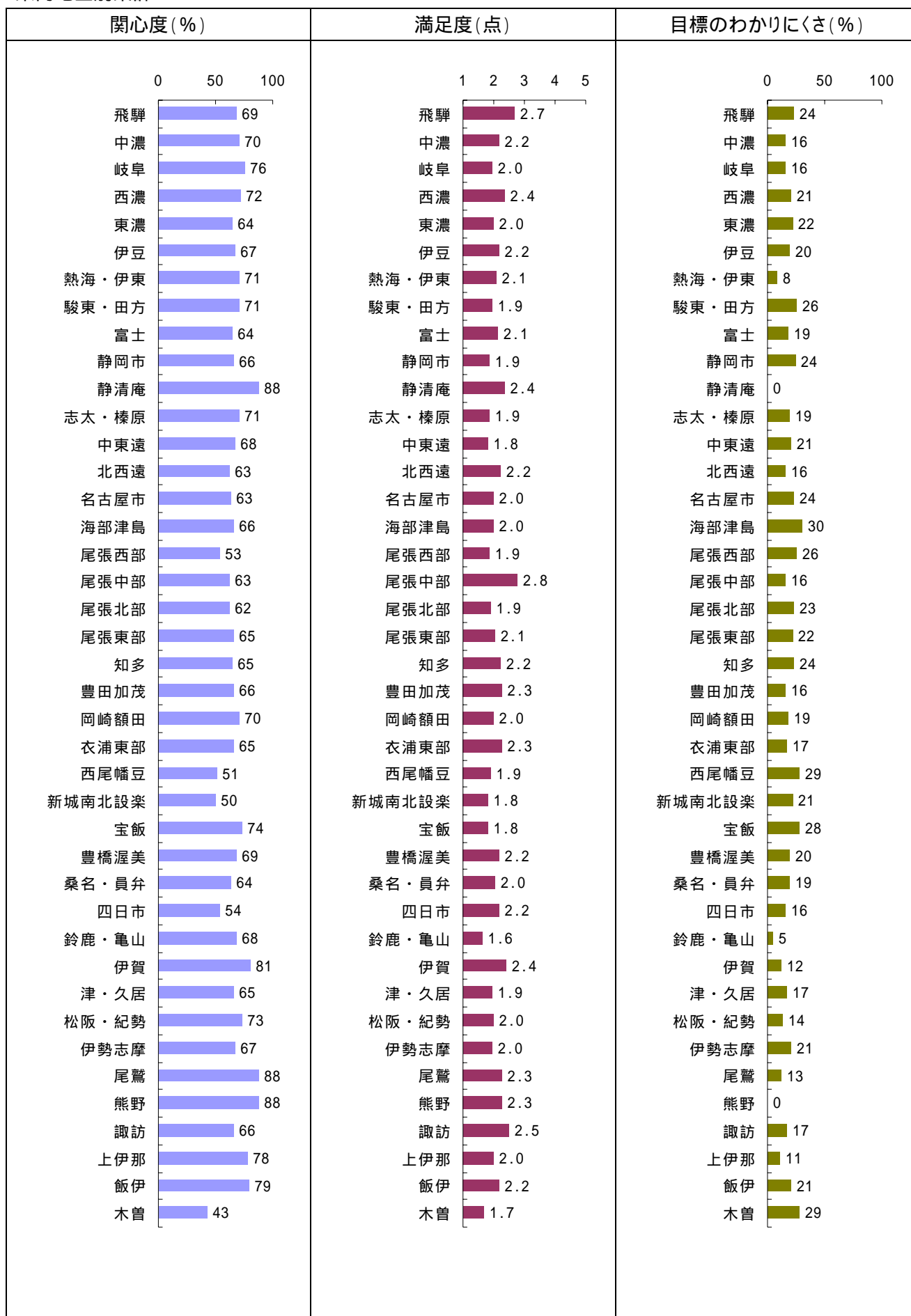
属性別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



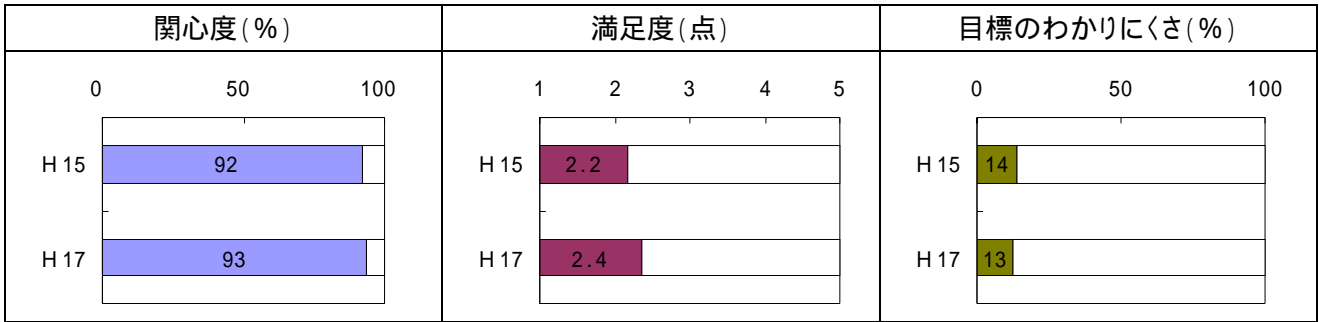
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

関心度 (%)	満足度(点)	目標のわかりにくさ (%)

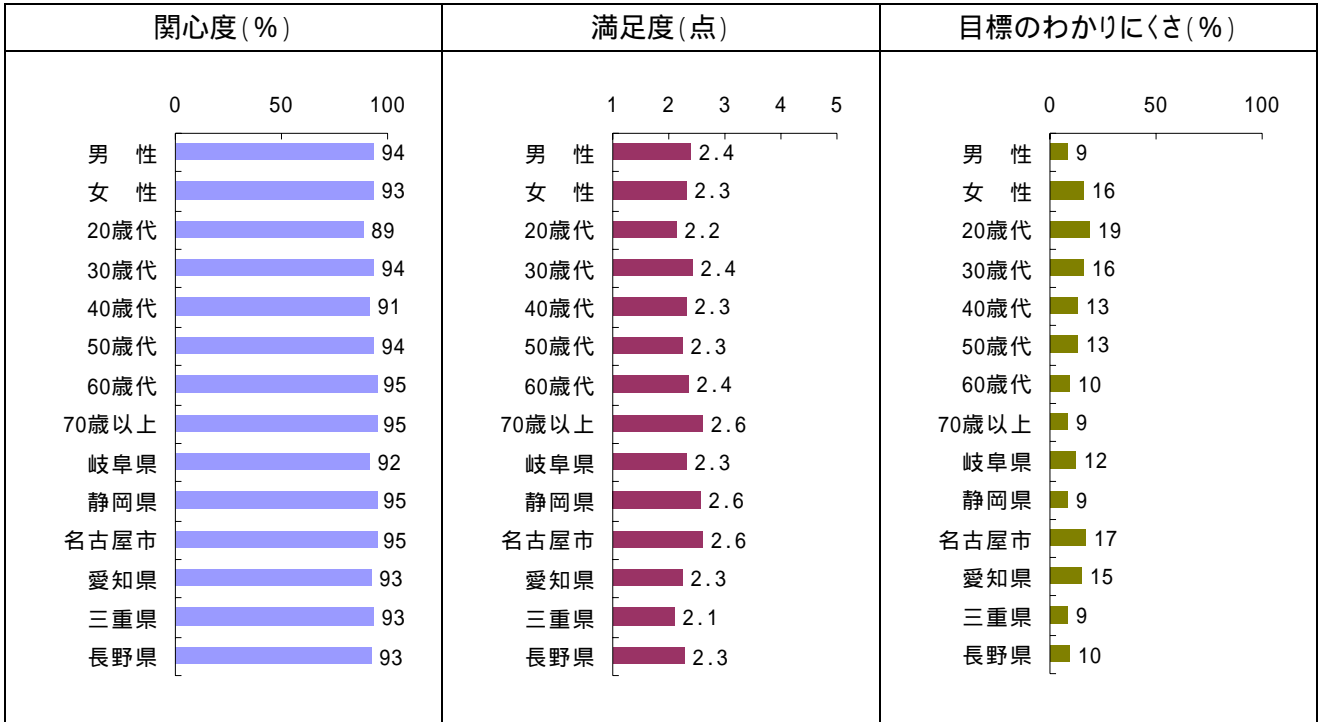
目標	- 1	地震等に対する安全性を確保します
関心度 設問	問 11 - 1	地震に対する住宅や道路・河川堤防などの防災対策について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 11 - 2	あなたの住む地域では、地震に対する住宅や道路・河川堤防などの防災対策が進んでいると思いますか？

- ・ 満足度は 2.4 点と低いものの、平成 15 年度調査と比較して 0.2 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 93% と非常に高く、平成 15 年度調査と比較して 1 ポイント増加しています。
- ・ 満足度が 3 点以上の地域はなく、静岡市や尾張中部の 2.9 点が最も高いをはじめ、主に静岡県の地域が比較的高くなっています。平成 15 年度調査と比較して、岐阜 (+0.3)、静岡市 (+0.4)、北西遠 (+0.5)、名古屋市 (+0.4)、豊田加茂 (+0.4)、豊橋渥美 (+0.5) といった主に都市部での得点が増加しており、都市部での災害対策を実感している住民が増加していると考えられます。
- ・ 一方、平成 15 年度調査と比較して、伊豆 (-0.2)、志太・榛原 (-0.2)、中東遠 (-0.2) など静岡県の多くの地域や新城南北設楽 (-0.3) といった東海地震に係る地震防災対策強化地域で満足度が減少しており、地震に対する危機感の高まりが反映したと考えられます。

調査結果



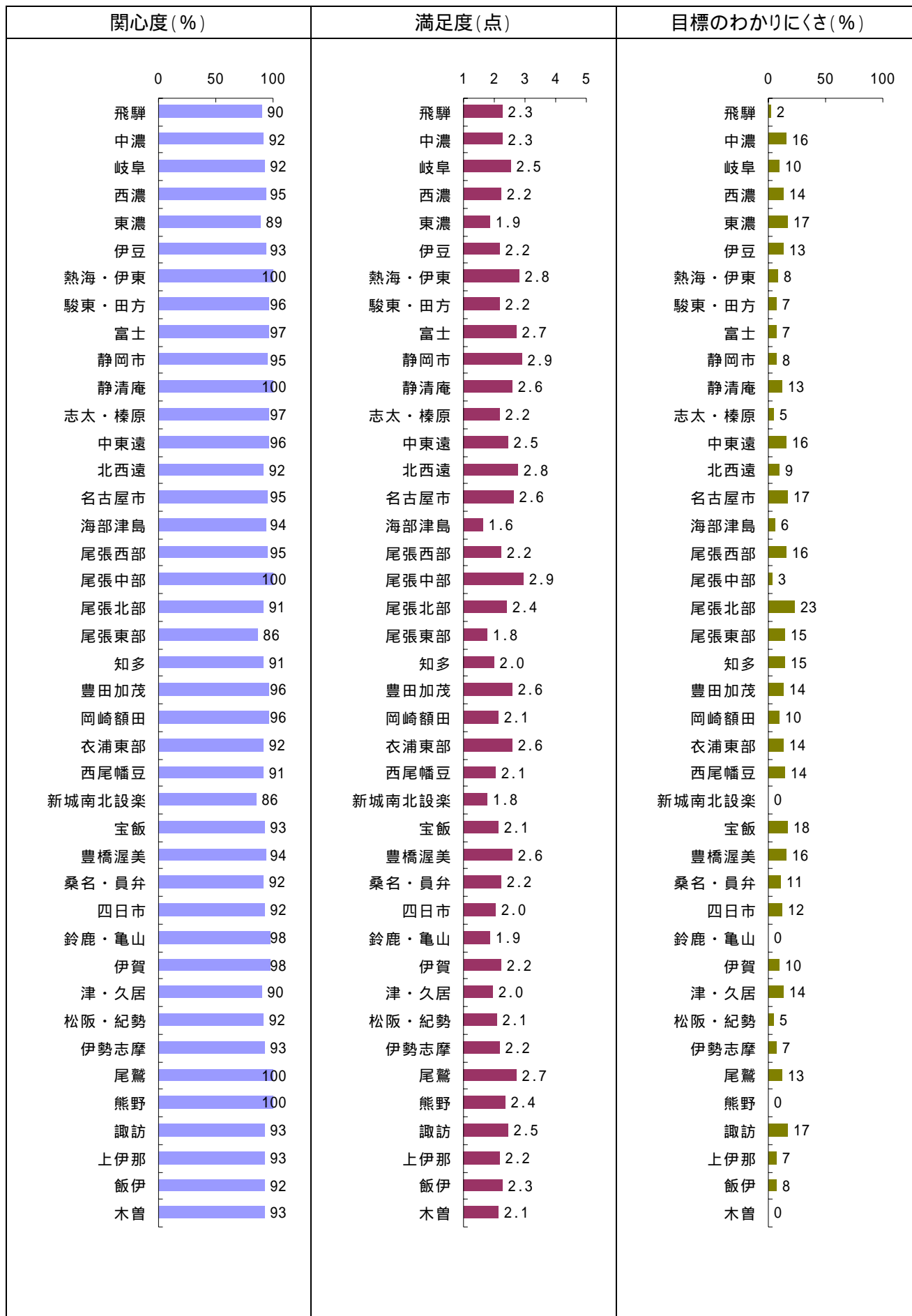
属性別集計



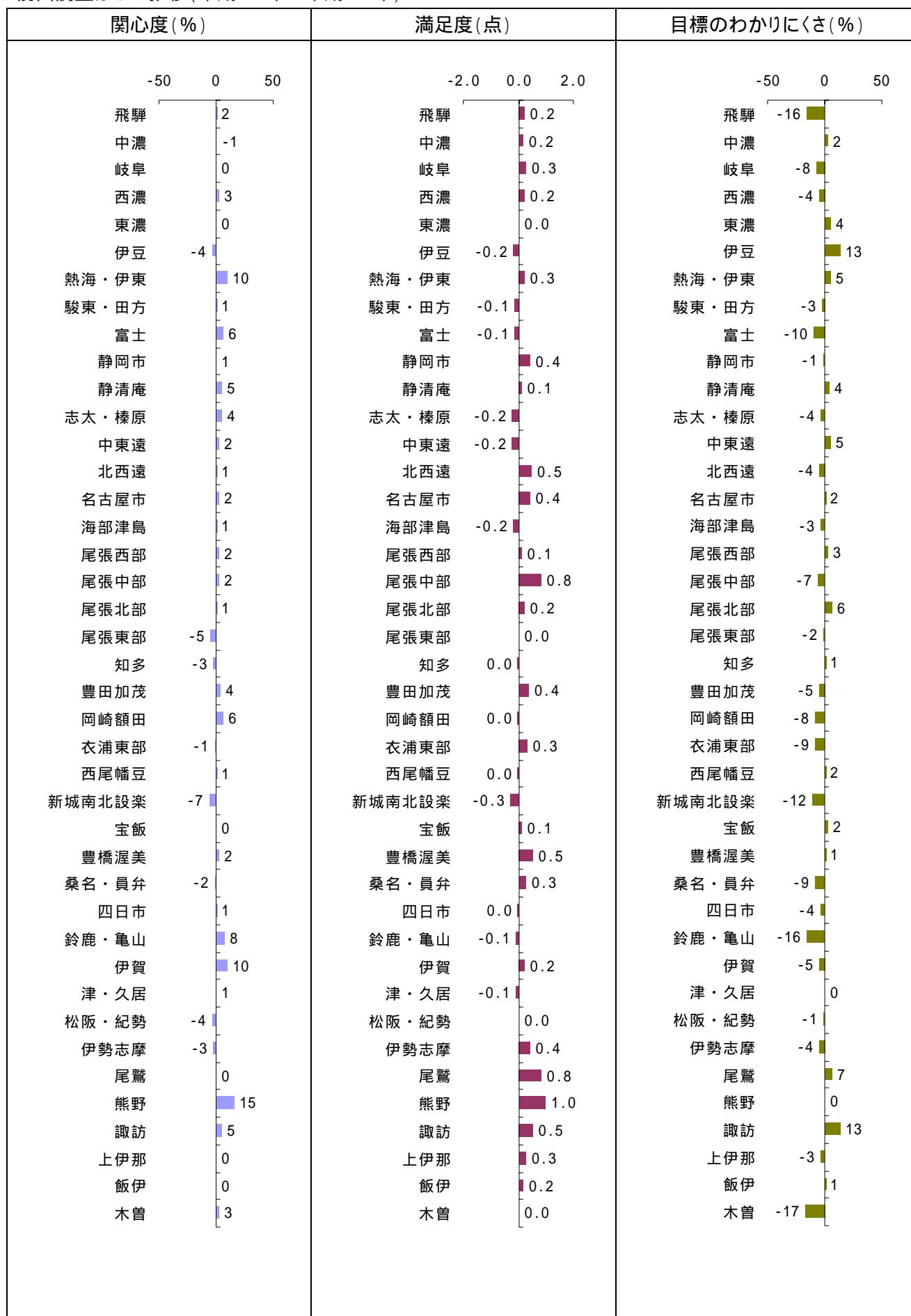
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

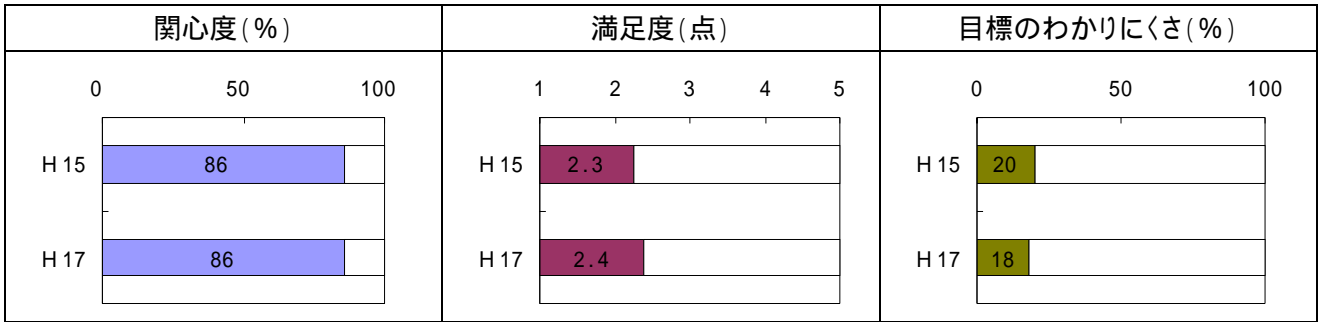


目標	- 2	風水害等(洪水・津波・高潮・土砂災害等を含む)・火山噴火災害・濁水等に対する安全性を確保します
関心度設問	問 12 - 1	洪水・津波・高潮・土砂災害・豪雪等の災害が起きた際の対策について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度設問	問 12 - 2	あなたの住む地域では、洪水・津波・高潮・土砂災害・豪雪等の災害に対する対策が進んでいると思いますか？

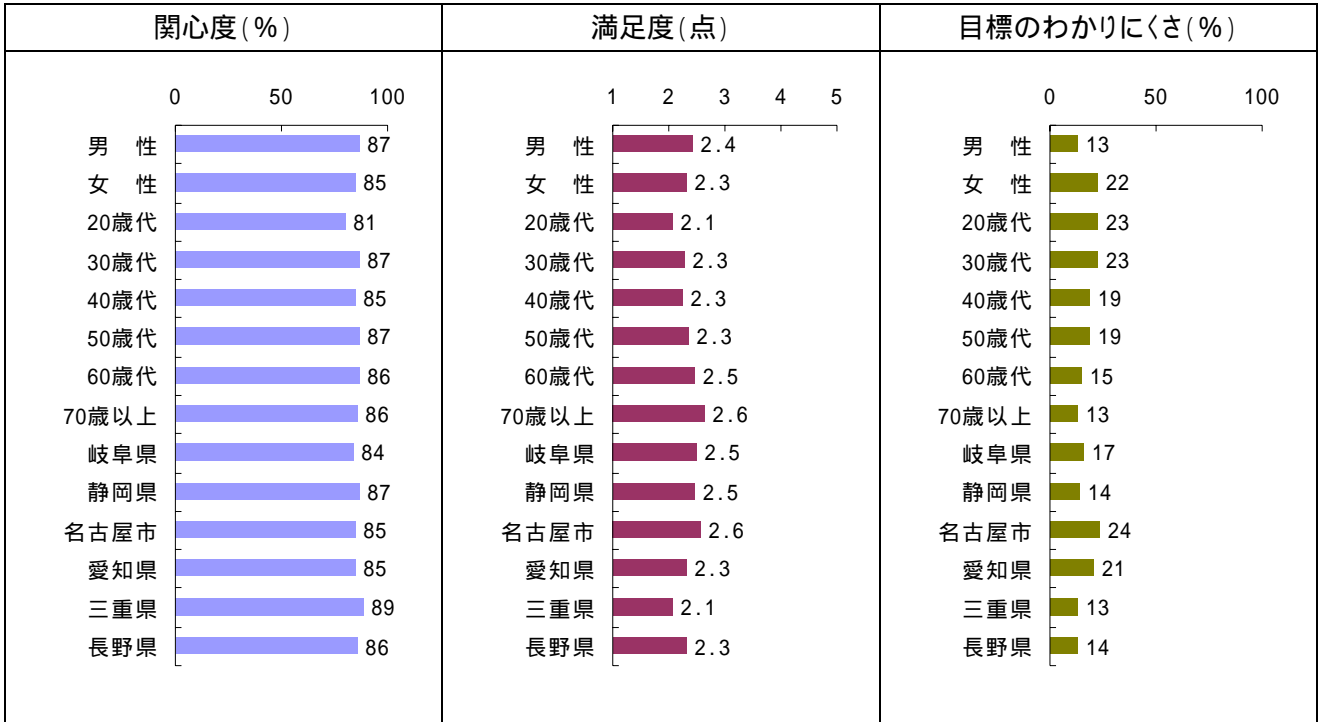
- ・ 満足度は 2.4 点と低いものの、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 86% であり、平成 15 年度調査と変化なく、高い水準になっています。
- ・ 満足度が最も高いのは、尾張中部の 3.1 点であり、全ての地域の中で唯一 3 点以上となりました。この地域は、平成 12 年の東海豪雨による浸水被害の大きかった地域であり、満足度は平成 15 年度調査と比較して 0.9 ポイント増加していることから、事業が住民の目に見える形で推進されたことが伺えます。しかし、満足度はようやく 3 点を越えたところであり、関心度が 100% と高く、今後も一層の事業の推進が期待されていると見ることができます。
- ・ 満足度が 1 点台の地域は、海部津島 (1.8)、尾張東部 (1.9)、鈴鹿・亀山 (1.7)、津・久居 (1.9)、熊野 (1.7) です。また、平成 15 年度と比較して満足度が減少しているのは、静岡県や三重県の地域に集中し、こうした地域の多くで関心度が 90% 程度と高く、災害対策に対するニーズの高まりが反映されたと考えられます。



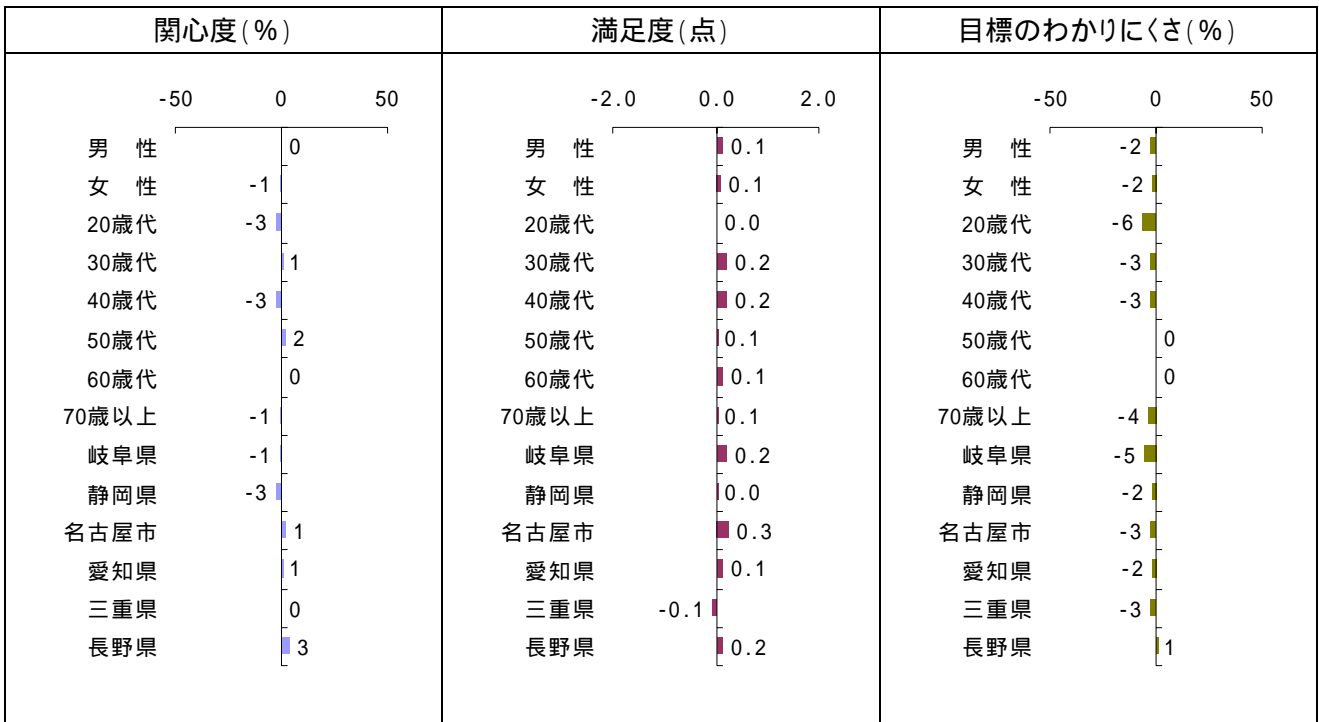
調査結果



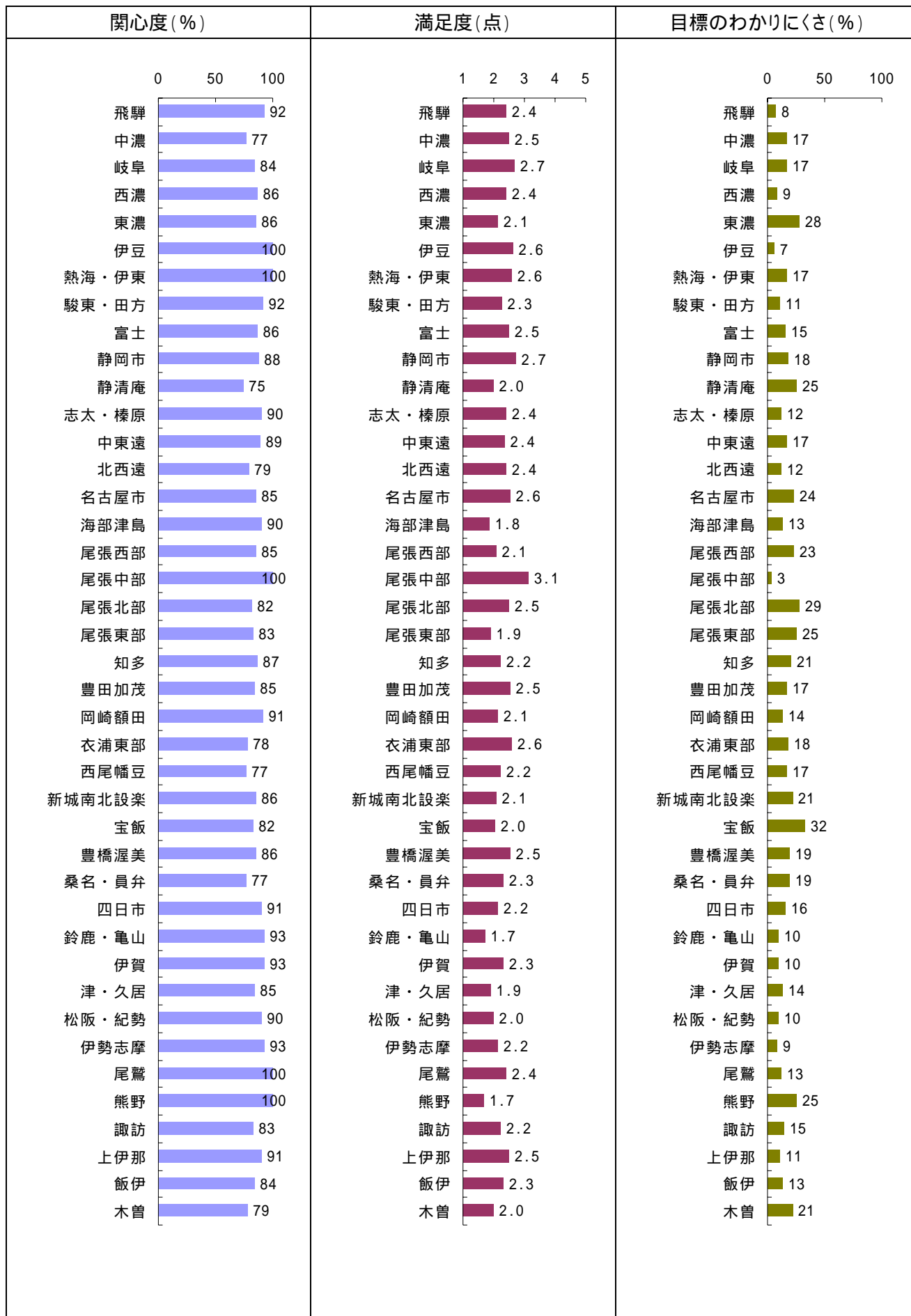
属性別集計



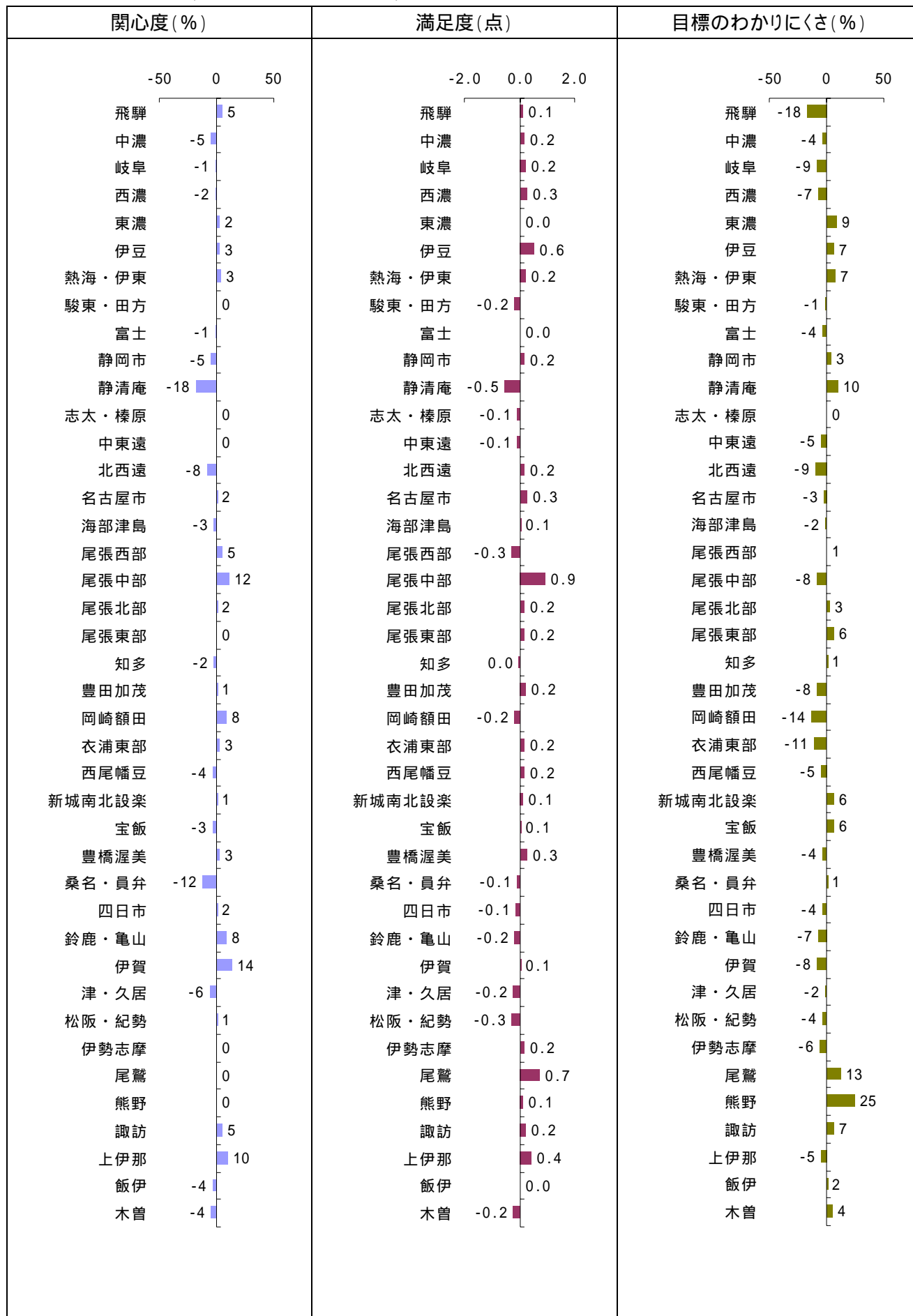
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



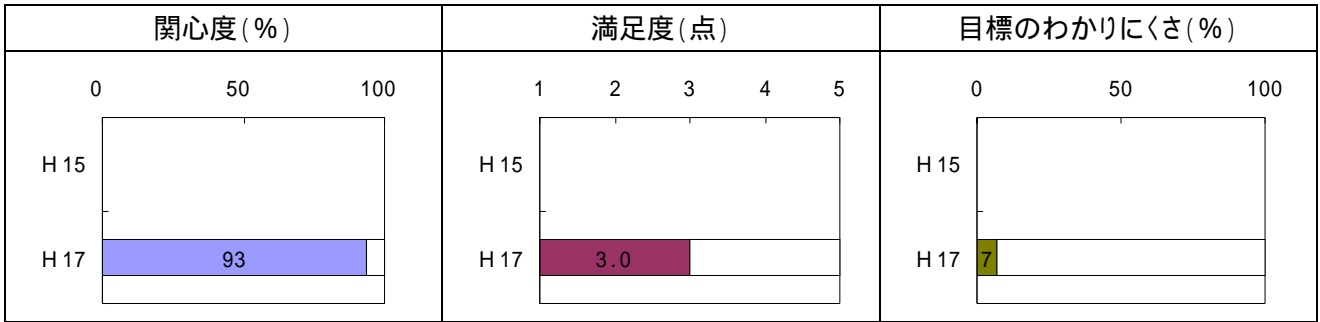
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



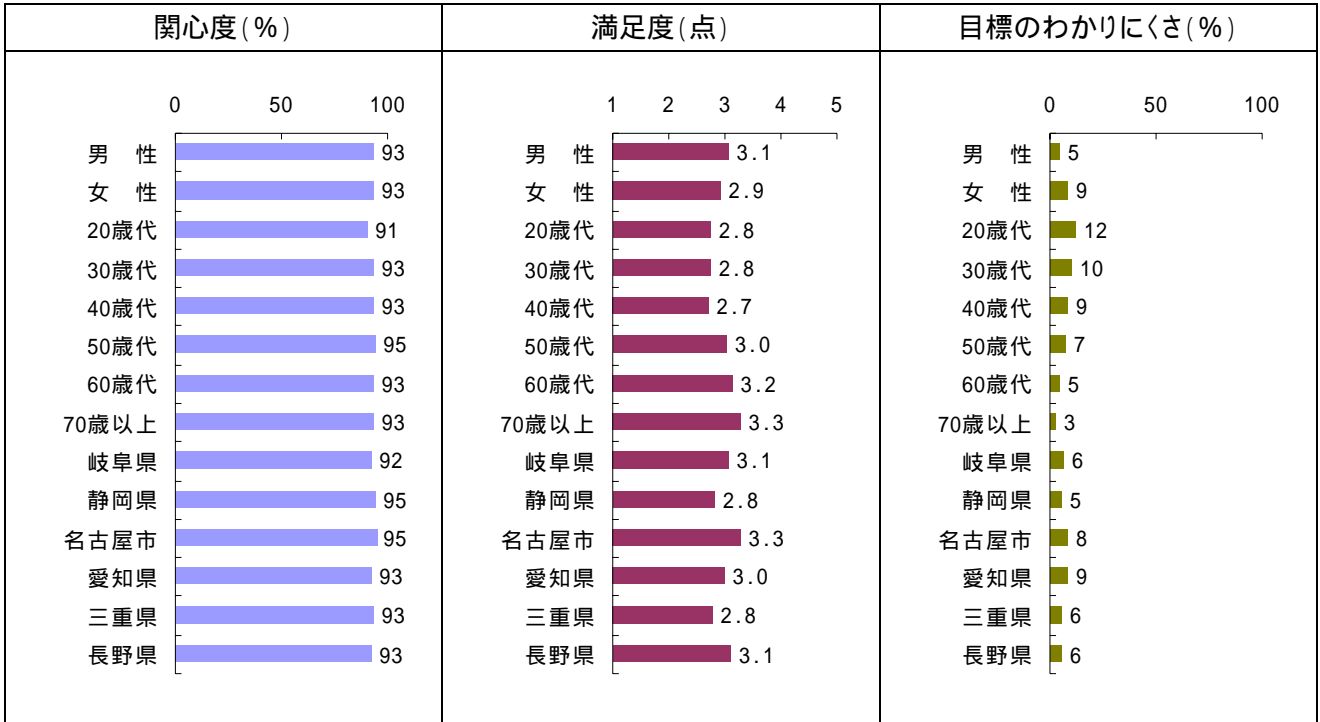
目標		(新規項目)
関心度 設問	問 13 - 1	ご自身がお住まいの地域が災害に対してどの程度危険であるか、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 13 - 2	あなたのお住まいの地域は、災害に対して安全性の高い場所にあると思いますか？

- ・ 満足度は 3.0 点であり、関心度は 93%と非常に高い。
- ・ 地域別では、中濃（3.5）、伊賀（3.6）が 3.5 点以上である一方、海部津島（1.6）、尾張中部（2.0）、新城南北設楽（2.0）、熊野（1.7）の 4 地域は 2.0 点以下になっている。
- ・ 目標のわかりにくさは 7%と低く、評価の難しい項目になっていない。

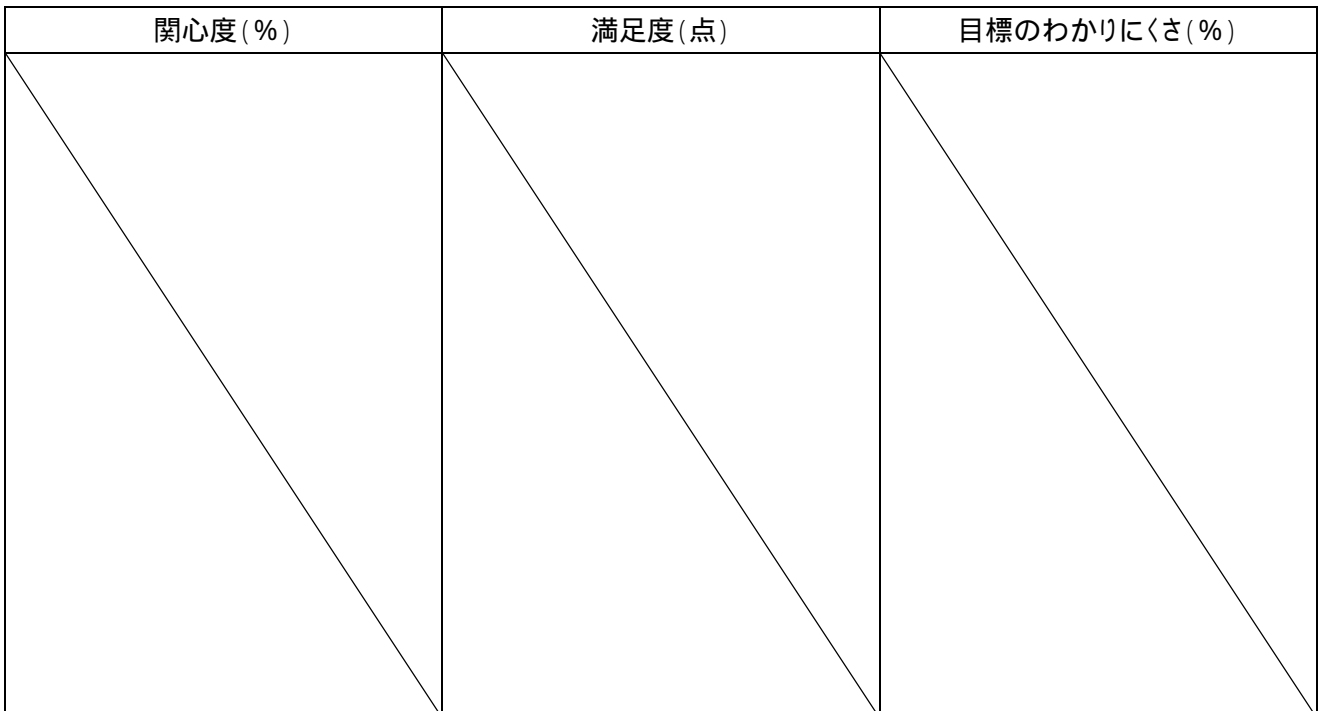
調査結果



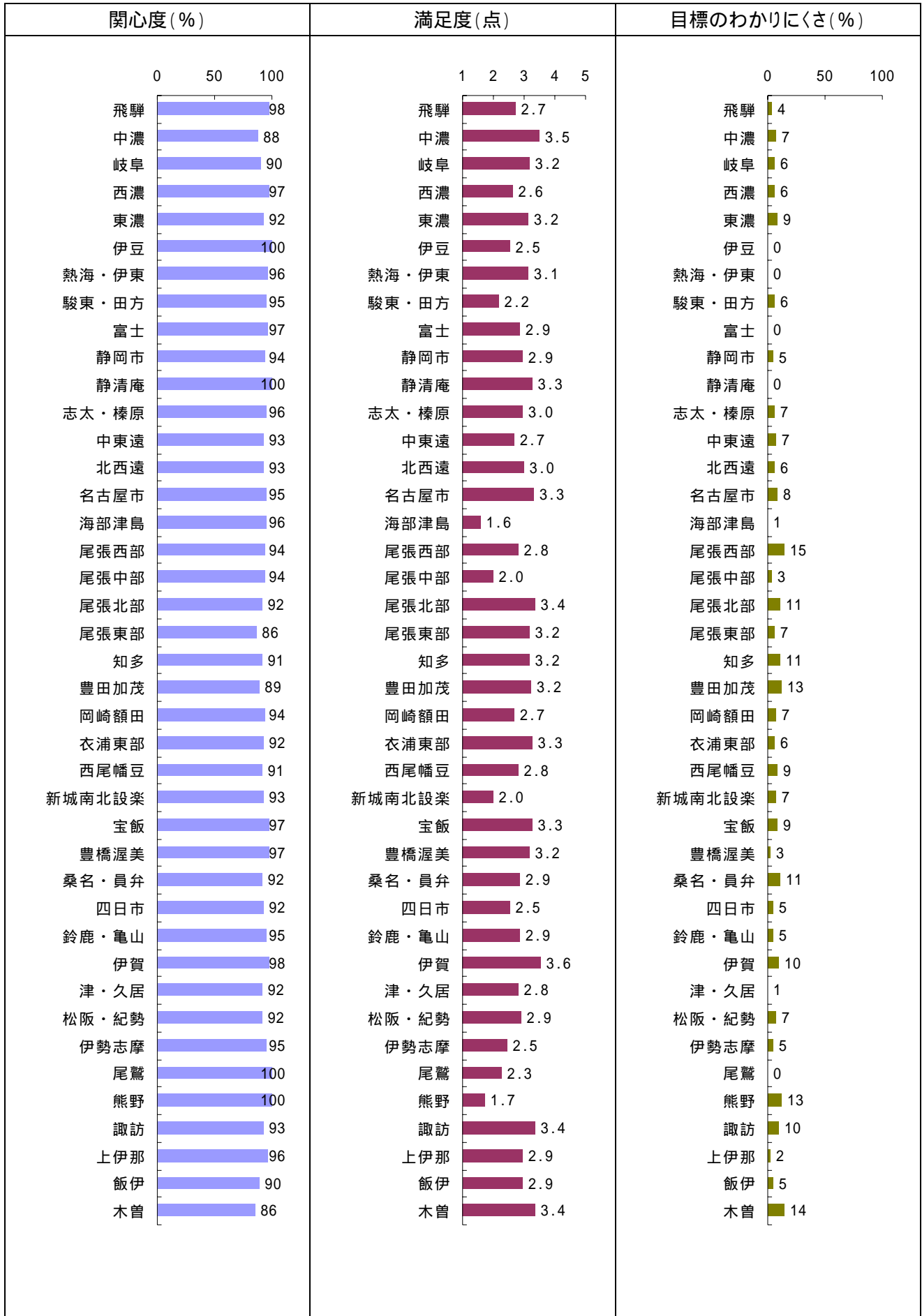
属性別集計



前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

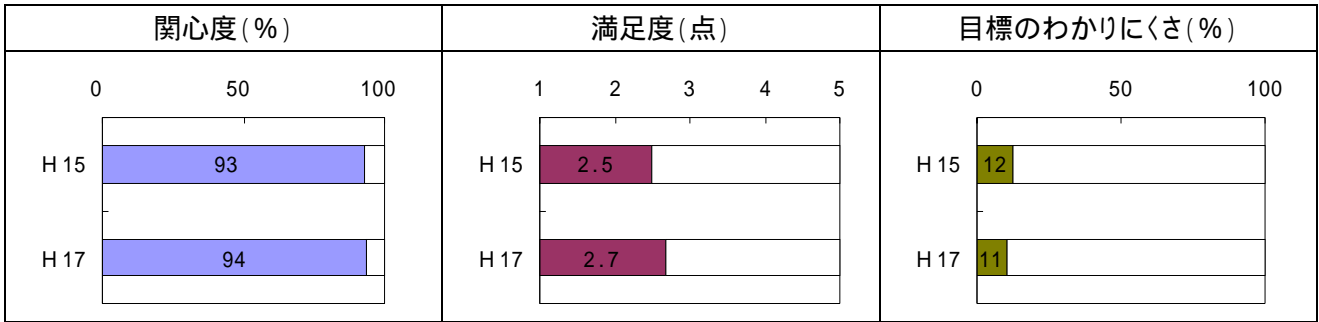
関心度 (%)	満足度 (点)	目標のわかりにくさ (%)

目標	- 3	あらゆる災害が発生した場合に被害を最小限に抑え、その対応・復旧が効率的に行えるようにします
関心度 設問	問 14 - 1	災害が発生した場合の、避難地・避難路や情報提供について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 14 - 2	あなたの住む地域は、あらゆる災害に対して、避難地・避難路の整備や情報提供の対策が進んでいると思いますか？

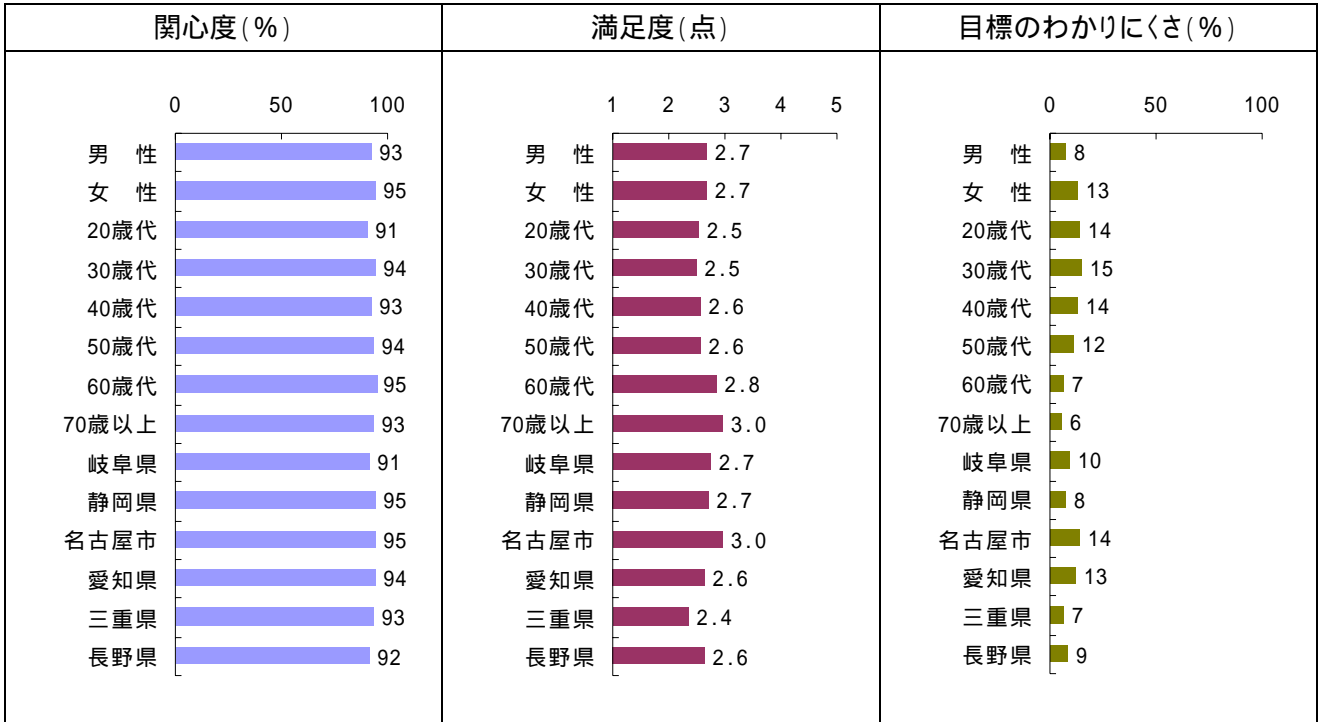
- ・ 満足度は 2.7 点と中間値の 3 点を下回っていますが、平成 15 年度調査と比較して 0.2 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 94% と非常に高く、平成 15 年度調査と比較して 1 ポイント増加しています。
- ・ 満足度が 3 点以上となったのは、富士 (3.0)、静清庵 (4.1)、名古屋市 (3.0)、衣浦東部 (3.0)、豊橋渥美 (3.0)、尾鷲 (3.4)、諏訪 (3.0) の 7 地域です。
- ・ 平成 15 年度調査と比較して、ほとんどの地域で満足度が増加していますが、駿東・田方 (-0.1)、中東遠 (-0.2)、尾張西部 (-0.2)、四日市 (-0.1)、鈴鹿・亀山 (-0.2)、松阪・紀勢 (-0.3) の 6 地域で減少しています。こうした地域では松阪・紀勢 (93) を除き、関心度は 95% 以上となっており、積極的な事業の推進が期待されています。



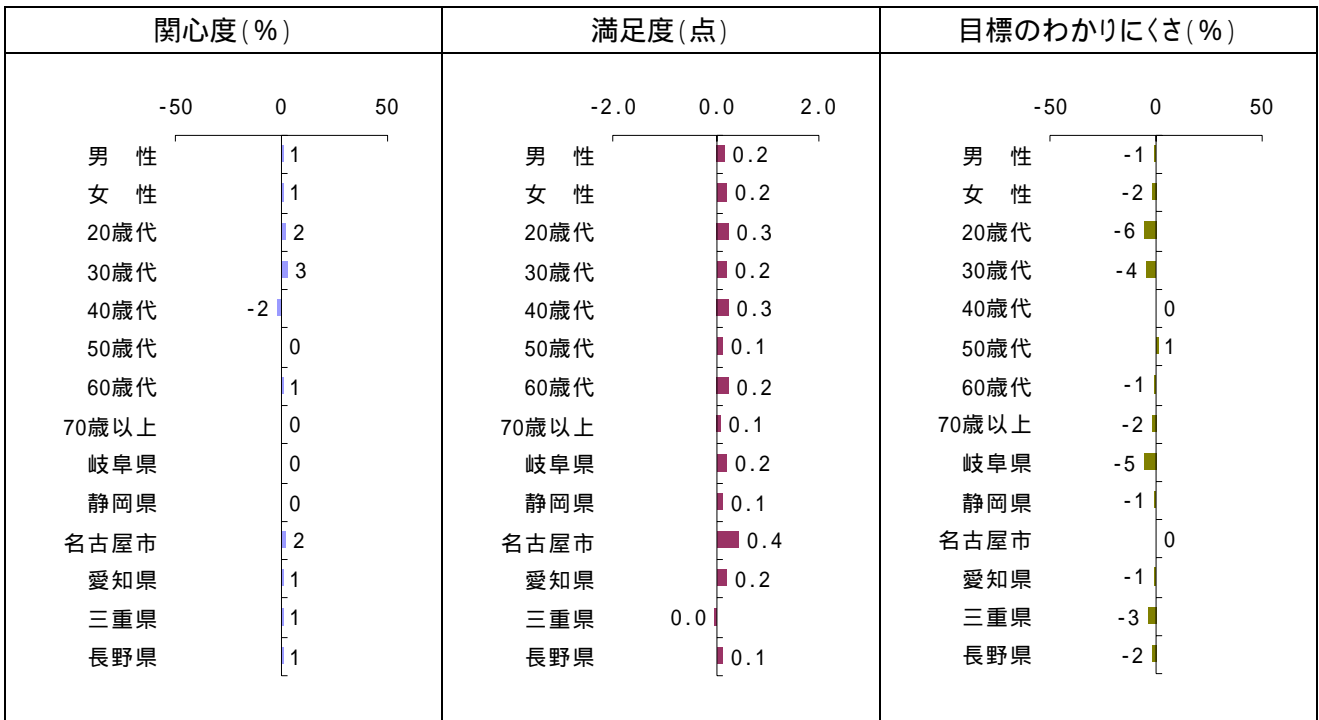
調査結果



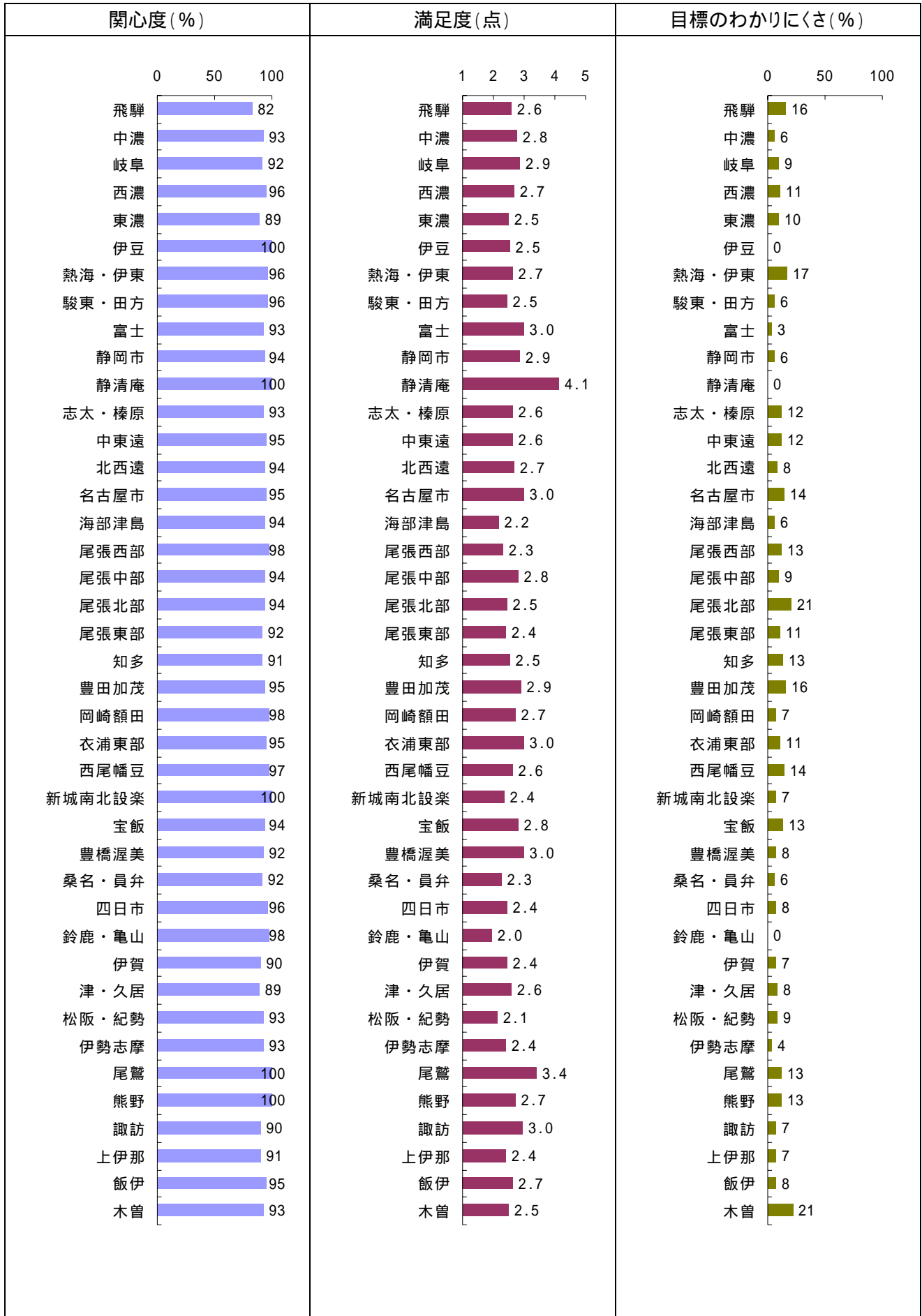
属性別集計



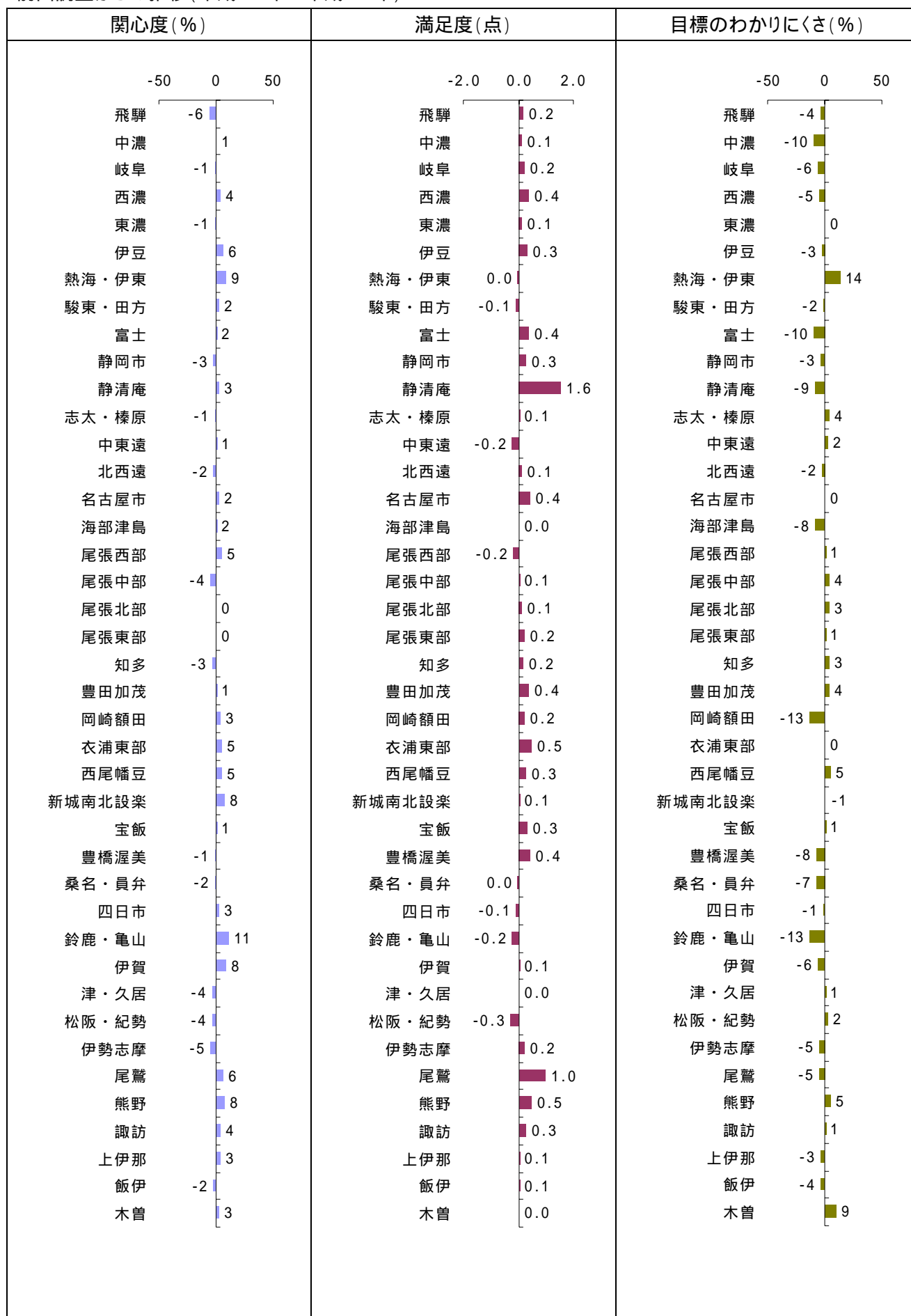
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



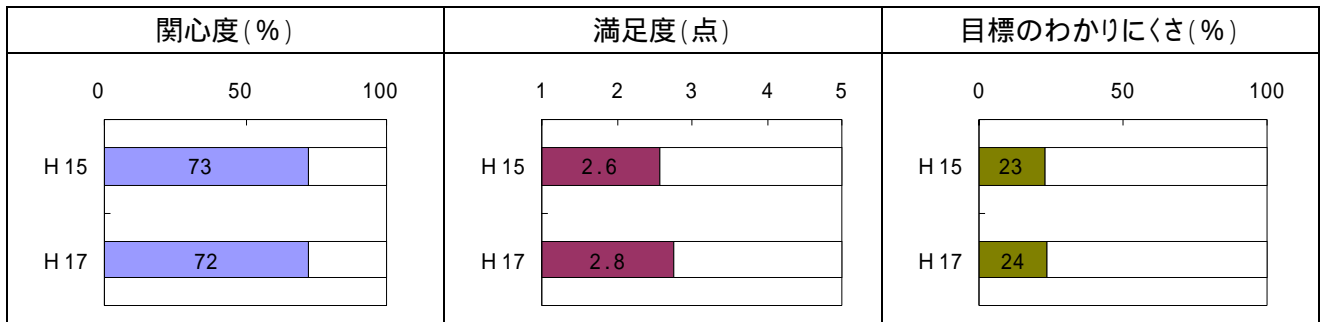
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



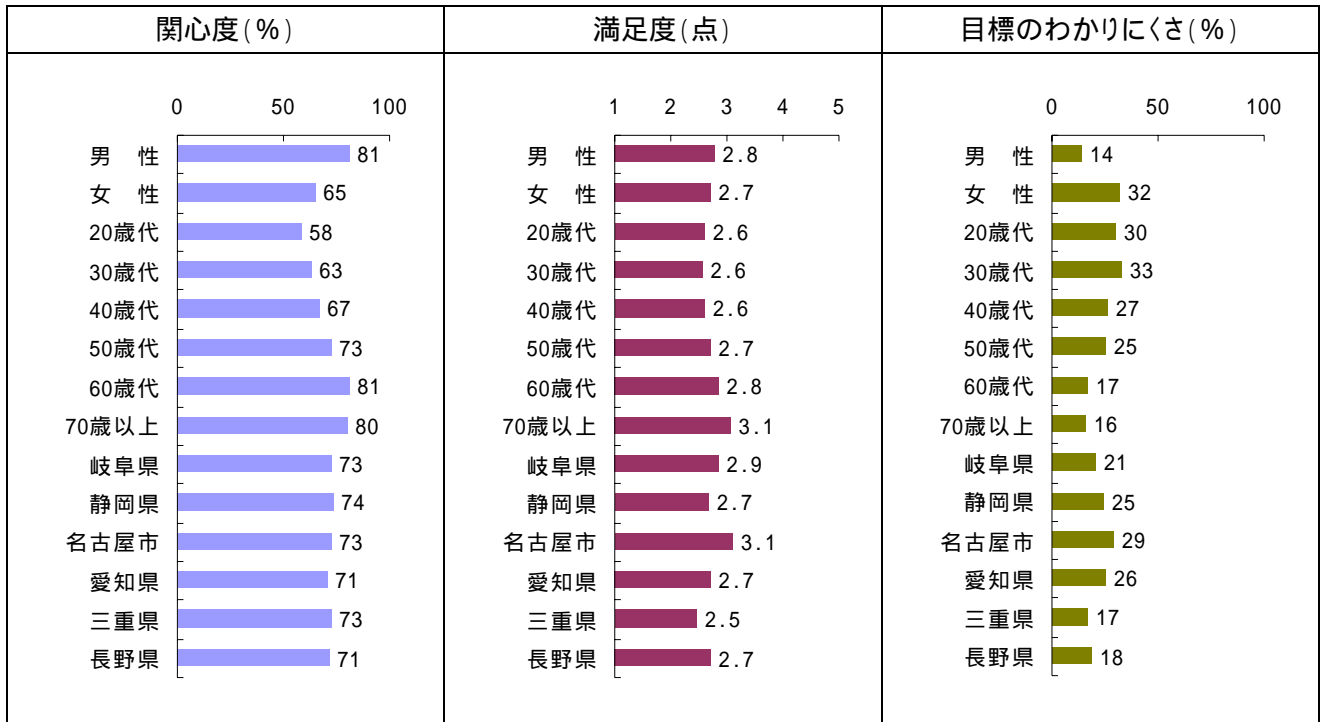
目標	- 4	信頼性のある社会資本を維持します
関心度 設問	問 15 - 1	身近な社会資本（道路・河川・港など）の維持・管理について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 15 - 2	あなたの身近な社会資本（道路・河川・港など）は、適切な維持・管理が行われていると思いますか？

- ・ 満足度は 2.8 点と中間値である 3 点を下回っていますが、平成 15 年度調査と比較して 0.2 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 72% であり、平成 15 年度調査と比較して 1 ポイント減少しています。
- ・ 満足度が 3 点以上となったのは、6 地域ありますが、尾張中部（3.3）など、うち 4 か所が愛知県となっています。一方、2.5 点以下の地域の多くを三重県が占めているとともに、平成 15 年度調査と比較して減少傾向となっています。

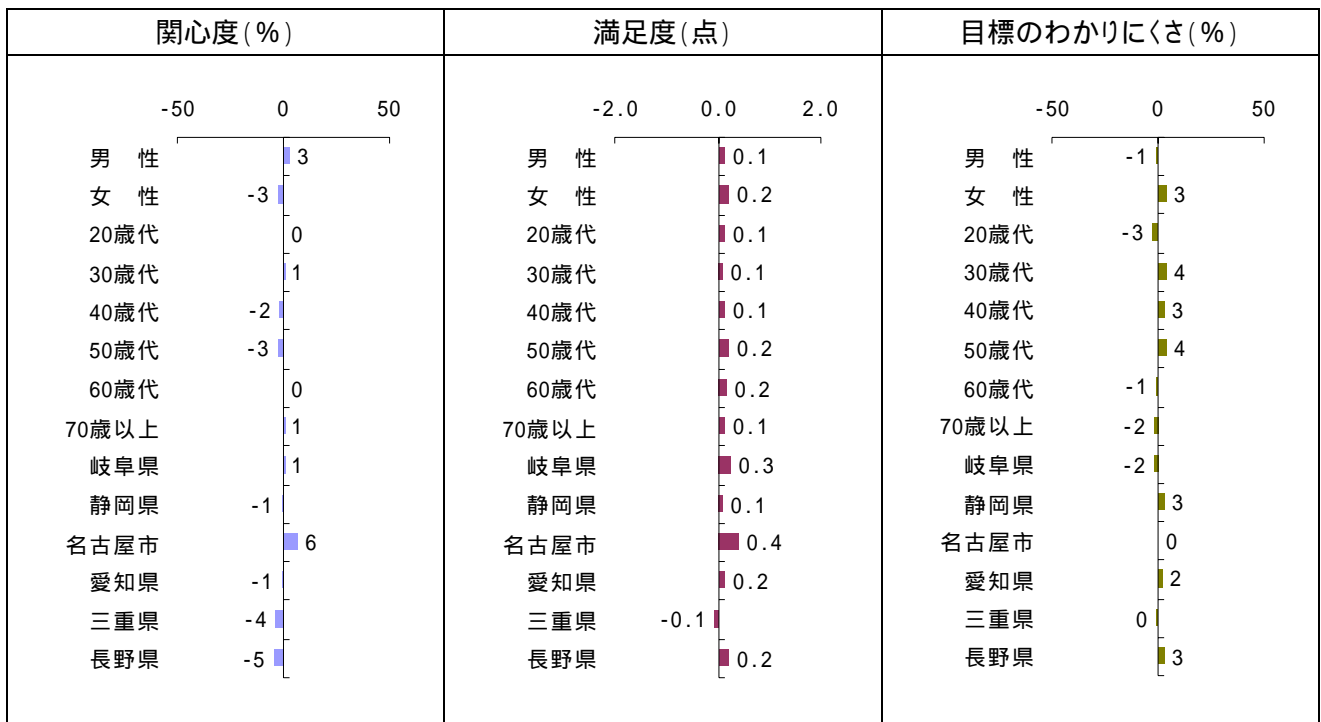
調査結果



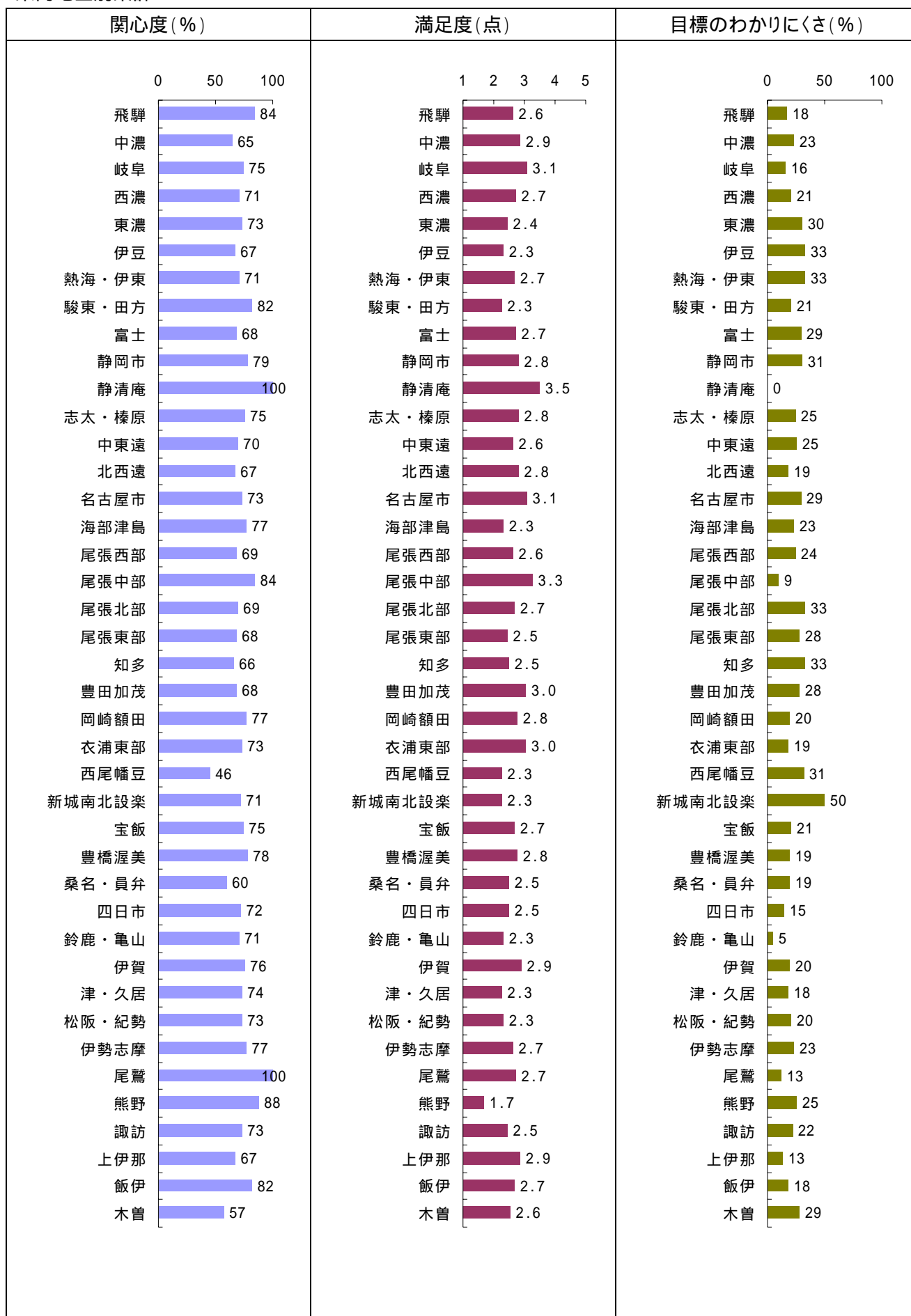
属性別集計



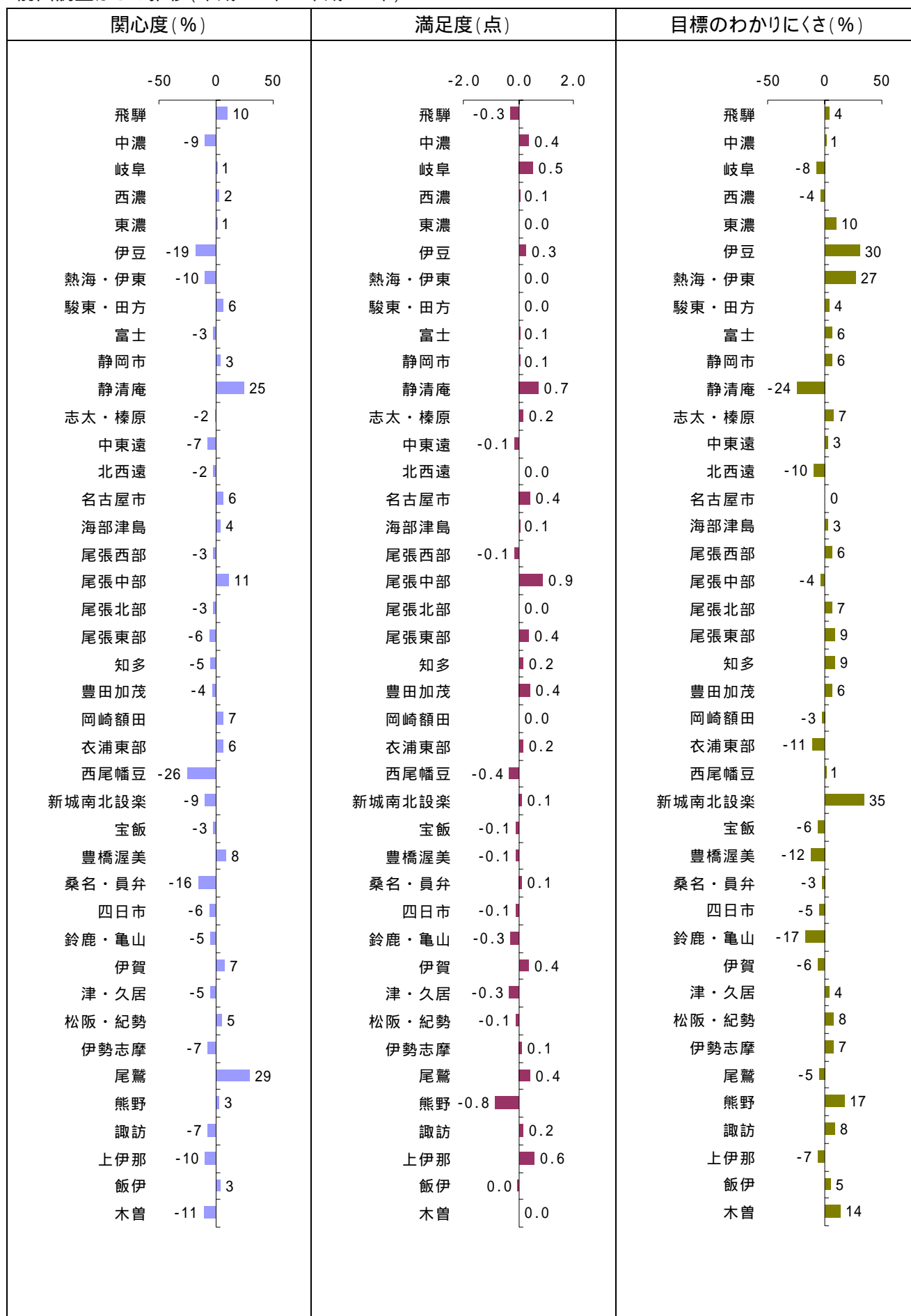
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

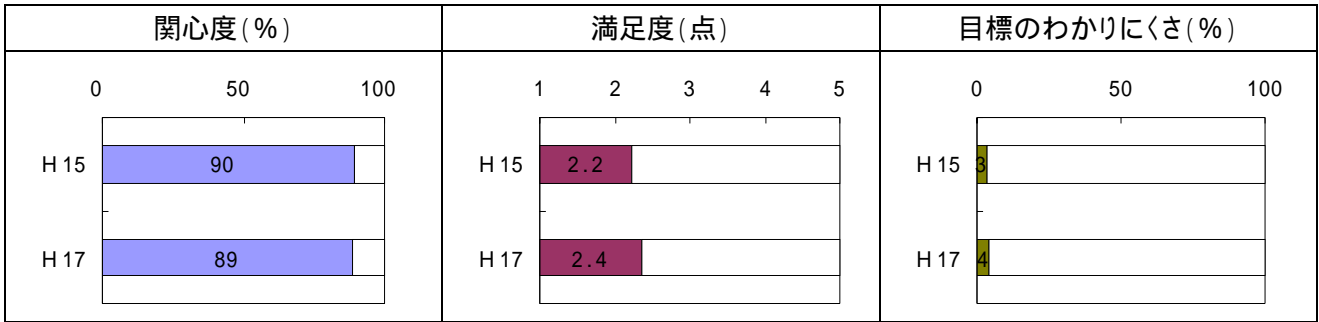


目標	- 1	水質・水量改善を図り、良好な水環境を保全・回復します
関心度 設問	問 16 - 1	河川や海の水の環境について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 16 - 2	あなたの身近にある河川や海の水はきれいだと思いますか？

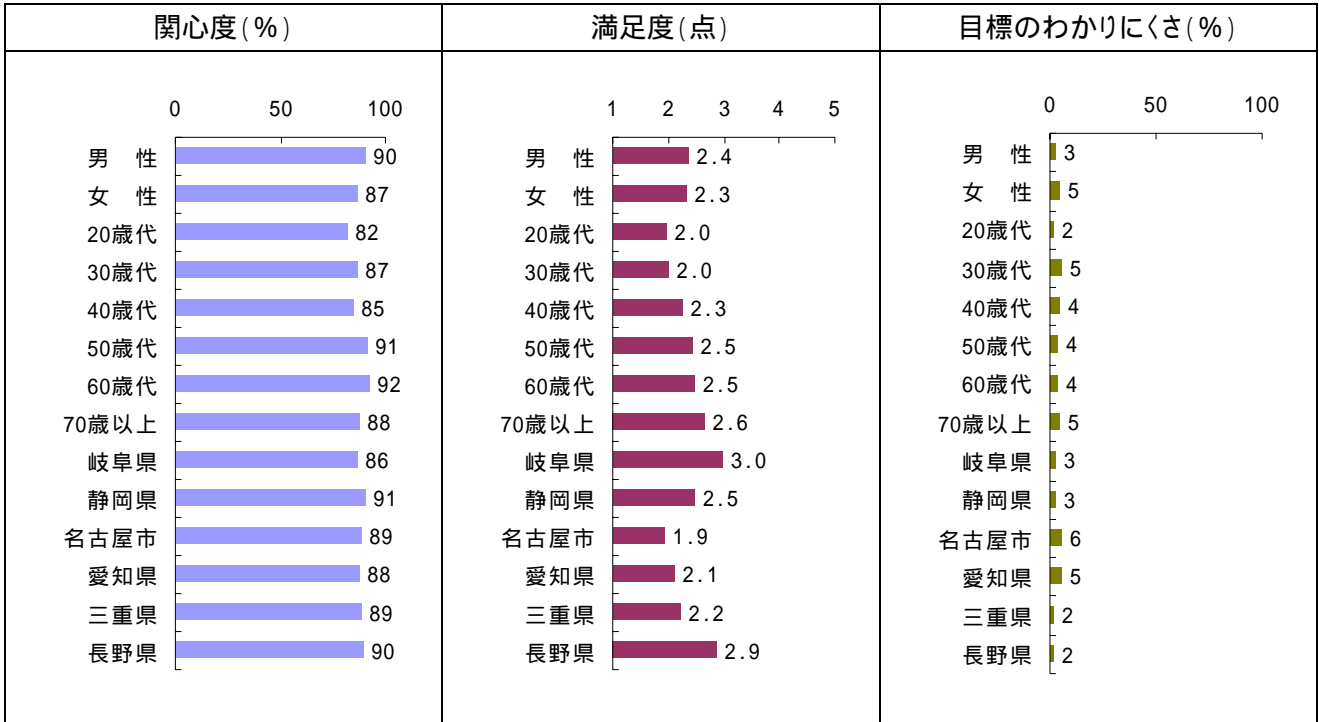
- ・ 満足度は 2.4 点と低いものの、平成 15 年度調査と比較して 0.2 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 89%と高いですが、平成 15 年度調査と比較して 1 ポイント減少しています。
- ・ 満足度が 3 点以上となったのは、飛騨（3.7）、岐阜（3.4）、熱海・伊東（3.3）、富士（3.0）、新城南北設楽（3.8）、熊野（3.0）、伊飯（3.1）、木曾（3.3）で、いずれも農林水産業を中心としている、あるいは清流で知られる地域です。
- ・ 一方、満足度が 2.0 点未満となったのは、海部津島（1.6）や知多（1.6）、西尾幡豆（1.6）をはじめとした愛知県尾張部や西三河部のほとんどの地域、北西遠（1.7）、尾鷲（1.8）など 9 地域となっています。
- ・ 名古屋市は 1.9 点であるものの、平成 15 年と比較して 0.3 点増加しています。
- ・ 平成 15 年度調査と比較すると、満足度が 0.3 ポイント以上減少したのは、西尾幡豆（-0.3）、伊賀（-0.3）、尾鷲（-0.7）、熊野（-1.2）であり、特に、三重県の各地域で減少しています。



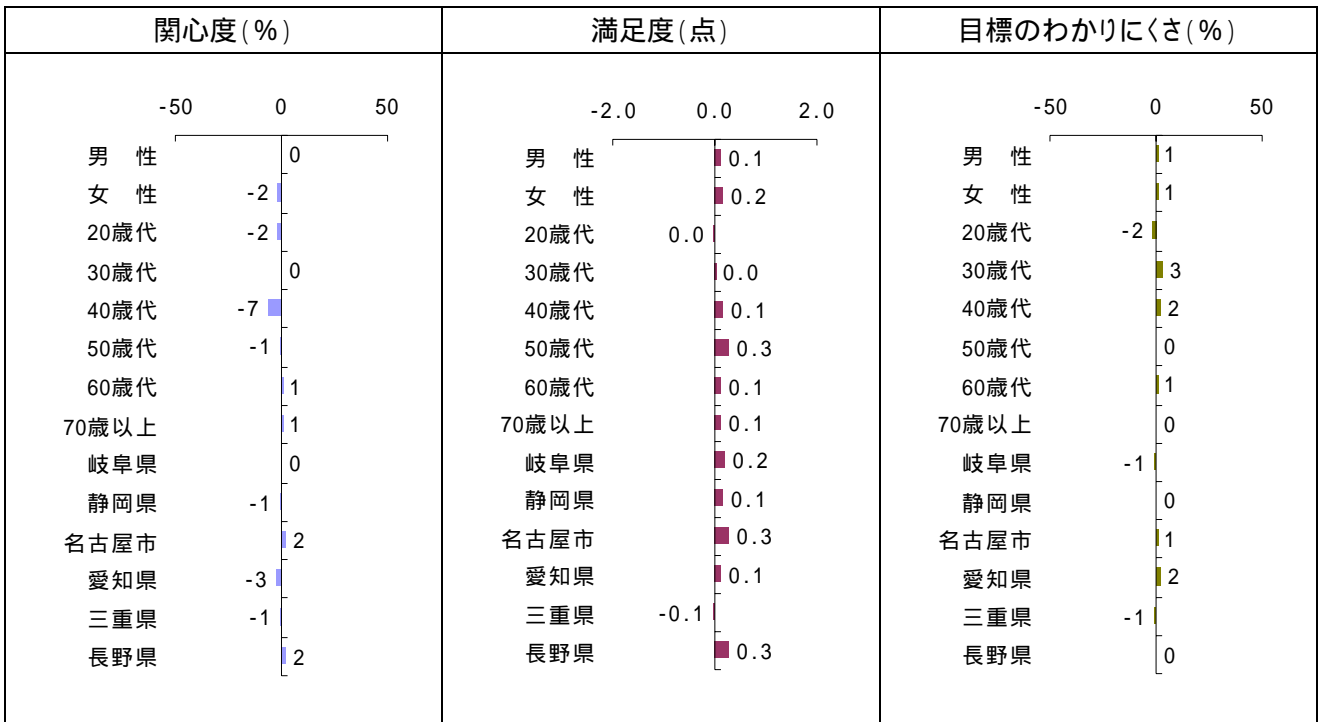
調査結果



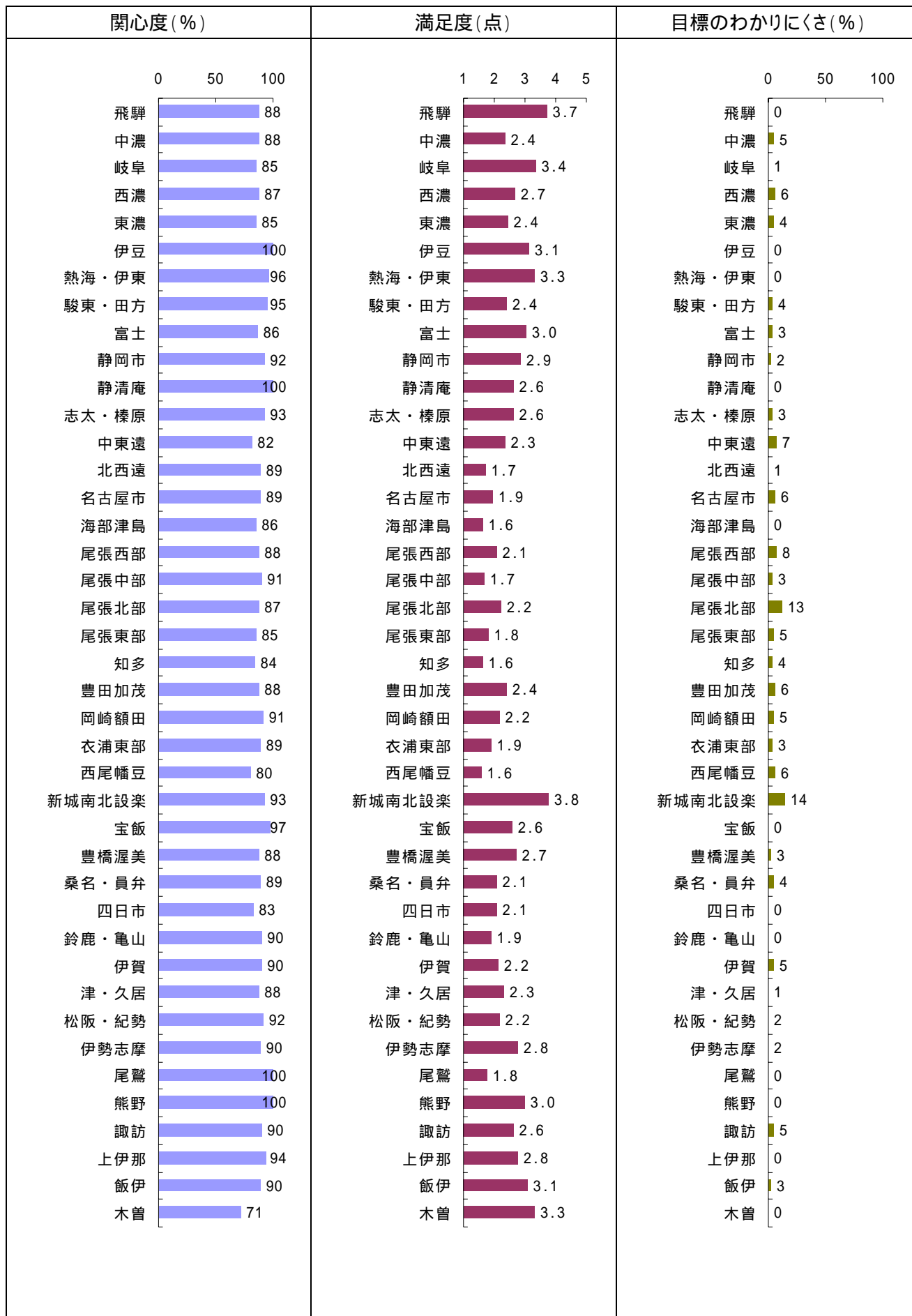
属性別集計



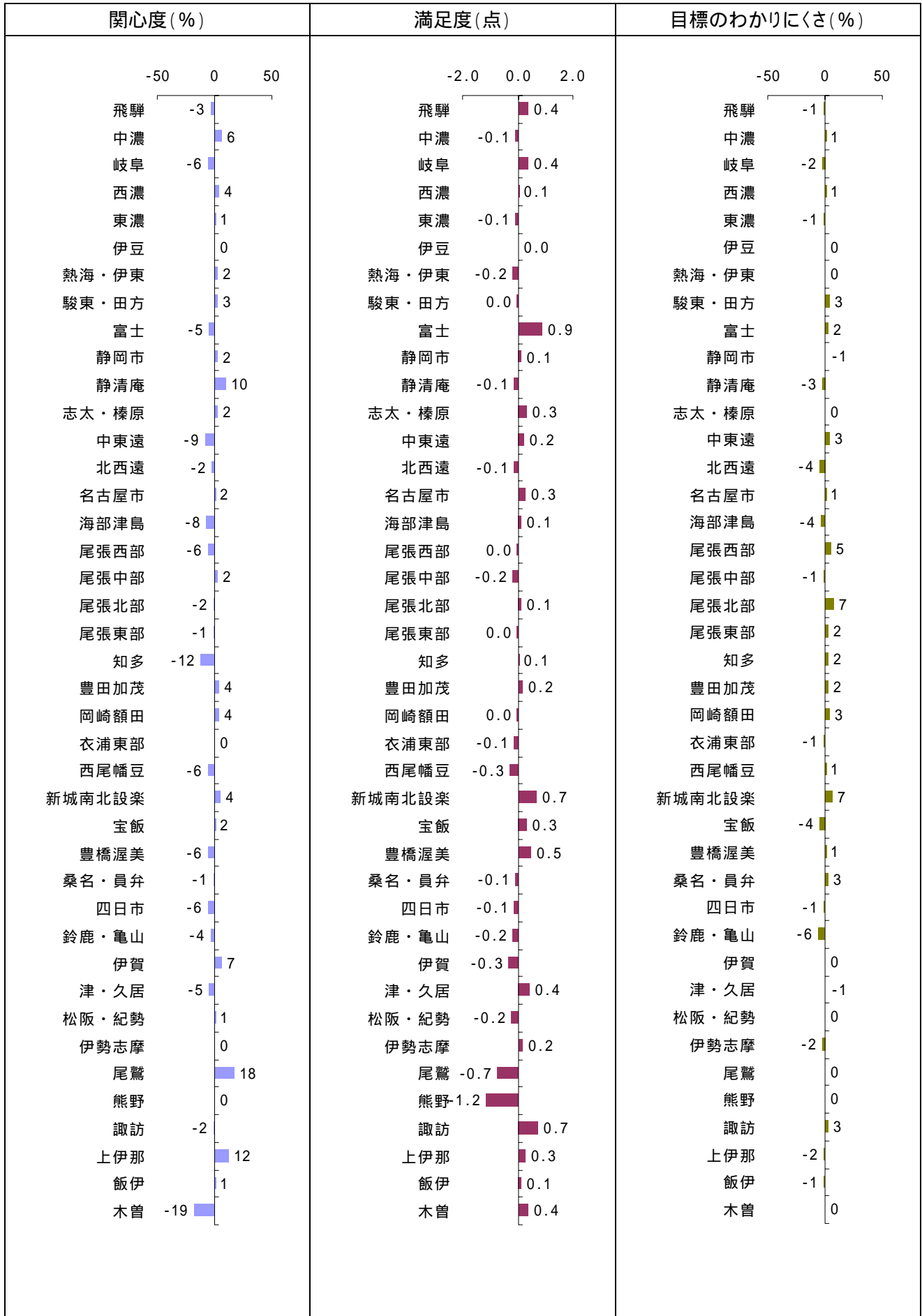
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



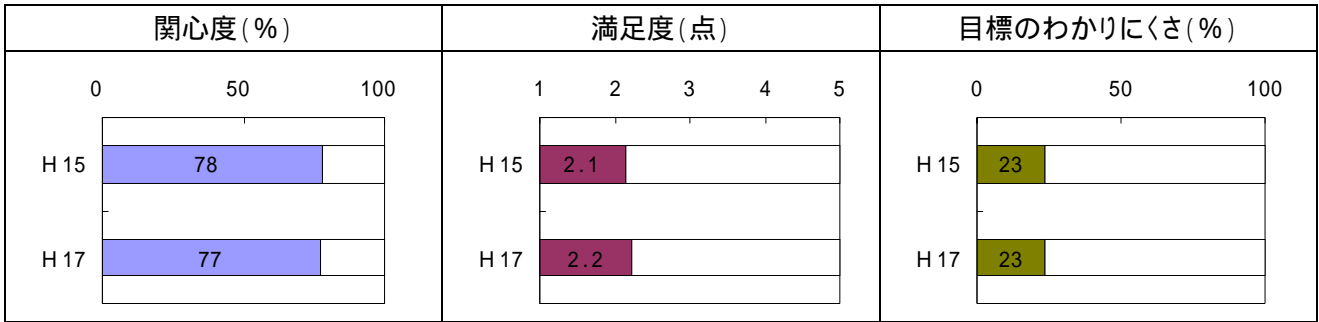
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



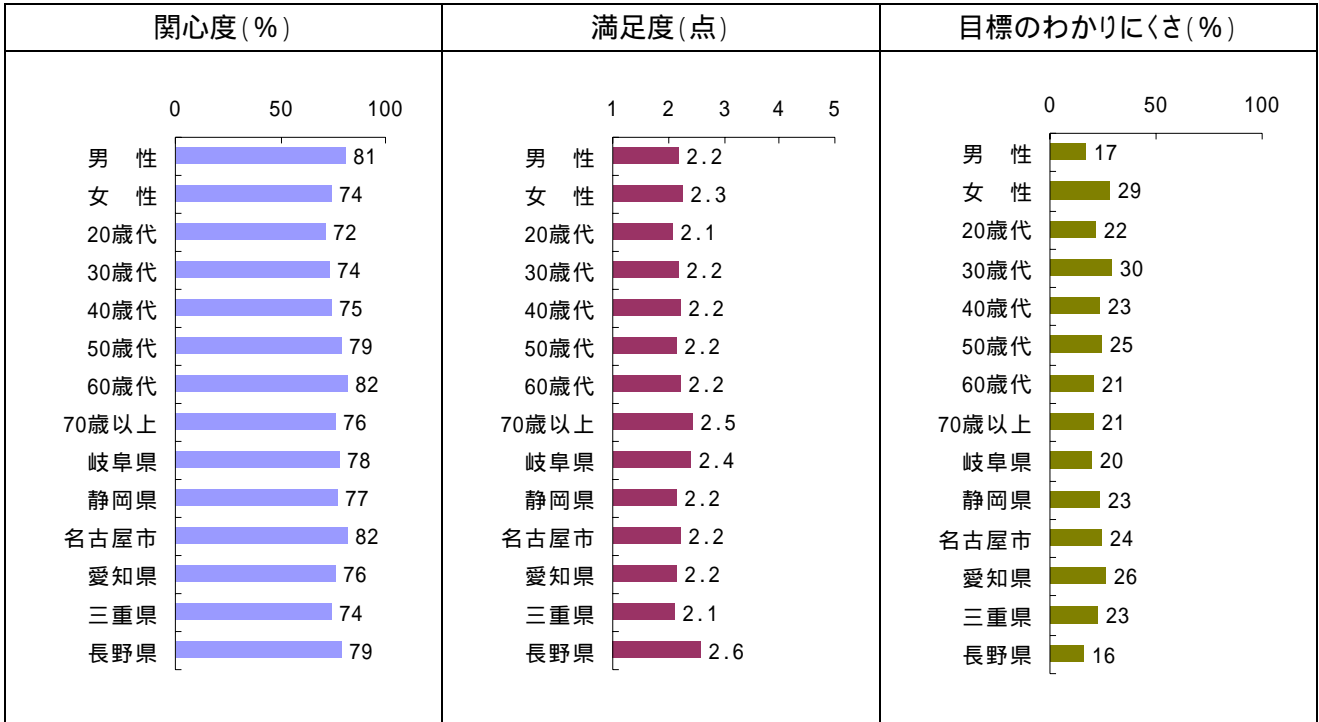
目標	- 2	自然環境の保全・再生・創出及びダム周辺の山林保全措置制度の活用等による森林管理を推進します
関心度設問	問 17 - 1	自然環境の保全・再生・創出および森林管理について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度設問	問 17 - 2	あなたの住む地域は、自然環境の保全・再生・創出および森林管理が進んでいると思いますか？

- ・ 満足度は 2.2 点と低く、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 77% であり、平成 15 年度調査と比較して 1 ポイント減少しています。
- ・ 地域別で、満足度が 3 点以上の地域はなく、最も高いのは、熱海・伊東と木曾の 2.9 点となりました。一方、2 点未満となったのは、東濃 (1.8)、海部津島 (1.8)、尾張中部 (1.9)、知多 (1.7)、西尾幡豆 (1.8)、桑名・員弁 (1.7)、鈴鹿・亀山 (1.7) の 7 地域でした。
- ・ 平成 15 年から 0.3 点以上減少している地域は、中濃 (-0.3)、東濃 (-0.4)、尾張西部 (-0.3)、西尾幡豆 (-0.3)、新城南北設楽 (-0.3)、尾鷲 (-0.3)、熊野 (-0.4) の 7 か所で、農山漁村地域が多くを占める地域です
- ・ また、関心度が 60% 台と低くなった地域は 4 か所ありますが、うち西尾幡豆 (60)、桑名・員弁 (66)、鈴鹿・亀山 (66) の 3 地域は満足度が 1 点台の地域であり、事業の内容や必要性を十分説明しきれていないと考えられます。

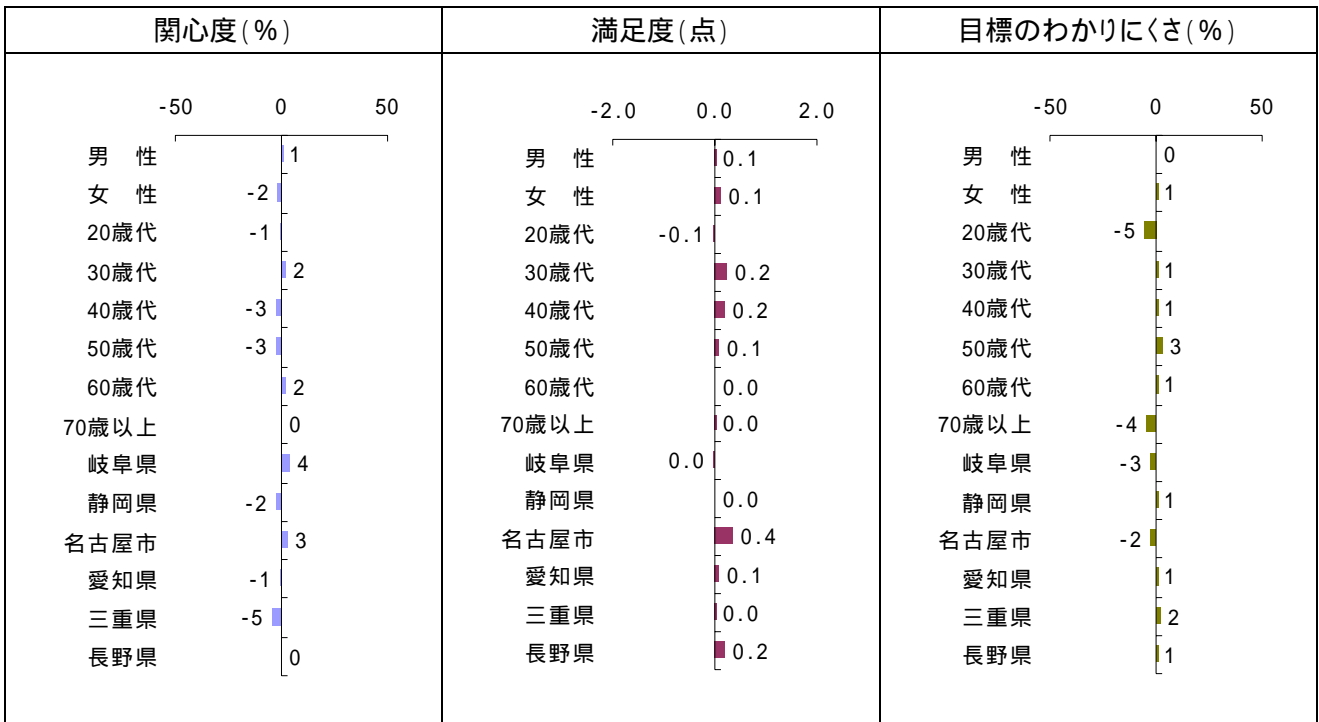
調査結果



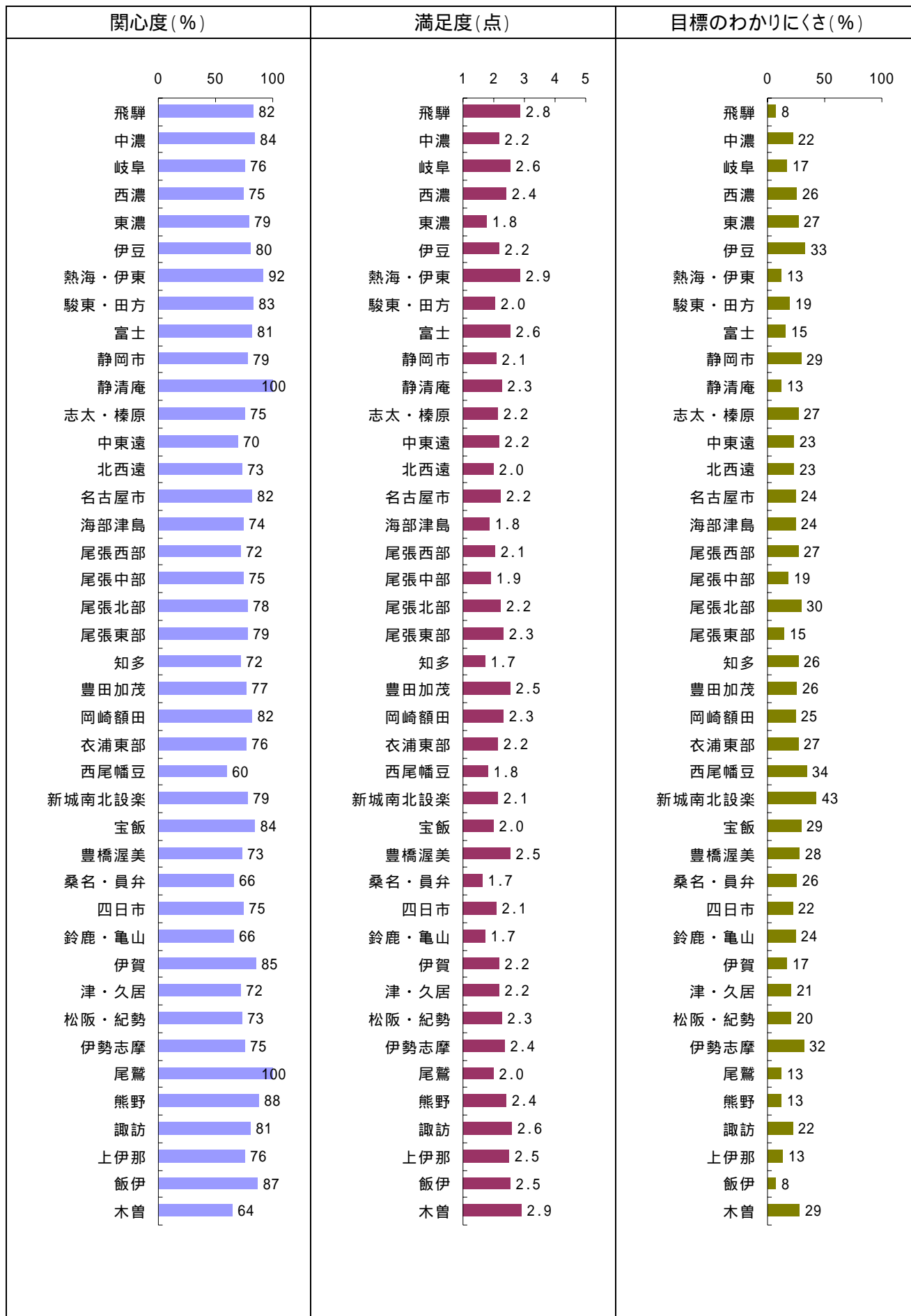
属性別集計



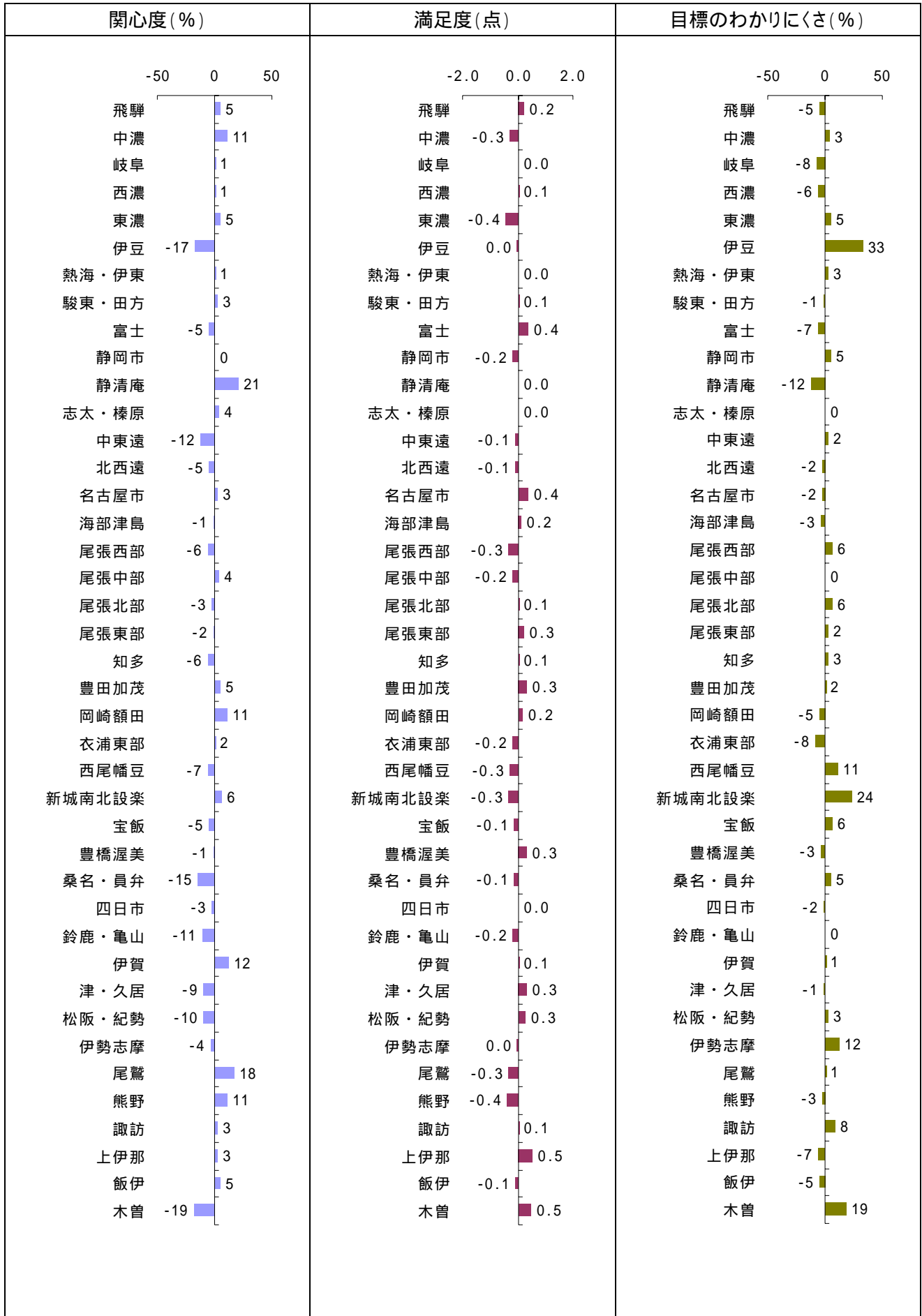
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

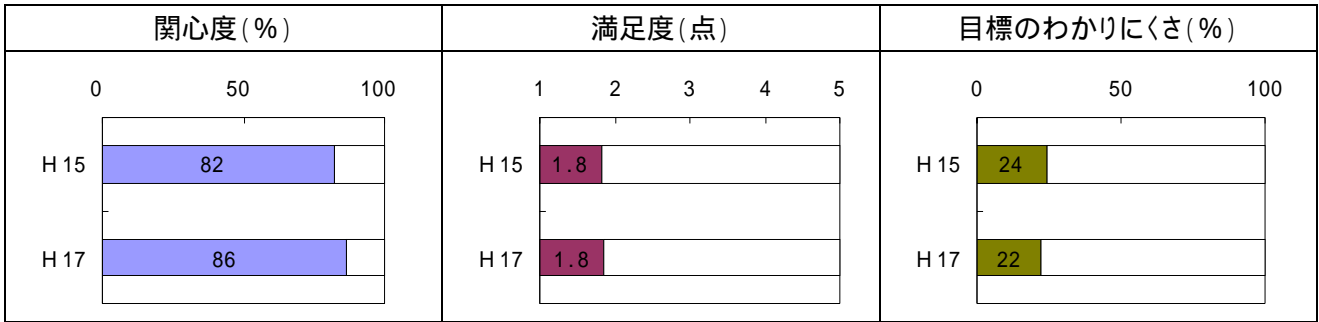


目標	- 3	温室効果ガス排出削減等の地球温暖化対策を推進します
関心度 設問	問 18 - 1	温室効果ガス排出削減等の地球温暖化対策について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 18 - 2	あなたの住む地域は、温室効果ガスの排出削減等の地球温暖化対策が進んでいると思いますか？

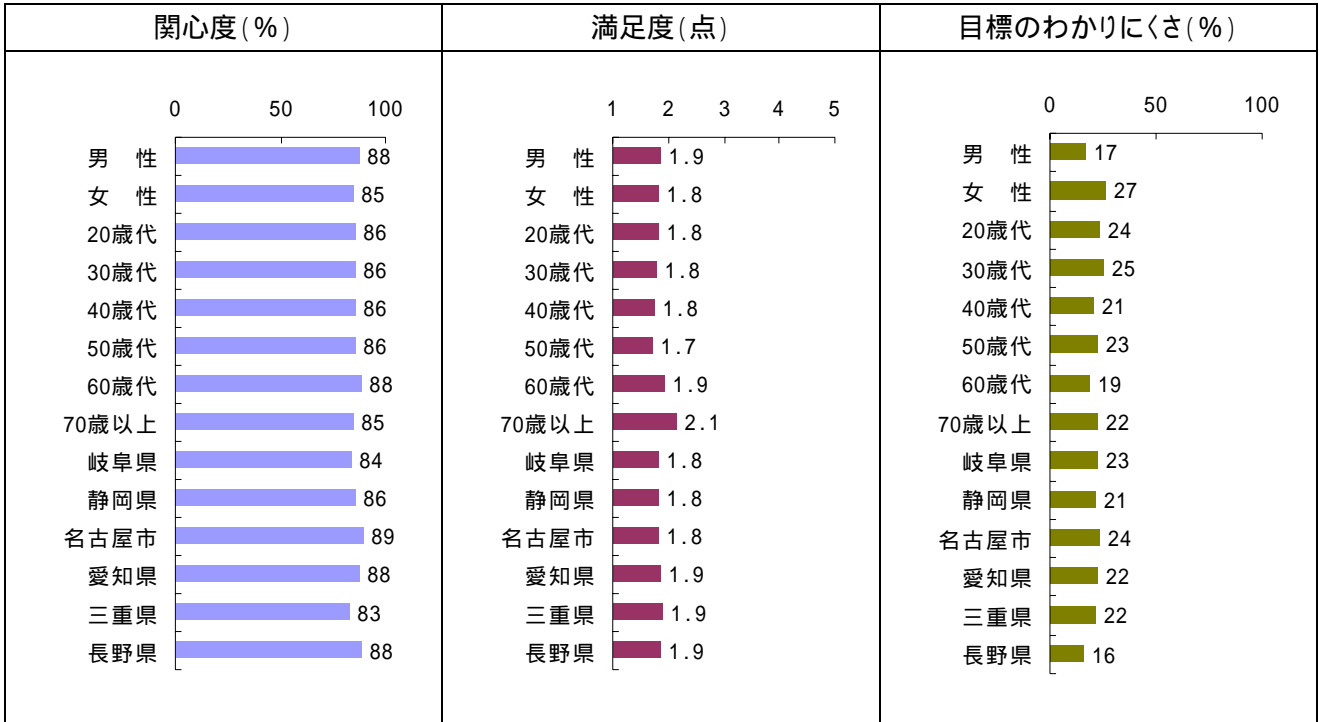
- ・ 満足度は 1.8 点と非常に低く、平成 15 年度調査と比較して変化は見られません。
- ・ 関心度は 86%と高く、平成 15 年度調査と比較して 4 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は非常に高いものの、住民の満足度が最も低く、また、増加していない項目の一つです。
- ・ 満足度は、各県を問わず、ほとんどの地域で 2 点を割り込んでいます。
- ・ 平成 15 年度調査と比較して、特に熱海・伊東 (-0.5) と飯伊 (-0.6) の満足度の減少が大きく、13 地域で減少しています。
- ・ 一方、静岡庵の 0.7 ポイントの増加をはじめ、新城南北設楽 (0.3)、宝飯 (0.2)、豊橋渥美 (0.4) の東三河、鈴鹿・亀山 (0.4)、津・久居 (0.4)、熊野 (0.3)、木曾 (0.3) で 0.3 点以上増加しています。



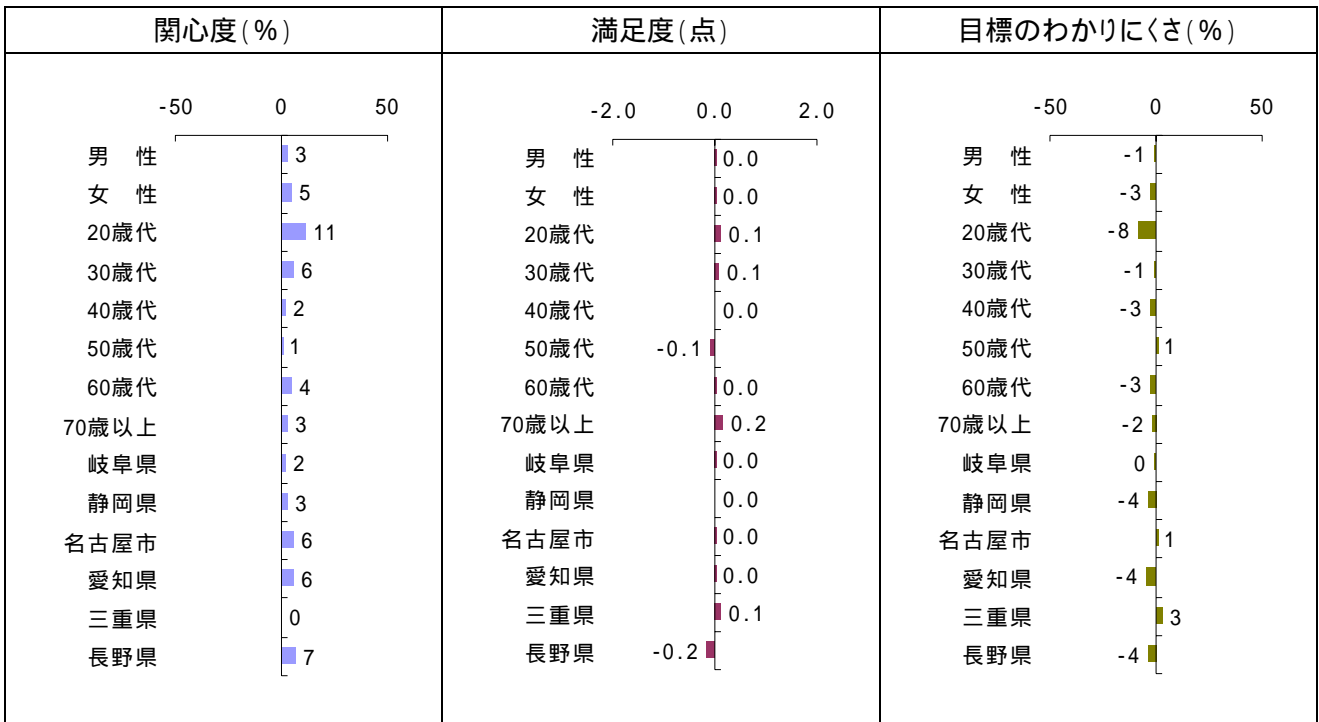
調査結果



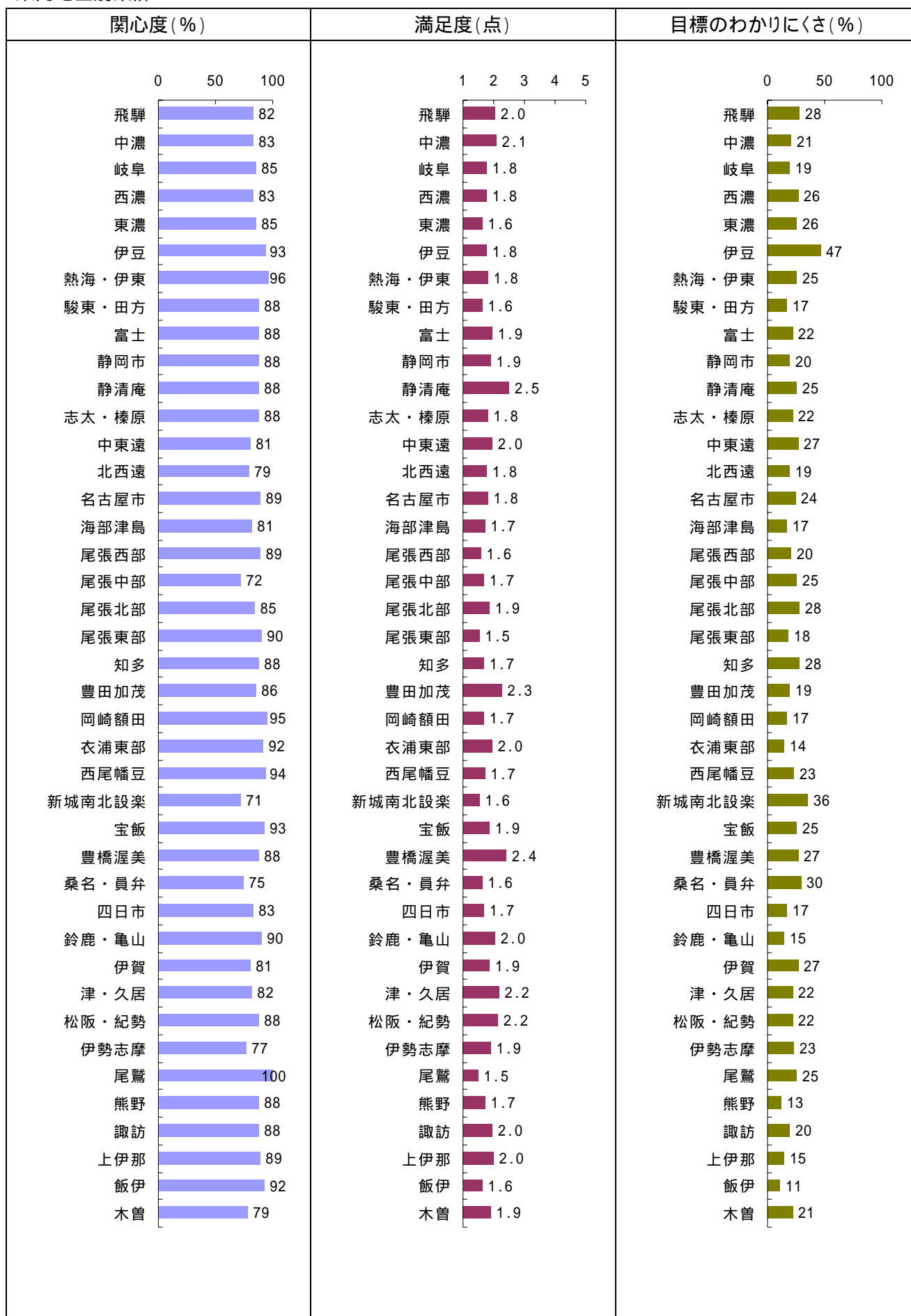
属性別集計



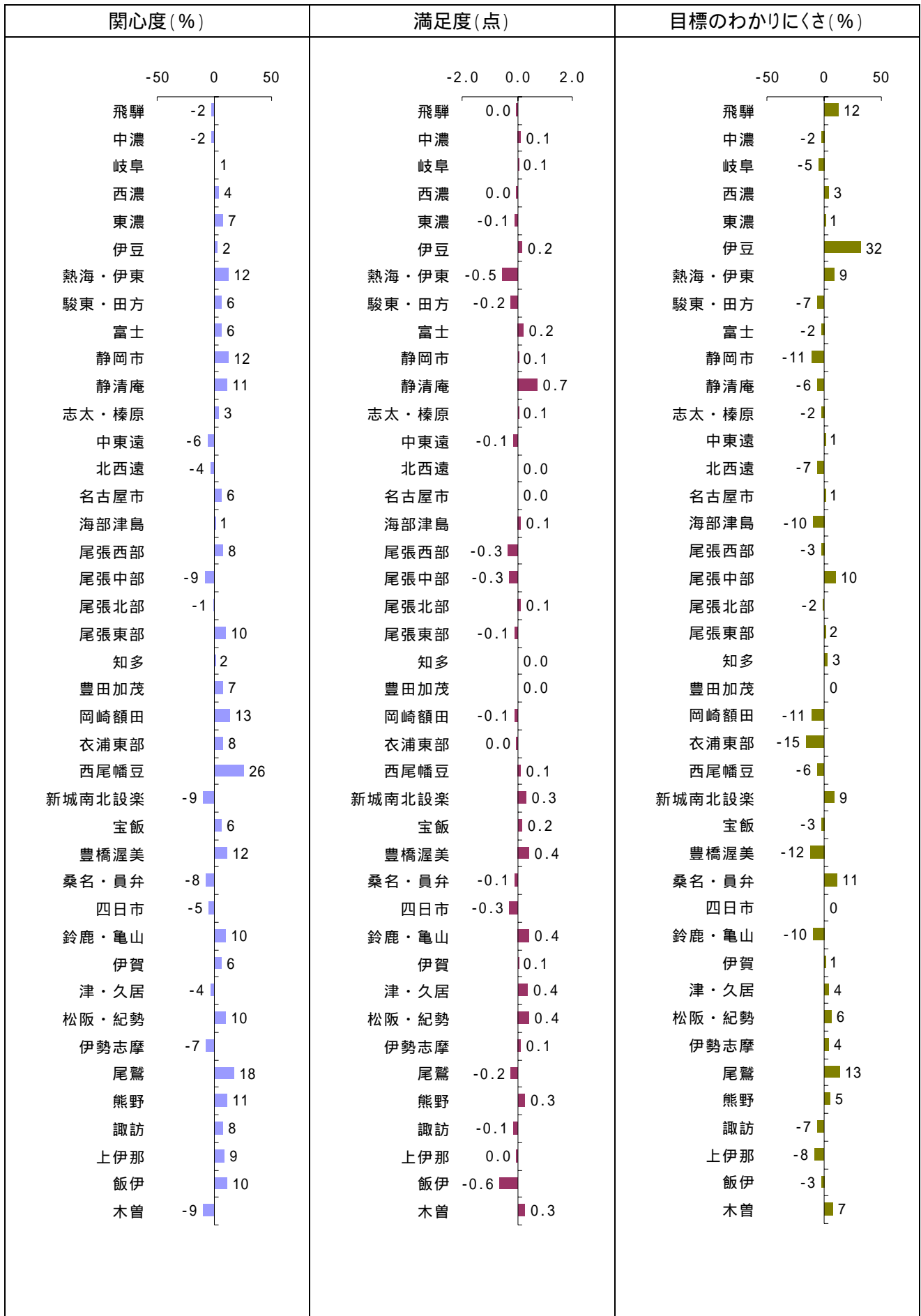
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



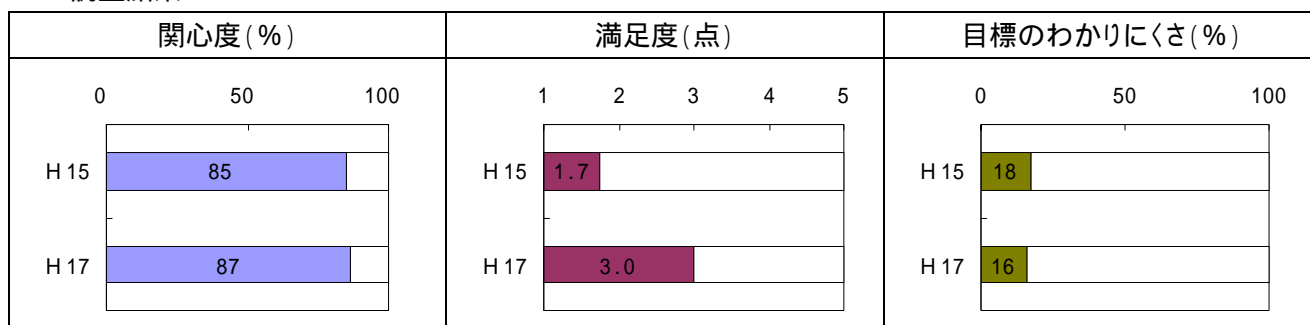
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



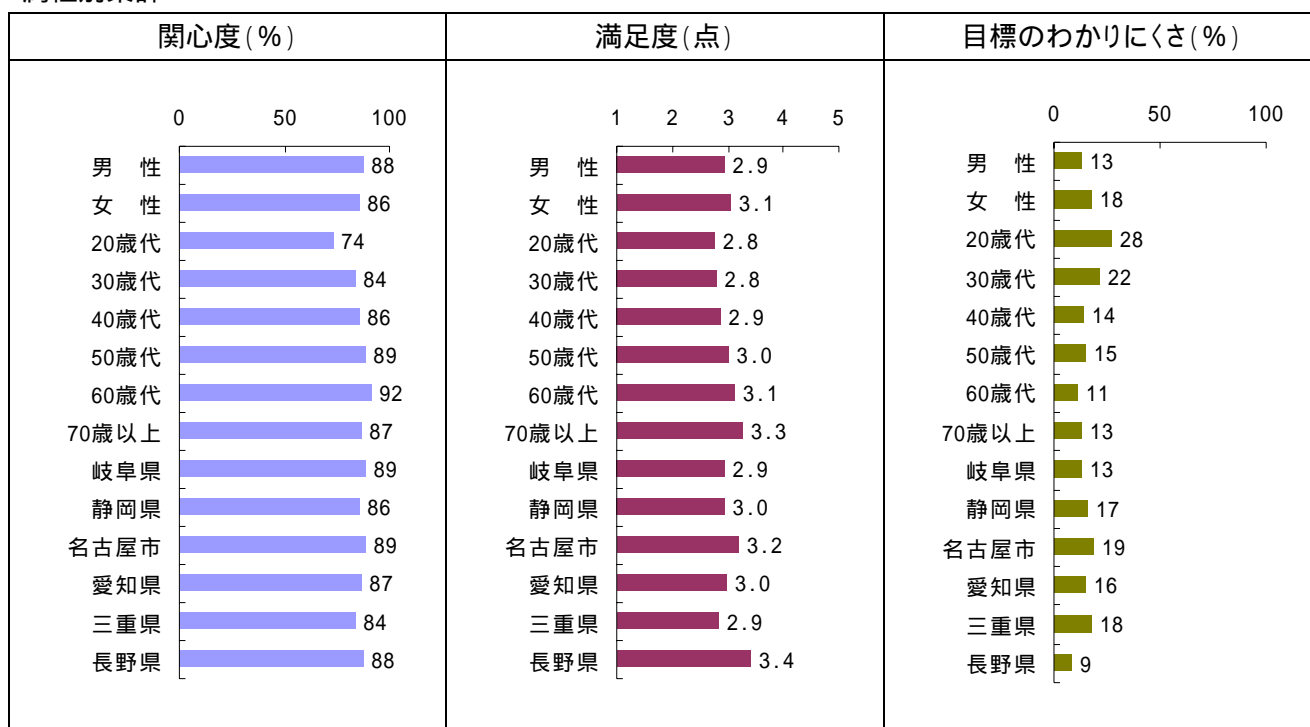
目標	- 4	循環型経済社会を構築します
関心度 設問	問 19 - 1	廃棄物の発生を最小限に抑え（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）を進めるとともに、焼却物の廃熱利用、適正処分も含めた環境への負荷を軽減する循環型社会の形成について、あなたは関心がありますか？
満足度 設問	問 19 - 2	あなたの住む地域は、廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）、焼却物の廃熱利用、適正処分など環境への負荷を軽減するための循環型社会の形成に向けた取組みが進んでいると思いますか？

- ・ 満足度は 3.0 点であり、平成 15 年度調査と比較して 1.3 ポイントと高い増加を示してしています。
- ・ 関心度は 87% と高く、平成 15 年度調査と比較して 2 ポイント増加しています。
- ・ 関心度が高く、平成 15 年度調査では満足度が低かったものの、今回、最も増加した目標の一つです。
- ・ 地域別では、長野県や愛知県西三河部の全ての地域で満足度が 3 点以上となっており、特に木曾（3.8）や諏訪（3.6）、豊田加茂（3.5）で 3.5 点以上と高い結果となりました。
- ・ 一方、尾鷲（1.6）と熊野（1.7）では、1 点台と極めて低く、成 15 年度調査と比較すると、1 ポイント以上増加している地域が多くを占める中で、前述 2 地域に加え、津・久居（+0.2）や四日市（+0.7）といった三重県の各地域の伸びが少ない結果となりました。

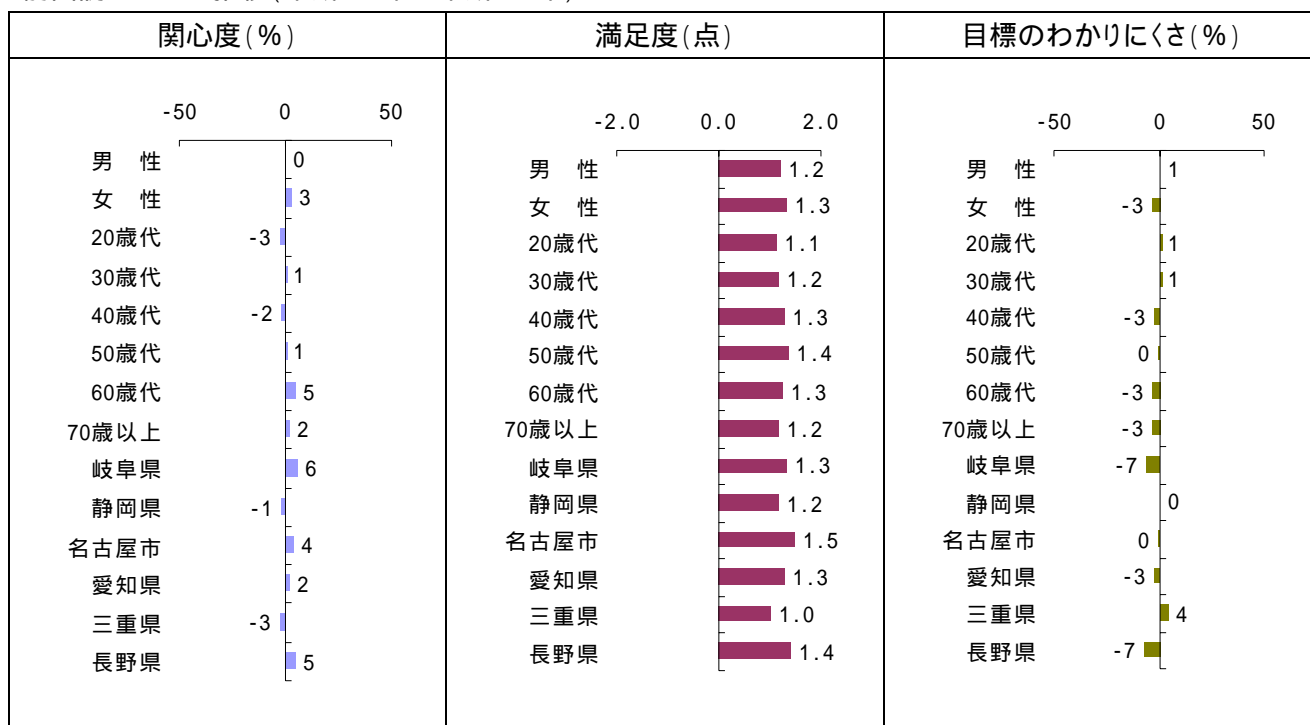
調査結果



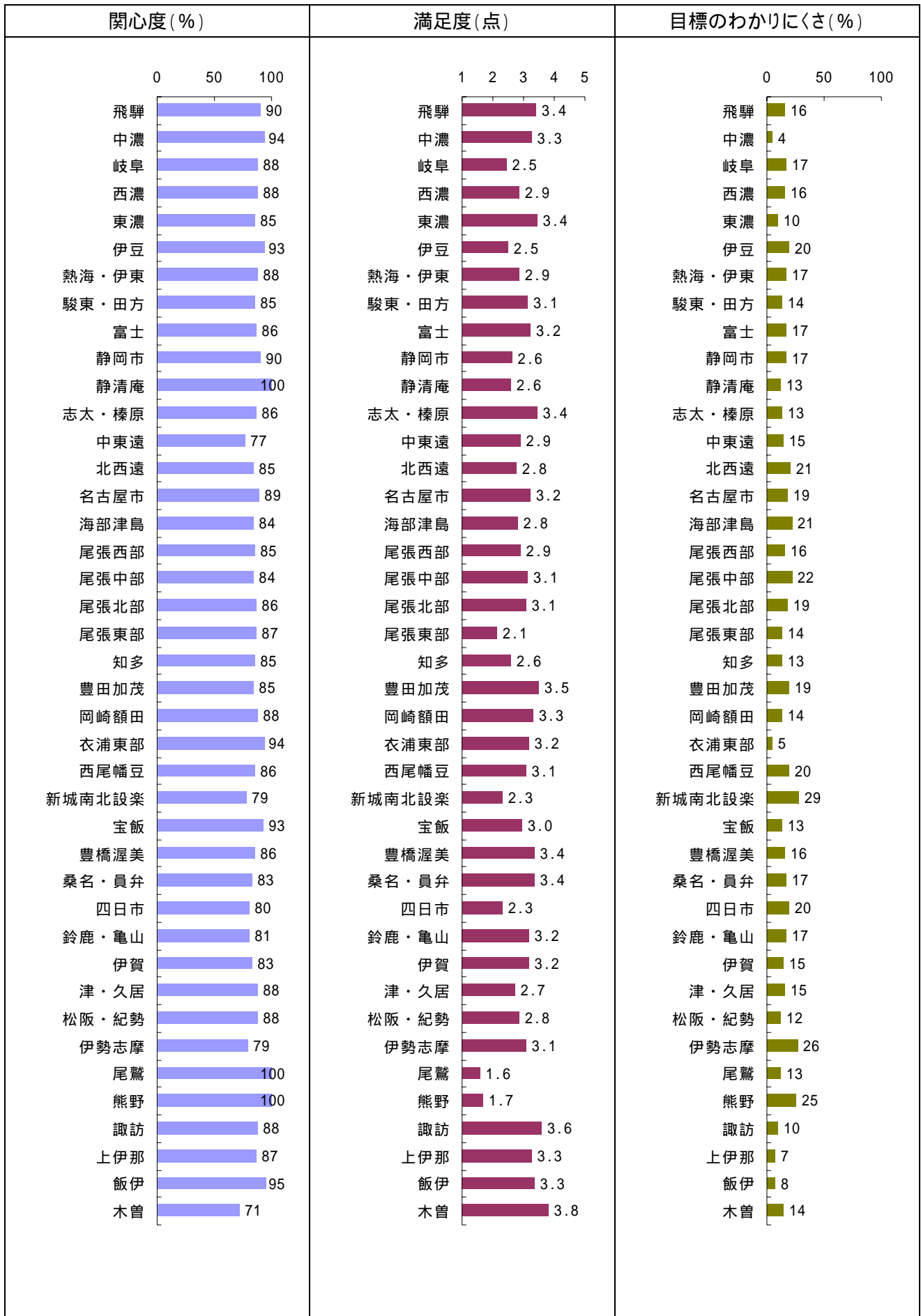
属性別集計



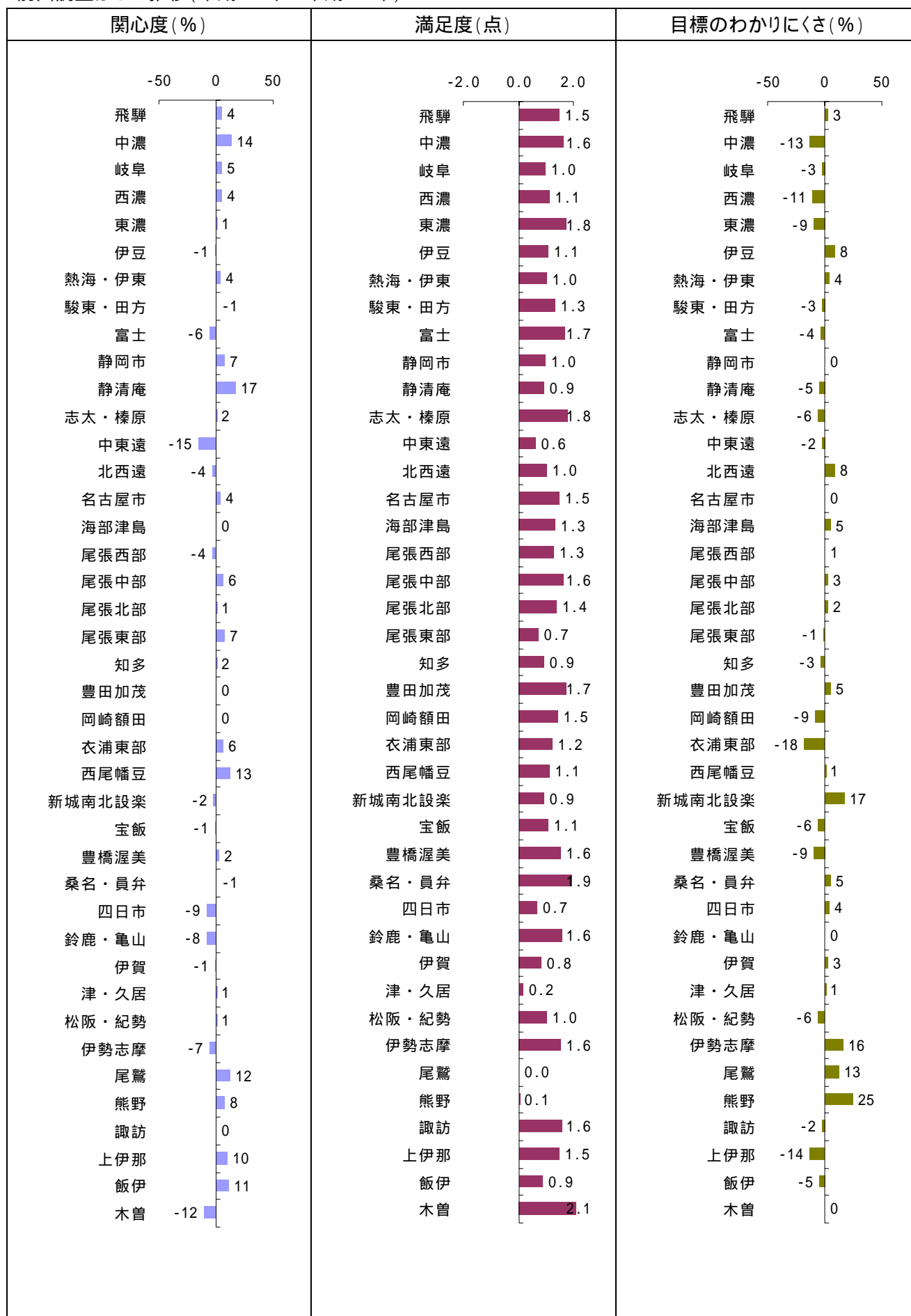
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

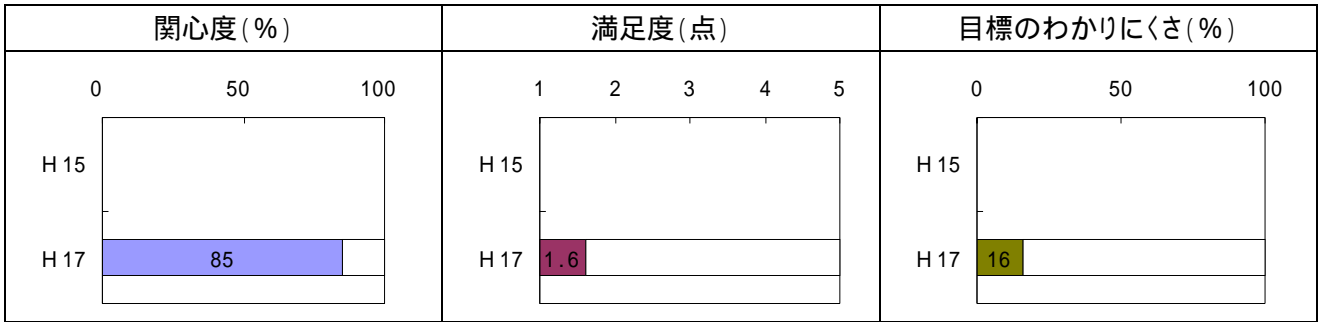


目標		(新規項目)
関心度 設問	問 20 - 1	自然エネルギーや燃料電池など化石資源に依存しない新たなエネルギーを導入していくことについて、あなたは関心がありますか？
満足度 設問	問 20 - 2	あなたのお住まいの地域は、風力や太陽光、燃料電池など化石資源に依存しない新たなエネルギーが積極的に導入されていると思いますか？

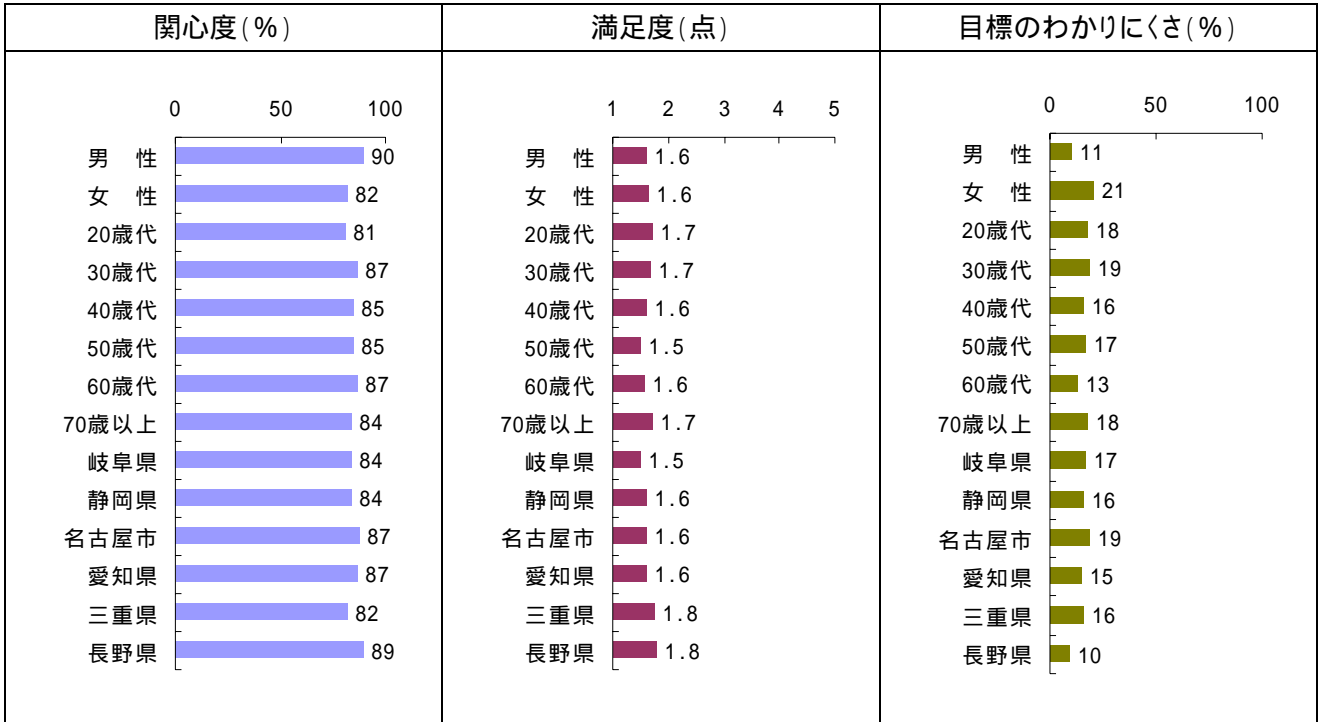
- ・ 満足度は 1.6 点と非常に低い一方、関心度は 85%と高く、積極的な取り組みが期待されている。
- ・ 地域別では、関心度が 100%であった熱海・伊東が 1.2 点、熊野で 1.1 点と極めて低くなったのをはじめ、1.5 点以下の地域が静岡県東部や愛知県を中心に 20 か所ある。
- ・ 目標のわかりにくさは 16%であり、特に性別による格差が大きく、女性が 21%と高い。



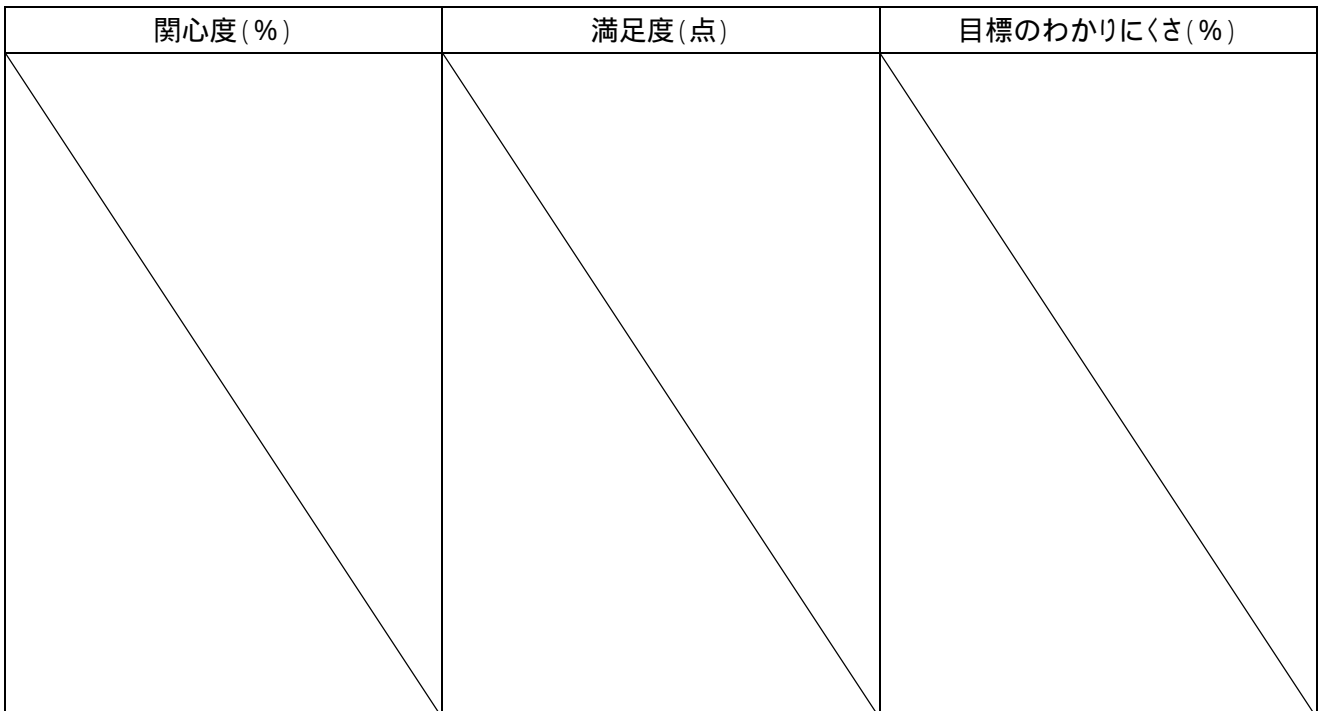
調査結果



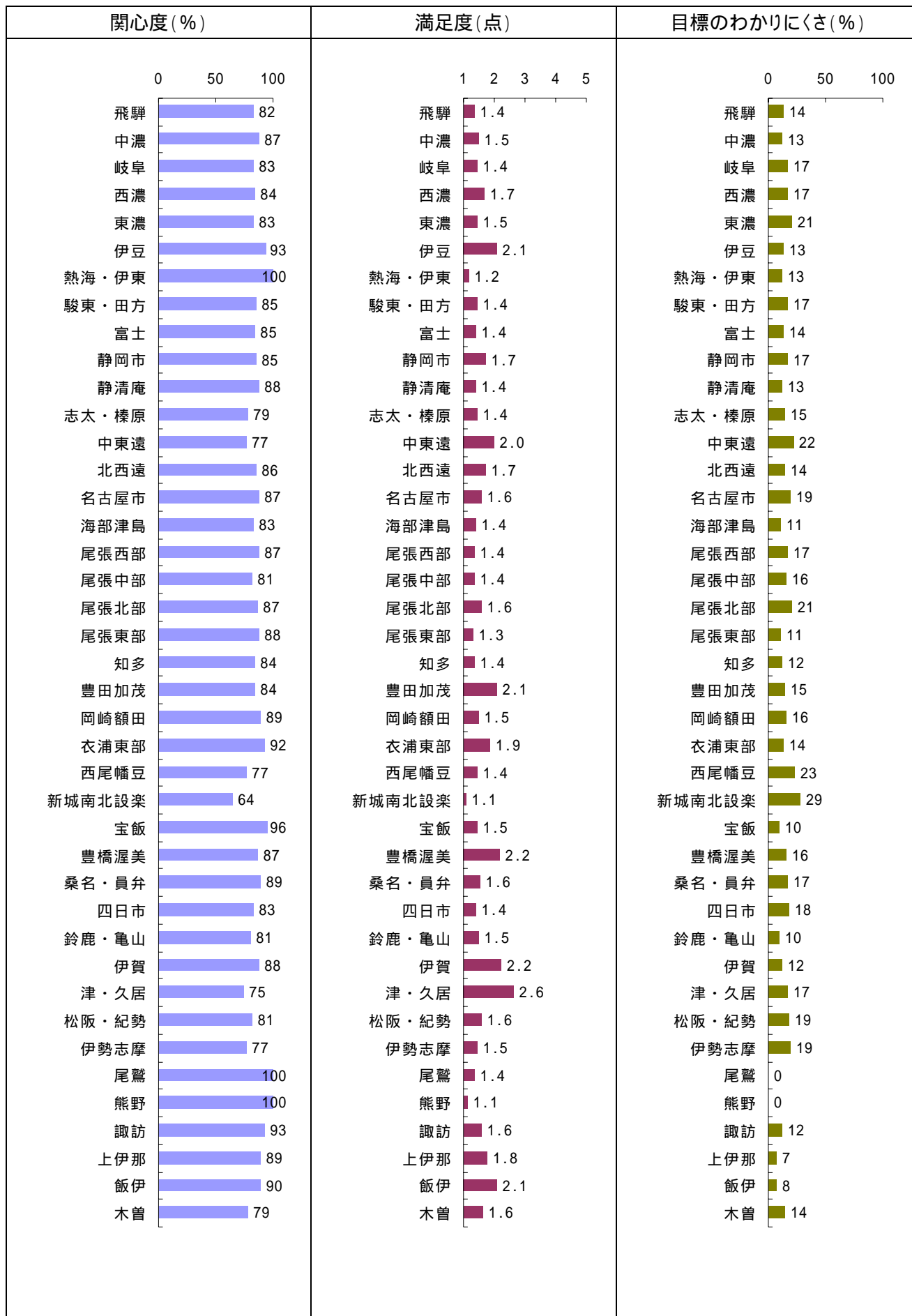
属性別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



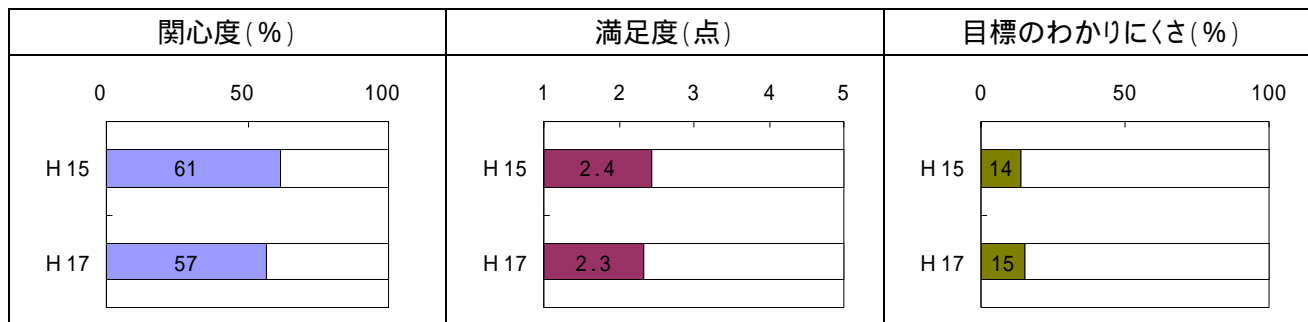
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

関心度 (%)	満足度 (点)	目標のわかりにくさ (%)

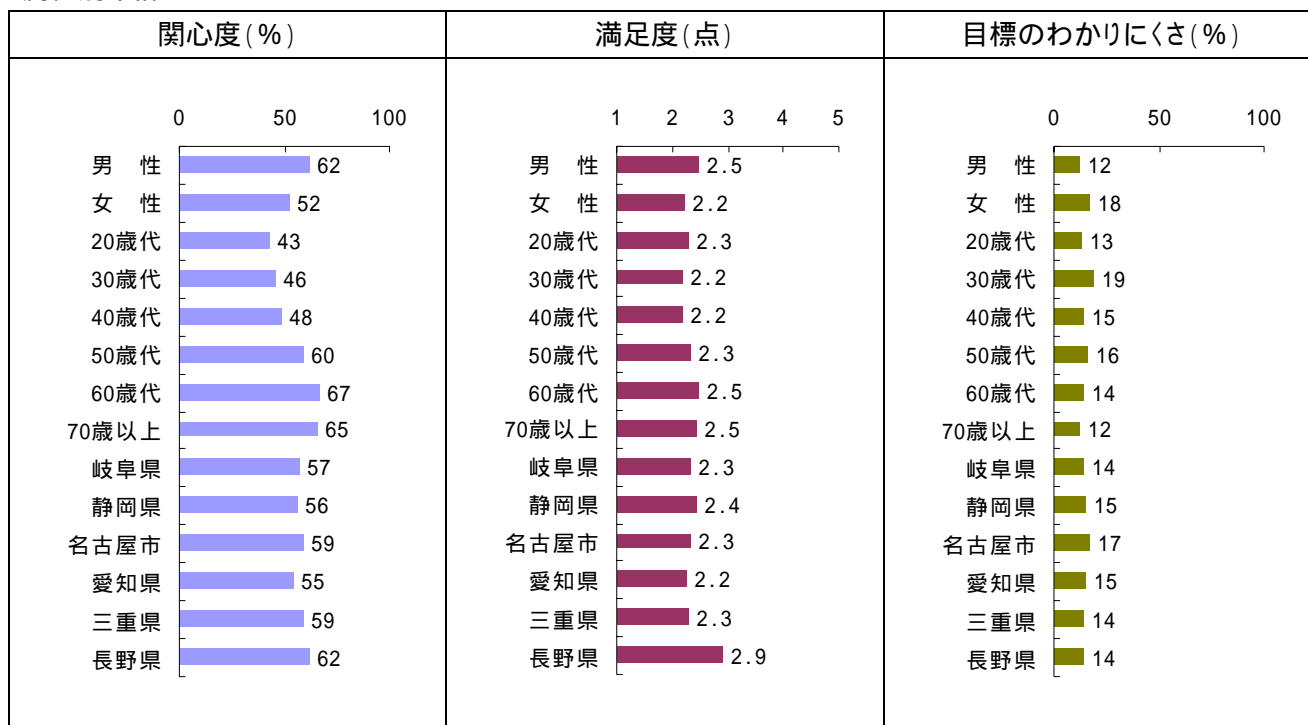
目標	- 5	農山漁村地域の魅力を向上します
関心度 設問	問 21 - 1	中部地方の農山村や漁村の魅力向上について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 21 - 2	中部地方の農山村や漁村には、住んでみたい(働いてみたい)と思う魅力があると思いますか？

- ・ 満足度は 2.3 点と低く、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント減少しています。
- ・ 関心度は 57%と低く、平成 15 年度調査と比較して 4 ポイント減少しています。
- ・ 関心度が 50%未満となった地域は、中濃(48)、尾張西部(44)、尾張中部(44)、西尾幡豆(46)、鈴鹿・亀山(49)、木曾(43)であり、関心の低さは、都市部の影響が大きいとはいえません。
- ・ 年代別では 20 歳代から 40 歳代の若い世代の関心度が 40%台前半となっており、地域性よりもむしろ、こうした世代の都市志向の高まりが影響していると考えられます。
- ・ 目標 -6「生活圏域や流域、沿岸域の連携を強化します」においても同様に関心度が低下する傾向が見られた中で、岡崎額田が 17 ポイント増加しています。流域連携による一体的に地域づくりを目標とした市町村合併を行った地域であり、地域での地道な PI 活動を行った成果が反映されたと考えられます。

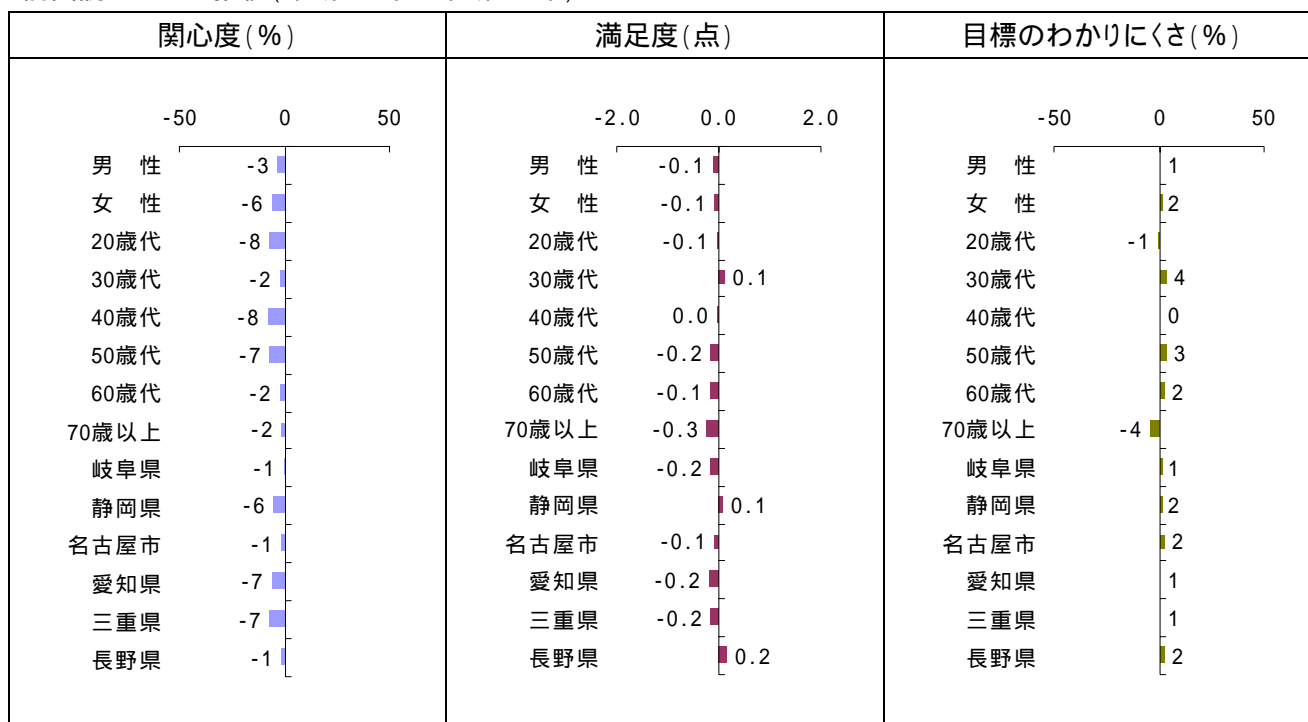
調査結果



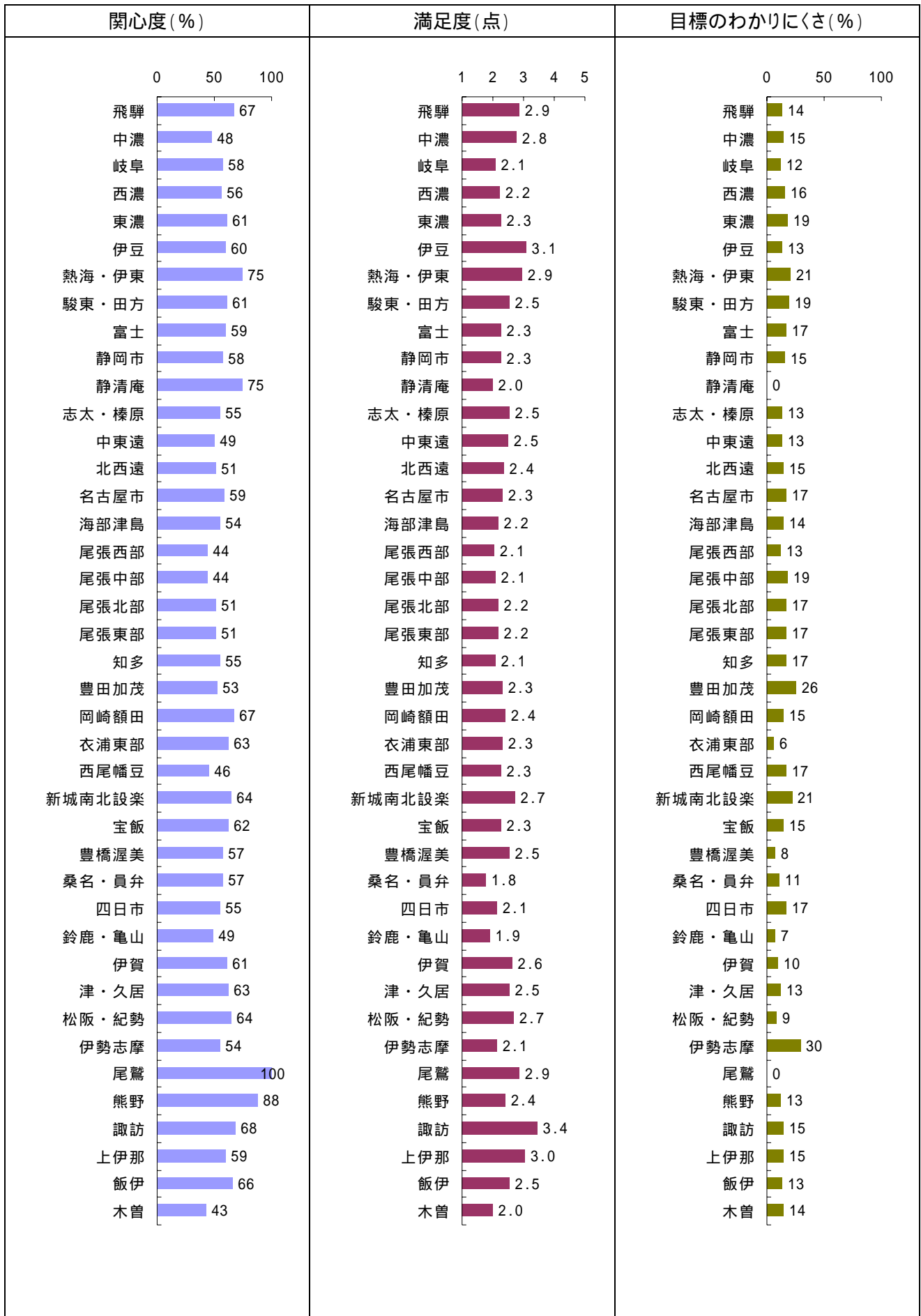
属性別集計



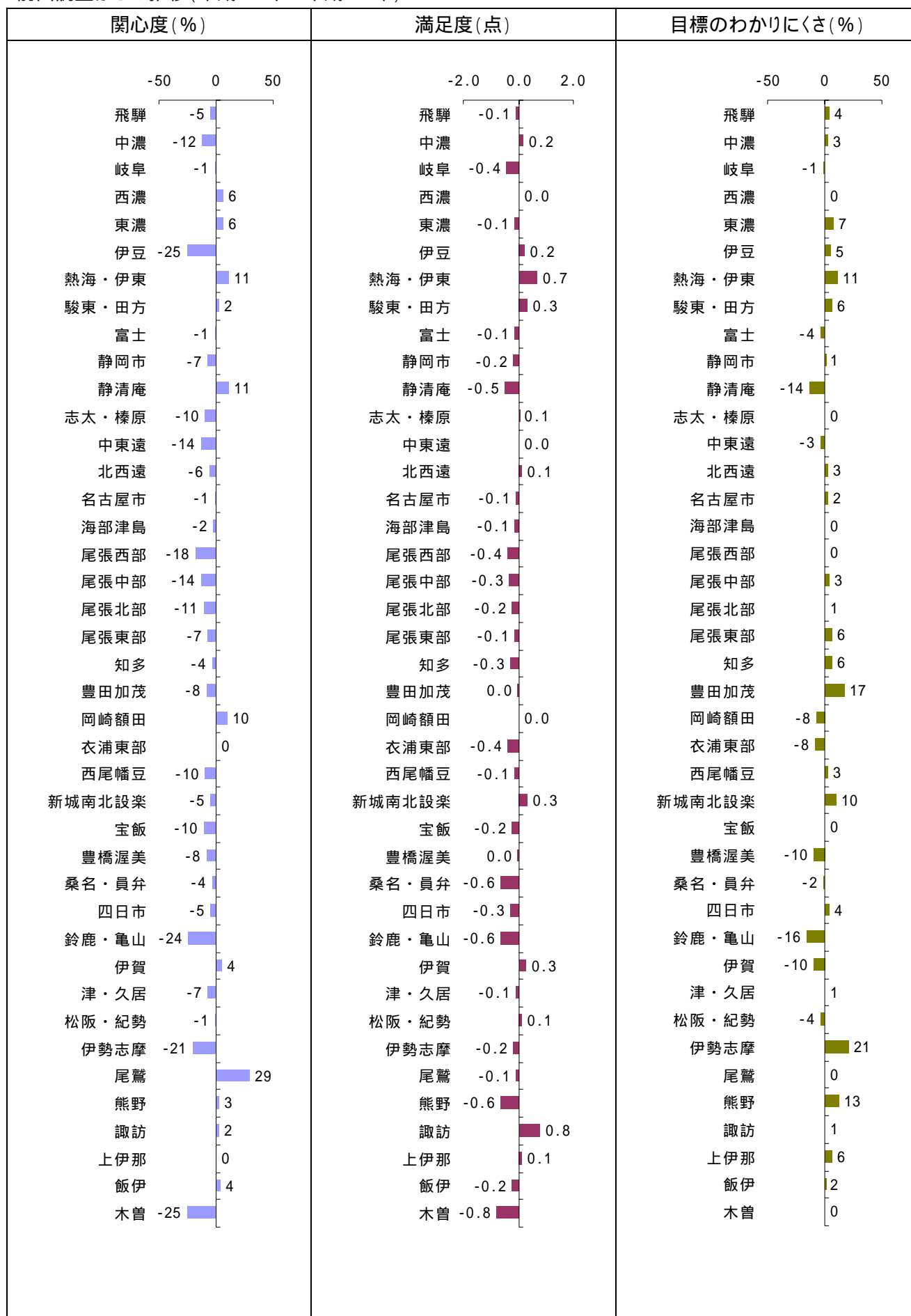
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

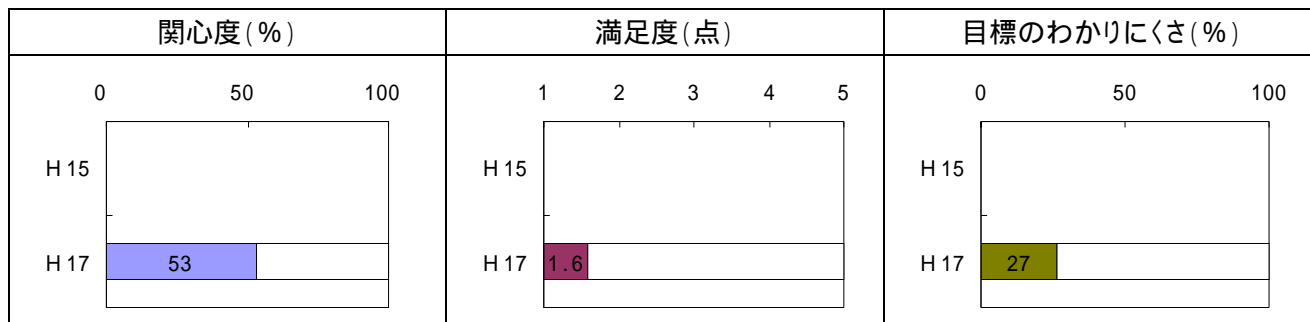


目標		(新規項目)
関心度 設問	問 22 - 1	過疎化など地域社会の存続が危ぶまれる地域における後継者の確保や新規就業者、転入者の獲得について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 22 - 2	過疎化など地域社会の存続が危ぶまれる地域における後継者の確保や新規就業者、転入者の獲得など地域の担い手づくりは十分なされていると思いますか？

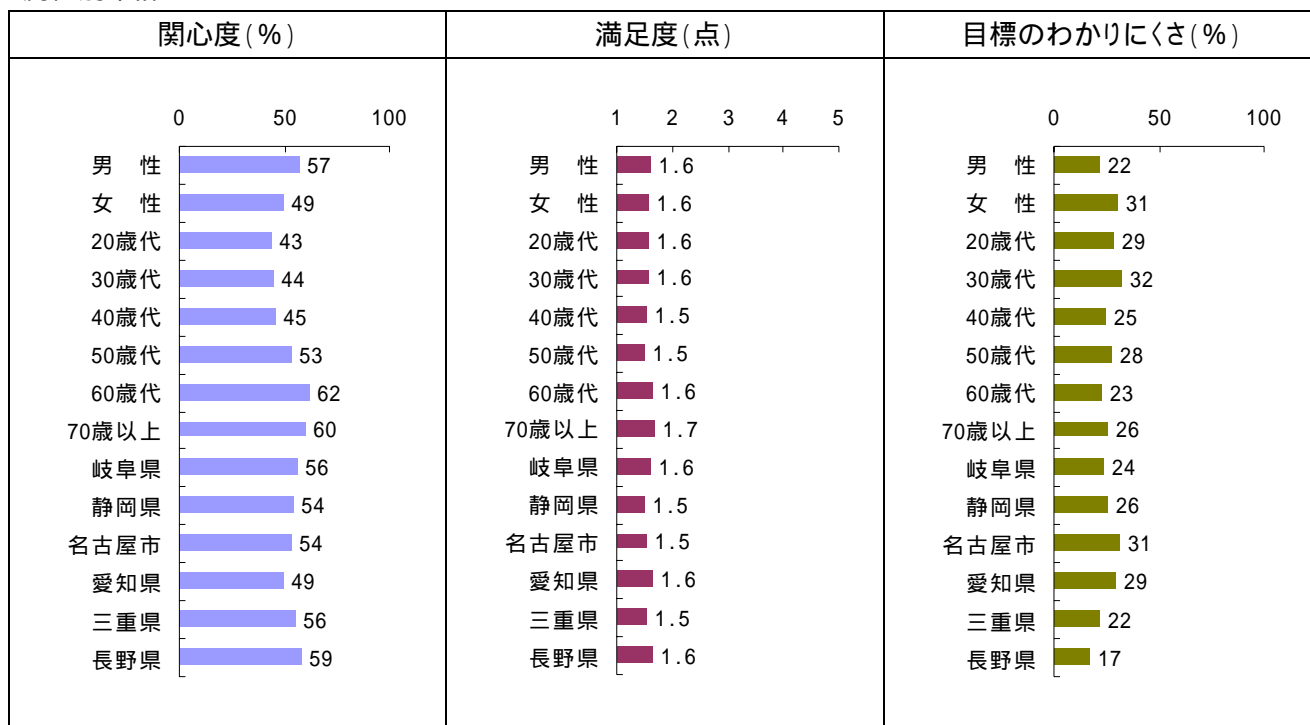
- ・ 満足度は 1.6 点、関心度は 53%と非常に低い。
- ・ 地域別では、全ての地域の満足度が 2.0 点以下であり、特に新城南北設楽で 1.2 点、関心度が 80%を超える尾鷲や熊野、関心度が 29%と最も低い木曾、そして熱海・伊東で 1.3 点となっている。
- ・ 目標のわかりにくさは 27%であり、特に愛知県では 30%を超える地域が多くを占める。



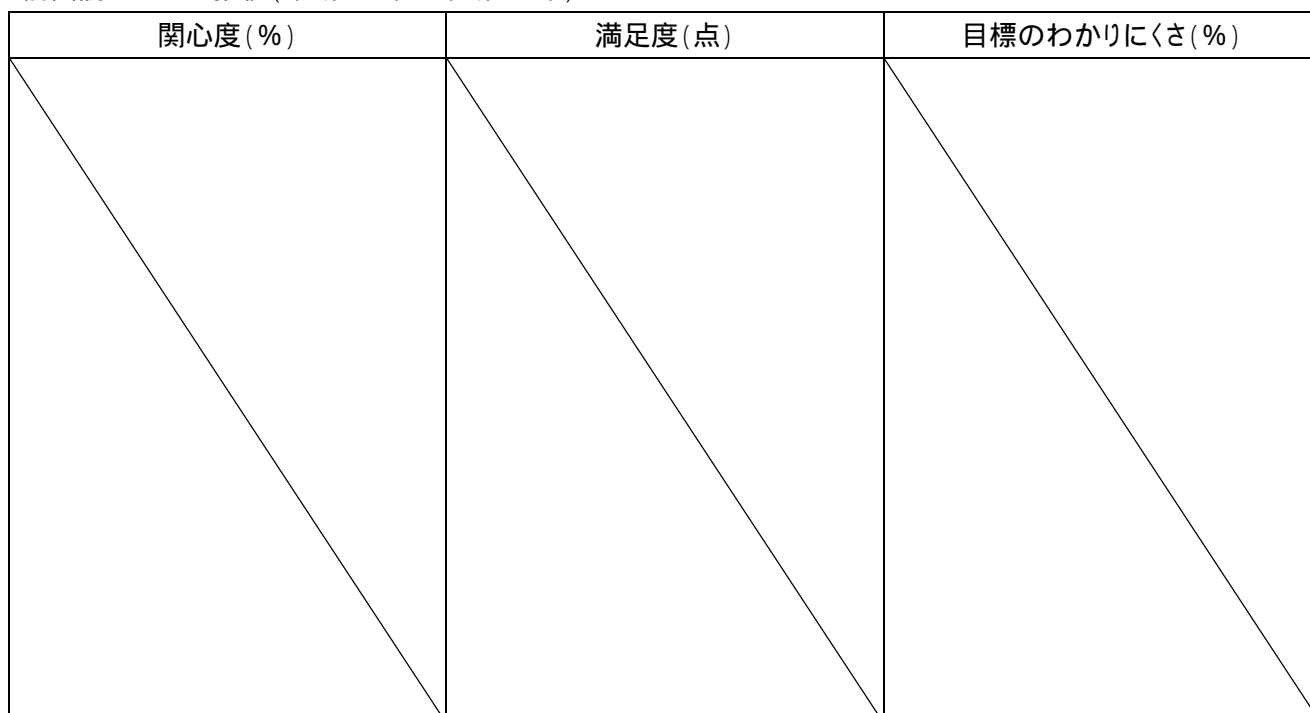
調査結果



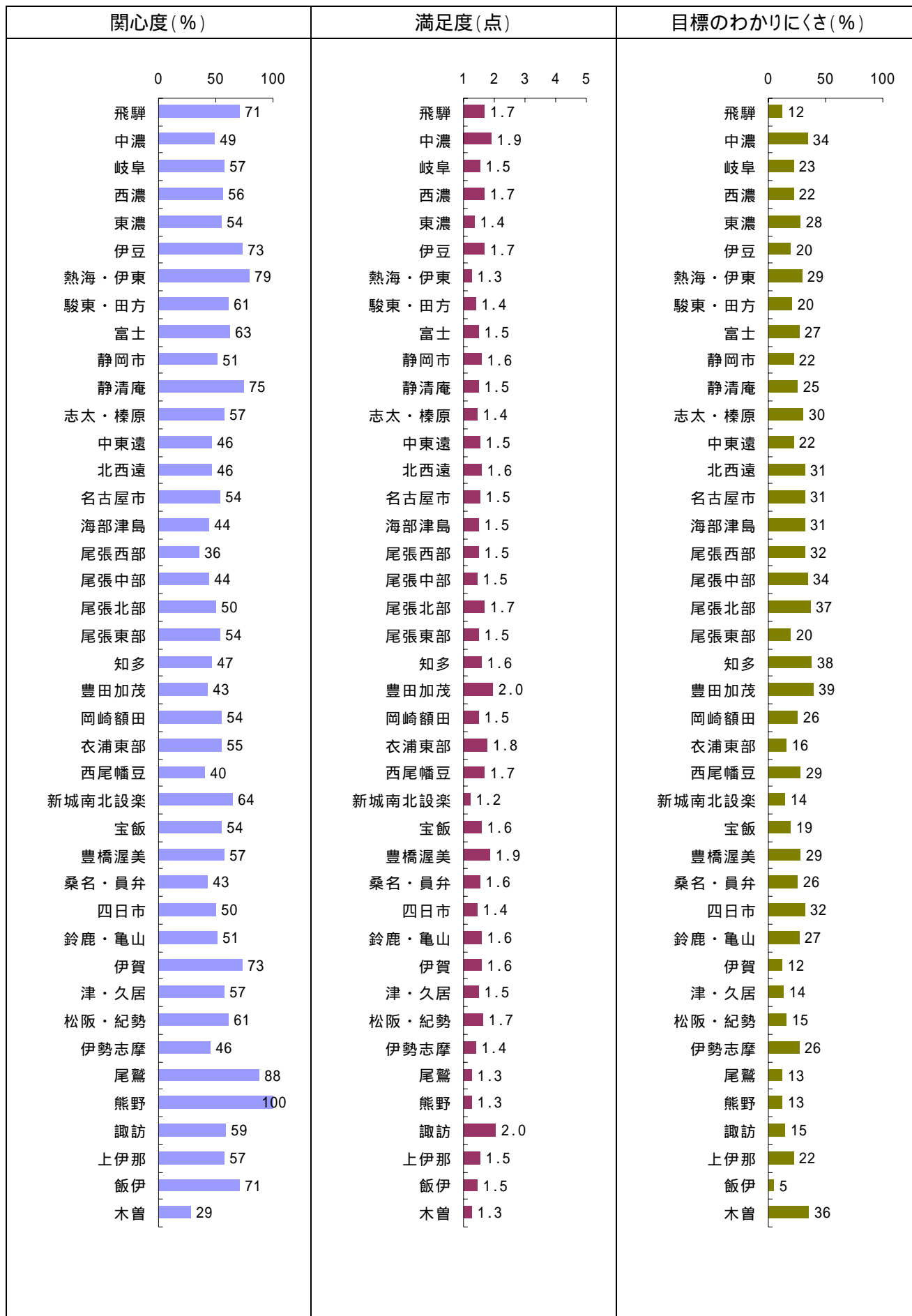
属性別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



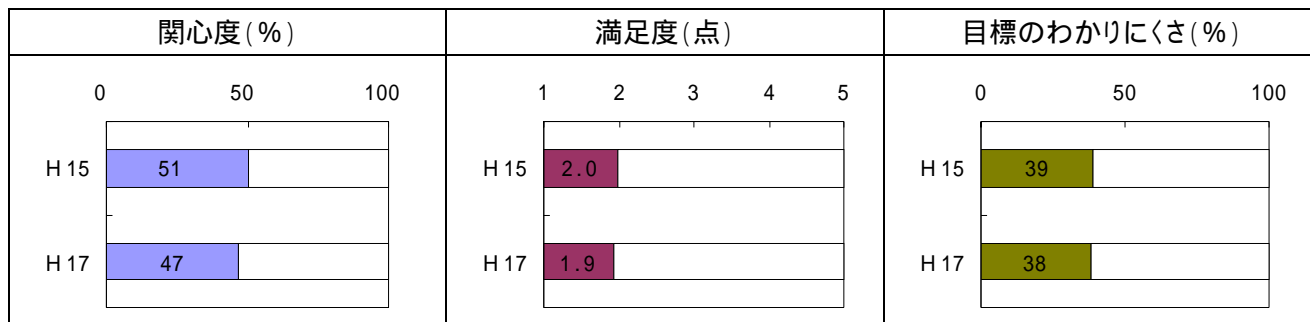
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

関心度 (%)	満足度 (点)	目標のわかりにくさ (%)

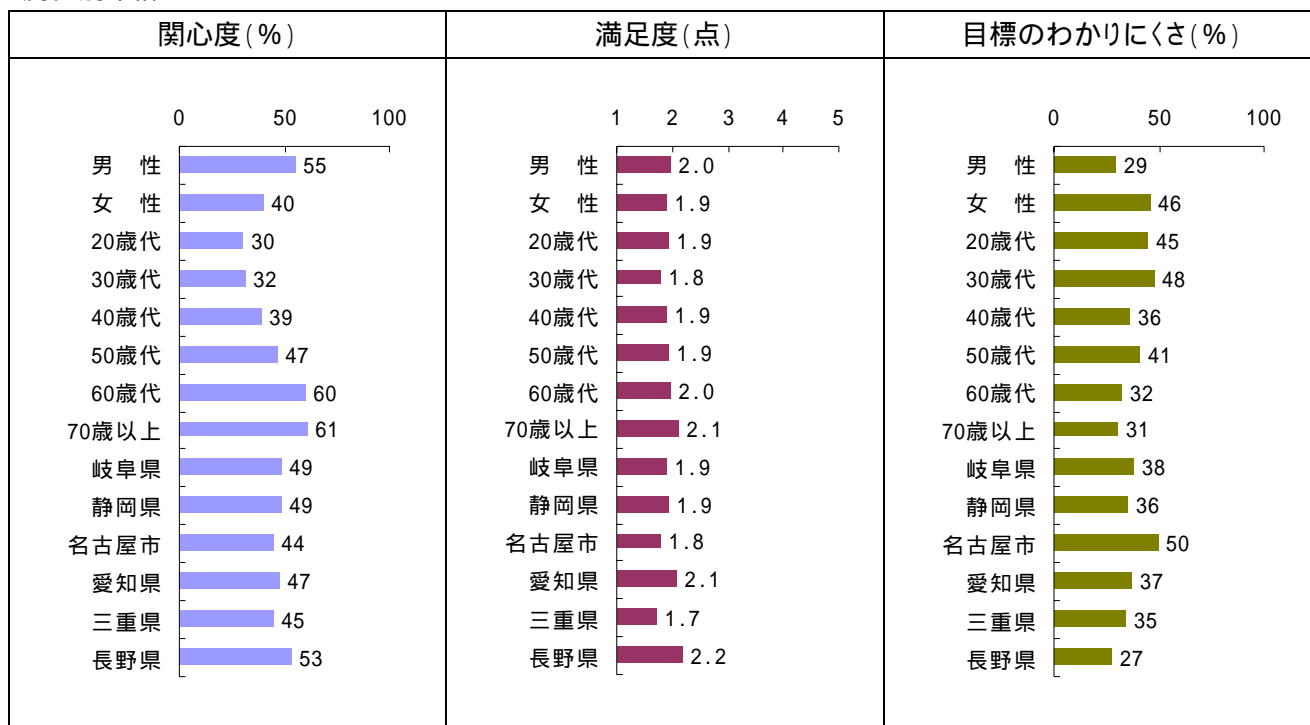
目標	- 6	生活圏域や流域、沿岸域の連携を強化します
関心度 設問	問 23 - 1	近隣市町村同士や河川の上流地域と下流地域の間での連携した取り組みや交流について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 23 - 2	あなたの住む地域では、近隣市町村同士や河川の上流地域と下流地域の間で連携した取り組みや交流が活発に行われていると思いますか？

- ・ 満足度は 1.9 点と非常に低く、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント減少しています。
- ・ 関心度は 47%と非常に低く、平成 15 年度調査と比較して 4 ポイント減少しています。
- ・ 年代別では 20 歳代から 40 歳代の若い年代の関心度が 30%台と極めて低く、また、女性の関心度は 40%で男性より 10 ポイント低くなっています。平成 15 年度調査と比較して、50 歳代が 10 ポイント減少しており、幅広い年代にわたって農山漁村地域に対する関心離れが進んでいます。
- ・ 地域別では、桑名・員弁（32）、四日市（38）、鈴鹿・亀山（39）といった三重県北部の関心が 30%台と極めて低く、西尾幡豆も 34%となっています。こうした地域では、平成 15 年度調査と比較して 10 ポイント以上減少しています。
- ・ 岡崎額田では、平成 15 年度と比較して関心度が 17 ポイントと最も増加していますが、流域連携を最大の目標として市町村合併を行った地域です。こうしたことから、事業を推進するためには、生活圏や流域、沿岸域単位での連携した取り組みの必要性について、従来以上に情報発信することが求められます。

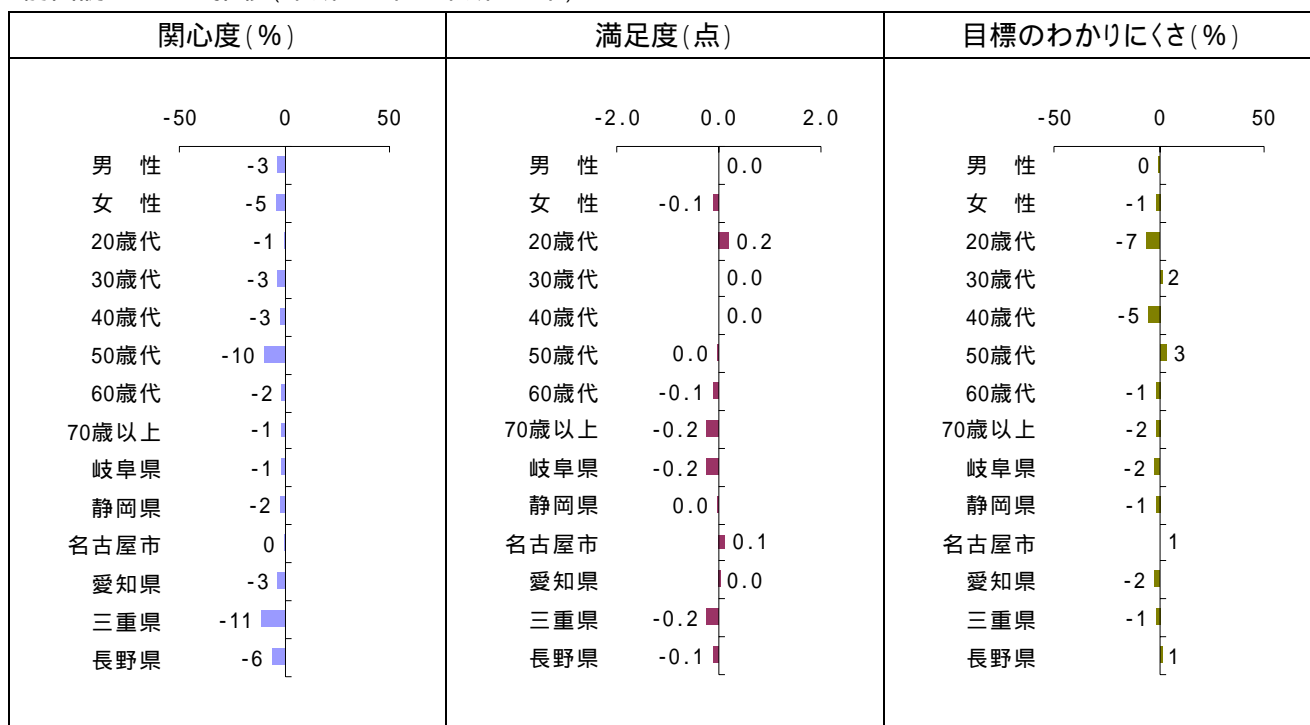
調査結果



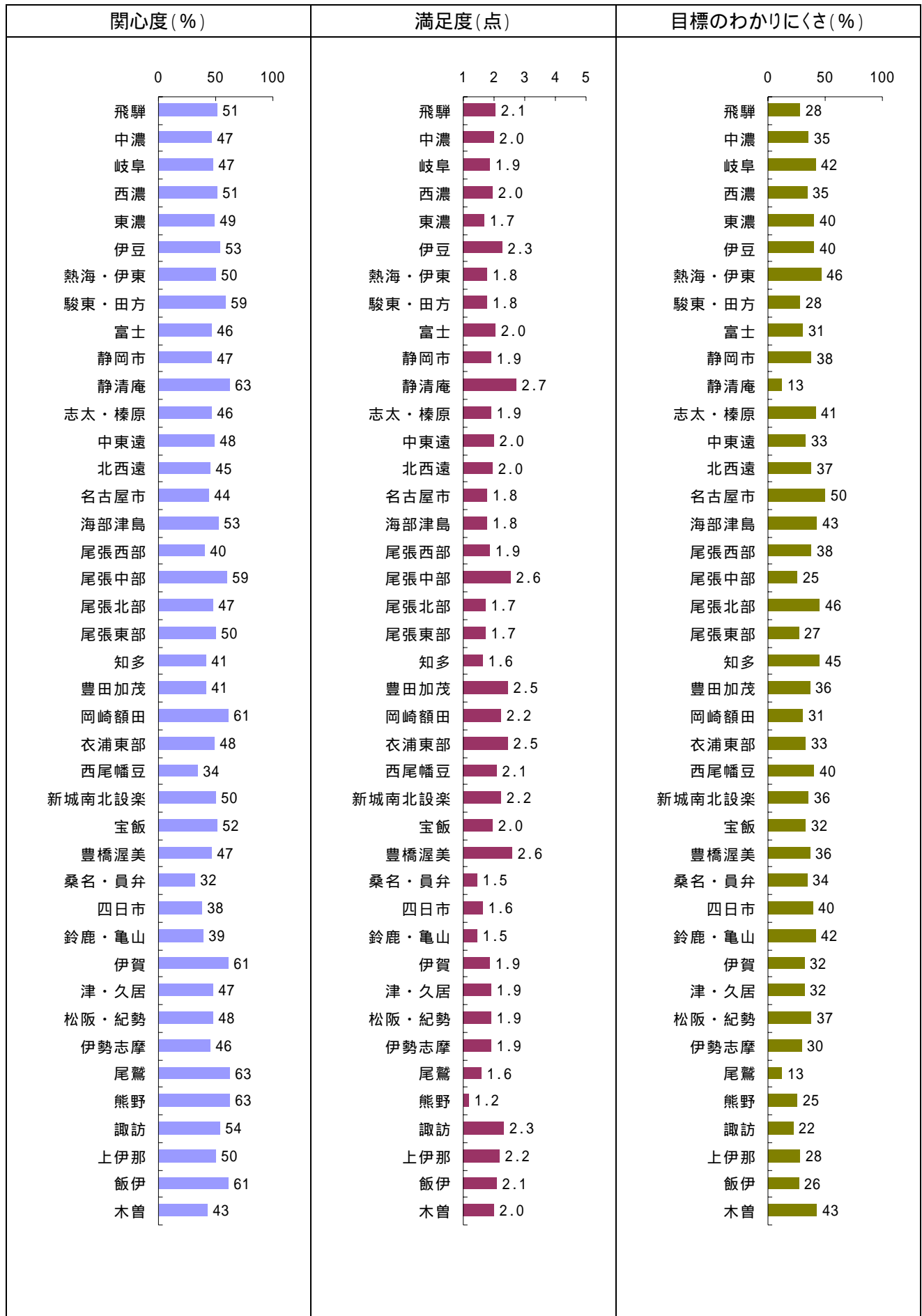
属性別集計



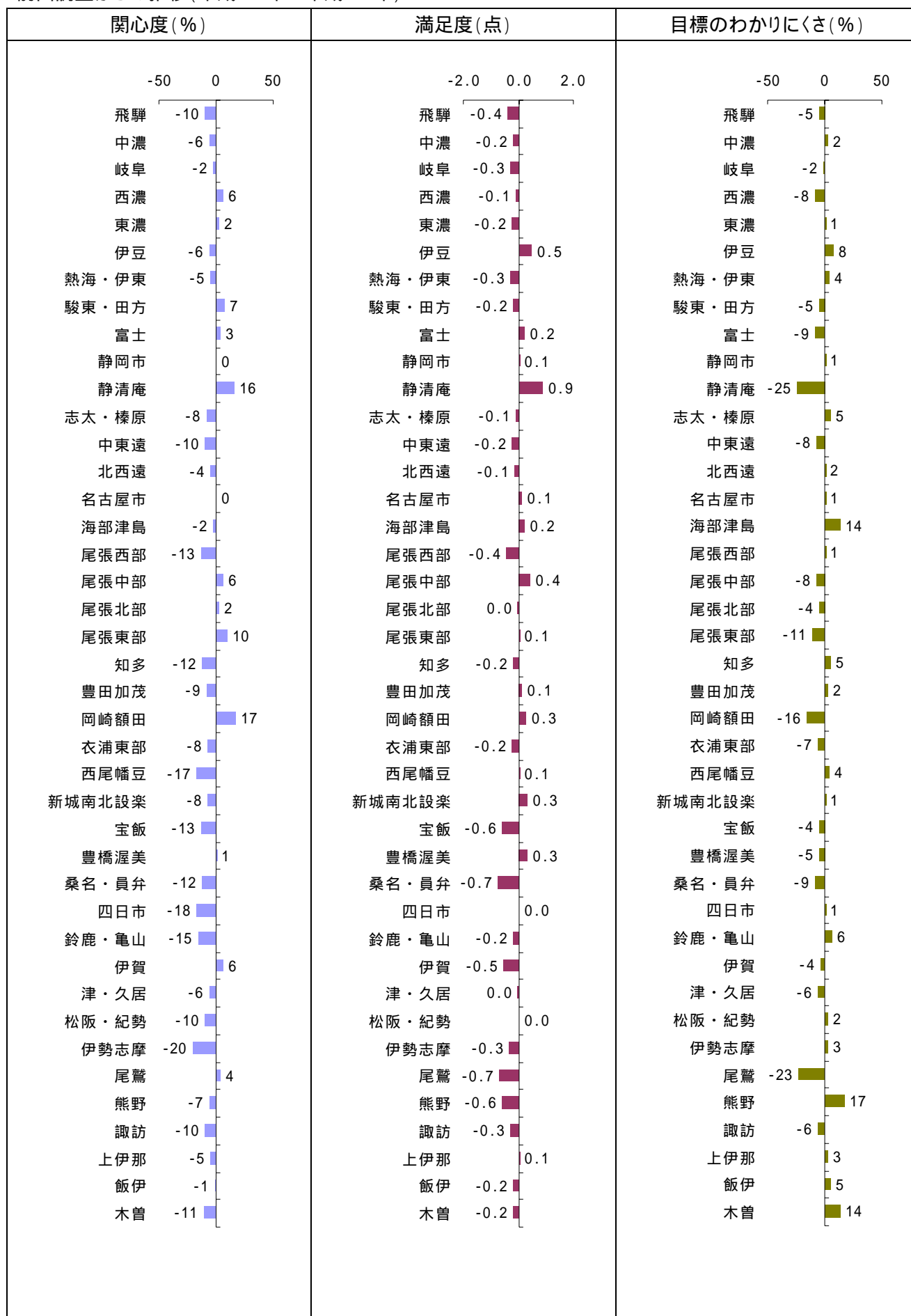
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

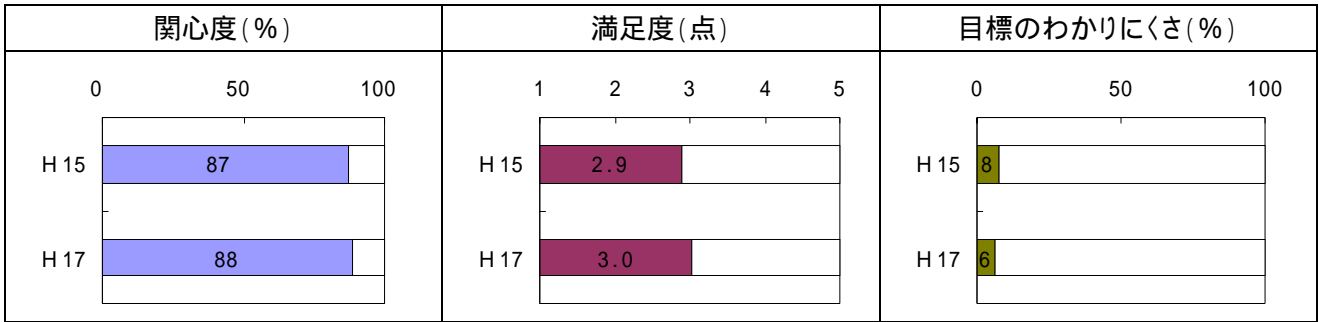


目標	- 7	自然環境・歴史・文化資源を再生・活用した魅力ある地域づくりを進めます
関心度 設問	問 24 - 1	豊かな自然や歴史・文化を活かした場所やまちなみについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 24 - 2	あなたの住む地域は、豊かな自然や歴史・文化を活かした場所やまちなみがあると思いますか？

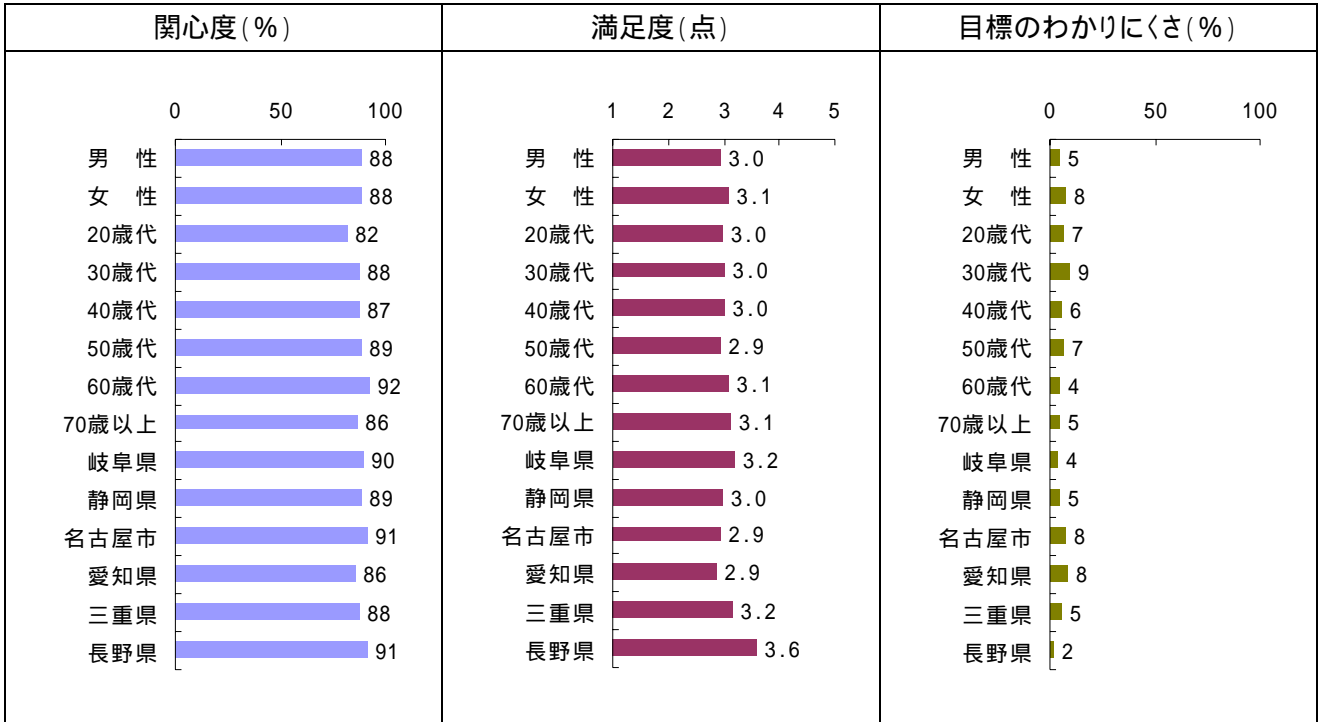
- ・ 満足度は 3.0 点であり、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 88% と高く、平成 15 年度調査と比較して 1 ポイント増加しています。
- ・ 地域別では、飛騨 (4.1)、伊豆 (4.0)、熊野 (4.4) の満足度が 4 点以上となったのをはじめ、農山漁村地域での満足度が高くなっています。こうした地域において、平成 15 年度調査と比較して、概ね満足度が増加しており、特に、熊野 (+1.5) や諏訪 (+0.6)、上伊那 (+0.5) の増加が著しいです。
- ・ また、名古屋市 (+0.7) や尾張中部 (+0.8) の満足度も大きく増加しており、名古屋市の堀川総合整備や白壁地区の景観整備、清洲城の整備など歴史・文化資源を再生・活用した地域づくりが進められた成果が反映したと推察されます。
- ・ 地域別の関心度は、平成 15 年と比べて 10 ポイント以上増加した地域が 5 か所ありますが、尾鷲 (+12) や熊野 (+15) など平成 16 年に世界遺産に登録された熊野古道を活かしたまちづくりに対する期待の大きさが伺えます。



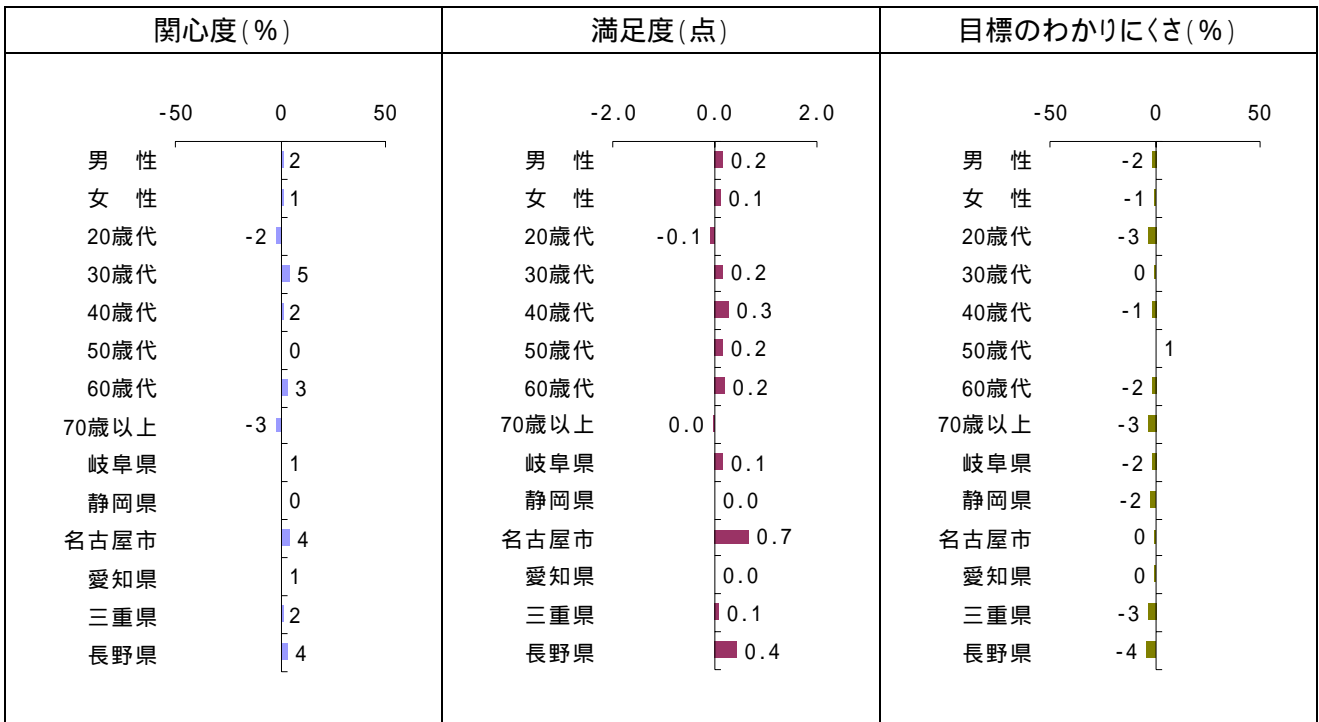
調査結果



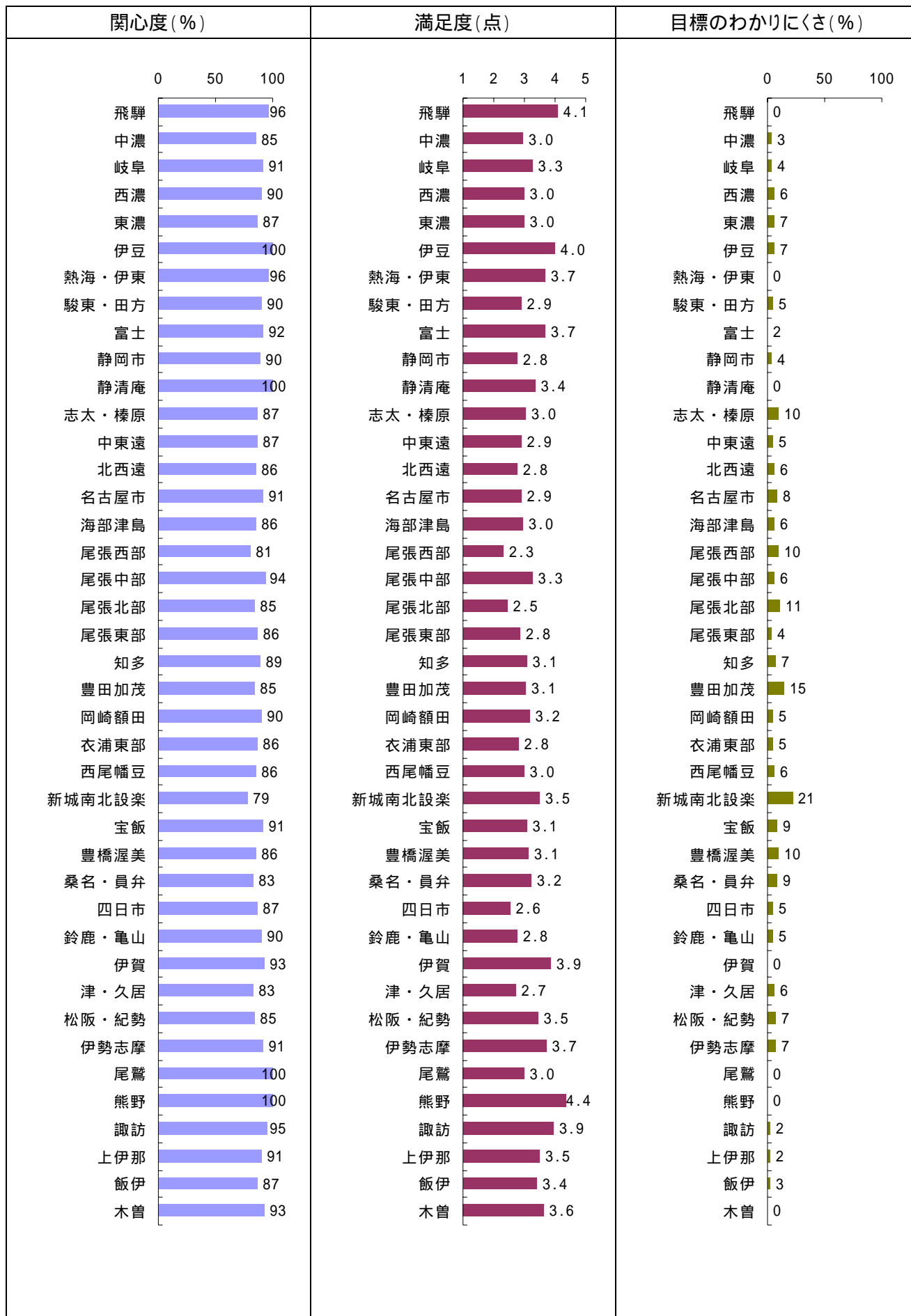
属性別集計



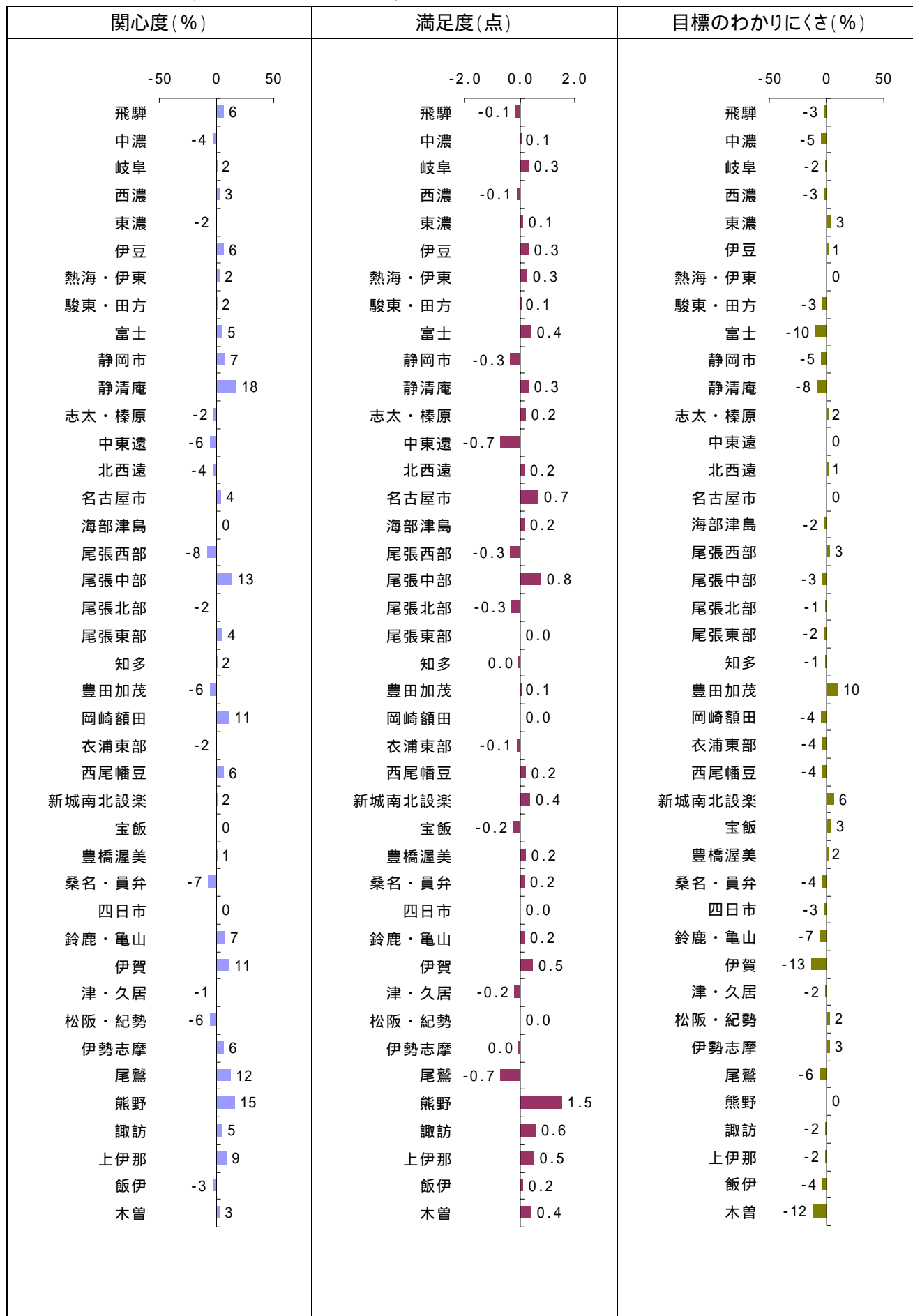
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



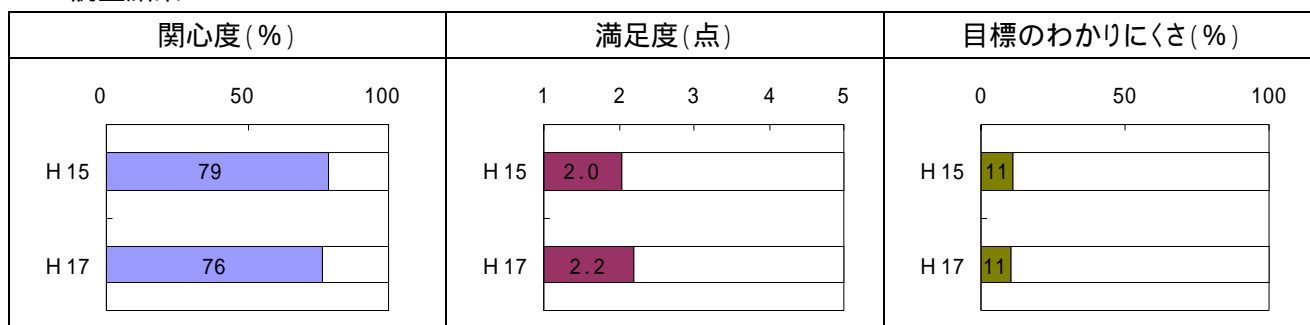
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



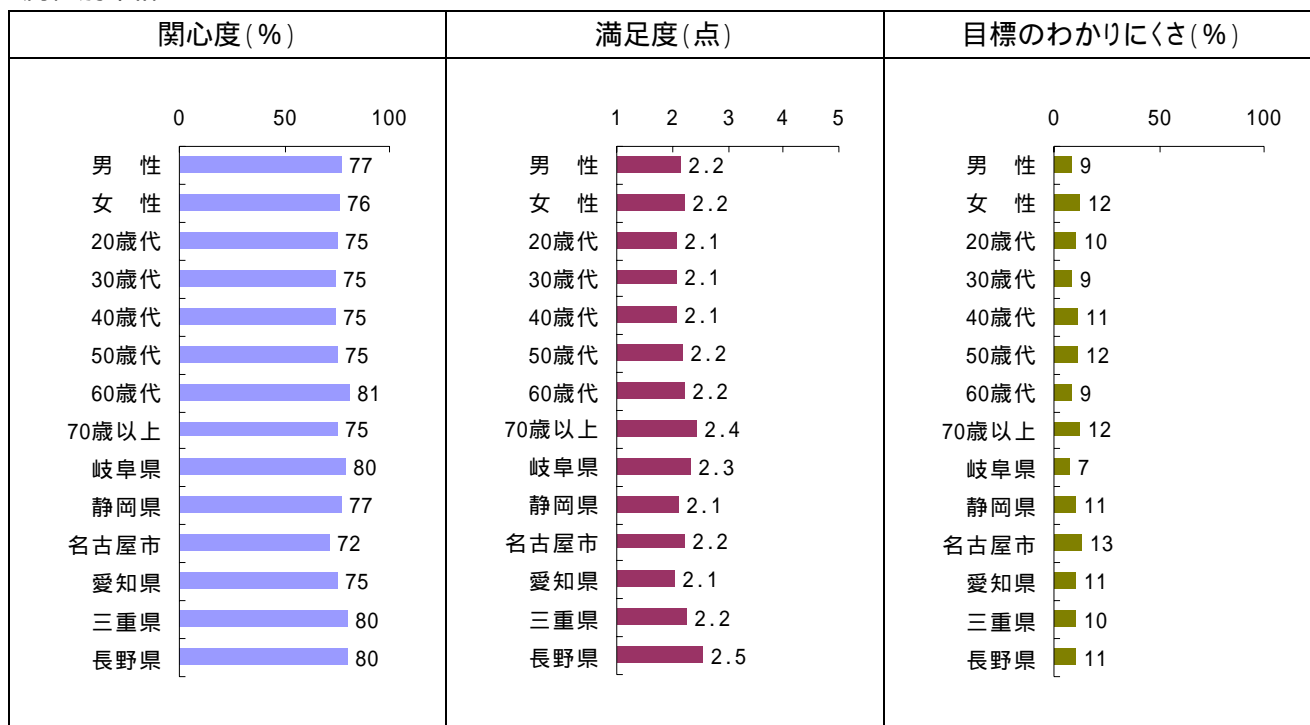
目標	- 8	もう一度訪れたいと思う魅力ある地域づくりを進めます
関心度 設問	問 25 - 1	もう一度訪れたいと思われるような魅力ある地域づくりの活動について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 25 - 2	あなたの住む地域は、もう一度訪れたいと思われるような魅力ある地域づくりの活動が進められていると思いますか？

- ・ 満足度は 2.2 点と低いものの、前回調査と比較して 0.2 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 76% であり、平成 15 年度調査と比較して 3 ポイント減少しています。
- ・ 地域別の満足度は、飛騨 (3.4)、富士 (3.0)、伊勢志摩 (3.0)、諏訪 (3.2) 等の観光拠点を有する地域で 3 点以上となっており、地域の魅力づくりに対して一定の評価が得られています。特に富士と諏訪は平成 15 年度調査から 0.9 ポイント増加しています。
- ・ 同様に、中部の主要な観光拠点を有する他の地域の満足度は、中濃(下呂・郡上)で 2.2、伊豆で 2.5、駿東・田方(御殿場)で 2.0、北西遠(浜名湖)で 2.0、知多で 2.6、宝飯(蒲郡)で 2.1、桑名・員弁(長島)で 2.2、熊野で 1.6、木曽で 2.3 と非常に低い地域が多くなっています。これらの地域では、関心度が 80% を超えるところが多く一層の事業推進が期待されます。
- ・ また、名古屋市をはじめとする愛知県西部や静岡県中西部では満足度が 2 点前後と低いですが、関心度も 70% 前後と相対的に低いところが多く、観光による地域活性化に対する期待の低いことが伺えます。

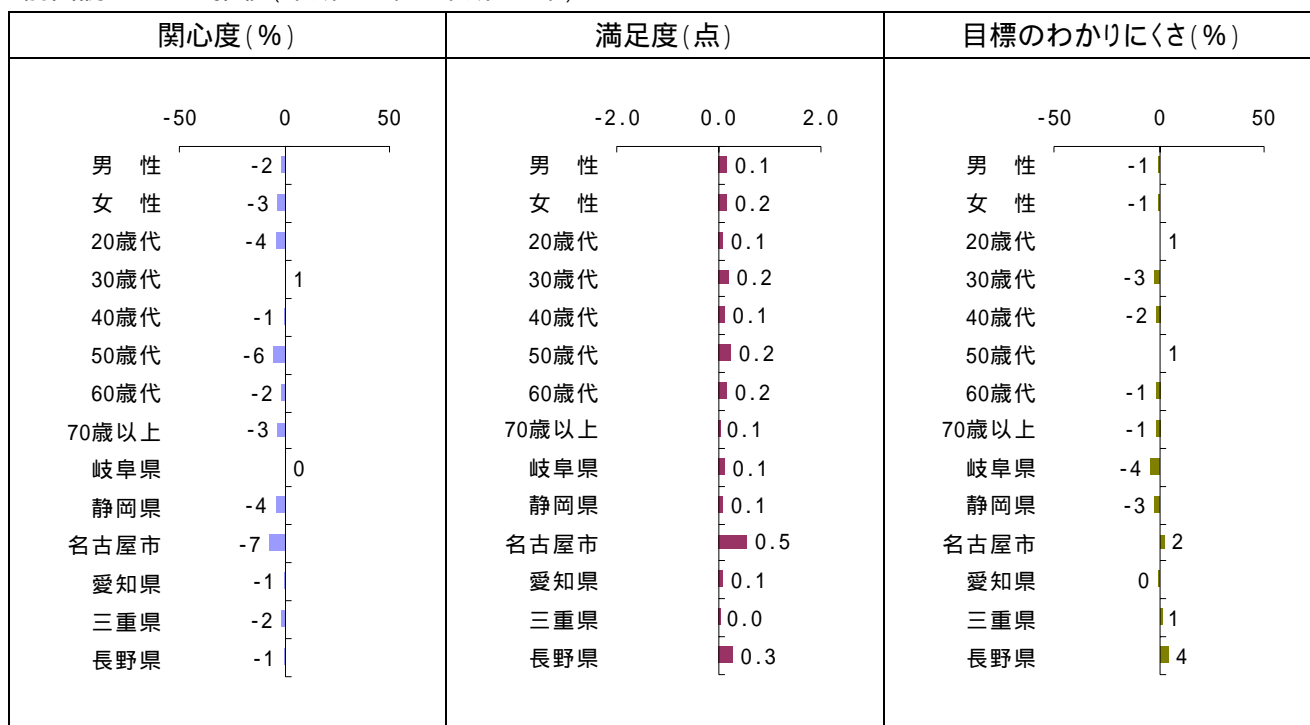
調査結果



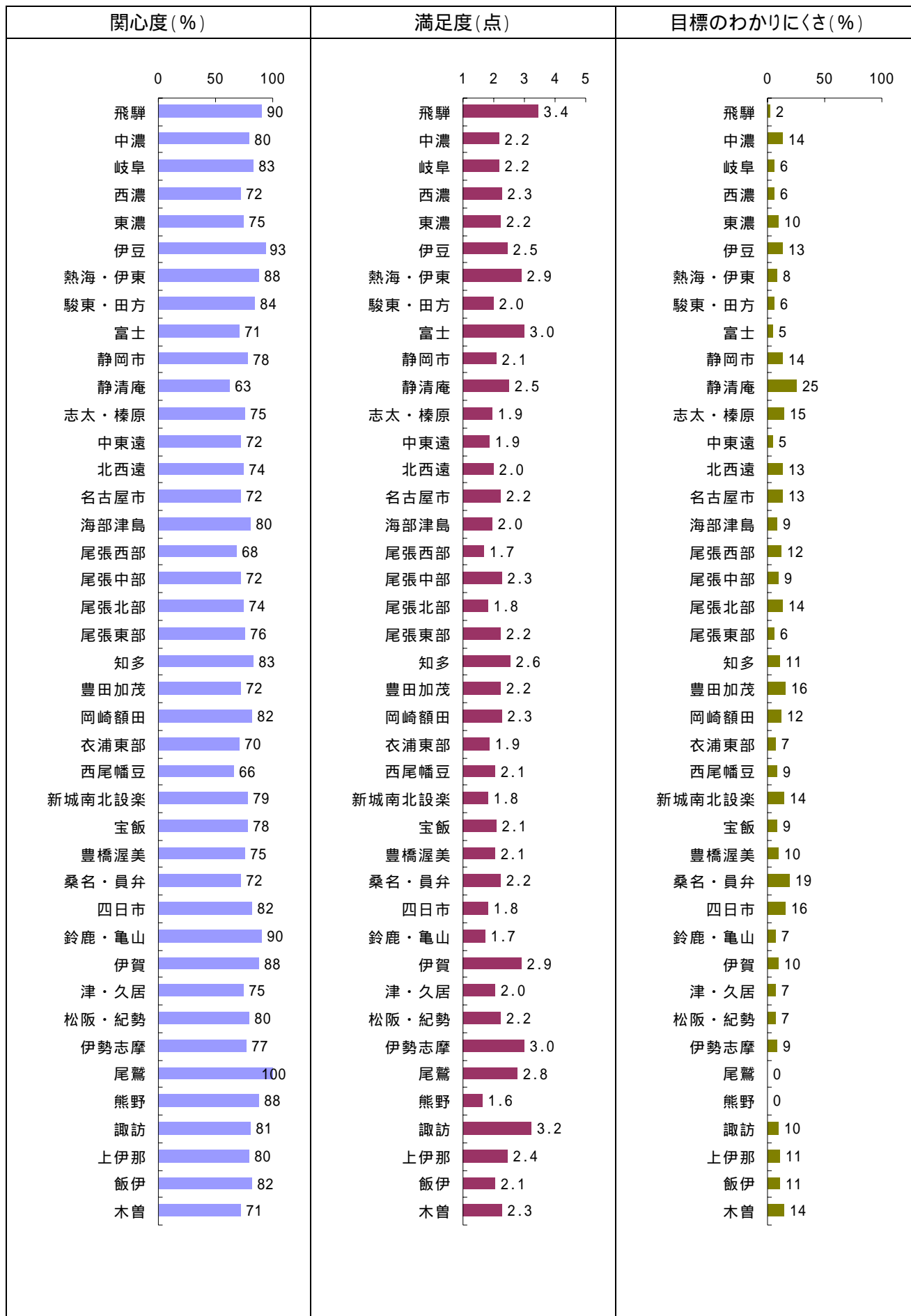
属性別集計



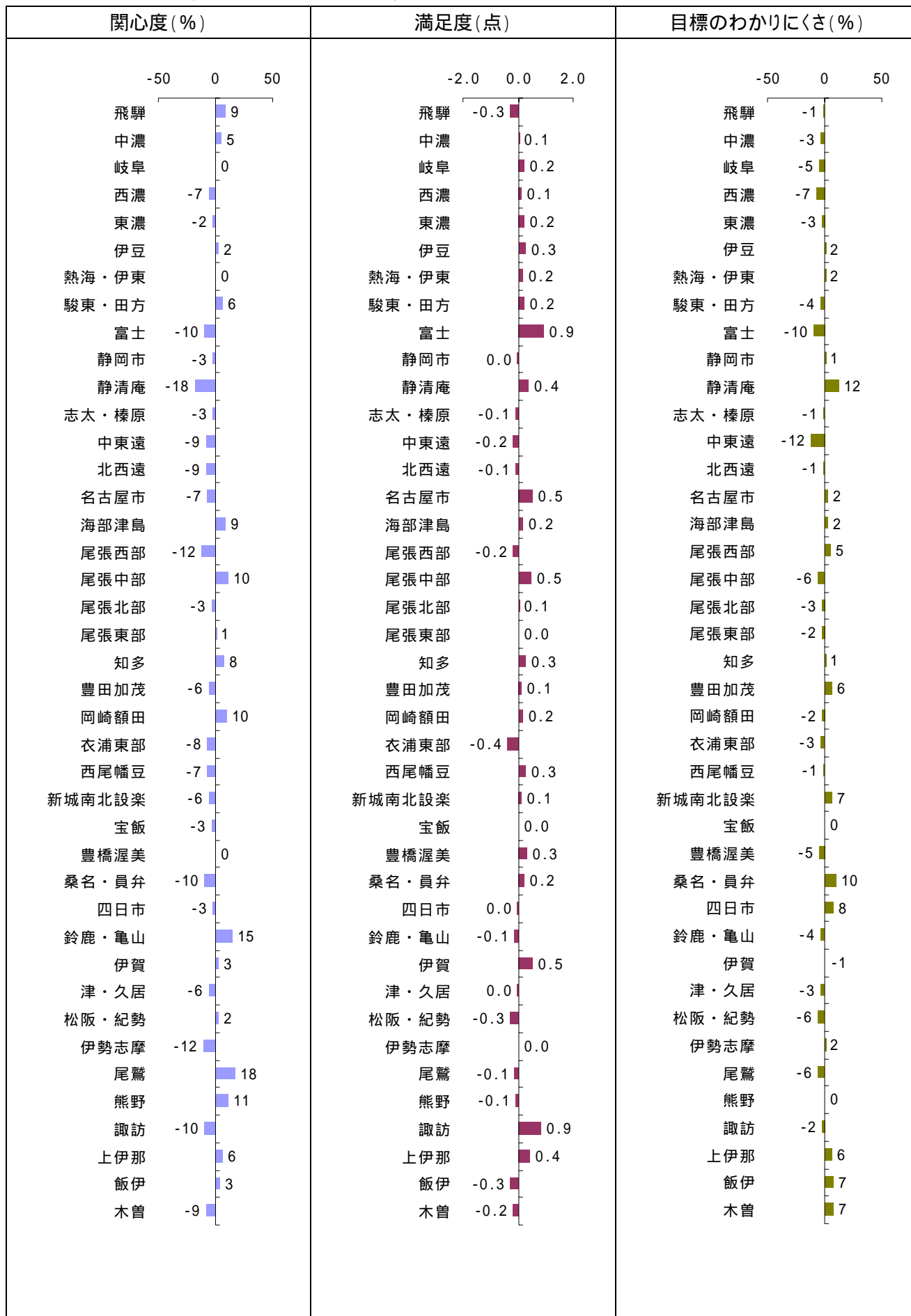
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

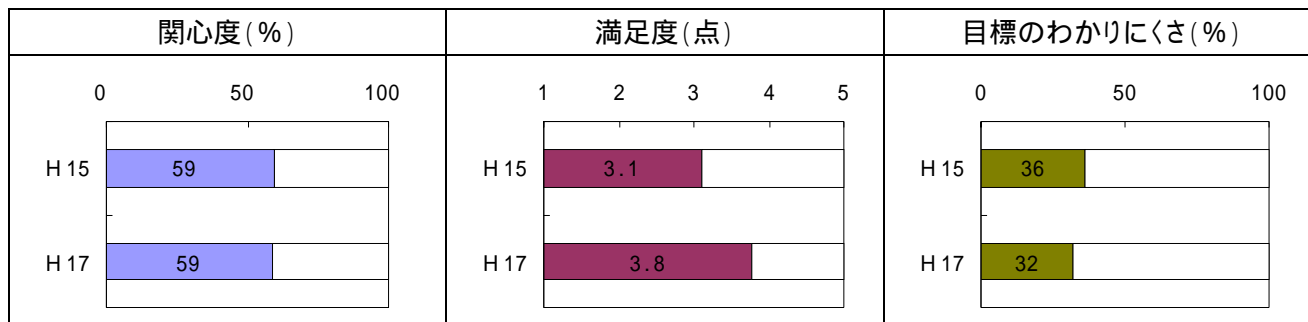


目標	- 1	国内外物流の経済性・確実性・安全性を向上します
関心度設問	問 26 - 1	中部地方の港湾や空港における物流サービスを良くすることについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度設問	問 26 - 2	中部地方と国内外との物流について、港湾や空港のサービスは、経済的で確実性が高いと思いますか？

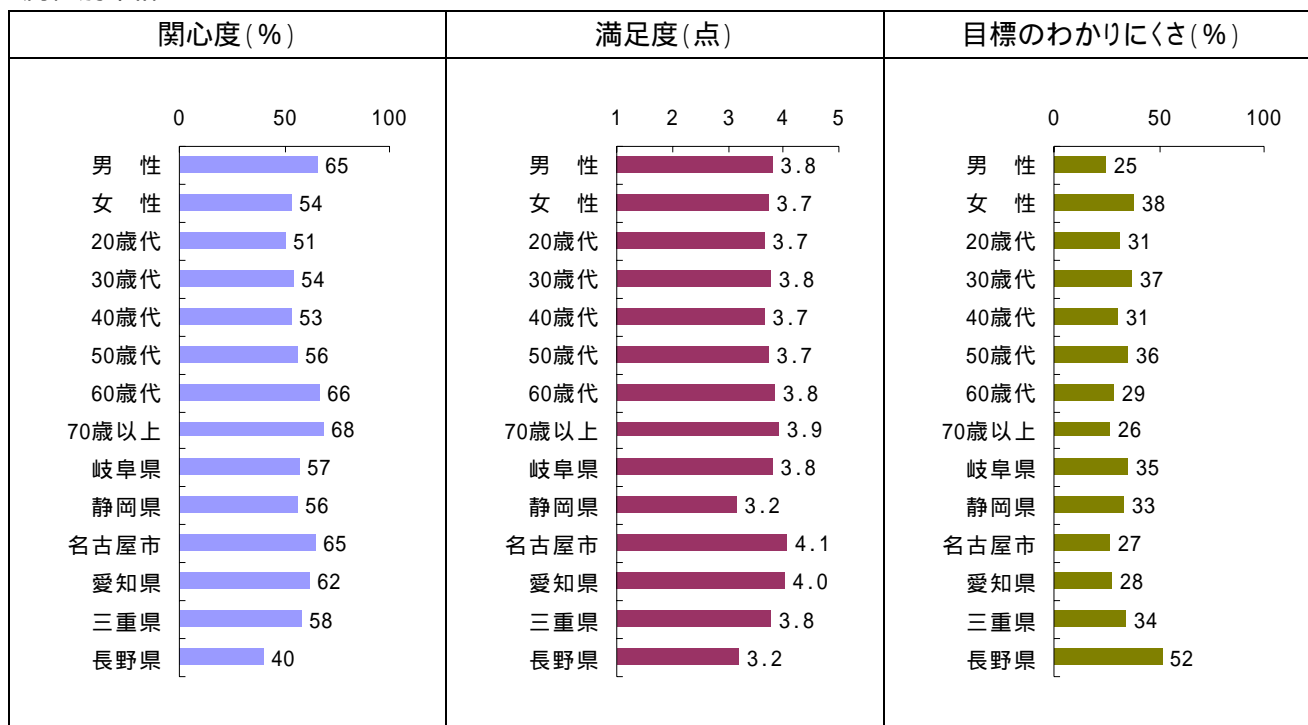
- ・ 満足度は 3.8 点と高い評価を得ており、平成 15 年度調査と比較すると、0.7 ポイントの高い増加を示しています。関心度は 59%と低く、平成 15 年度調査から変化は見られませんでした。
- ・ 全ての地域において満足度が増加しており、中部地方全域にわたって住民から評価が得られています。その中でも特に、名古屋港や中部国際空港の背後地域となる名古屋市をはじめとした愛知県西部や岐阜県の各地域での伸びが大きくなっています。
- ・ この要因として、伊勢湾スーパー中枢港湾プロジェクトの進展や、中部国際空港の貨物取扱量の順調な推移が報道などで取り上げられ、一般的に認知された結果であると考えられます。



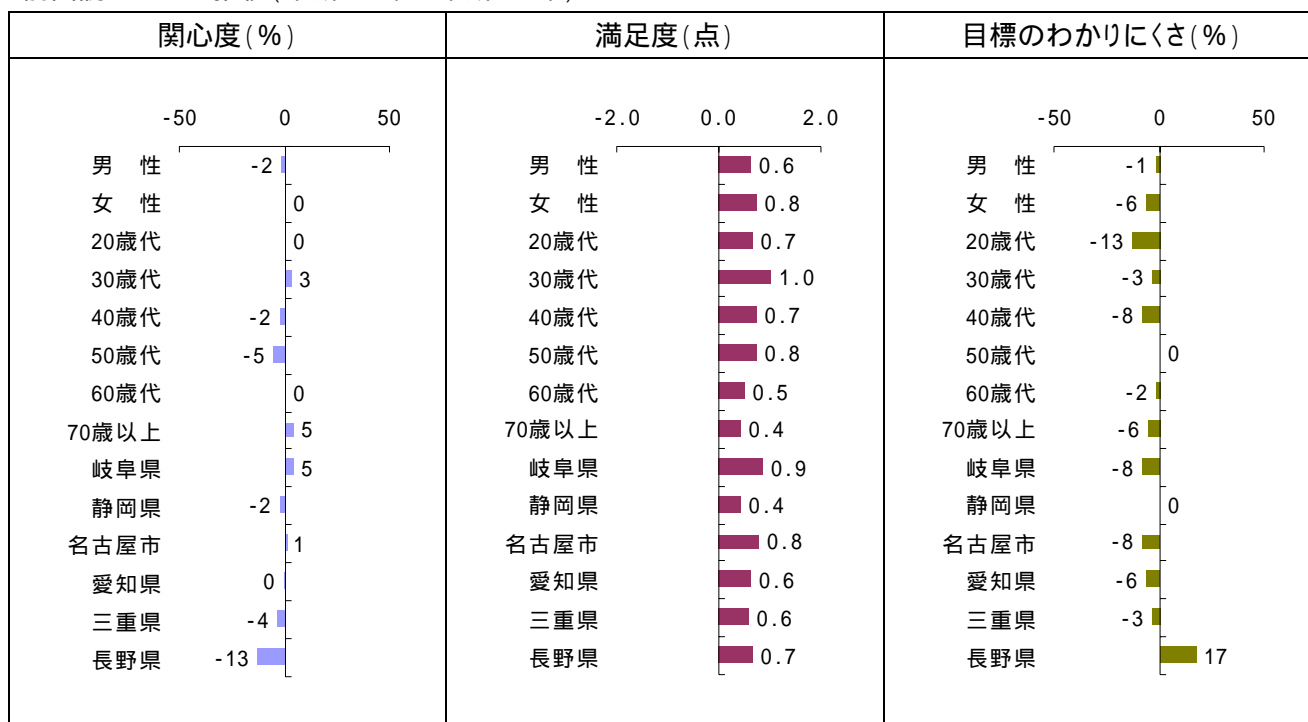
調査結果



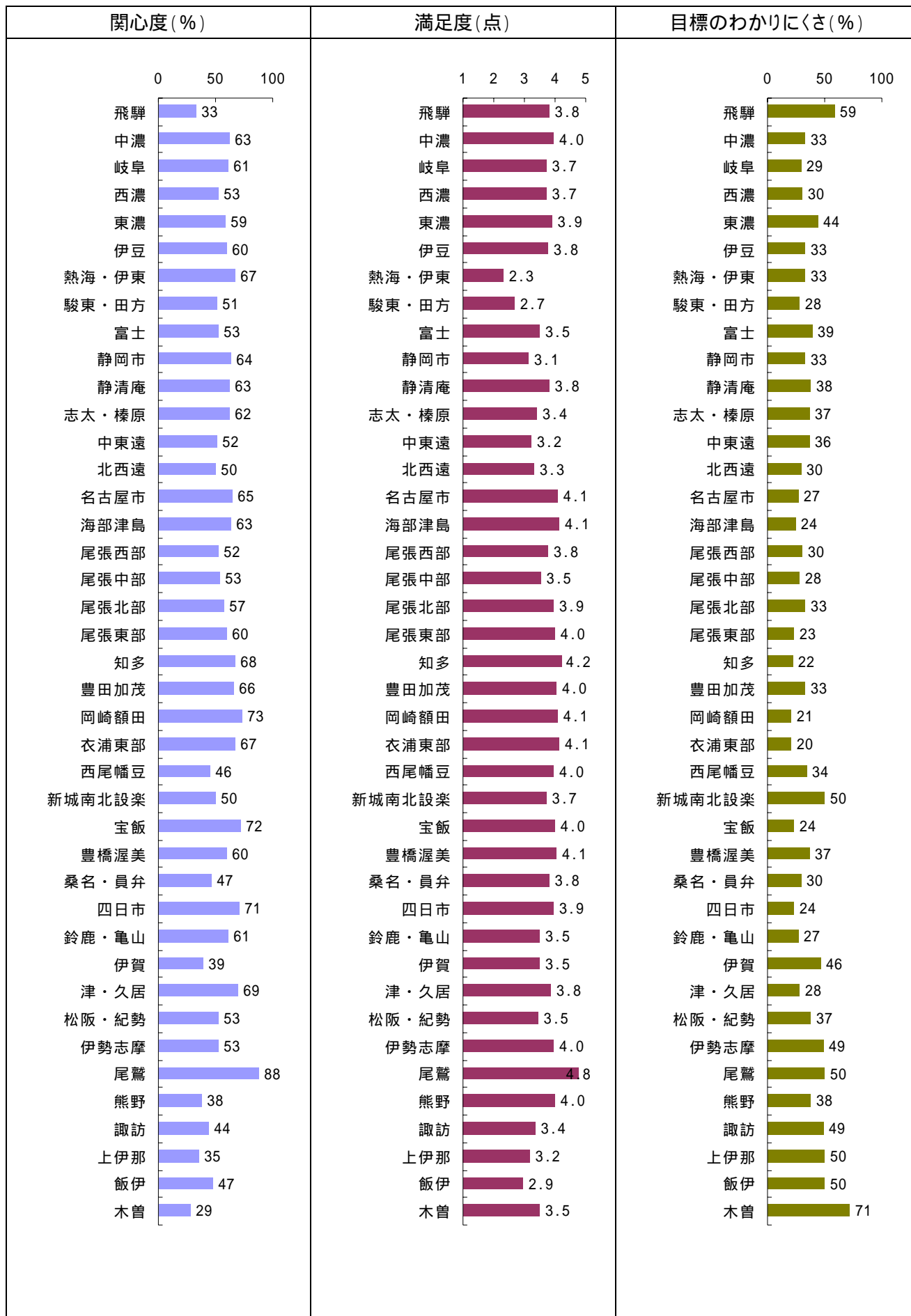
属性別集計



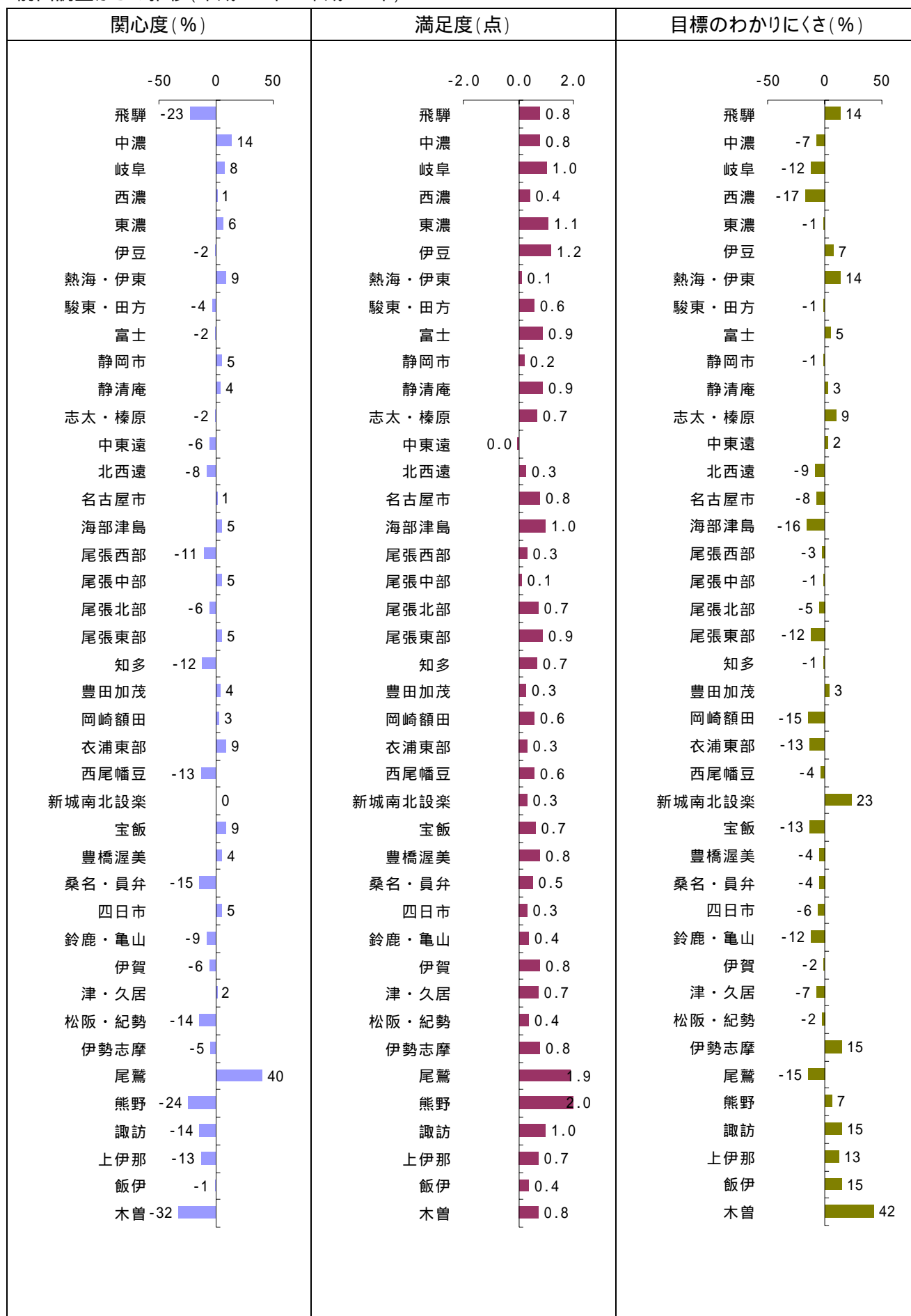
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



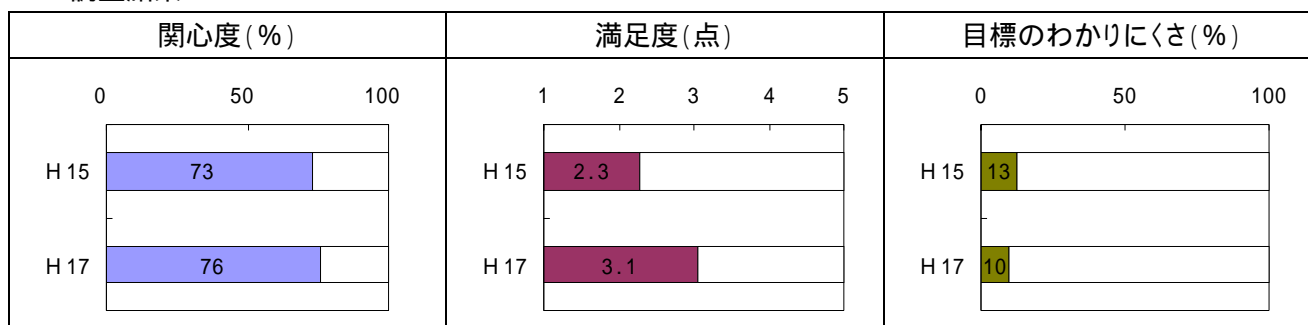
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



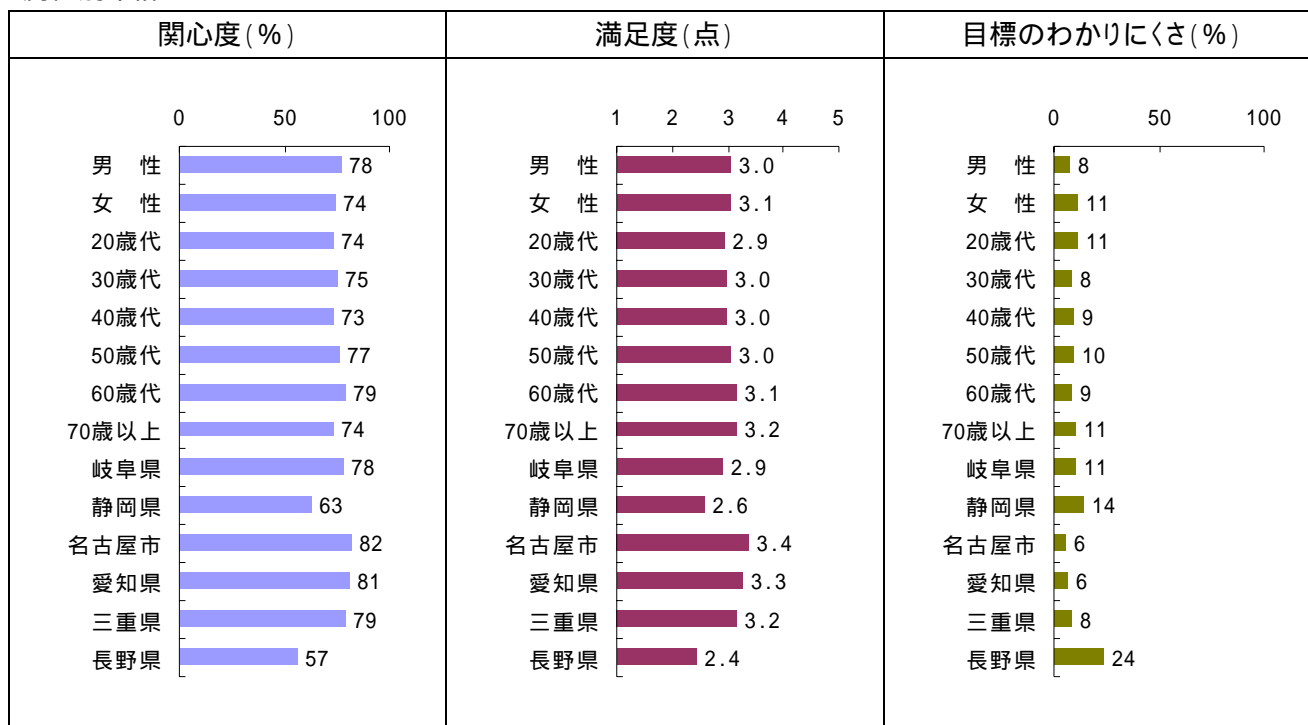
目標	- 2	港湾・空港までのアクセス時間を短縮します
関心度 設問	問 27 - 1	中部地方にある港湾や空港までの行きやすさについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 27 - 2	中部地方にある港湾や空港まで、道路、鉄道、船舶などを使って行きやすいと思いますか？

- ・ 関心度は 76% であり、平成 15 年度調査と比較して 3 ポイント増加しています。
- ・ 地域別では愛知県の知多や西三河の各地域、三重県の桑名・員弁や津・久居の満足度が 3.5 点と高く、また、平成 15 年度調査と比較して、静岡県東部や長野県を除き、概ね高い増加を示しています。
- ・ これは、中部国際空港の開港と知多横断道路や東海環状自動車道等の道路網、中部国際空港連絡鉄道、名古屋鉄道の高速度事業、津松阪港、鳥羽港と常滑港を結ぶ海上アクセス、各主要都市からの高速バス運行など中部国際空港へのアクセス整備が大きく進展したことが影響していると考えられます。

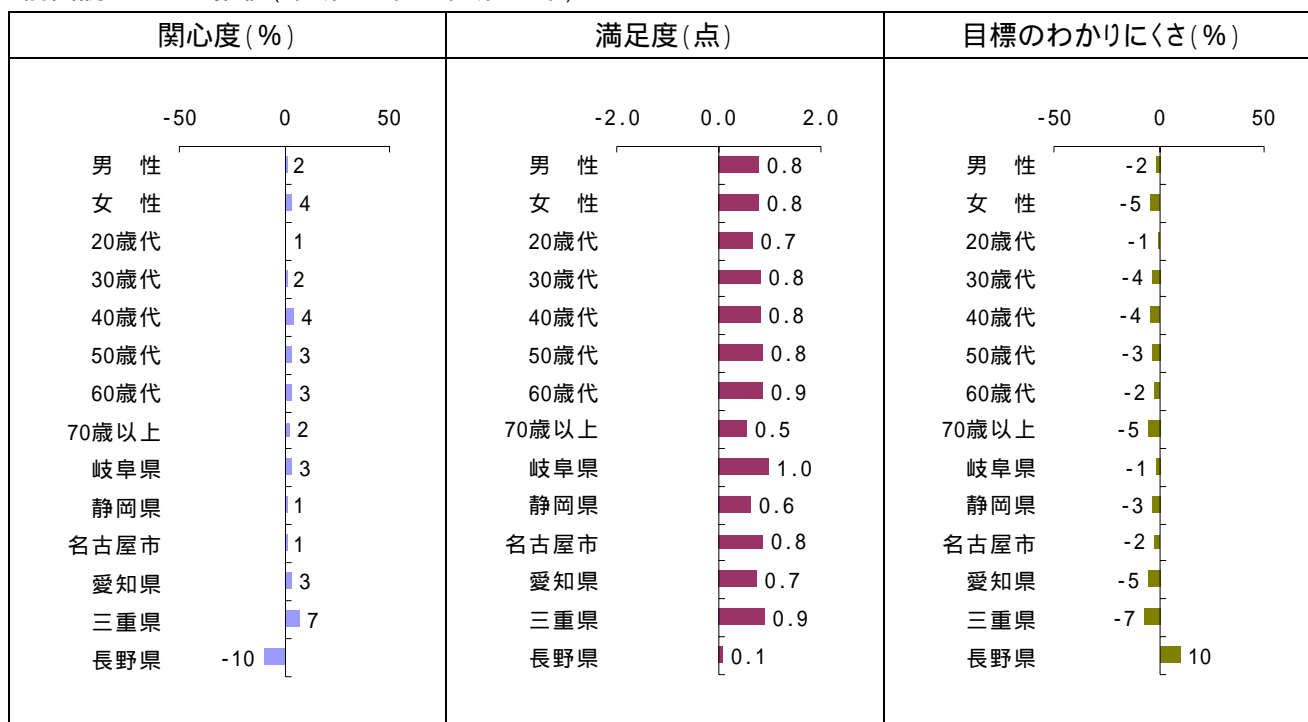
調査結果



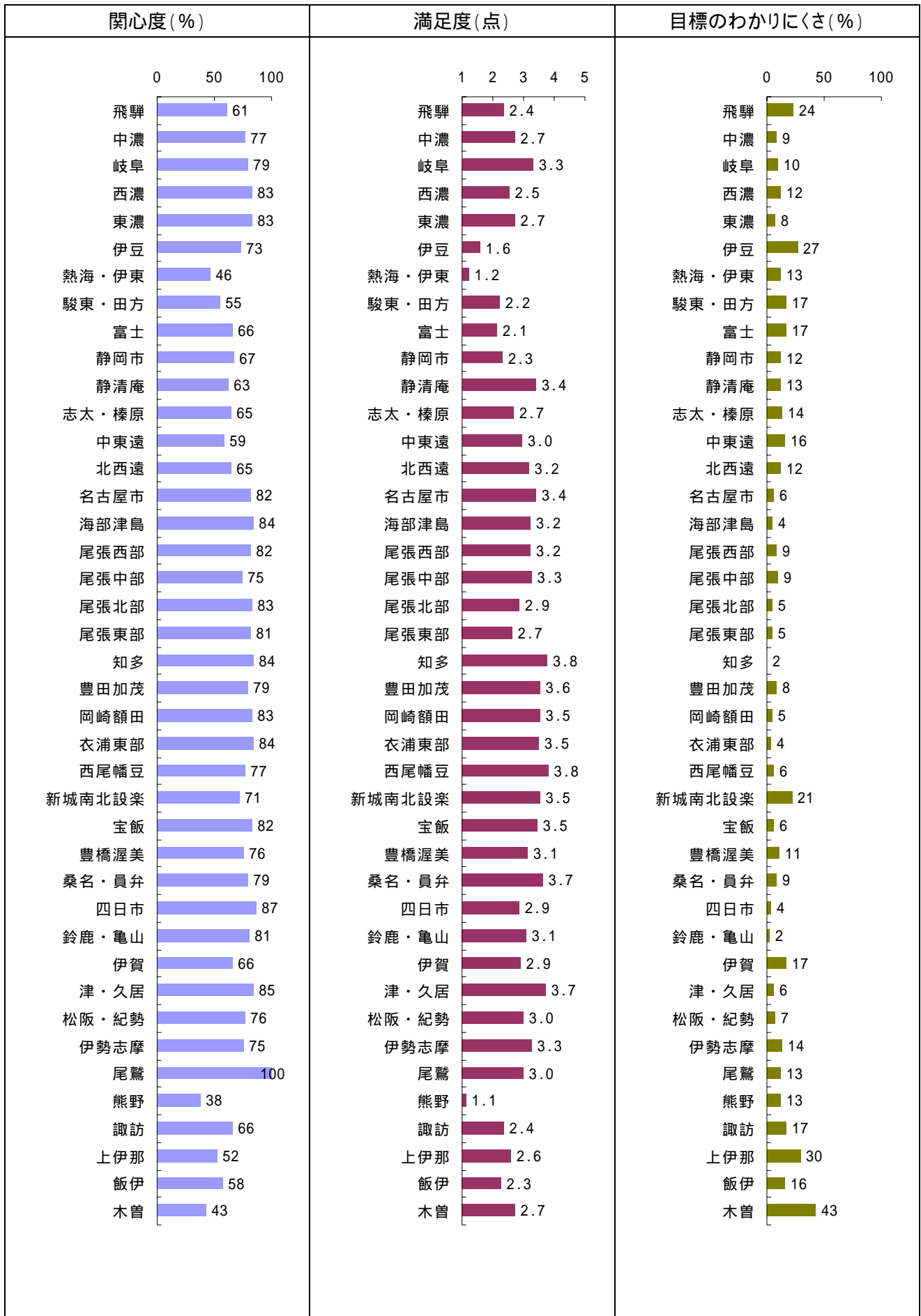
属性別集計



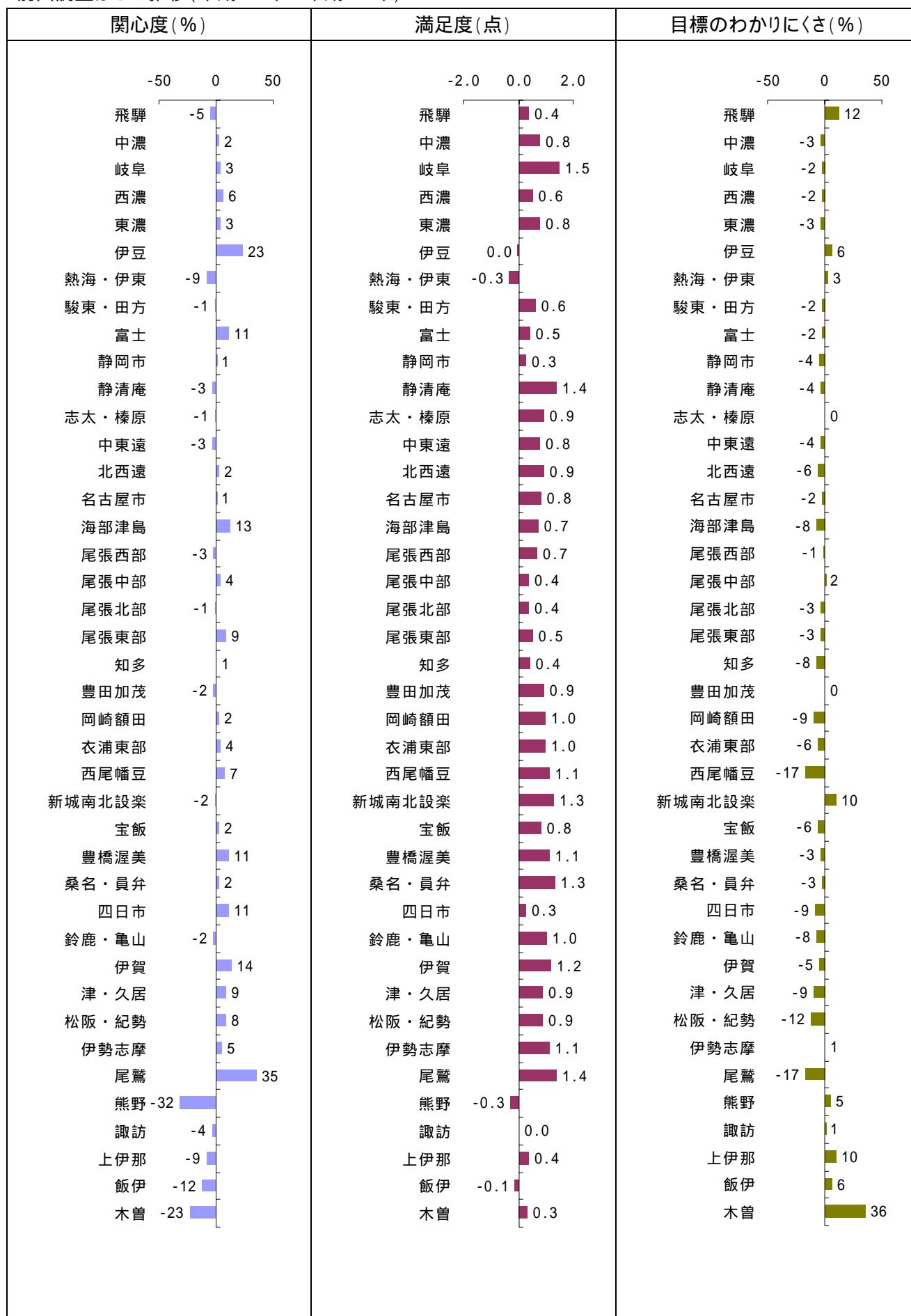
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

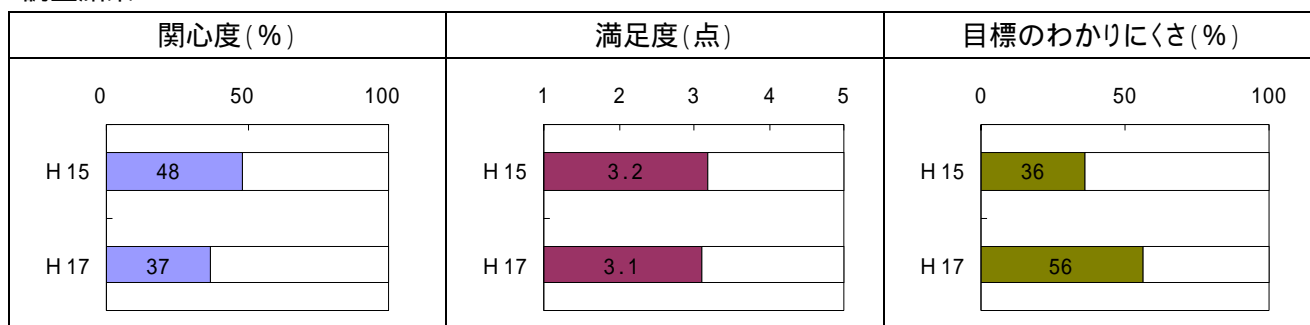


目標	- 3	港湾・空港での貨物引き取りまでの時間(リードタイム)を短縮します
関心度 設問	問 28 - 1	中部地方の港湾・空港での貨物引き取りまでの時間(リードタイム)を短縮することについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 28 - 2	中部地方は、港湾・空港での貨物引き取りまでの時間(リードタイム)は短縮されている地域であると思いますか？

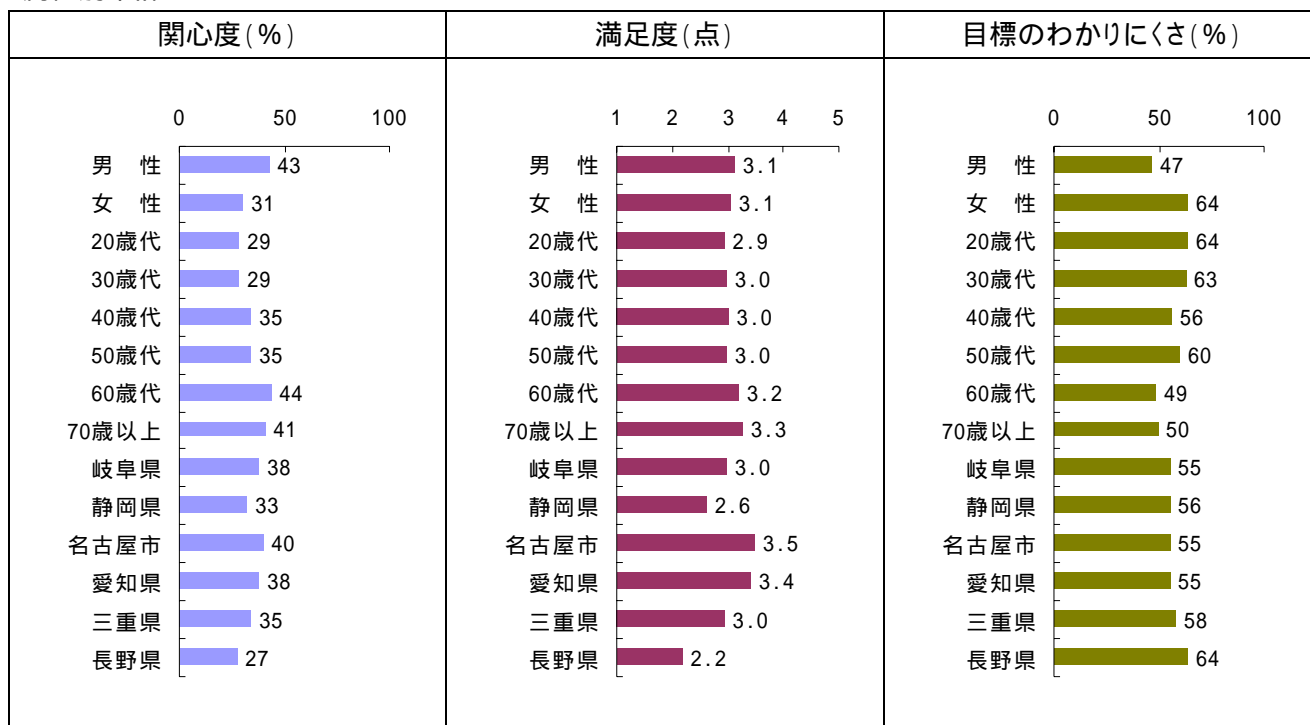
- ・ 満足度は 3.1 点と中間的な位置にありますが、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント減少しています。関心度は 37%と非常に低く、平成 15 年度調査から -11 ポイントと大幅に減少しています。
- ・ 地域別では、名古屋市や愛知県西三河の各地域で満足度は 3.5 点以上と高くなっています。
- ・ 一方、飛騨、静岡県東部や長野県等の名古屋市から離れた地域では、満足度が 2.5 点以下と低く、平成 15 年度調査と比べて得点の下がった地域も多くなっています。
- ・ 目標のわかりにくさは、56%と極めて高く、半数以上の住民が空港・港湾での貨物引き取りまでの時間について把握する情報を持っていない状況にあるといえます。



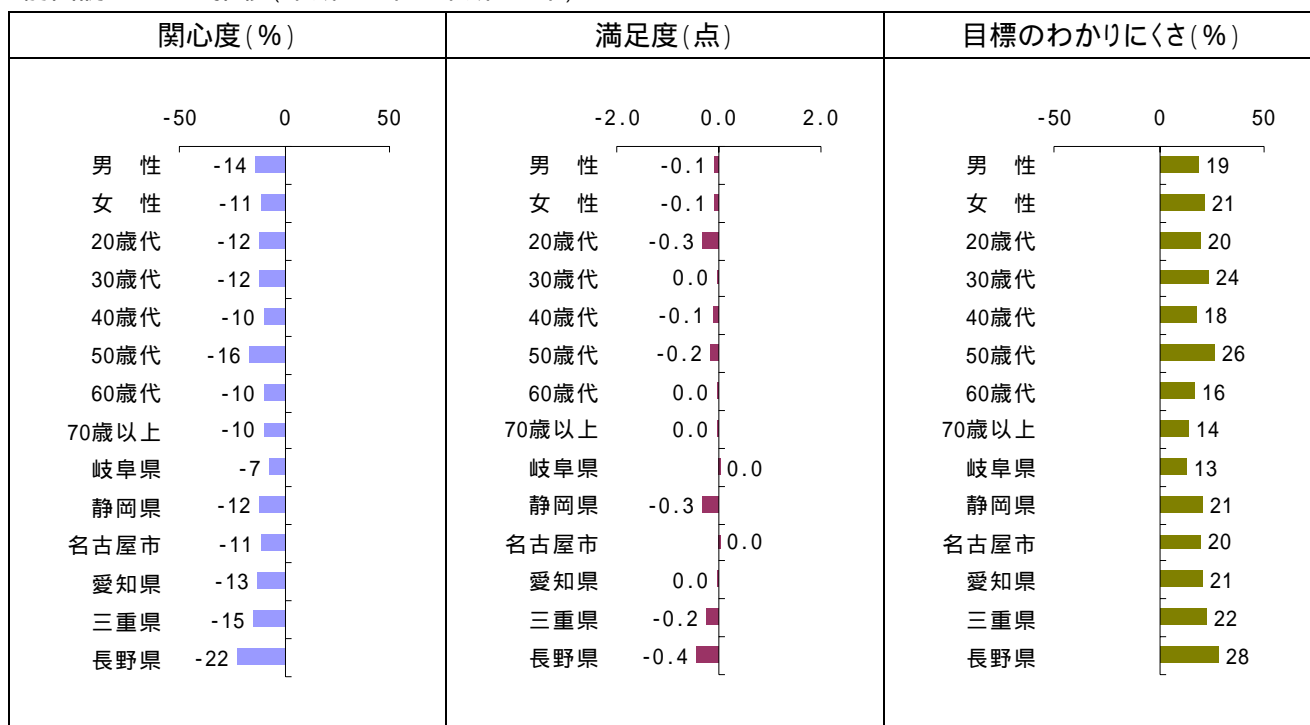
調査結果



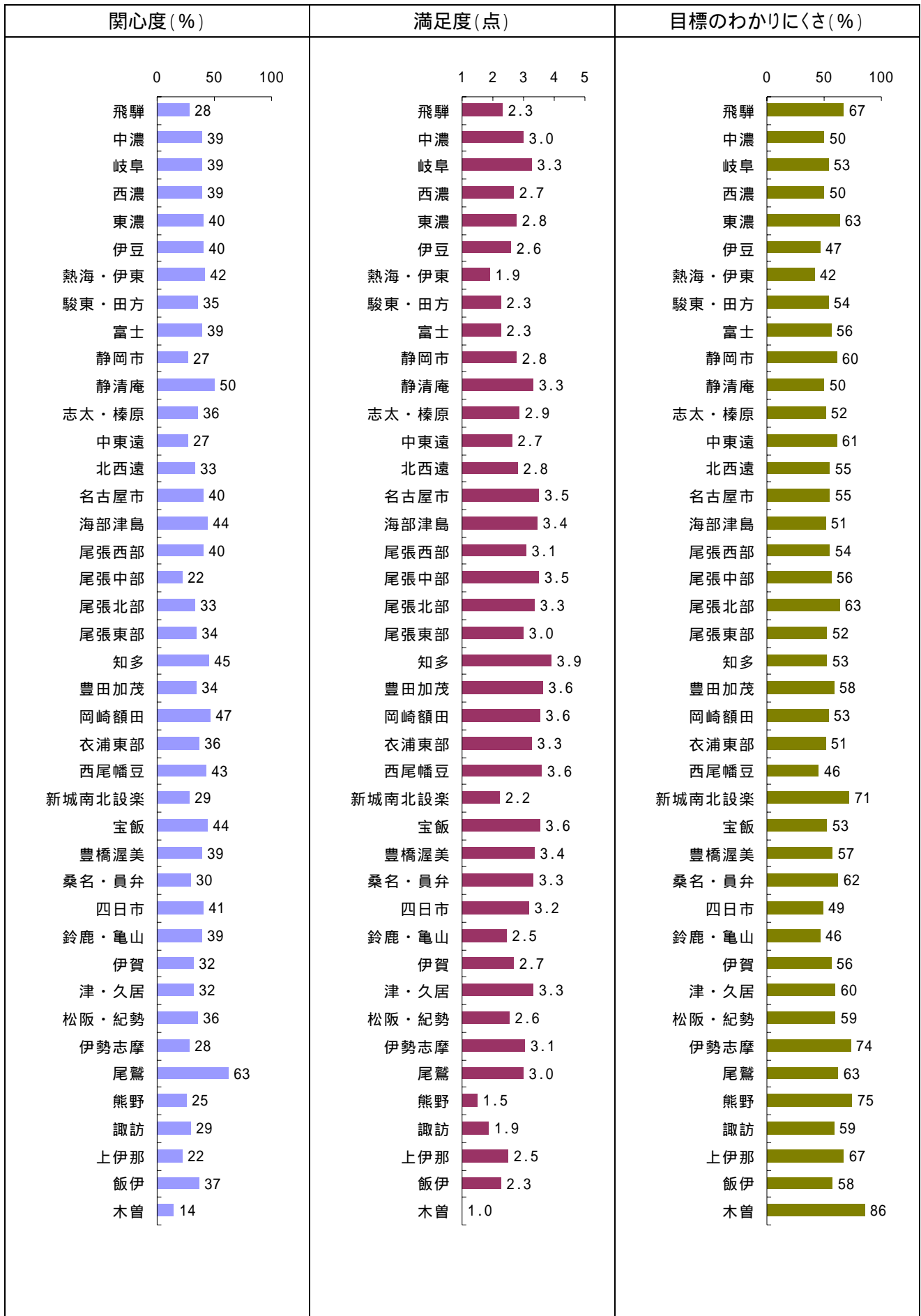
属性別集計



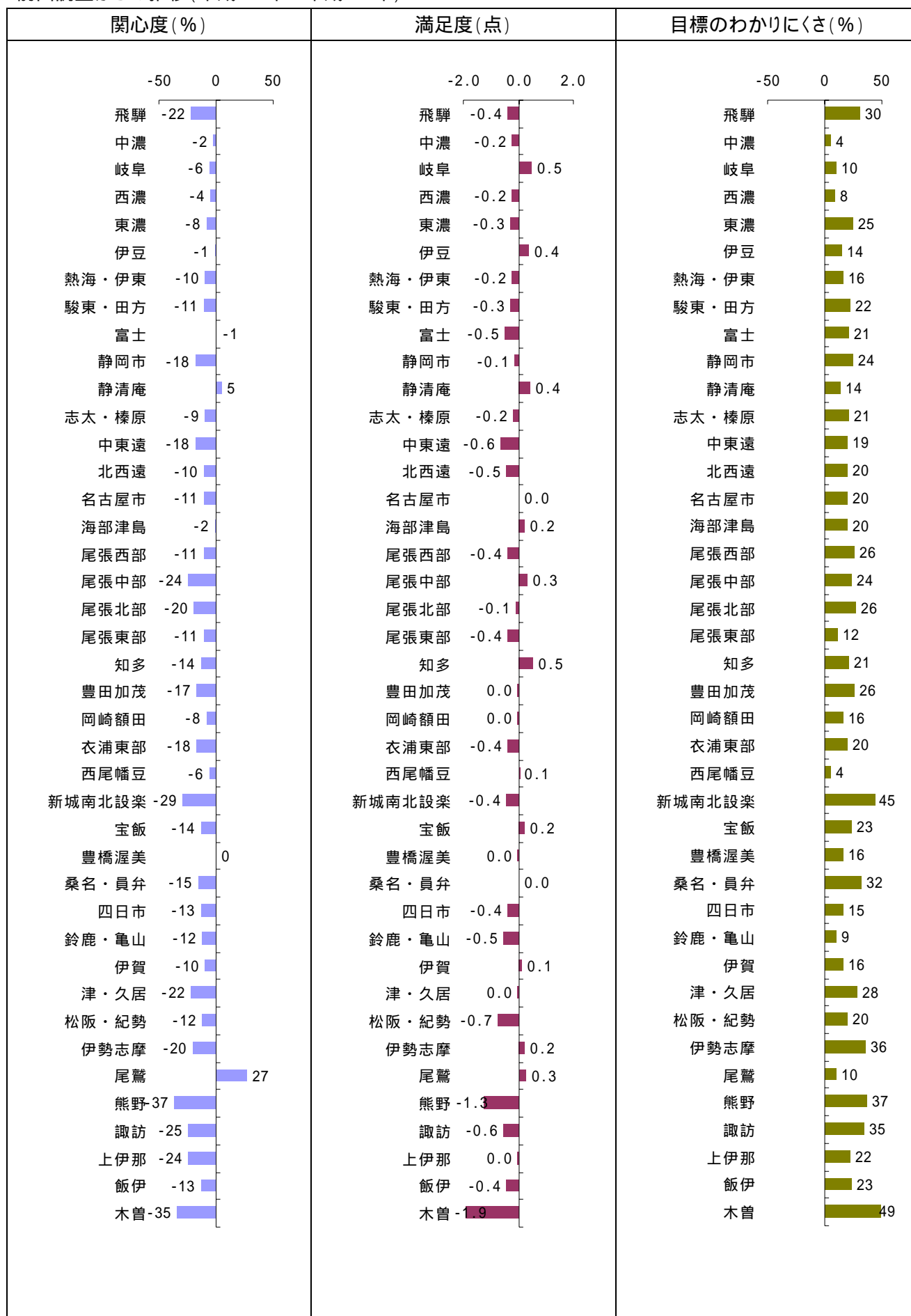
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



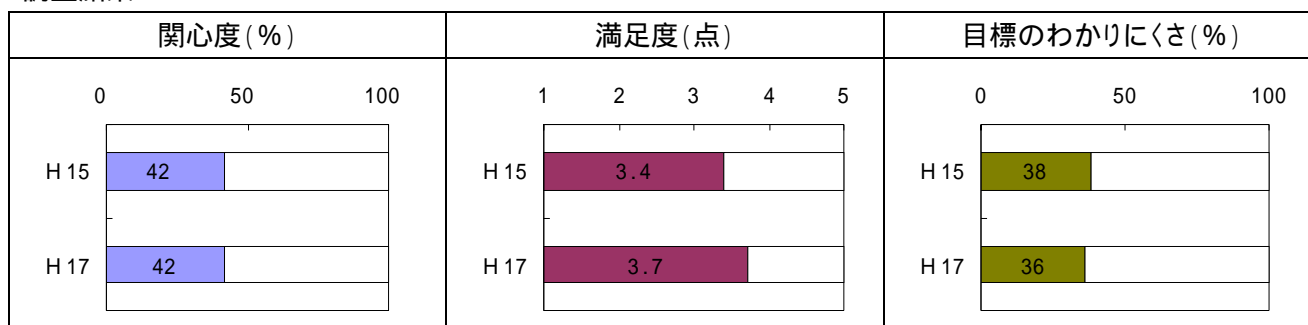
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



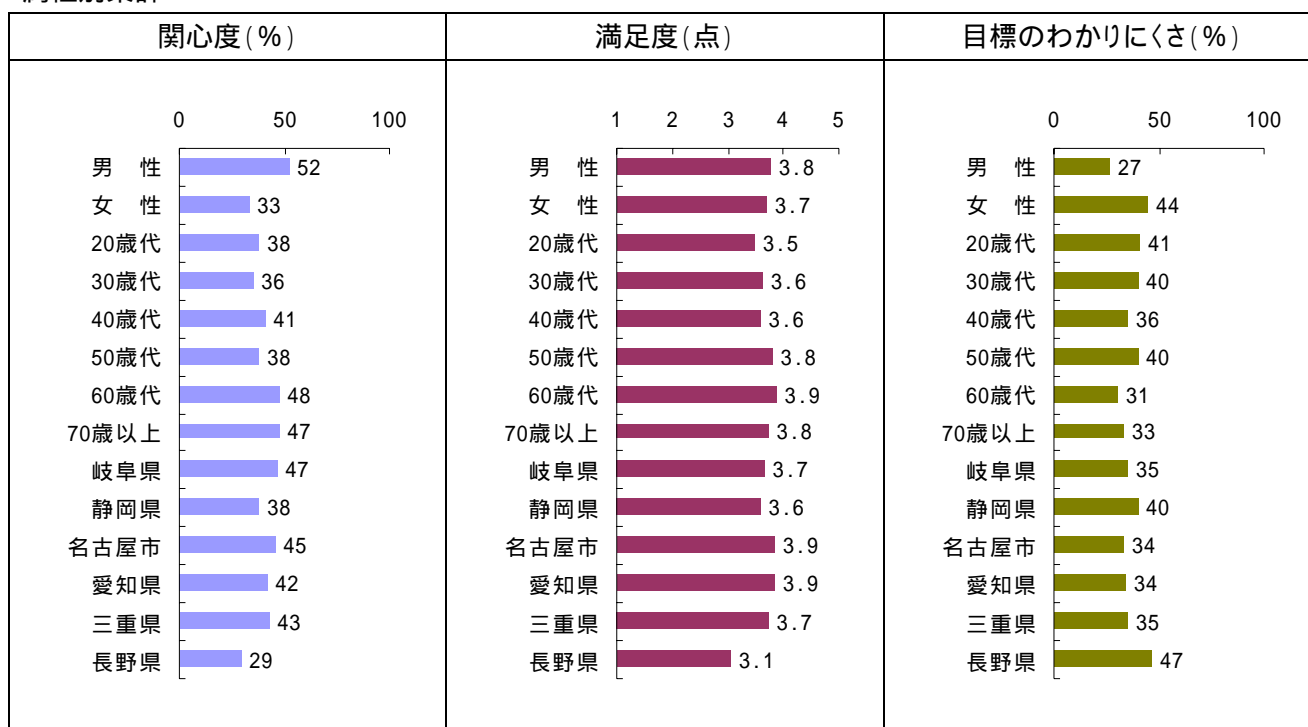
目標	- 4	企業が設備投資しやすい環境をつくります
関心度 設問	問 29 - 1	中部地方における、企業の設備投資のしやすさについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 29 - 2	中部地方は企業が設備投資や立地しやすい地域であると思いますか？

- ・ 満足度は 3.7 点と高く、平成 15 年度調査と比較して 0.3 ポイント増加しています。関心度は、平成 15 年度調査からの変化はなく、42%と非常に低い状況です。
- ・ 地域別では、愛知県の各地域の満足度が高く、特に、豊橋渥美が 4.1 点、尾張北部、知多、豊田加茂等で 4.0 点、また、中濃、伊豆等でも 4 点以上です。
- ・ 平成 15 年度調査との比較では、岐阜県、三重県の増加が大きく、J R 岐阜駅前の企業誘致、三重県では自動車、半導体、液晶関連の設備投資が寄与したと考えられます。
- ・ 一方、長野県の上伊那と木曽の 2 地域は満足度が 3 点を下回り、特に木曽では平成 15 年度調査から 0.4 ポイント減少しています。この 2 地域では関心度もそれぞれ 20%、14%と極めて低く、企業誘致に積極的でないことが読み取れます。

調査結果



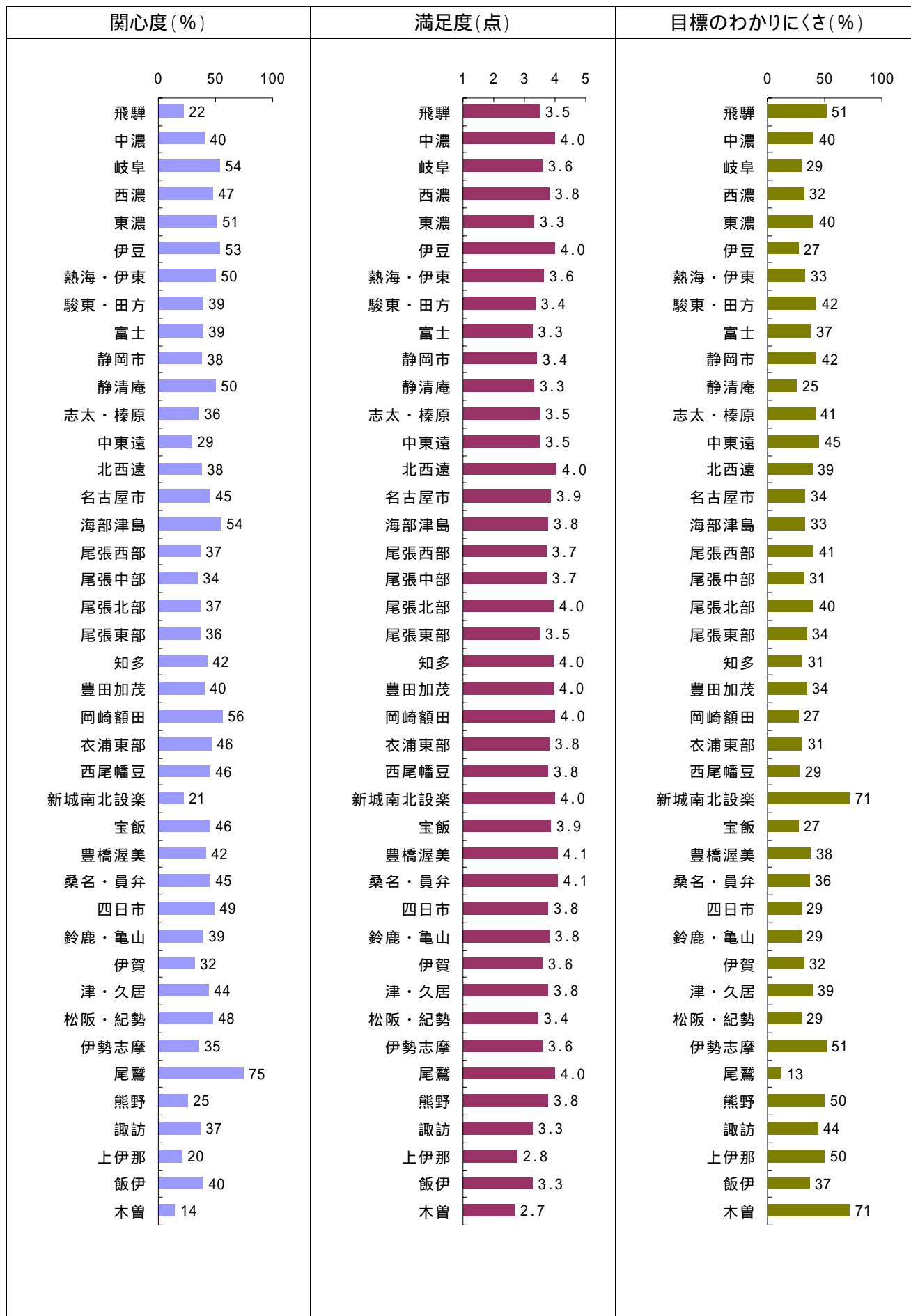
属性別集計



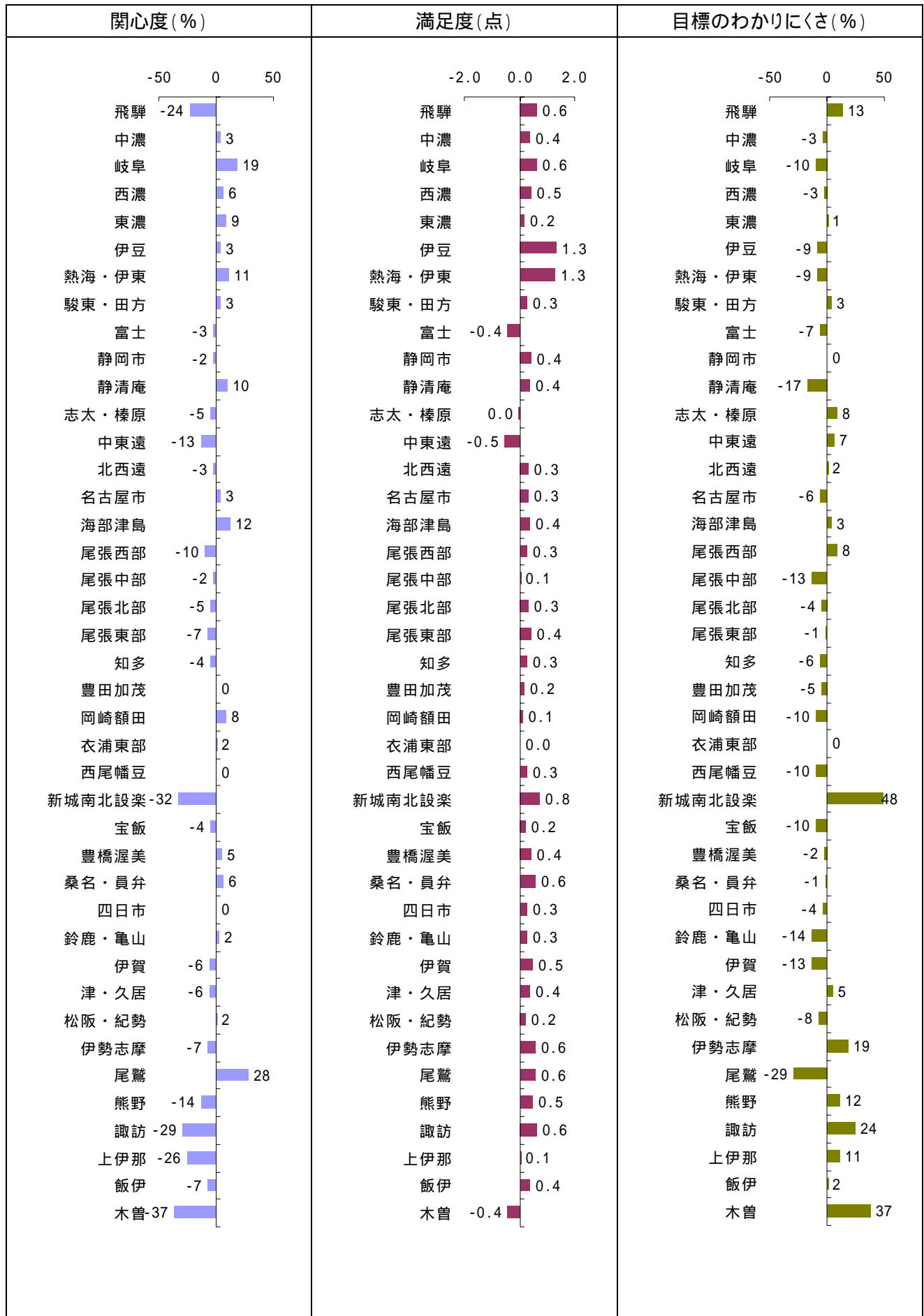
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

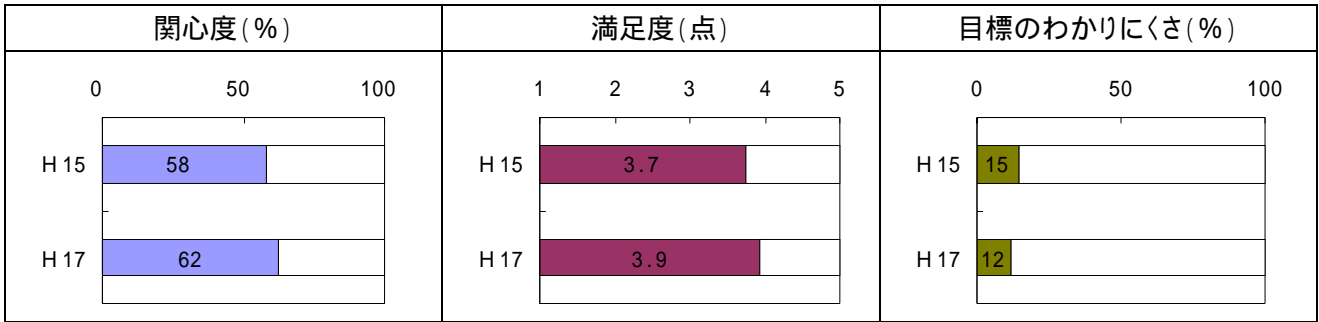


目標	- 1	名古屋の賑わいを創出し、都市再生を推進します
関心度 設問	問 30 - 1	名古屋の賑わいについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 30 - 2	名古屋は人が集い、賑わいがある都市であると思いますか？

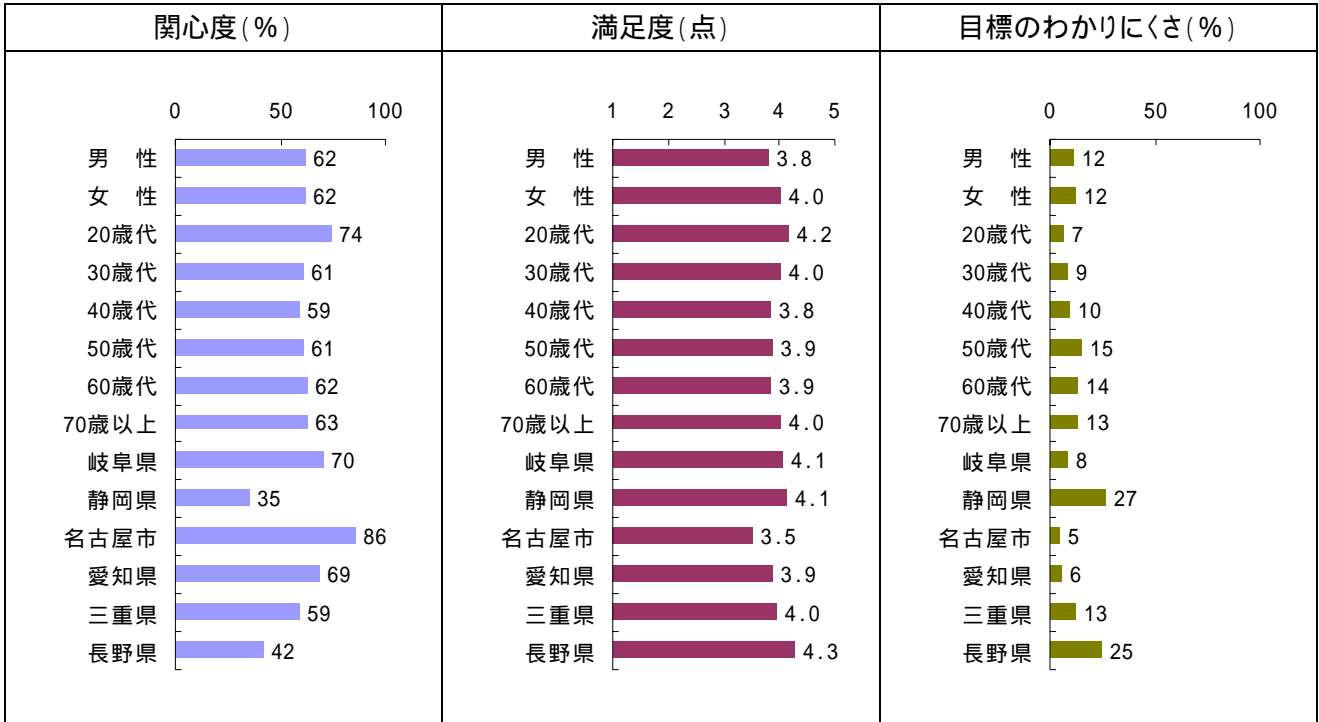
- ・ 満足度は 3.9 点と高く、平成 15 年度調査と比較して 0.2 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 62%と低いものの、平成 15 年度調査と比較して 4 ポイント増加しています。
- ・ 地域別では、名古屋市の満足度が 3.5 点で、全地域の中で最も低い状況です。平成 17 年は、中部国際空港や愛・地球博といったビッグプロジェクト、製造業を中心とした好調な経済を反映して名古屋が全国的に注目された年であり、メディア等の影響により、名古屋以外の地域で満足度を押し上げていると考えることもできます。一方、名古屋市の場合は、東京や大阪を都市の賑わいの比較対象としている可能性があり、決して満足には至っていないと見ることもできます。
- ・ また、関心度においては、名古屋市は 86%で全地域の中で最も高く、中部地方の中核的な都市としての発展に対する期待の大きさが窺えます。
- ・ 一方、静岡市や北西遠（ともに 35%）など静岡県の多くの地域で 50%以下となっており、首都圏に近く、静岡市や浜松市では独自の都市圏を形成しているため、名古屋市の中核性強化に対する関心が低くなったと考えられます。



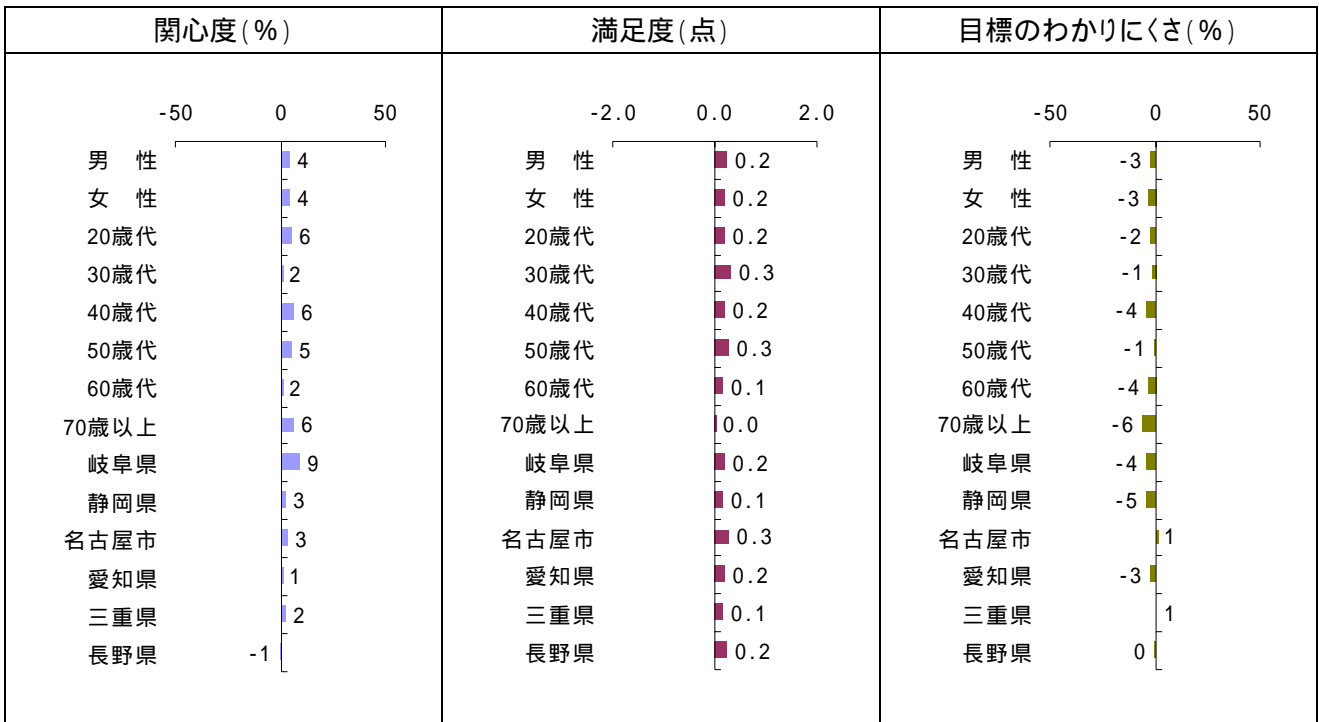
調査結果



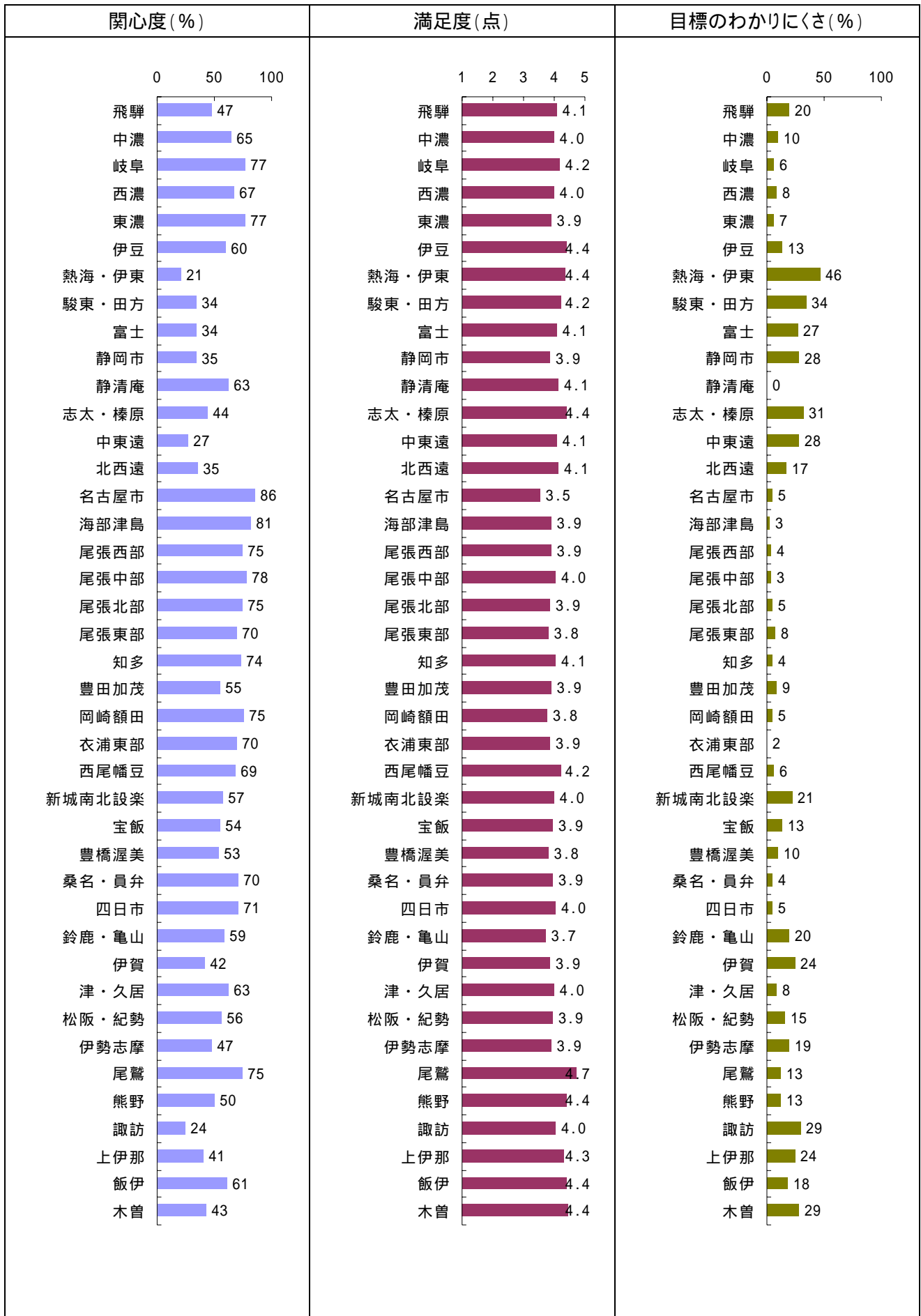
属性別集計



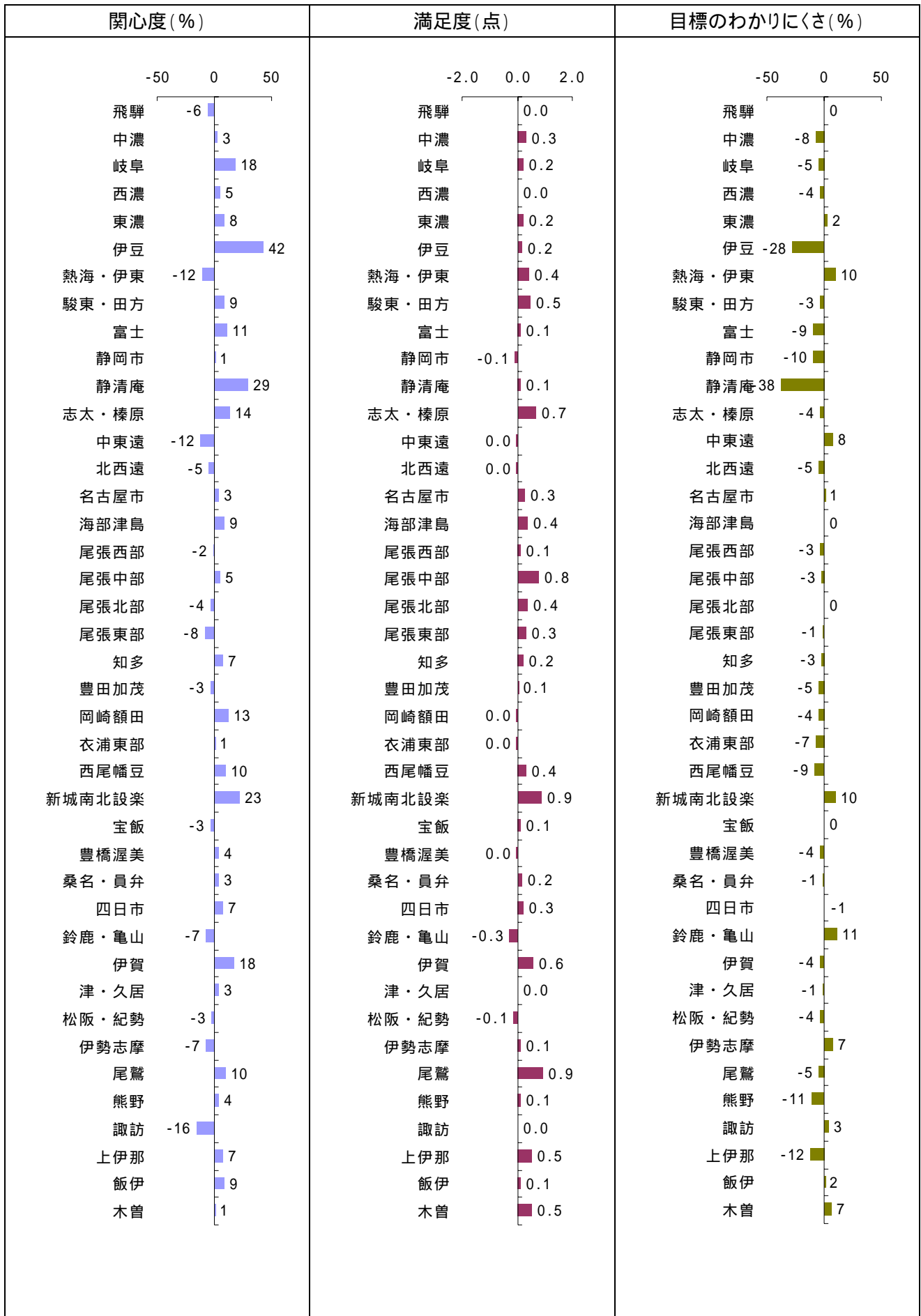
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



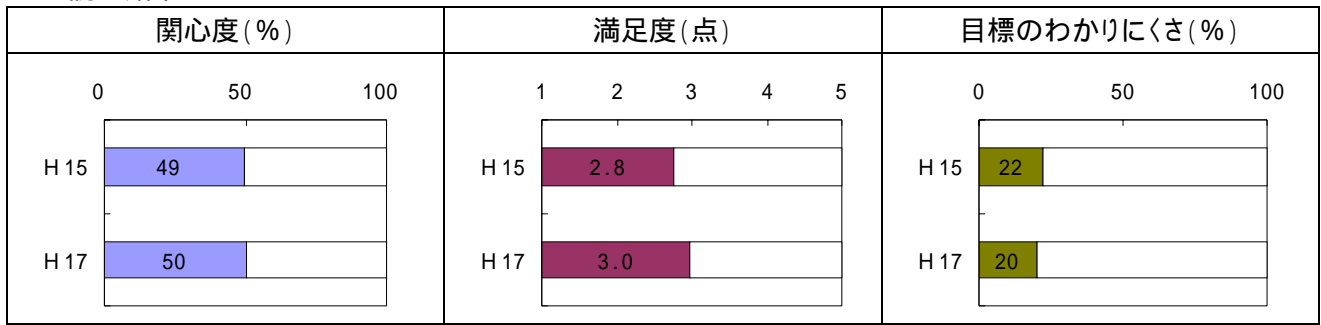
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



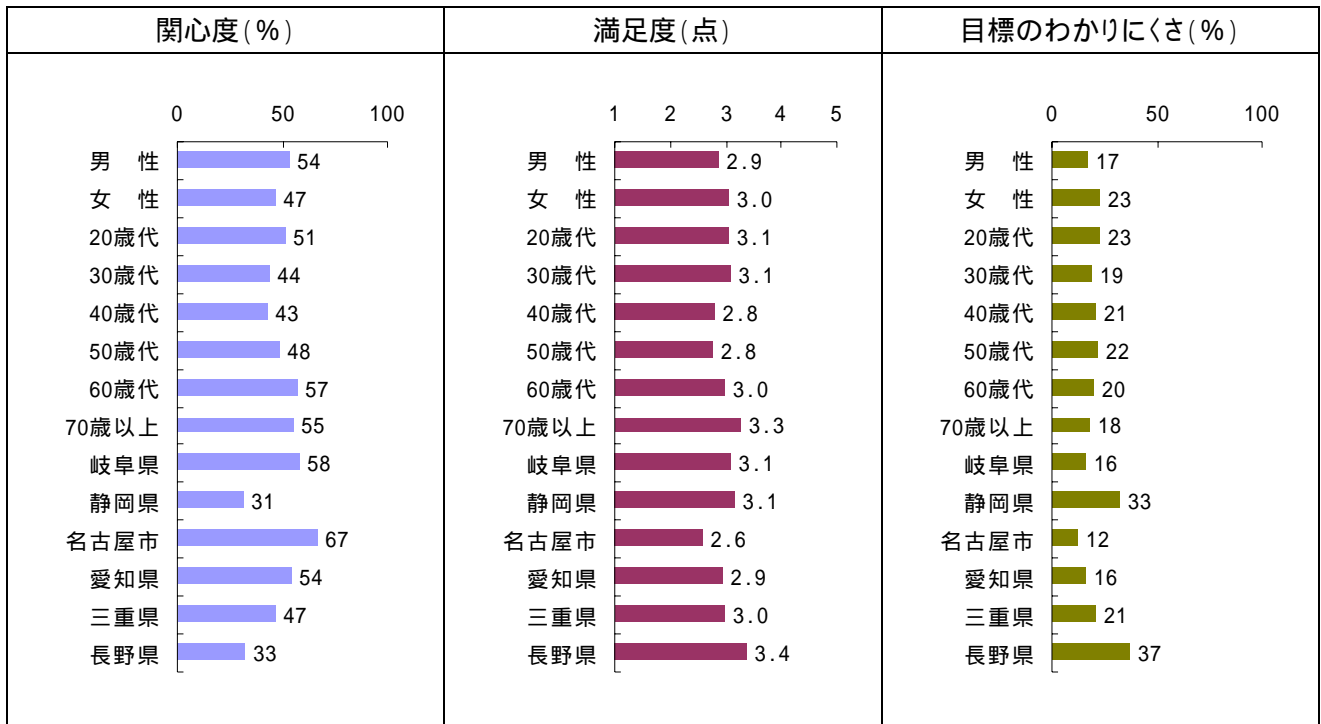
目標	- 2	名古屋の国際性を高めます
関心度 設問	問 31 - 1	名古屋の国際化(各種の国際会議が開催されるなど)について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 31 - 2	名古屋は各種の国際会議が開催されるなど、国際色豊かな都市であると思いますか？

- ・ 3.0点と中間的な位置にありますが、平成 15 年度調査と比較して 0.2 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 50%と低いものの、平成 15 年度調査と比較して 1 ポイントと高い増加を示しています。
- ・ 地域別では、名古屋市の満足度が 2.6 点であり、全地域の中で最も低く、厳しい評価となっています。これは、目標 - 1 と同様に、名古屋の注目度の高まりと名古屋市民の実感のギャップが反映していると考えられます。また、国際会議等の開催は、周辺地域に比べれば圧倒的に多いことも事実であり、周辺地域の住民は、名古屋市を東京や大阪などと比較するのではなく、「国際的な都市」であるかを絶対評価しているとも見ることができます。
- ・ 関心度について、名古屋市は 67%で他地域に比べて高いものの、目標 - 1 ほど関心度は高くありません。

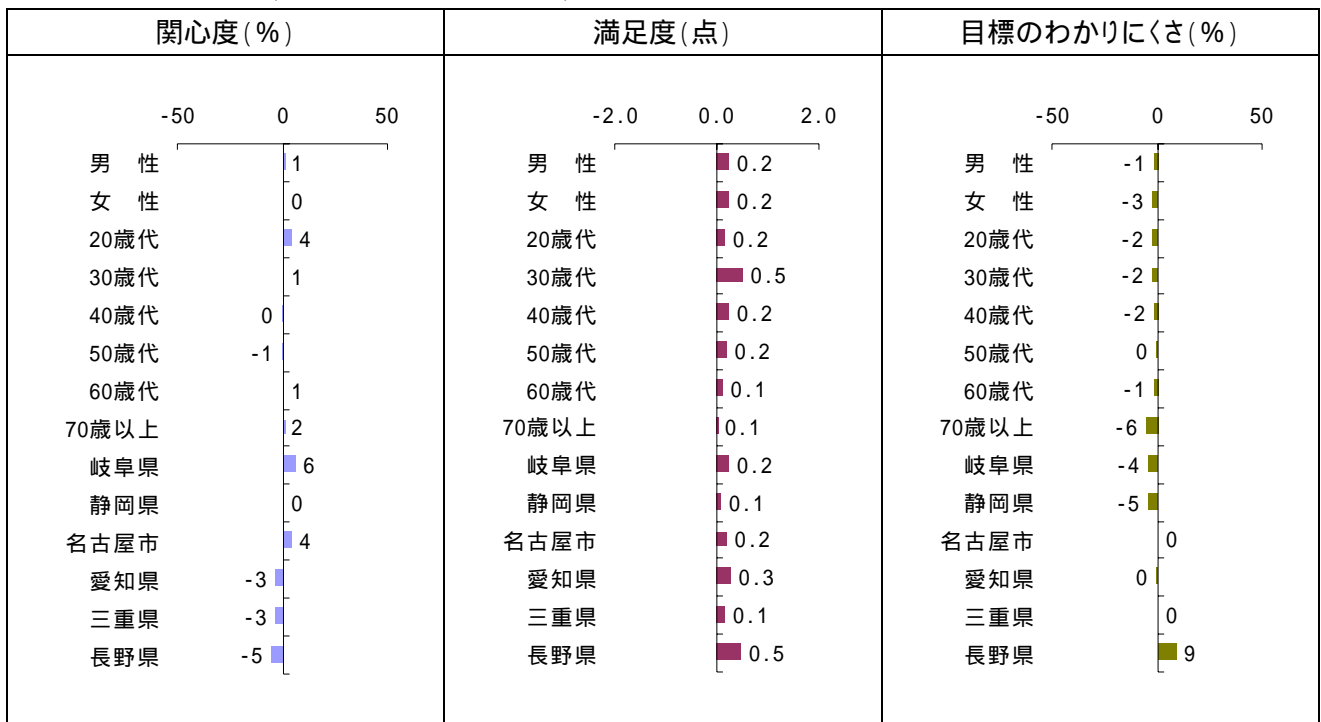
・ 調査結果



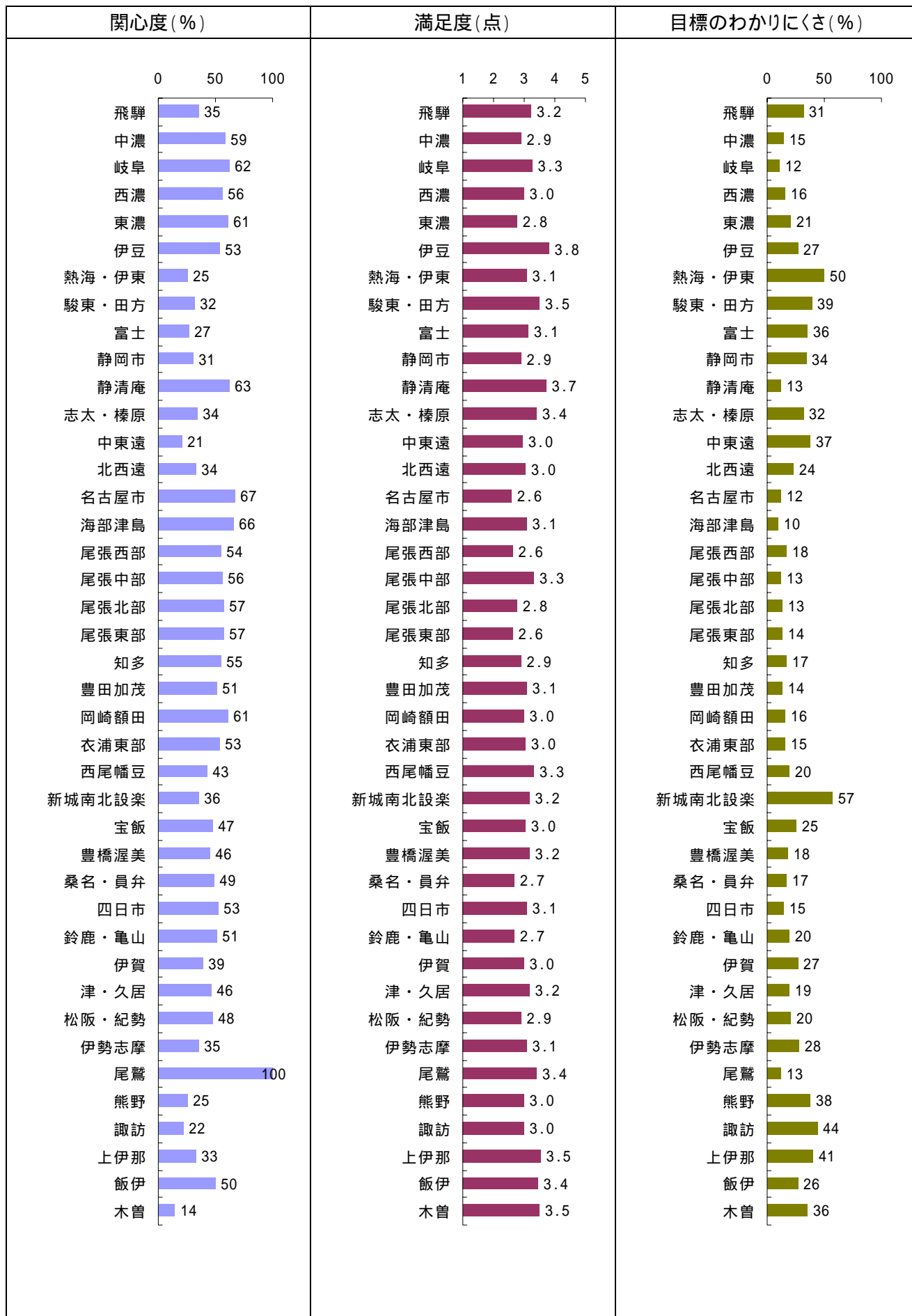
属性別集計



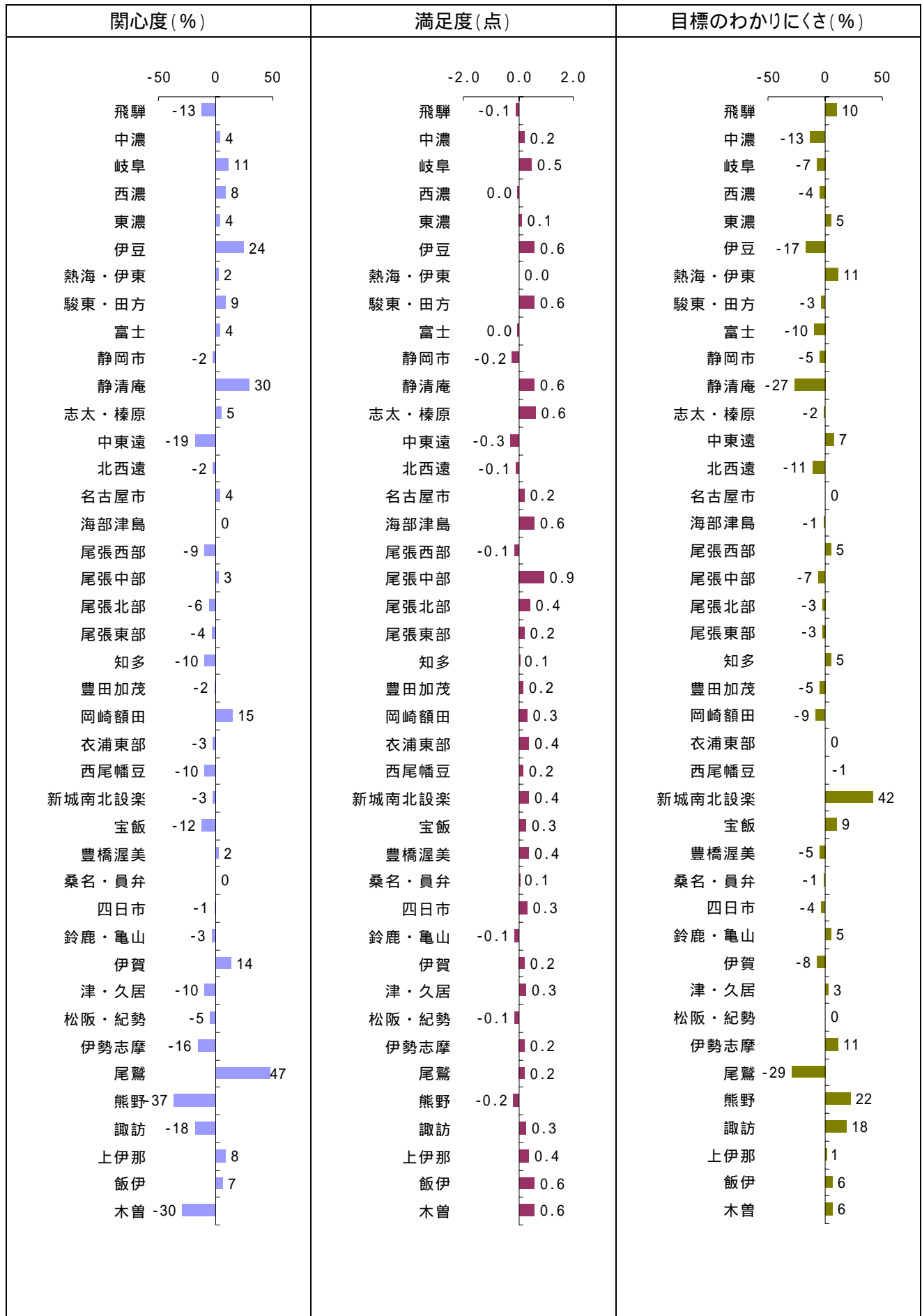
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

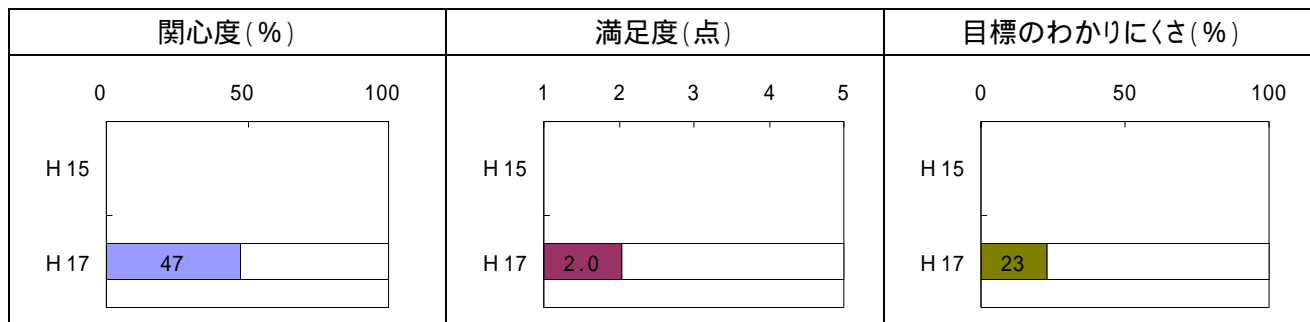


目標		(新規項目)
関心度 設問	問 32 - 1	外国人にとって暮らしやすい・周遊しやすい公共空間や案内誘導について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 32 - 2	あなたの住む地域における公共空間は外国人にとって使いやすく、わかりやすい案内誘導がなされていると思いますか？

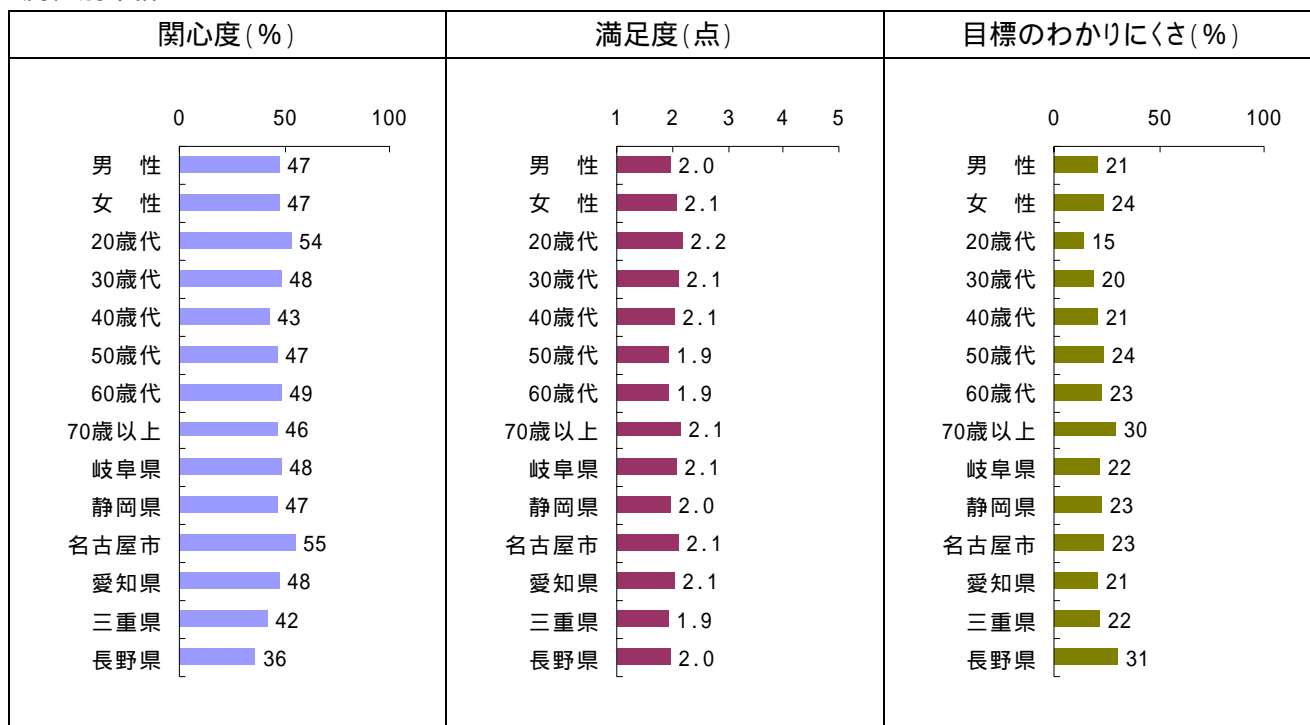
- ・ 満足度は 2.0 点、関心度は 47%と非常に低い。
- ・ 地域別の満足度は、豊田加茂の 2.5 点、北西遠の 2.4 点が高いが、いずれも古くから南米系外国人が多く生活している地域である。一方、新城南北設楽では 1.1 点、尾鷲で 1.2 点と極めて低くなっている。
- ・ 関心度は、地域による格差が大きく表れたが、都市部では岐阜（51）、静岡市（48）、北西遠（45）、名古屋市（55）、豊橋渥美（45）、四日市（43）など、50%前後で高くはない。また、主要な観光地を有する地域では、伊豆（67）がやや高いものの、富士（46）、伊勢志摩（49）では 40%台にとどまっている。
- ・ 目標のわかりにくさは 23%であり、特に外国人住民の少ない農産漁村地域で高くなる傾向にある。



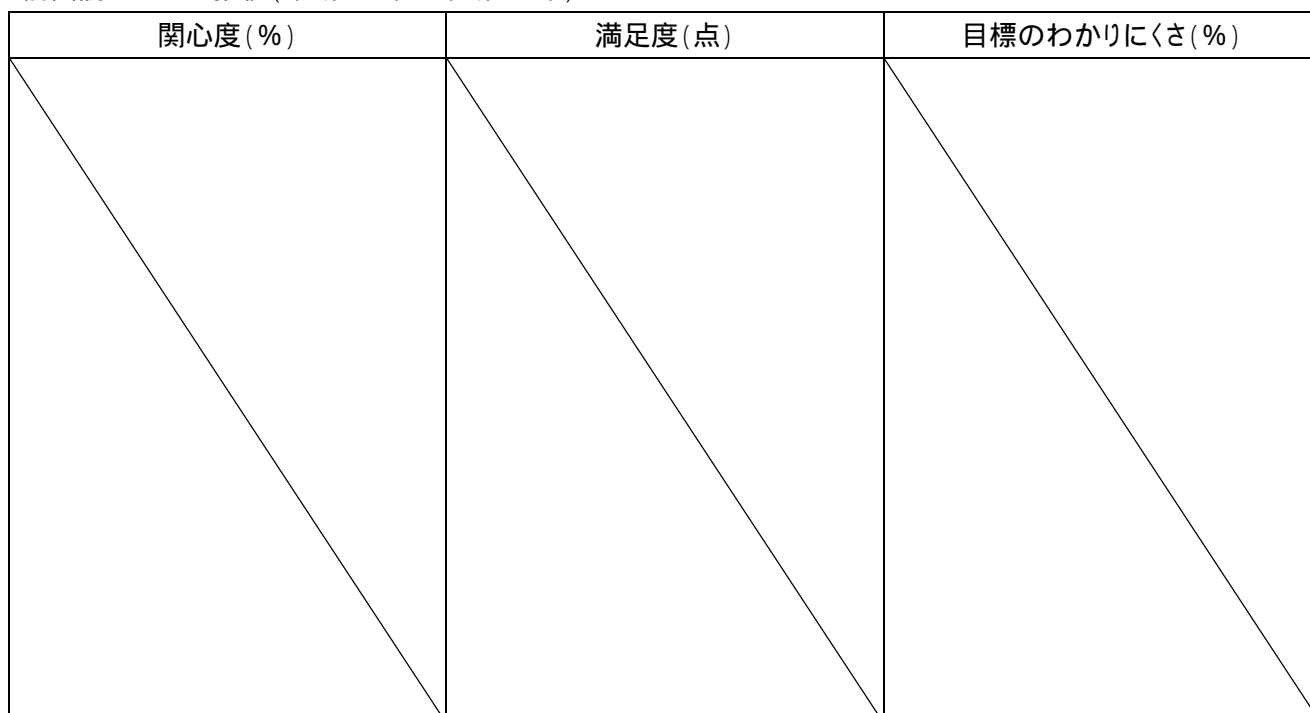
調査結果



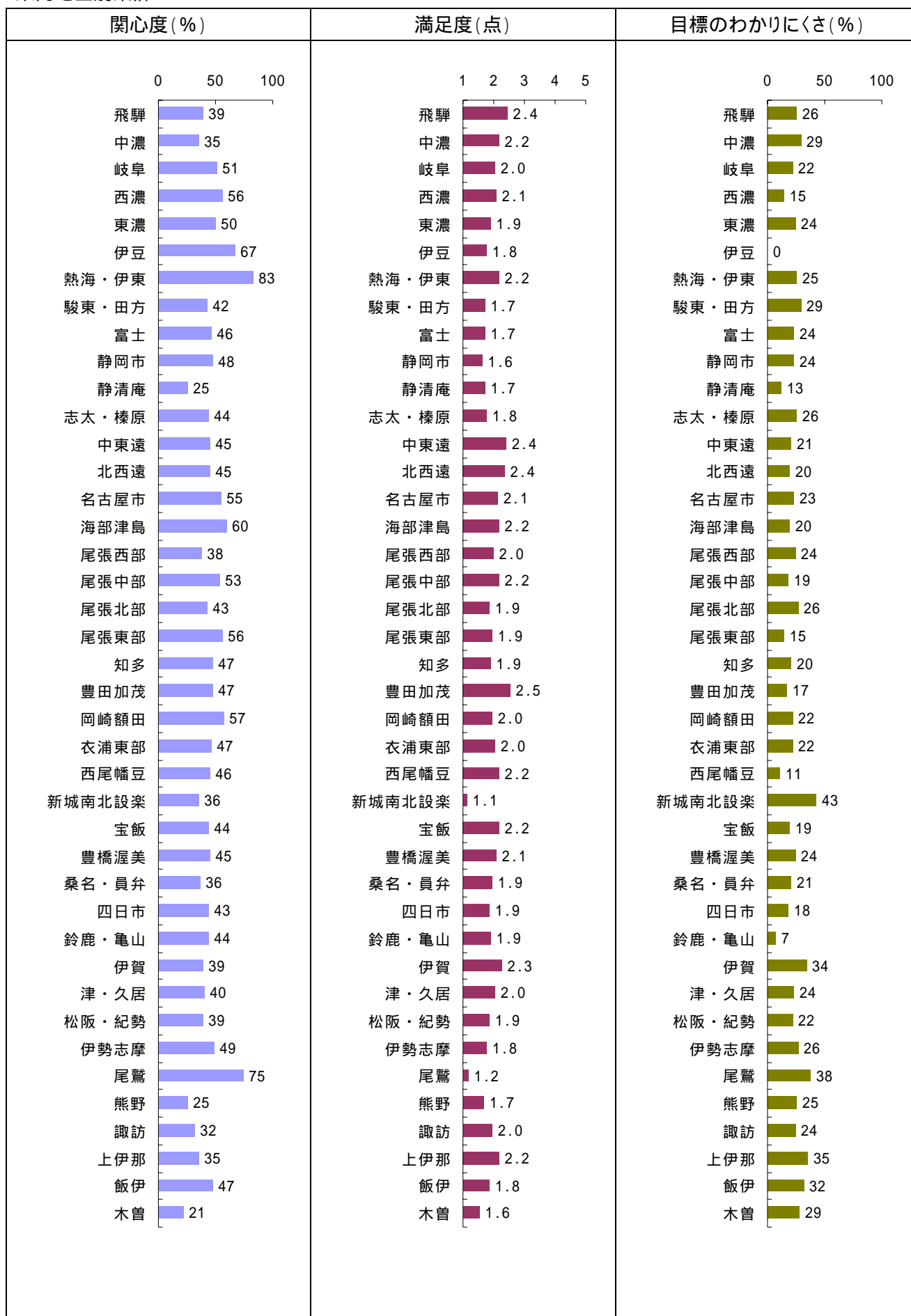
属性別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



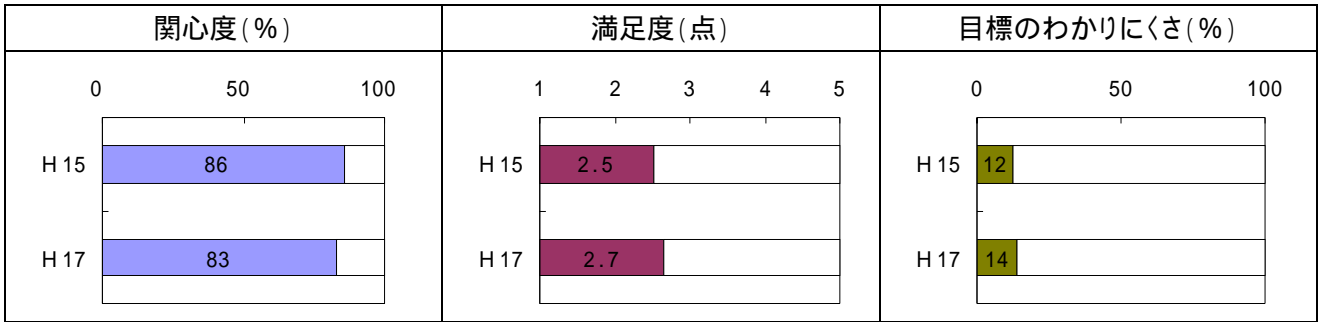
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

関心度 (%)	満足度 (点)	目標のわかりにくさ (%)

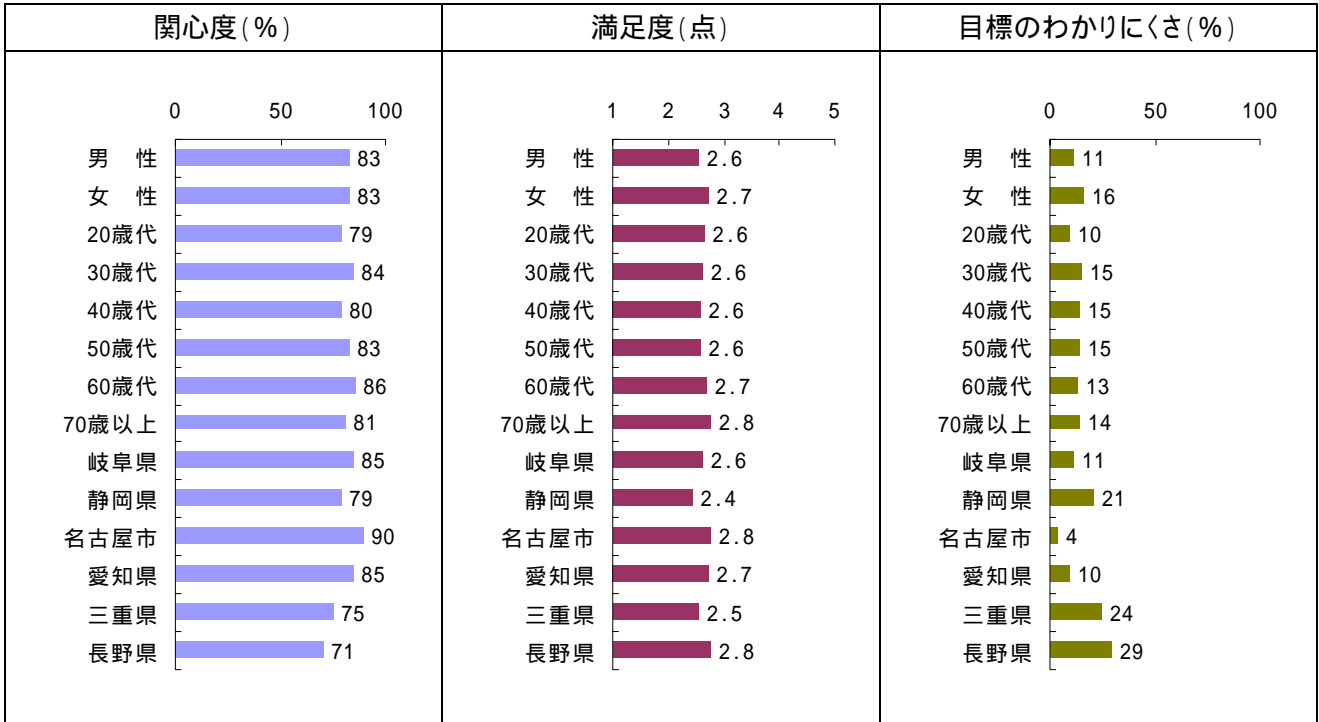
目標	- 3	都市の中にオープンスペースや緑を確保し、やすらぎと風格を与えます
関心度 設問	問 33 - 1	中部地方の都市部において、水辺や緑地のような心やすらげる空間を作ることについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 33 - 2	中部地方の都市部において、水辺や緑地のような心やすらげる空間(公園・歩道等)が豊富にあると思いますか？

- ・ 満足度は 2.7 点で中間値である 3 点を下回っているものの、平成 15 年度調査と比較して 0.2 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 83% と高いですが、平成 15 年度調査と比較して 3 ポイント減少しています。
- ・ 地域別で満足度が 3 点以上あるのは、熱海・伊東(3.4)、尾張中部(3.3)、豊橋渥美(3.2)、伊賀(3.2)、飯伊(3.0) の 5 か所です。また、平成 15 年度調査と比較して 0.3 ポイント以上増加したのは、熱海・伊東(+0.4)、志太・榛原(+0.6)、名古屋市(+0.4)、海部津島(+0.4)、尾張中部(+0.8)、尾張北部(+0.3)、岡崎額田(+0.4)、豊橋渥美(+0.4)、伊賀(+0.5)、津・久居(+0.4)、諏訪(+0.4) の 11 か所となりました。
- ・ 一方、中核市や特例市を有する地域で、満足度が低いのは、駿東・田方(沼津市：2.1 点)、静岡市(2.4 点)、北西遠(浜松市：2.3 点)、四日市(2.4 点)が低く、平成 15 年度調査から得点が増加していません。
- ・

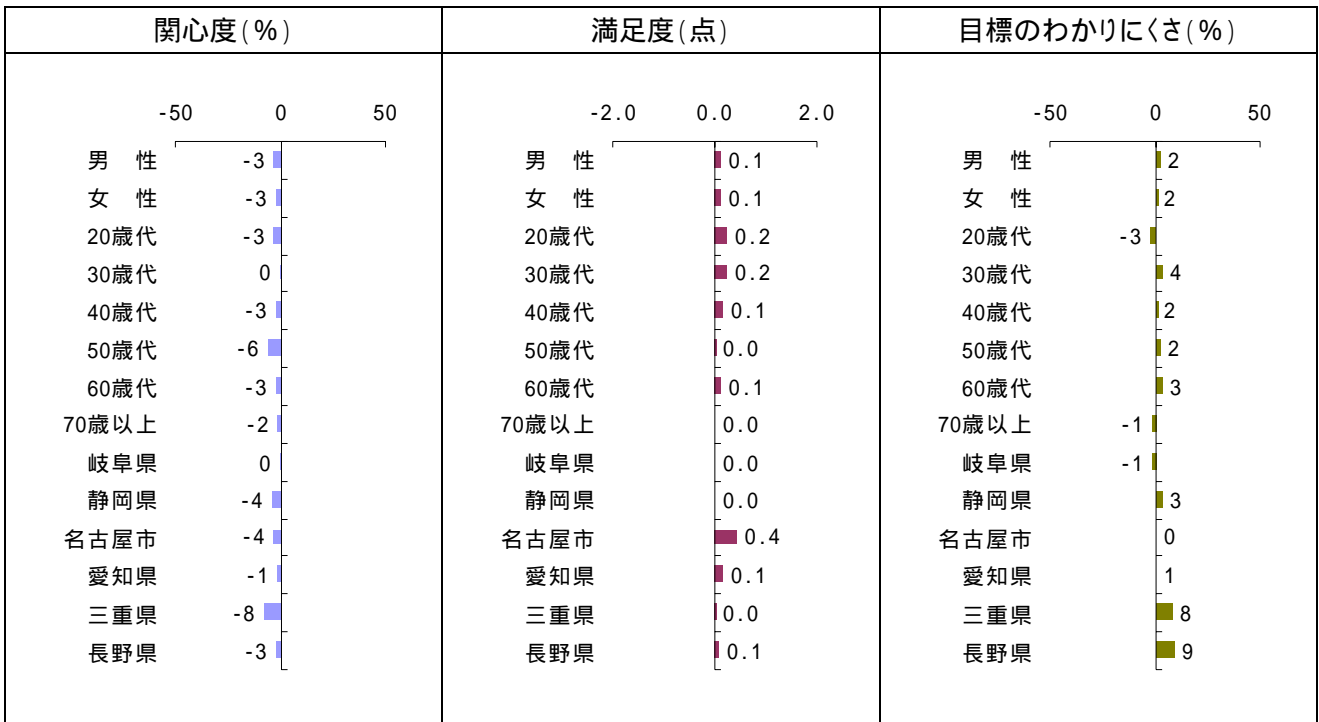
調査結果



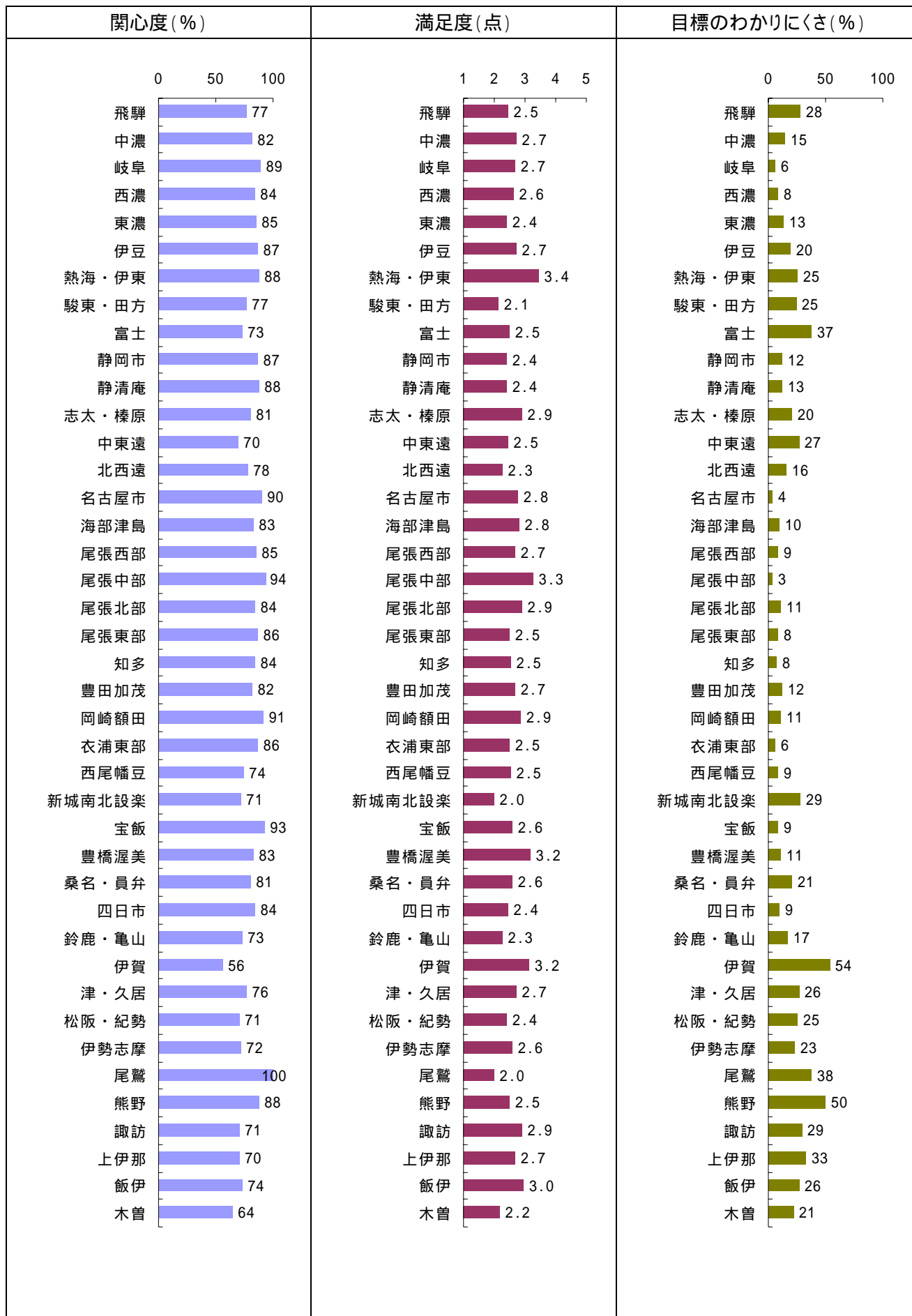
属性別集計



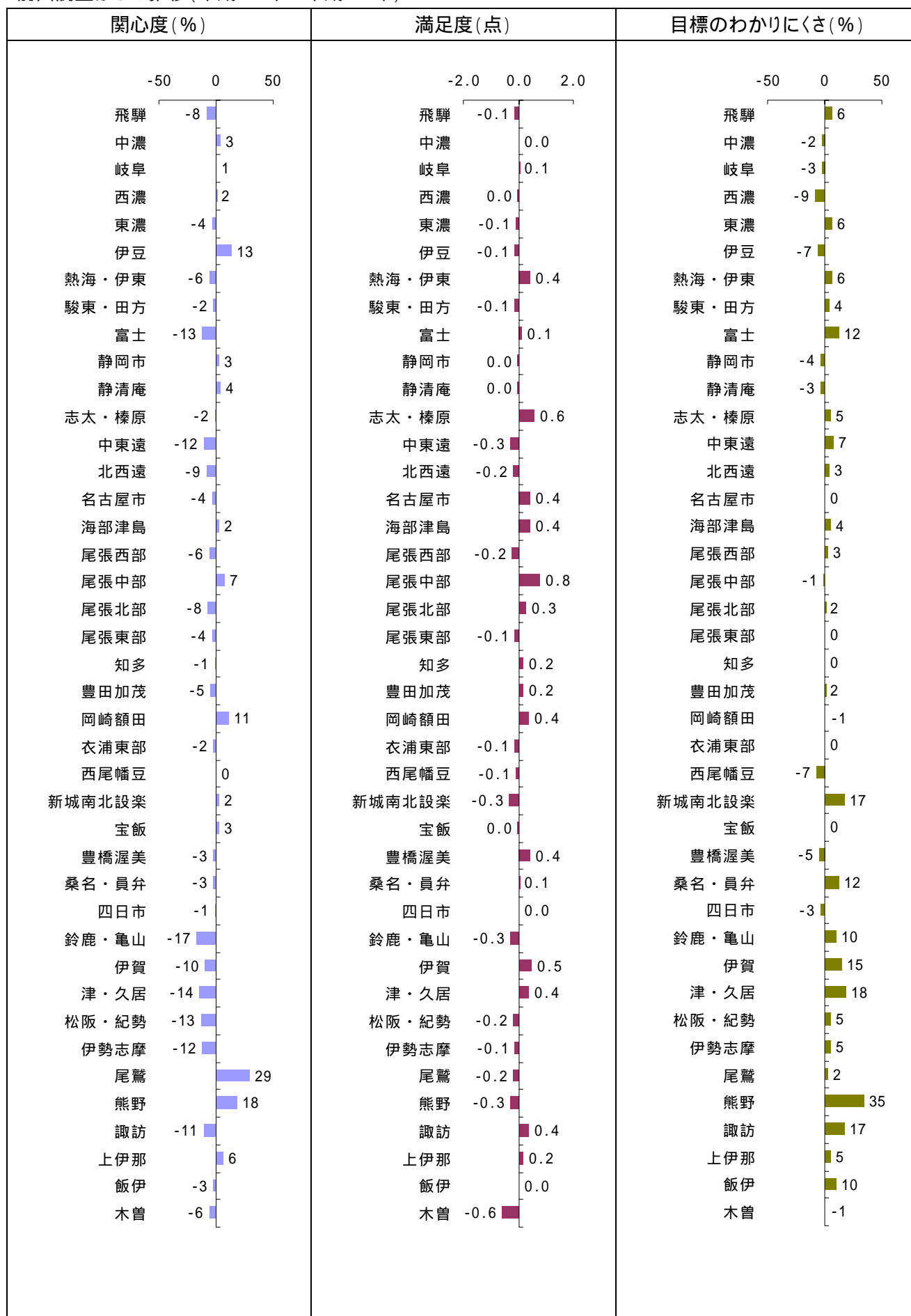
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

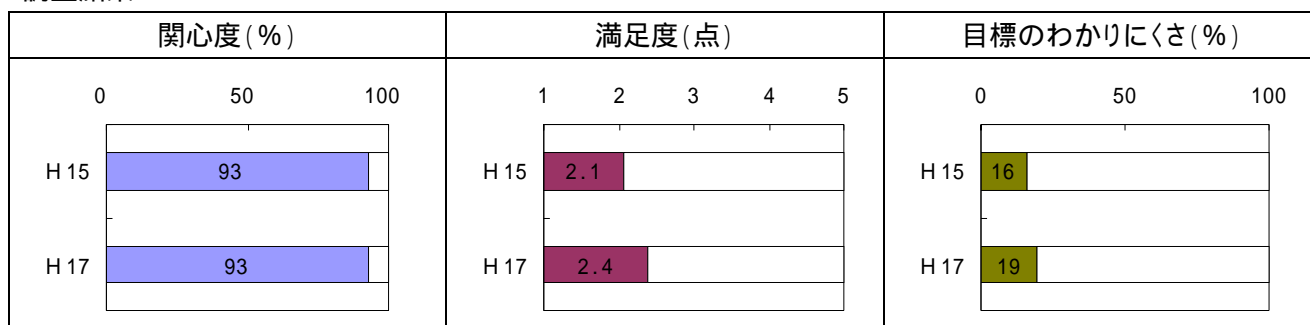


目標	- 4	交通円滑化対策の推進等により大気汚染や騒音等による生活環境への影響の改善を図ります
関心度 設問	問 34 - 1	大気汚染や騒音等による生活への影響について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 34 - 2	大気汚染や騒音等による生活への影響について、あなたは関心をお持ちですか？

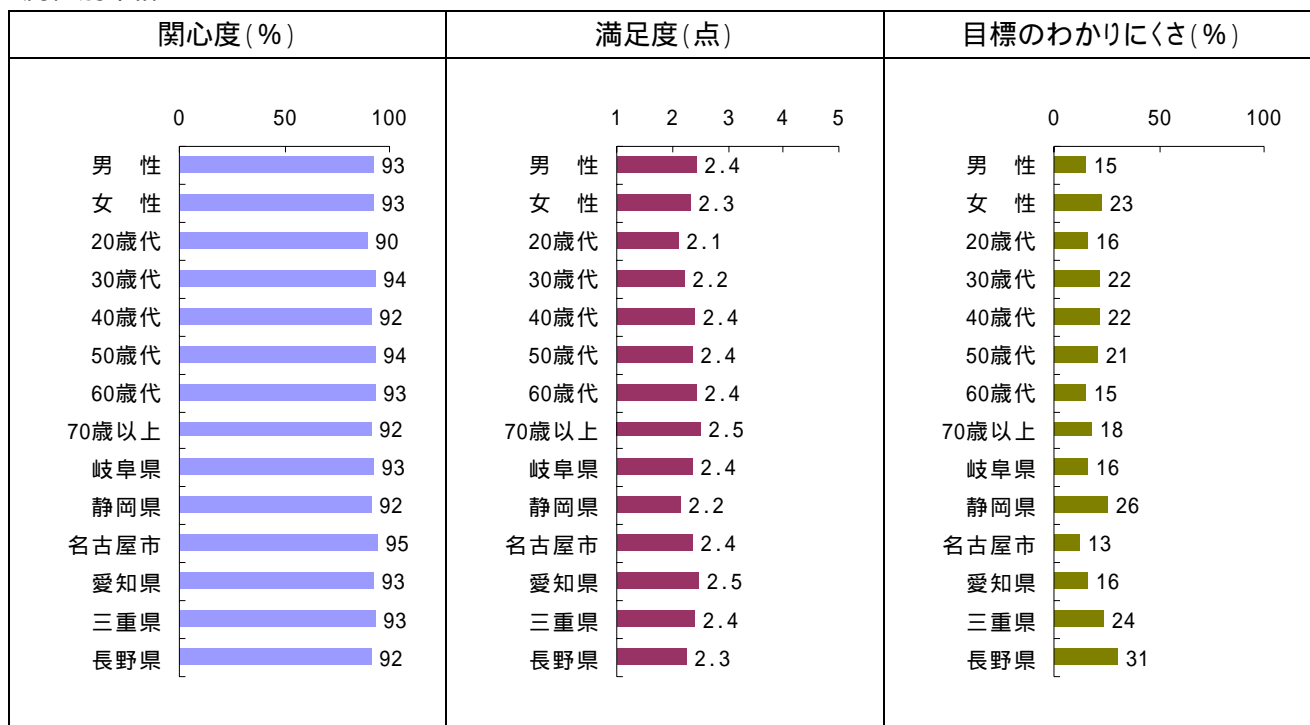
- ・ 満足度は 2.4 点と低いものの、平成 15 年度調査と比較して 0.3 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 93% と非常に高く、平成 15 年度調査と比較して変化はなく、高い関心を維持しています。
- ・ 地域別で満足度が 2.0 点以下となったのは、駿東・田方 (1.9) 中東遠 (2.0) 北西遠 (2.0) 新城南北設楽 (1.7) 木曽 (1.9) の 5 か所です。
- ・ このほか、特に三重県や長野県の各地域の得点が低く、この 2 県では、国道 1 号、23 号、19 号といったわが国の大動脈となる幹線道路があり、大型トラック等による通過交通量が多い一方で、生活道路としても使われている道路としての実状を反映したとも考えられます。
- ・ 平成 15 年調査との比較によると、満足度が 0.5 ポイント以上増加した地域が 11 か所で、特に尾張中部 (+1.0) をはじめ愛知県内が 7 地域を占めており、幹線道路の環境整備や立体交差化等により交通円滑化が進んだ結果であると考えられます。



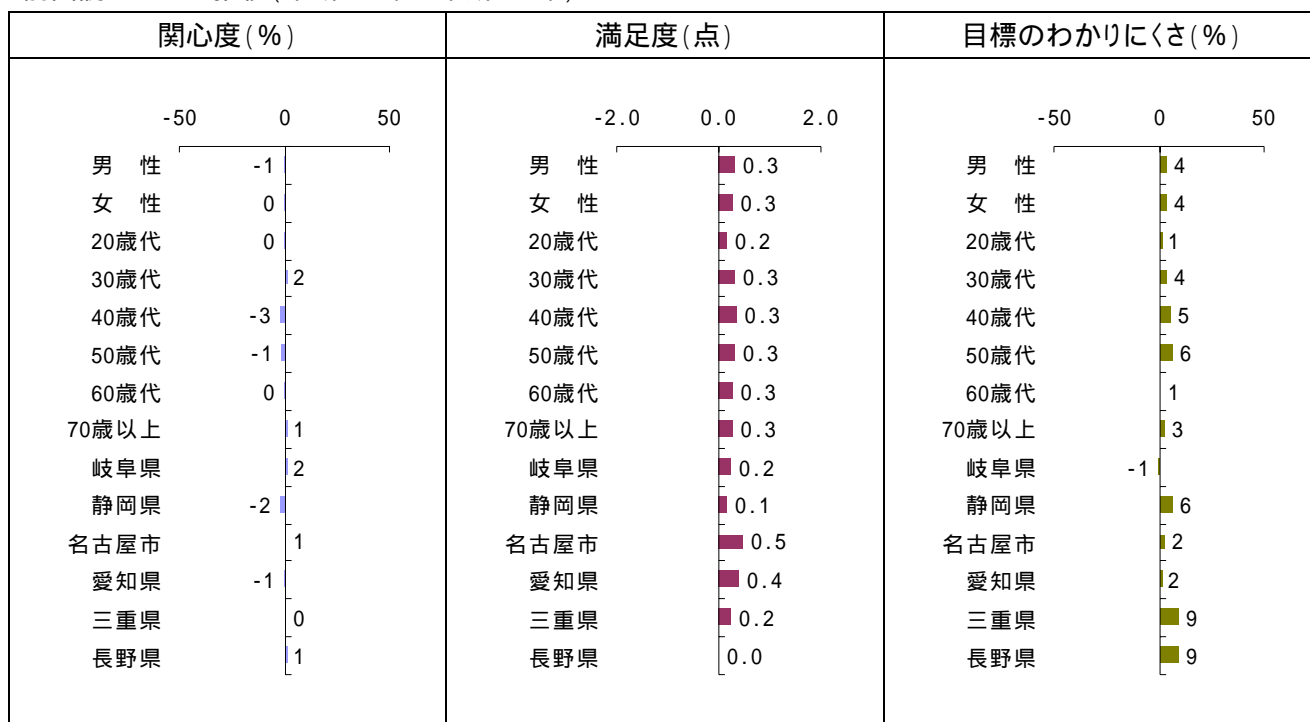
調査結果



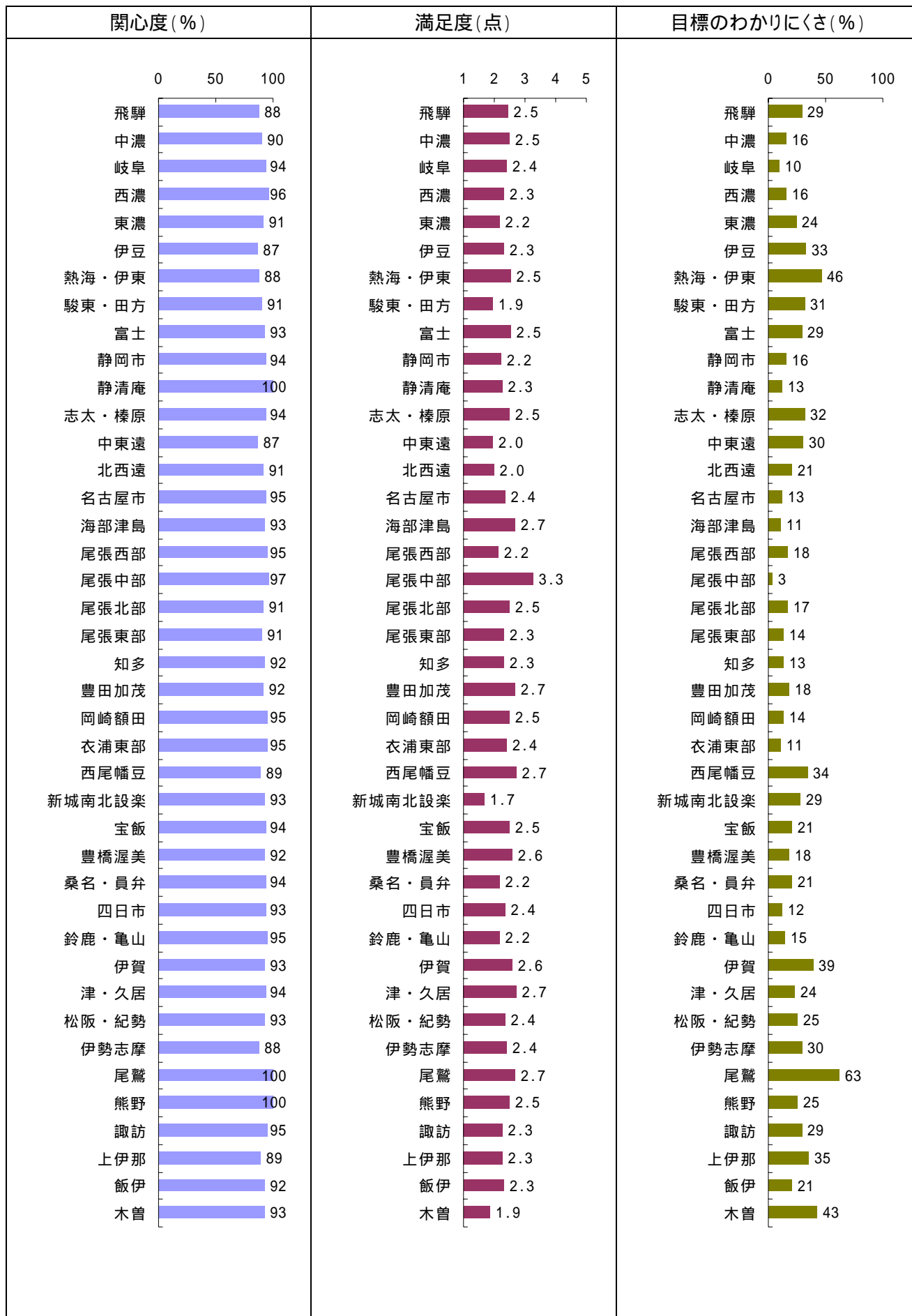
属性別集計



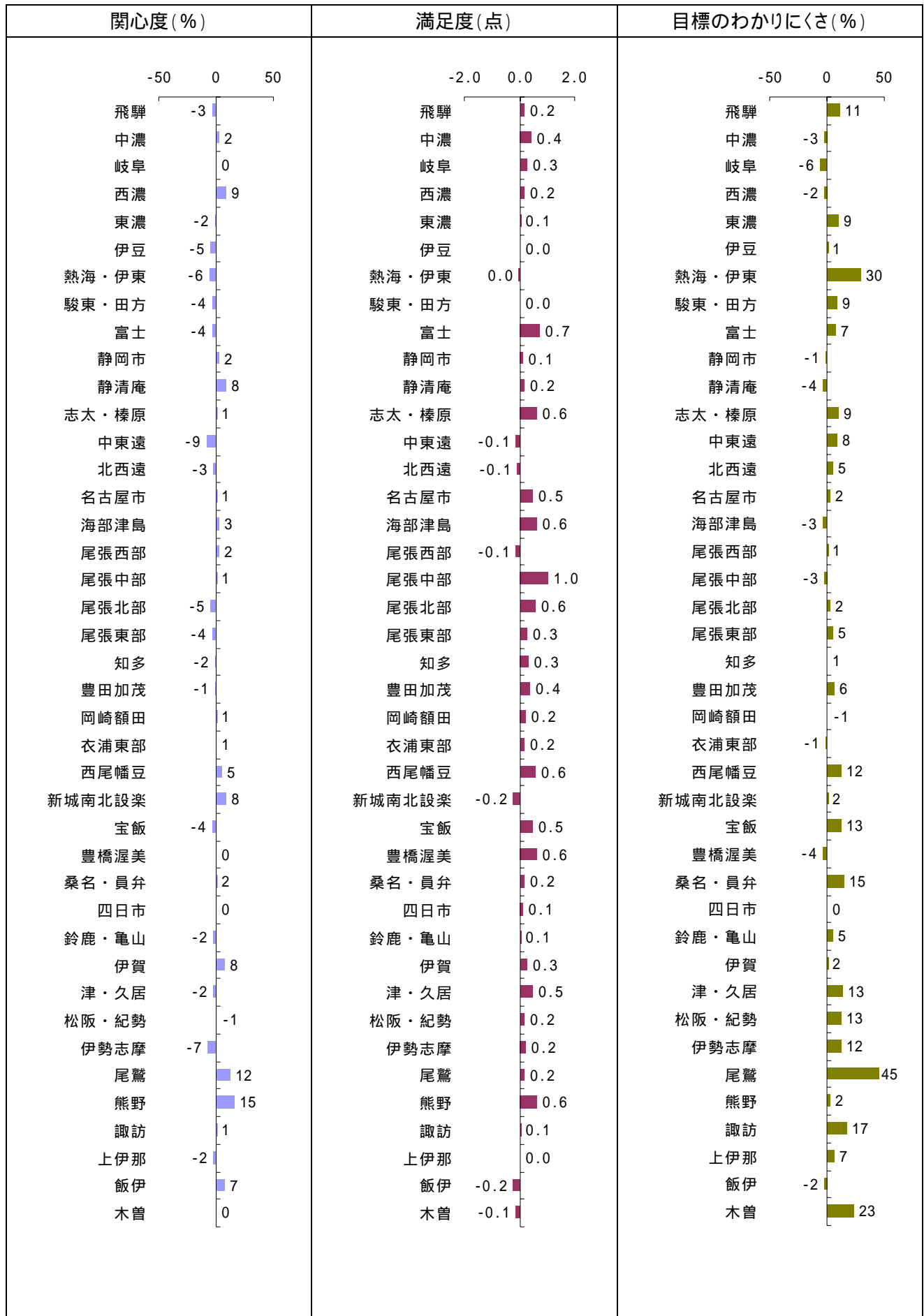
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



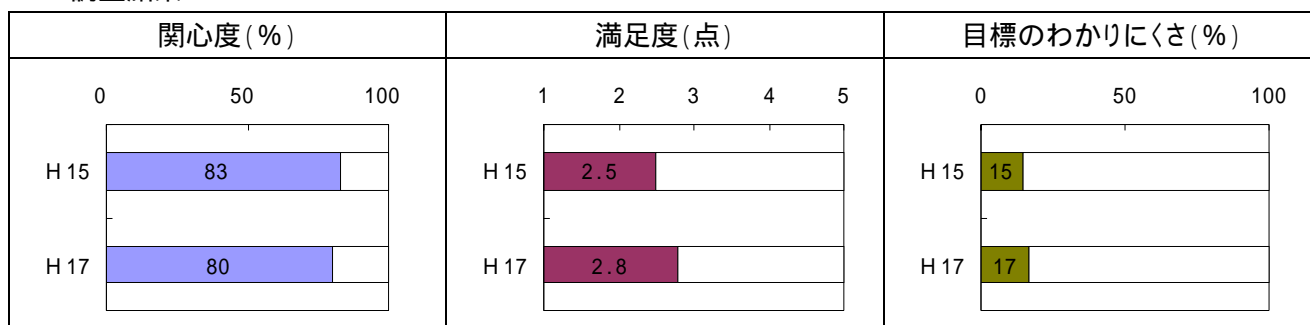
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



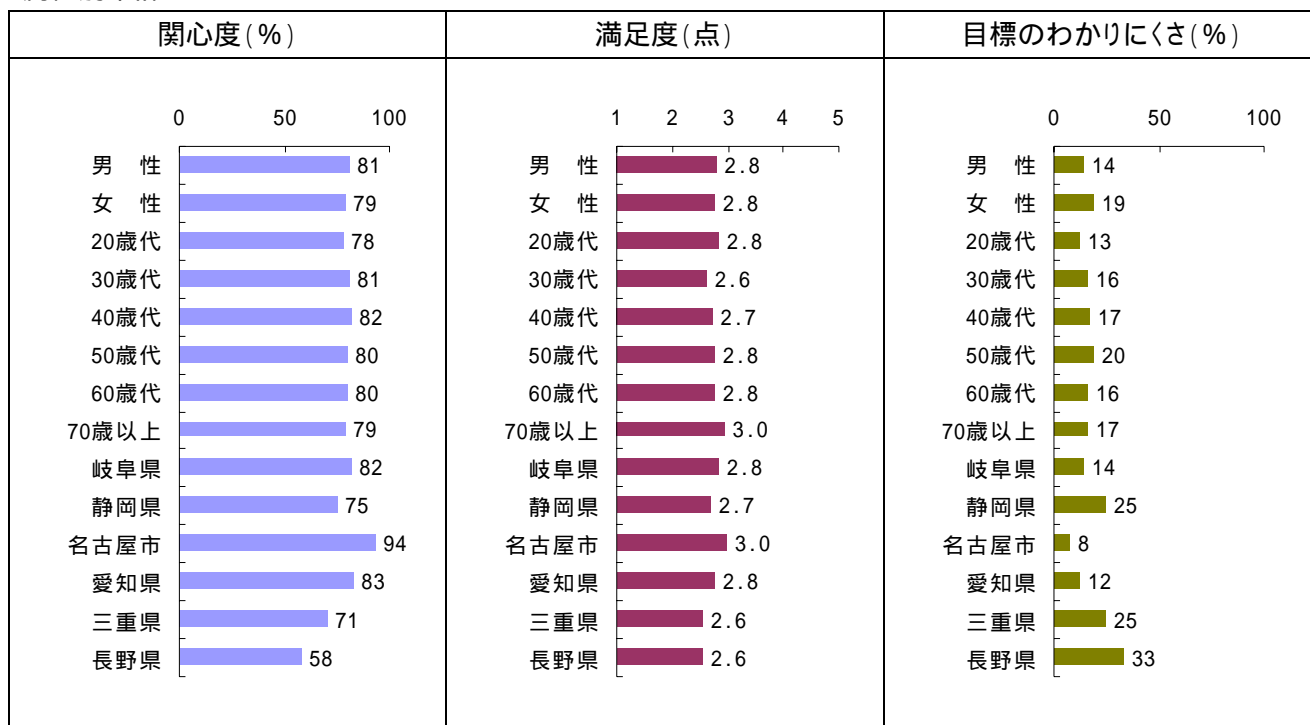
目標	- 5	安全で快適な質の高い都市生活を実現します
関心度 設問	問 35 - 1	都市生活における、生活の安全や快適さについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 35 - 2	中部地方の都市部は、安全で快適に生活できると思いますか？

- ・ 満足度は 2.8 点で中間値である 3 点を下回っていますが、平成 15 年度調査と比較して 0.3 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 80% と高いものの、平成 15 年度調査と比較して 3 ポイント減少しています。
- ・ 地域別では、満足度が 3 点以上あるのは 7 か所あり、うち、政令指定都市や中核市、特例市を含む地域は、岐阜 (3.0)、名古屋 (3.0)、豊橋渥美 (3.2) の 3 か所です。この 3 地域では、平成 15 年度調査と比較して、0.4~0.5 ポイント増加しています。また、豊田加茂、津・久居においても、0.4~0.5 ポイント増加しています。
- ・ 一方、政令指定都市や中核市、特例市を含む地域で満足度が低いのは、四日市の 2.5 点であり (富士地域も 2.5 点であるが、今回のサンプル抽出は富士宮となっている)、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイントの増加にとどまっています。

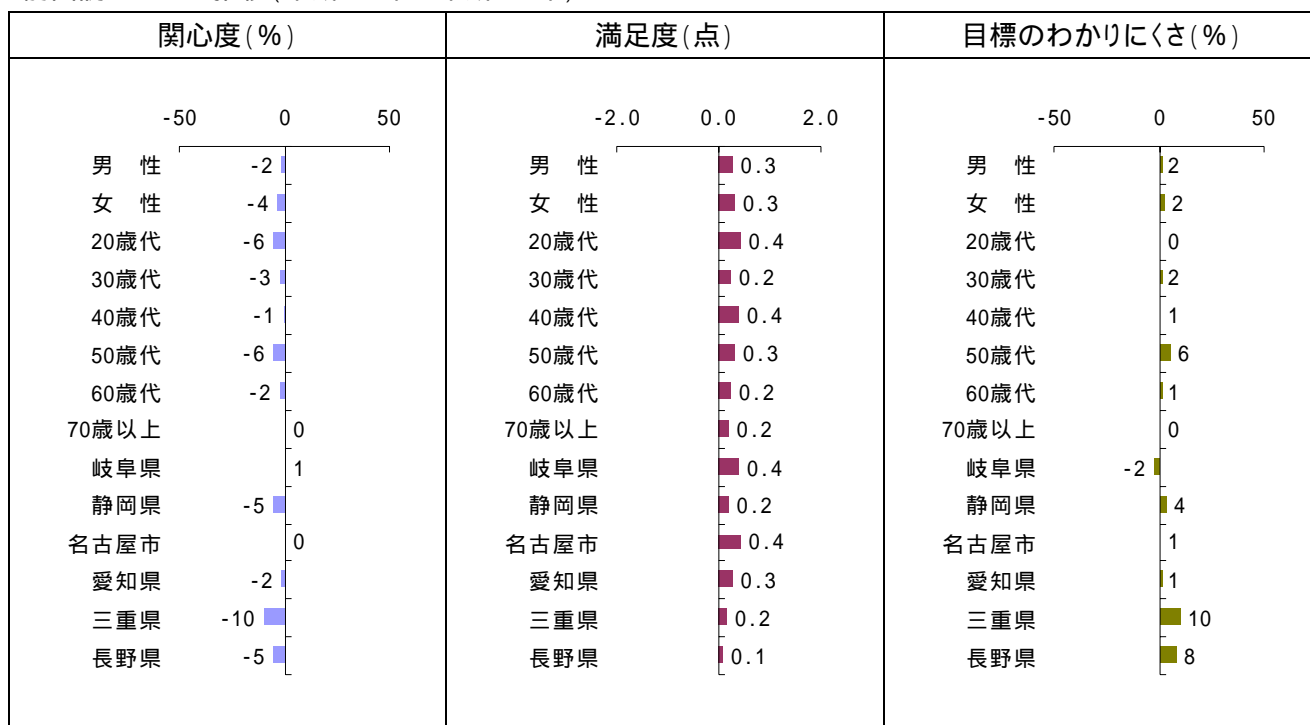
・ 調査結果



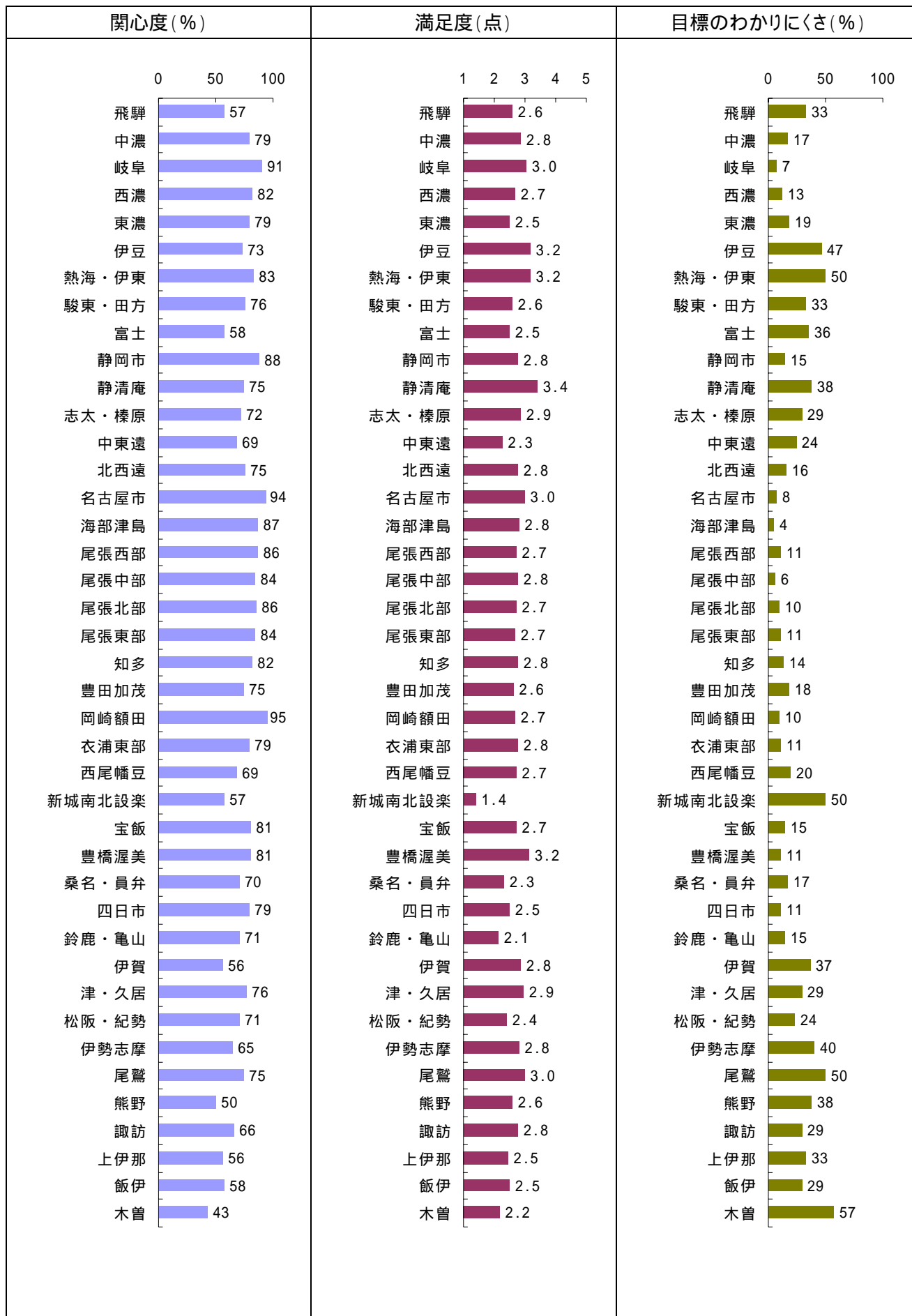
属性別集計



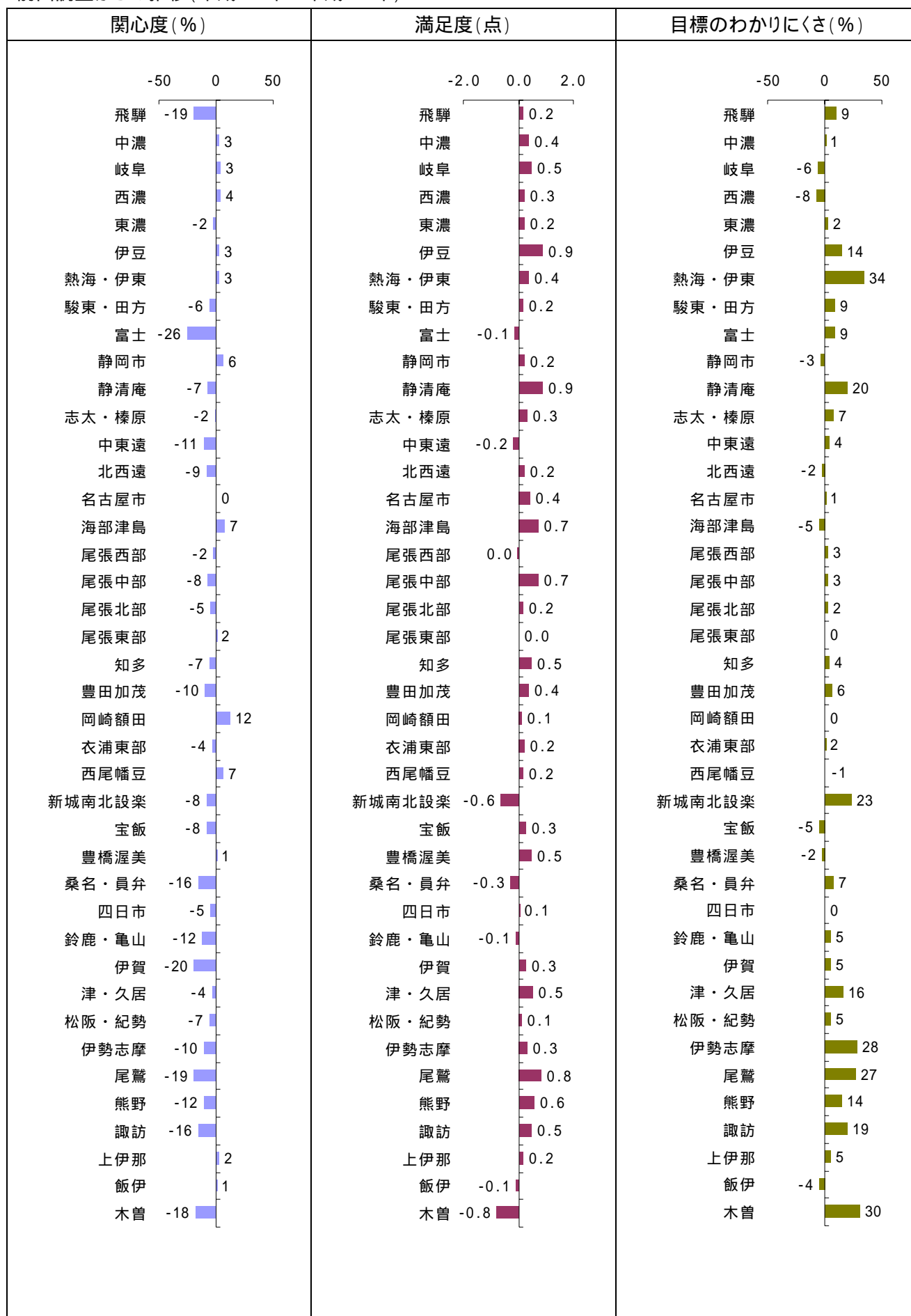
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

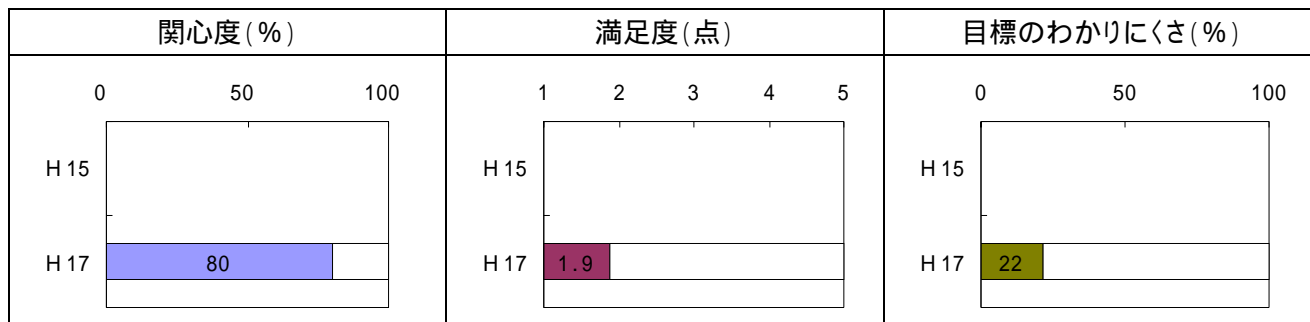


目標		(新規項目)
関心度 設問	問 36 - 1	公共交通機関や駅・公園・公共施設等の公共的な場所のテロ等に対する安全性について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 36 - 2	あなたが日頃利用している公共交通機関や駅・公園・公共施設等の公共的な場所は、テロ等の犯罪に対して安全性が確保されていると思いますか？

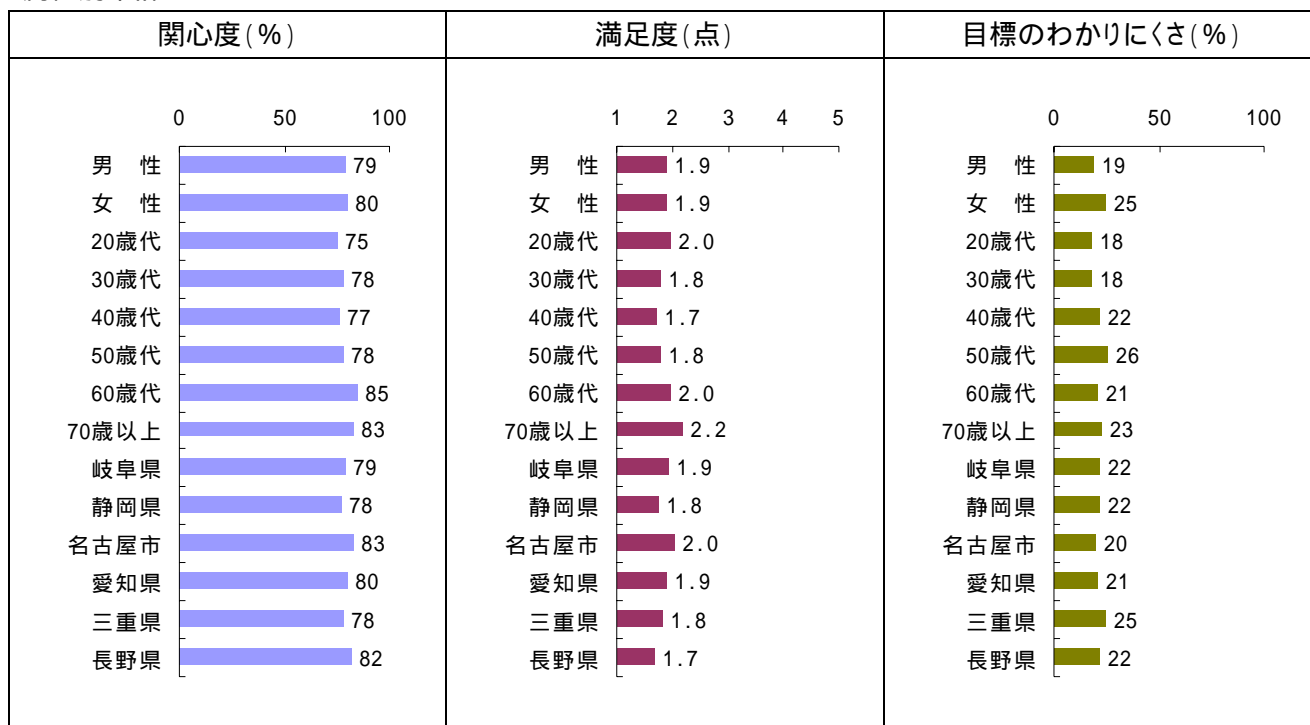
- ・ 満足度は 1.9 点と非常に低い一方、関心度は 80%と高く、今後の事業推進が期待されている。
- ・ 地域別では、木曽の満足度が 2.3 点で最も高い一方、1 点台が 28 地域あり、特に三重県では、伊勢志摩を除く全ての地域で 1 点台となっている。
- ・ 目標のわかりにくさは 22%であり、都市部よりも農産漁村地域で高くなる傾向にある。



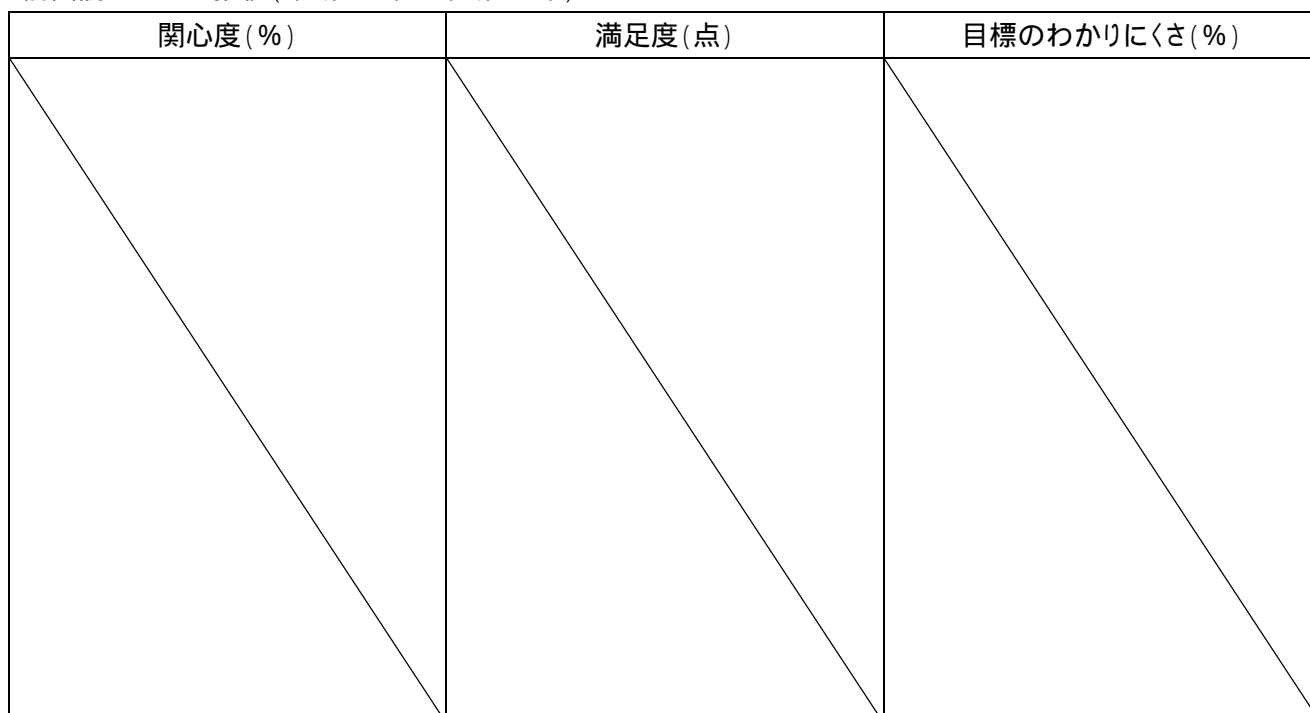
調査結果



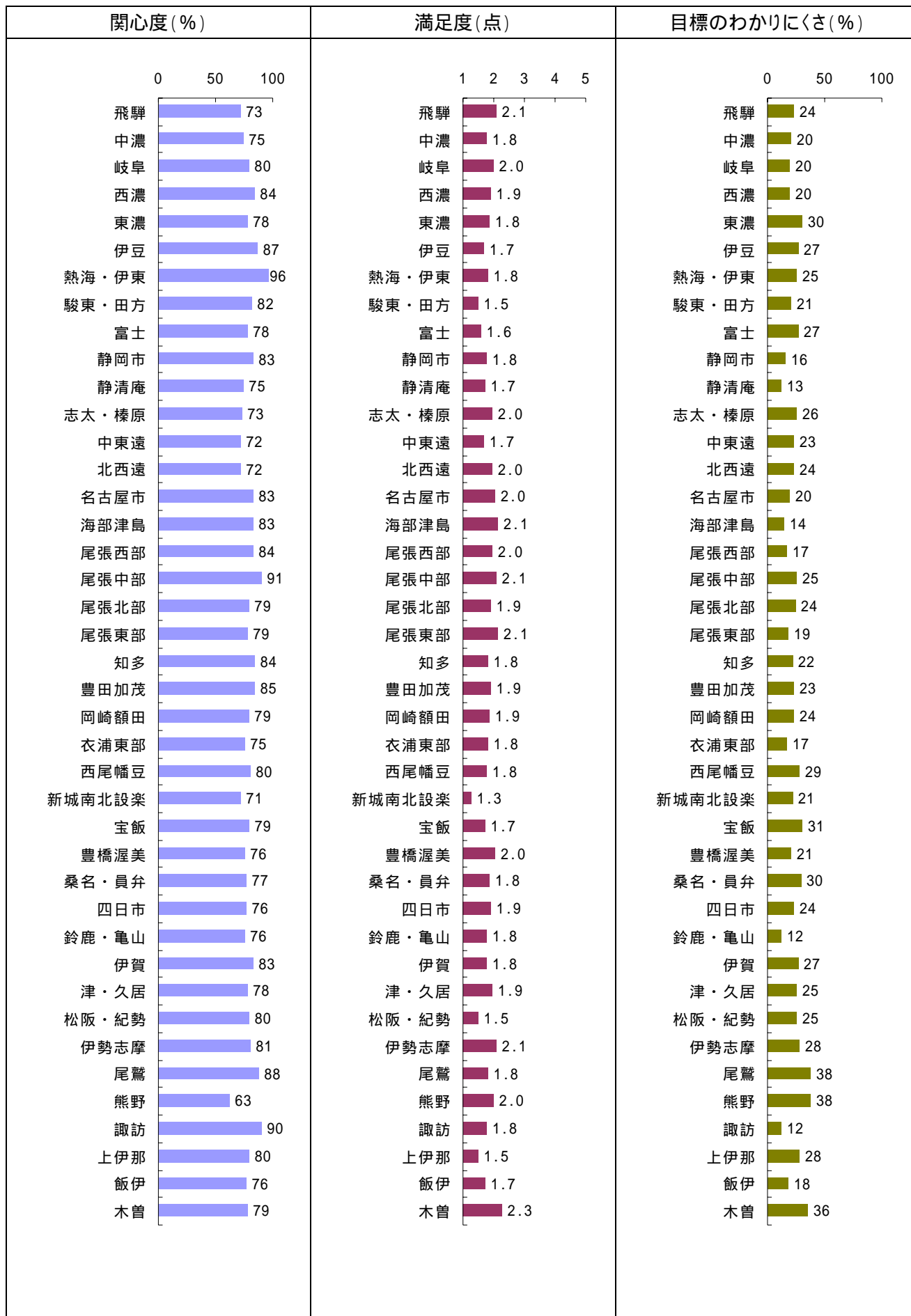
属性別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



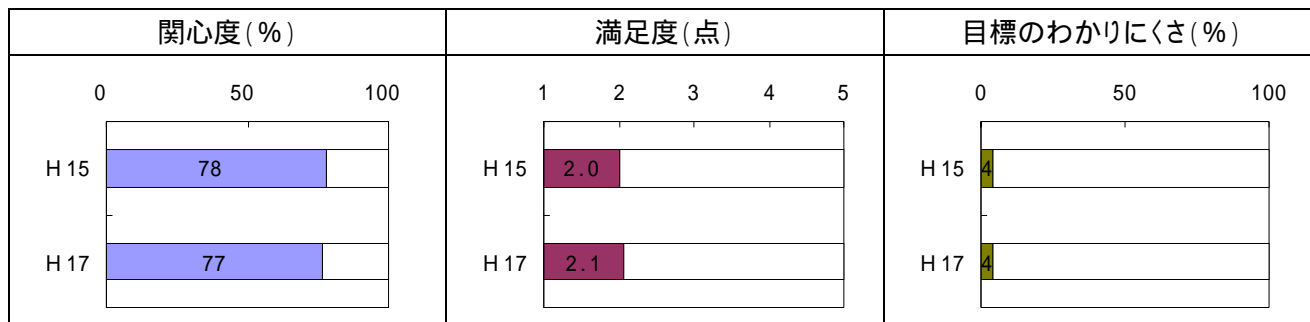
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

関心度 (%)	満足度(点)	目標のわかりにくさ (%)

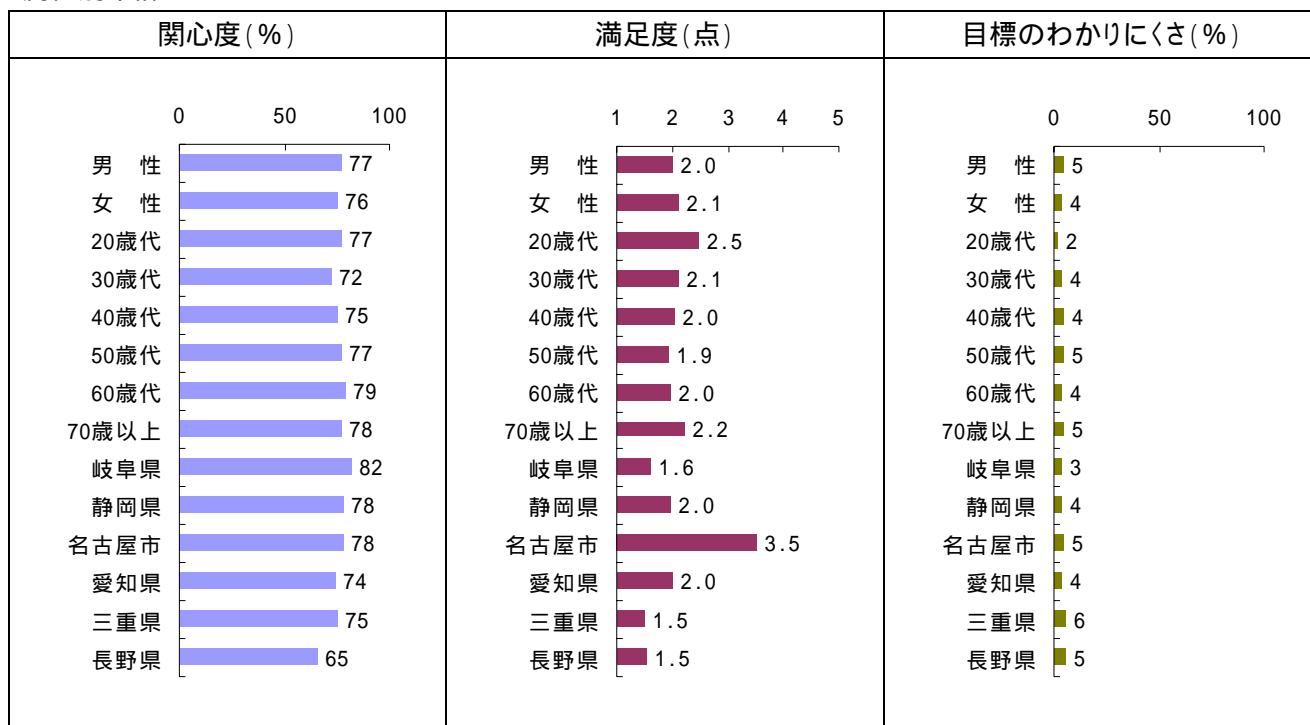
目標	- 6	各拠点都市の賑わいを創出します
関心度 設問	問 37 - 1	あなたの住む地域の中心的な都市の駅前等の賑わいについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 37 - 2	あなたの住む地域の中心的な都市の駅前等は賑わっていると思いますか？

- ・ 満足度は 2.1 点と低いものの、平成 15 年度調査からは 0.1 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 77% であり、平成 15 年度調査と比較して 1 ポイント減少しています。
- ・ 政令指定都市や中核市、特例市を含む地域について、名古屋市が 3.5 点と他の地域を大きく上回っています。また、静岡市も 2.8 点で、平成 15 年度調査以降 0.4 ポイント増加しています。その他では、尾張北部（一宮市）が 2.3 点であるのを除いて、1 点台となっており、都市のにぎわいに対する満足度は極めて低い状況です。
- ・ 地域別の関心度では、岐阜が 91%、静岡市が 85% と高く、平成 15 年度調査と比較して、それぞれ 9 ポイント、7 ポイント増加しています。一方、平成 15 年度調査以降、北西遠（-8）や豊田加茂（-14）をはじめ、中核市や特例市を含む多くの地域で関心度が低下しており、都心活性化を期待していない住民が増加していると考えられます。

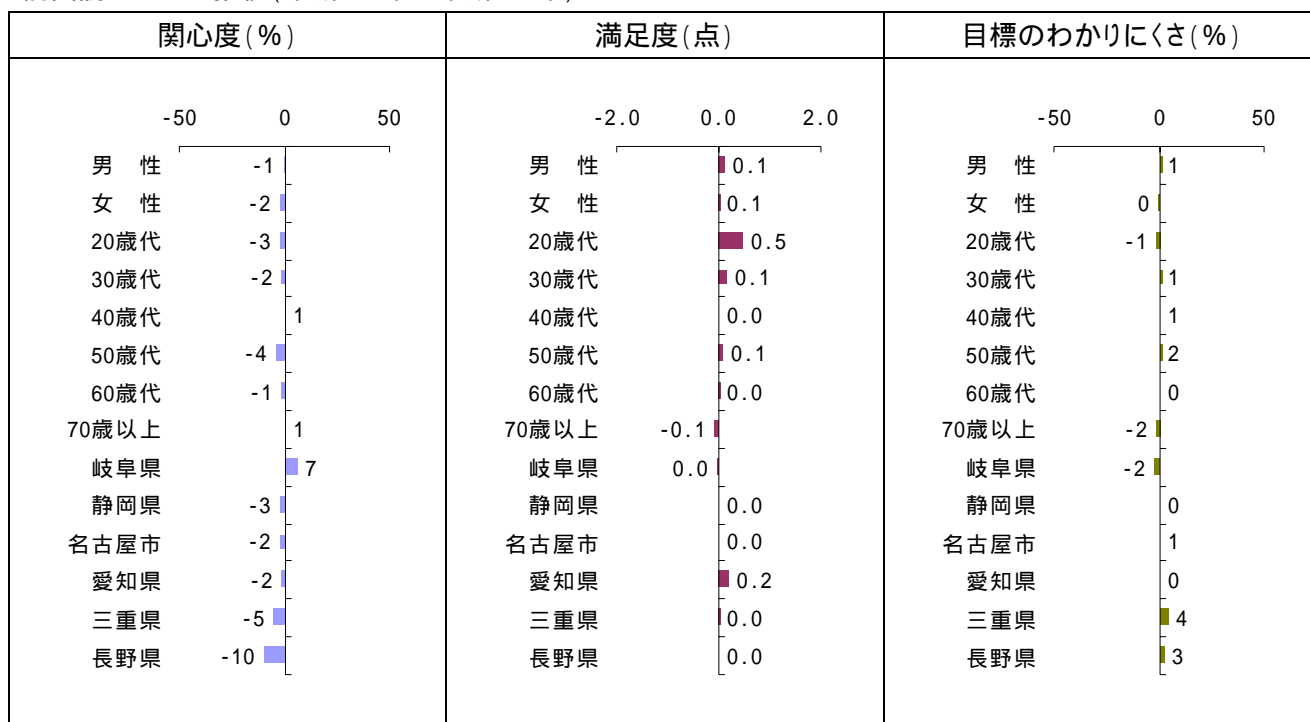
調査結果



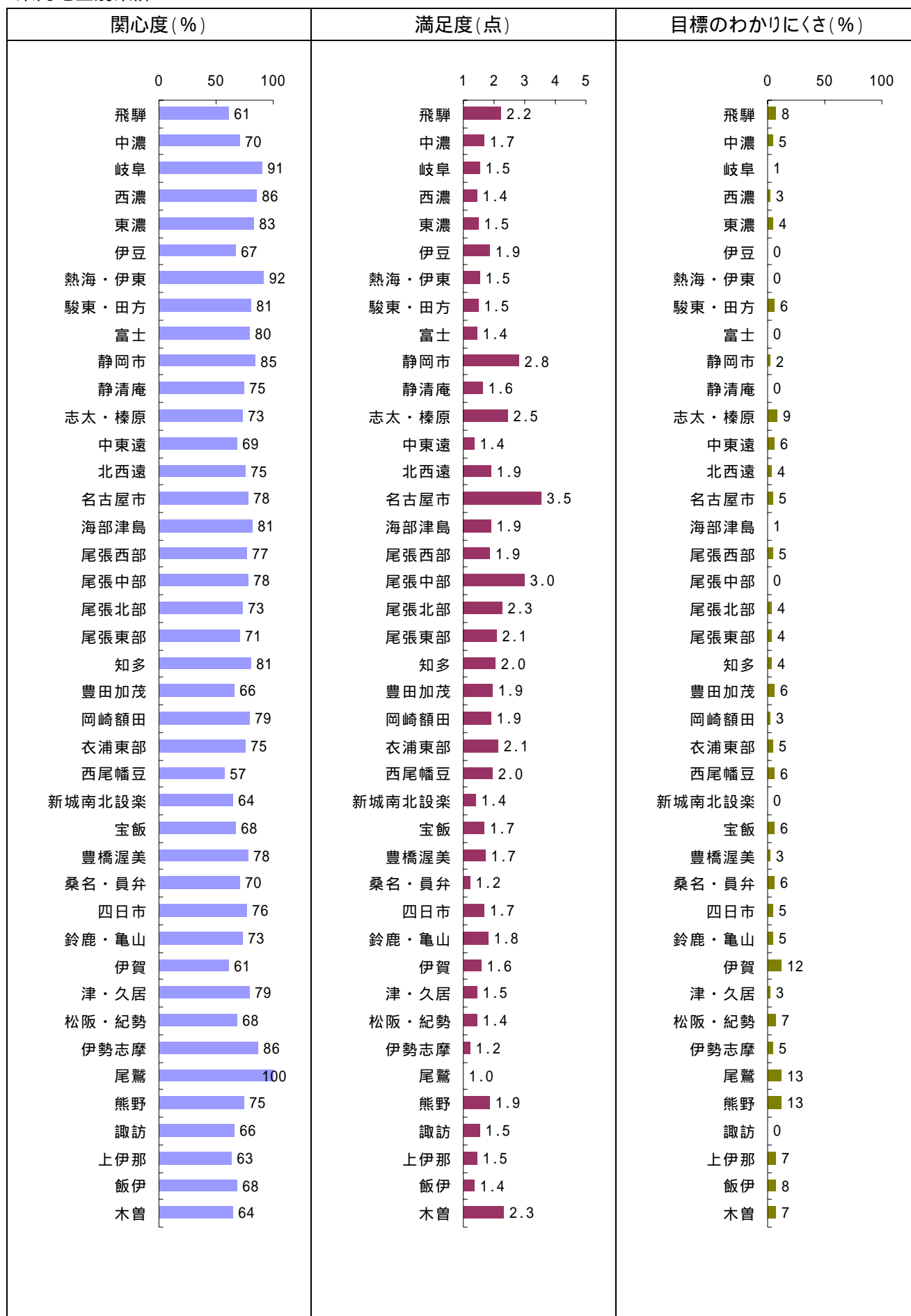
属性別集計



前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

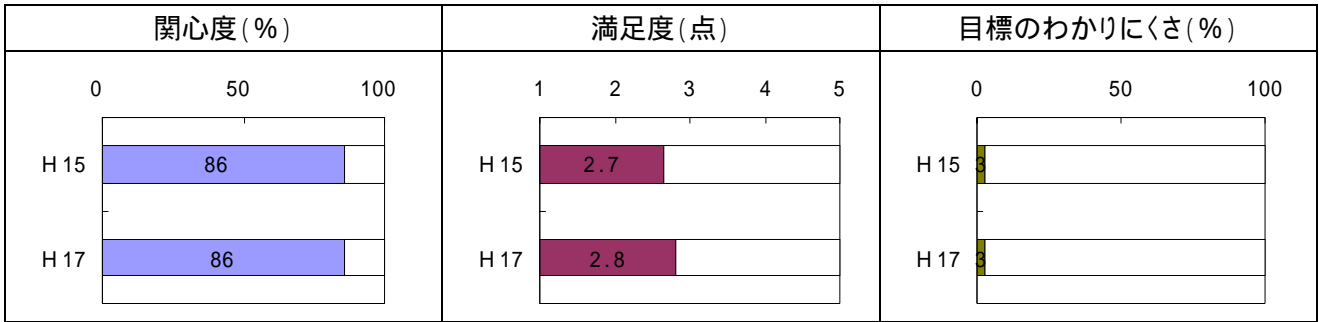
関心度 (%)	満足度 (点)	目標のわかりにくさ (%)
飛騨 -5	飛騨 -0.2	飛騨 2
中濃 1	中濃 0.1	中濃 -3
岐阜 9	岐阜 -0.1	岐阜 -3
西濃 11	西濃 0.0	西濃 -4
東濃 7	東濃 -0.1	東濃 0
伊豆 -22	伊豆 0.4	伊豆 -6
熱海・伊東 11	熱海・伊東 -0.2	熱海・伊東 -7
駿東・田方 -3	駿東・田方 0.0	駿東・田方 4
富士 3	富士 0.1	富士 -2
静岡市 7	静岡市 0.4	静岡市 -3
静岡庵 -3	静岡庵 -0.8	静岡庵 -5
志太・榛原 0	志太・榛原 0.4	志太・榛原 4
中東遠 -12	中東遠 -0.3	中東遠 1
北西遠 -8	北西遠 -0.5	北西遠 0
名古屋市 -2	名古屋市 0.0	名古屋市 1
海部津島 14	海部津島 0.2	海部津島 -1
尾張西部 -6	尾張西部 0.0	尾張西部 1
尾張中部 7	尾張中部 0.9	尾張中部 -4
尾張北部 -5	尾張北部 0.4	尾張北部 0
尾張東部 -8	尾張東部 0.2	尾張東部 1
知多 10	知多 0.4	知多 0
豊田加茂 -14	豊田加茂 0.0	豊田加茂 4
岡崎額田 6	岡崎額田 0.1	岡崎額田 -3
衣浦東部 1	衣浦東部 0.2	衣浦東部 3
西尾幡豆 -14	西尾幡豆 0.3	西尾幡豆 1
新城南北設楽 -1	新城南北設楽 0.2	新城南北設楽 -8
宝飯 -11	宝飯 -0.1	宝飯 3
豊橋渥美 1	豊橋渥美 0.1	豊橋渥美 -3
桑名・員弁 -13	桑名・員弁 0.1	桑名・員弁 5
四日市 -5	四日市 0.1	四日市 5
鈴鹿・亀山 -4	鈴鹿・亀山 0.2	鈴鹿・亀山 1
伊賀 -15	伊賀 -0.3	伊賀 11
津・久居 -4	津・久居 0.0	津・久居 -1
松阪・紀勢 -15	松阪・紀勢 0.0	松阪・紀勢 4
伊勢志摩 10	伊勢志摩 -0.1	伊勢志摩 3
尾鷲 12	尾鷲 -0.2	尾鷲 13
熊野 -2	熊野 0.9	熊野 13
諏訪 -22	諏訪 0.2	諏訪 0
上伊那 -8	上伊那 0.0	上伊那 2
飯伊 2	飯伊 0.0	飯伊 8
木曾 -16	木曾 0.2	木曾 0

目標	- 7	日常活動圏の中心都市まで快適に行けるようにします
関心度 設問	問 38 - 1	日々の生活における中心的な都市までの行きやすさについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 38 - 2	あなたの住む地域から、日々の生活の中心的な都市まで渋滞することなく快適に行くことができますか？

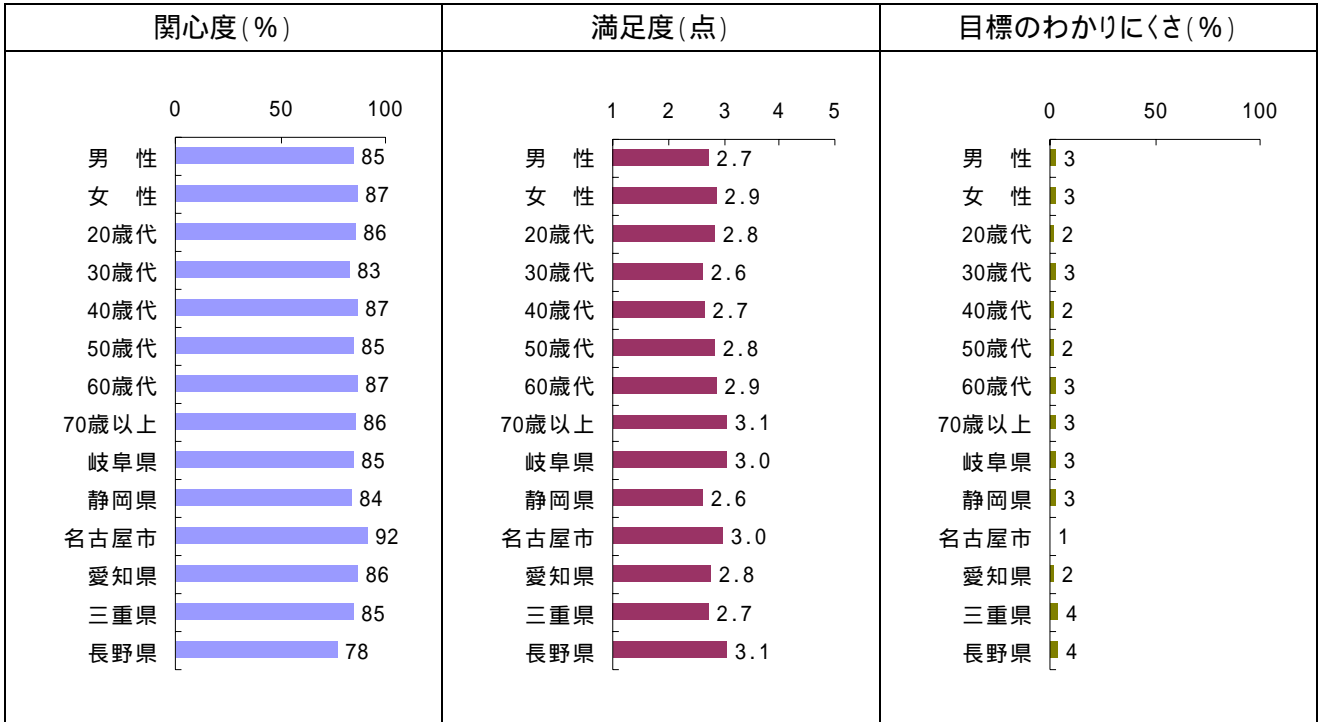
- ・ 満足度は 2.8 点と中間値である 3 点を下回っていますが、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は平成 15 年度調査と変わらず 86%と高い水準を維持しています。
- ・ 政令指定都市や中核市、特例市を含む地域の満足度は、岐阜が 3.5 点で最も高く、平成 15 年度調査と比較して 0.8 ポイント増加しています。また、駿東・田方 (2.3 点) と岡崎額田 (2.4 点) の 2 地域は 2.5 点以下と低いです。政令指定都市や中核市、特例市を含む地域では、平成 15 年度調査と比較して、概ね満足度は増加していますが、駿東・田方、北西遠、名古屋市、津・久居の 4 地域は得点が下がっています。
- ・ その他の地域では、平成 15 年と比較して熱海・伊東と木曽で満足度が 0.5 点も減少しているのをはじめ、伊豆 (-0.1)、静清庵 (-0.3)、中東遠 (-0.1)、松阪・紀勢 (-0.1)、伊勢志摩 (-0.2) で減少しています。



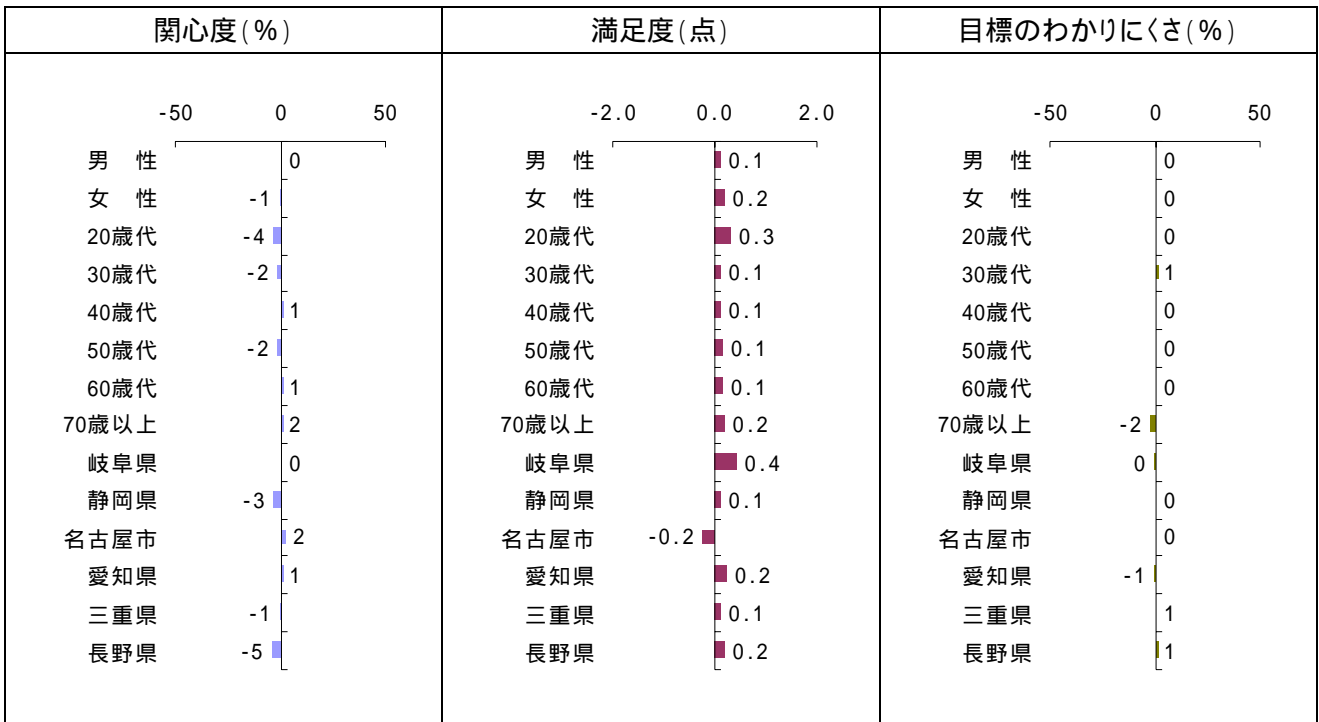
調査結果



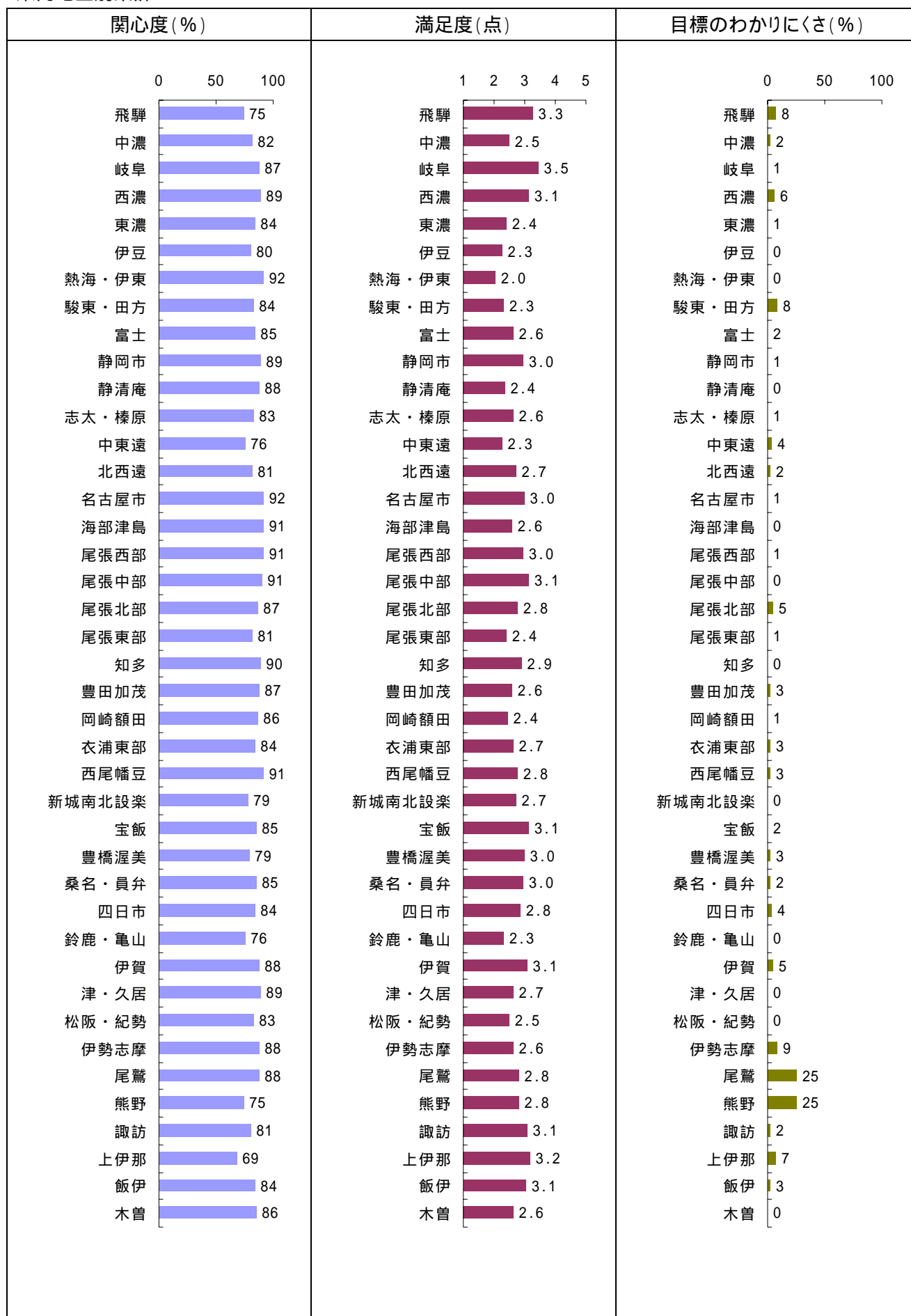
属性別集計



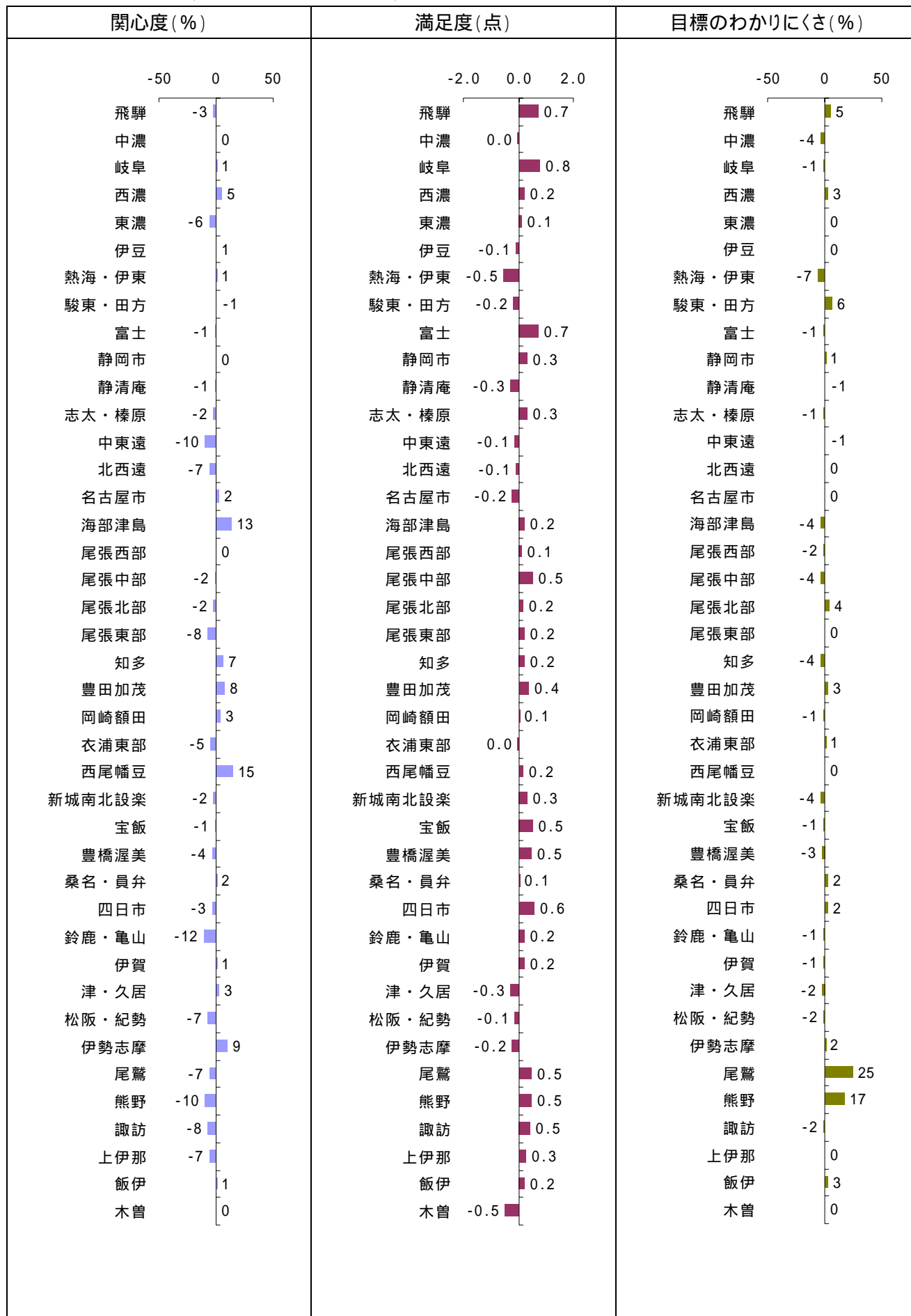
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



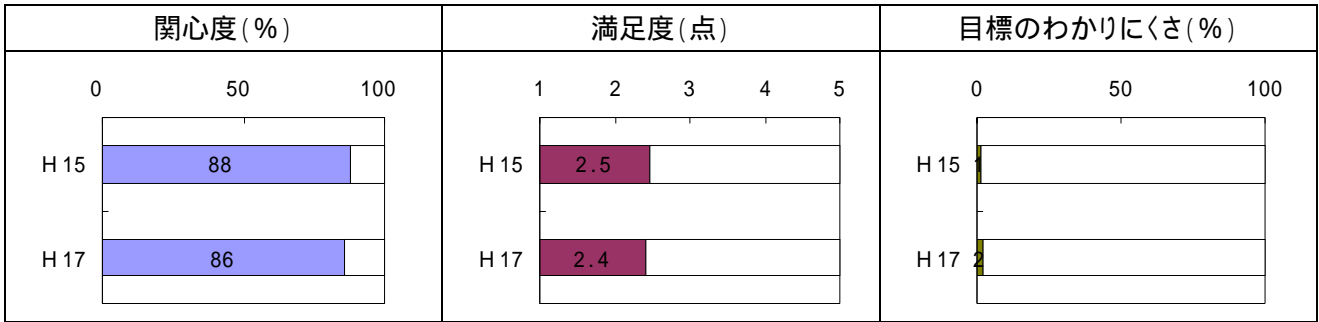
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



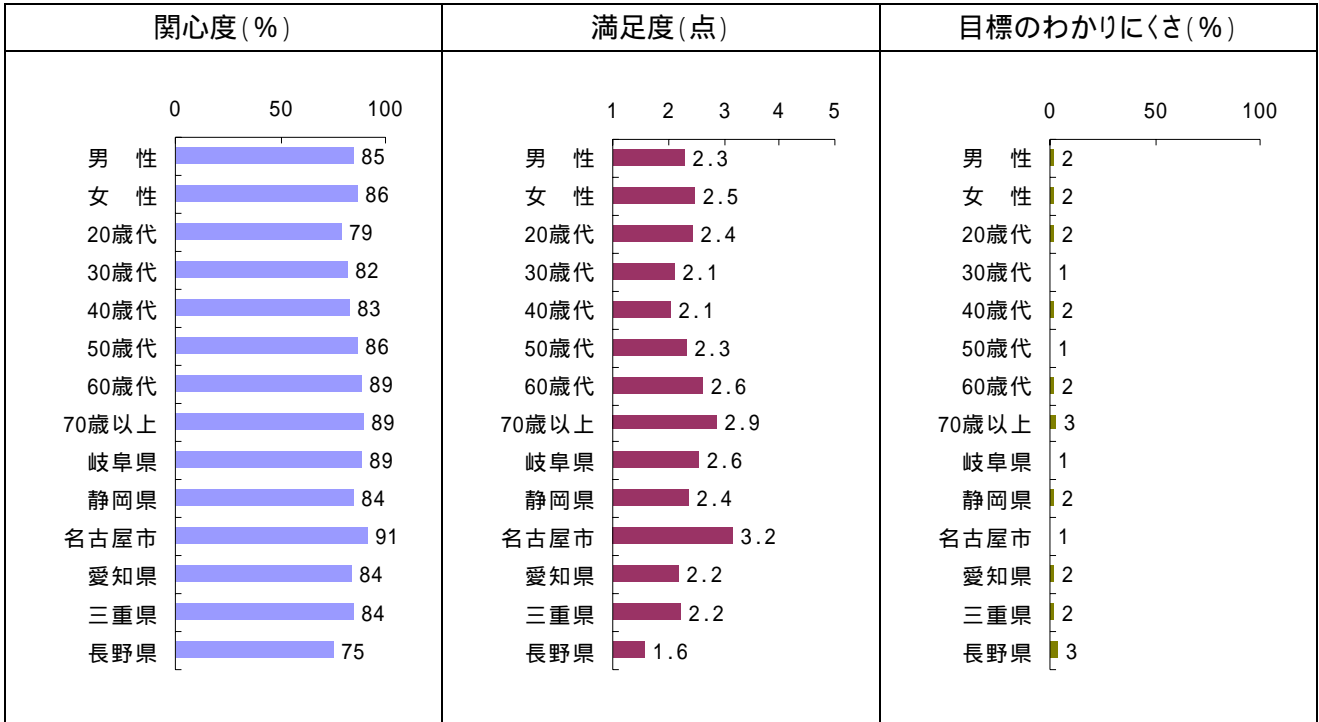
目標	- 8	自家用車に過度に依存しない、歩いて暮らせる、自転車も走りやすいまちを形成します
関心度 設問	問 39 - 1	自家用車に頼らなくても、バス、自転車などの他の交通手段を用いて暮らせるまちづくりについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 39 - 2	あなたの住む地域は、自家用車に頼らなくても、バス、自転車などの他の交通手段を用いて暮らせると思いますか？

- ・ 満足度は 2.4 点と低く、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント減少しています。
- ・ 関心度は 88% と高いものの、平成 15 年度調査と比較して 2 ポイント減少しています。
- ・ 地域別で、満足度が 3 点以上となったのは、岐阜、静岡市、名古屋の都市部と尾鷲の 4 か所であり、それ以外の地域は 2.7 点以下です。平成 15 年度調査と比較して、岐阜と静岡市は 0.5、0.4 ポイントの増加となりましたが、名古屋市は 0.5 ポイントの減少となりました。名古屋市では、地下鉄の環状化に伴い、周辺部のバス路線の見直しにより、路線数や便数が縮小されたことが一因として考えられます。
- ・ 今回、満足度が増加した地域が 14 か所であるのに対して、21 地域で減少しています。
- ・ 地域別の満足度について、熊野、諏訪、木曽で低くなっているとともに、これらの地域では平成 15 年度調査と比較して、20 ポイント前後の減少が見られます。これは、いずれも人口規模の小さい地域であり、少子高齢化の進行によって、公共交通サービス水準の低下、自家用車への利用転換等が要因となったと考えられます。

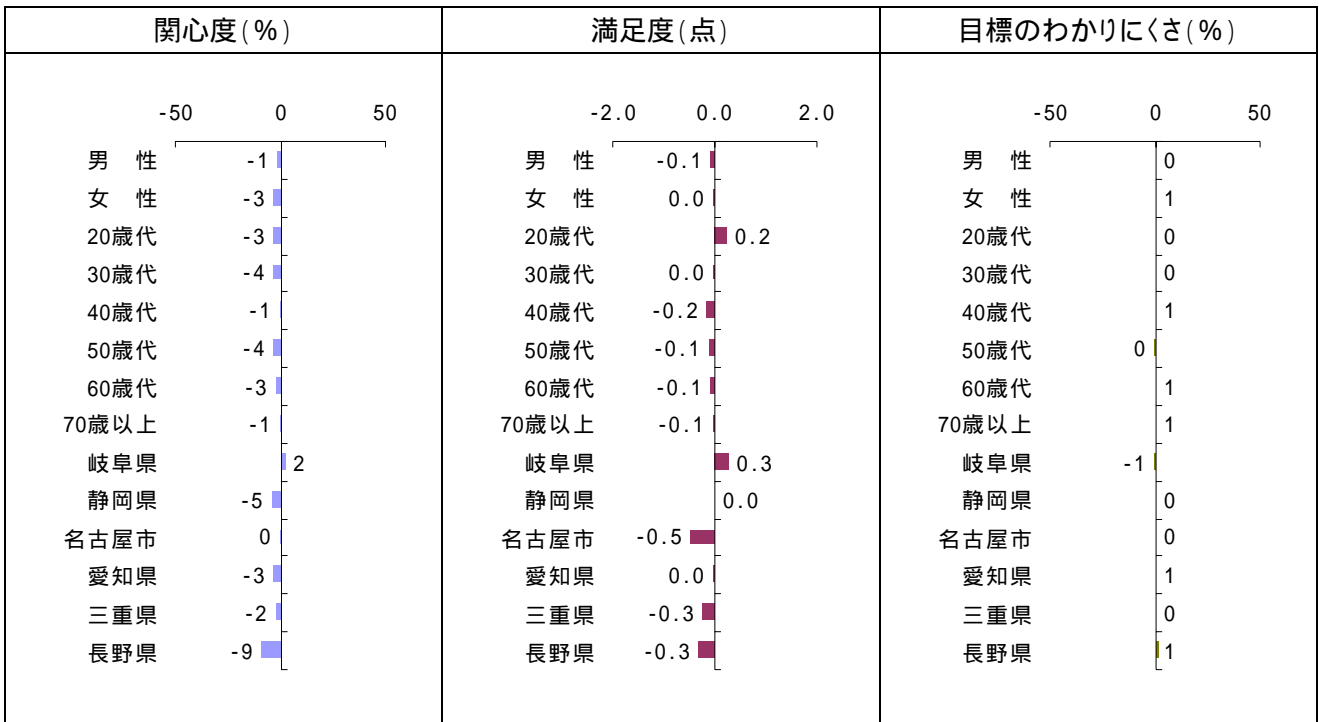
調査結果



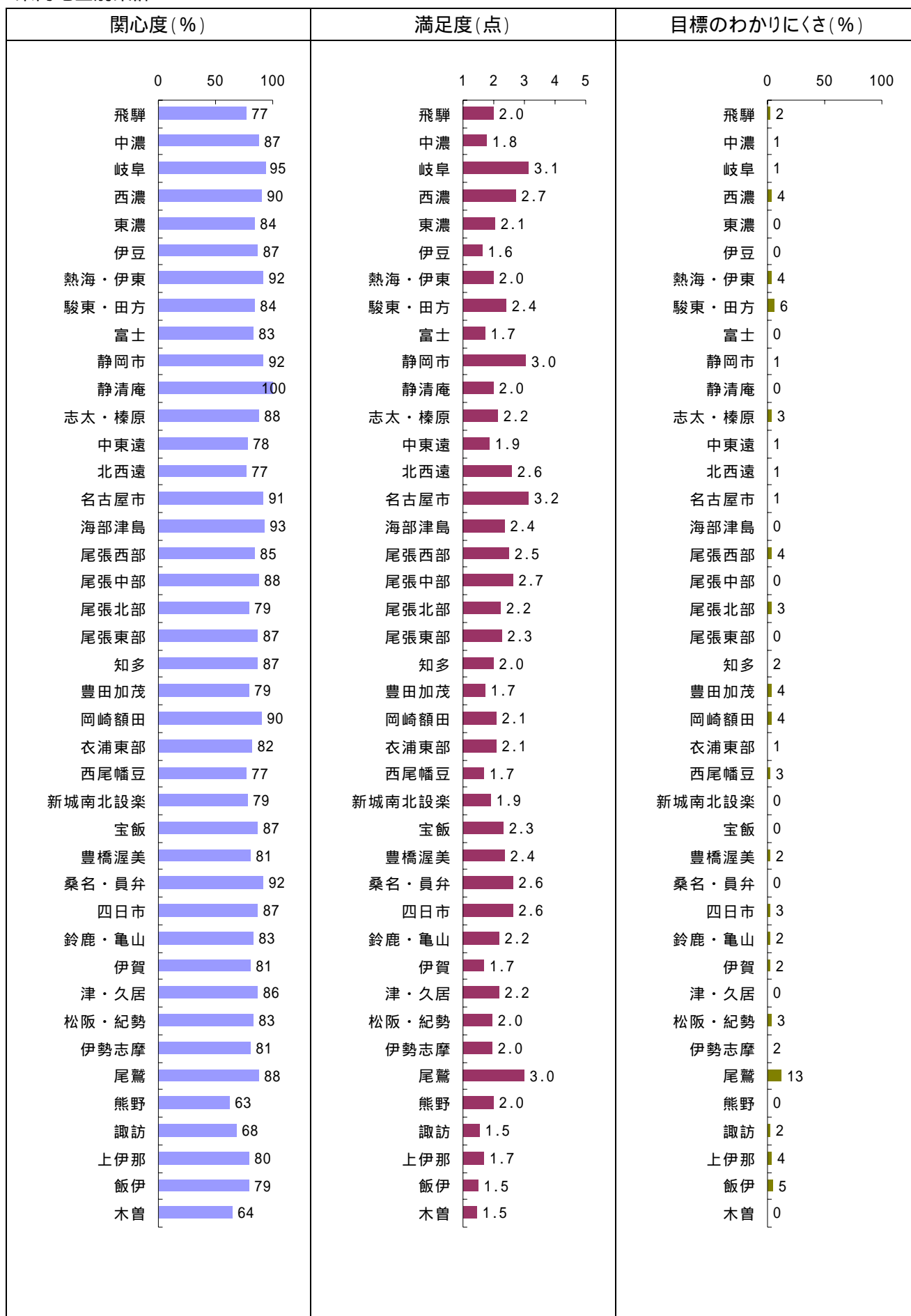
属性別集計



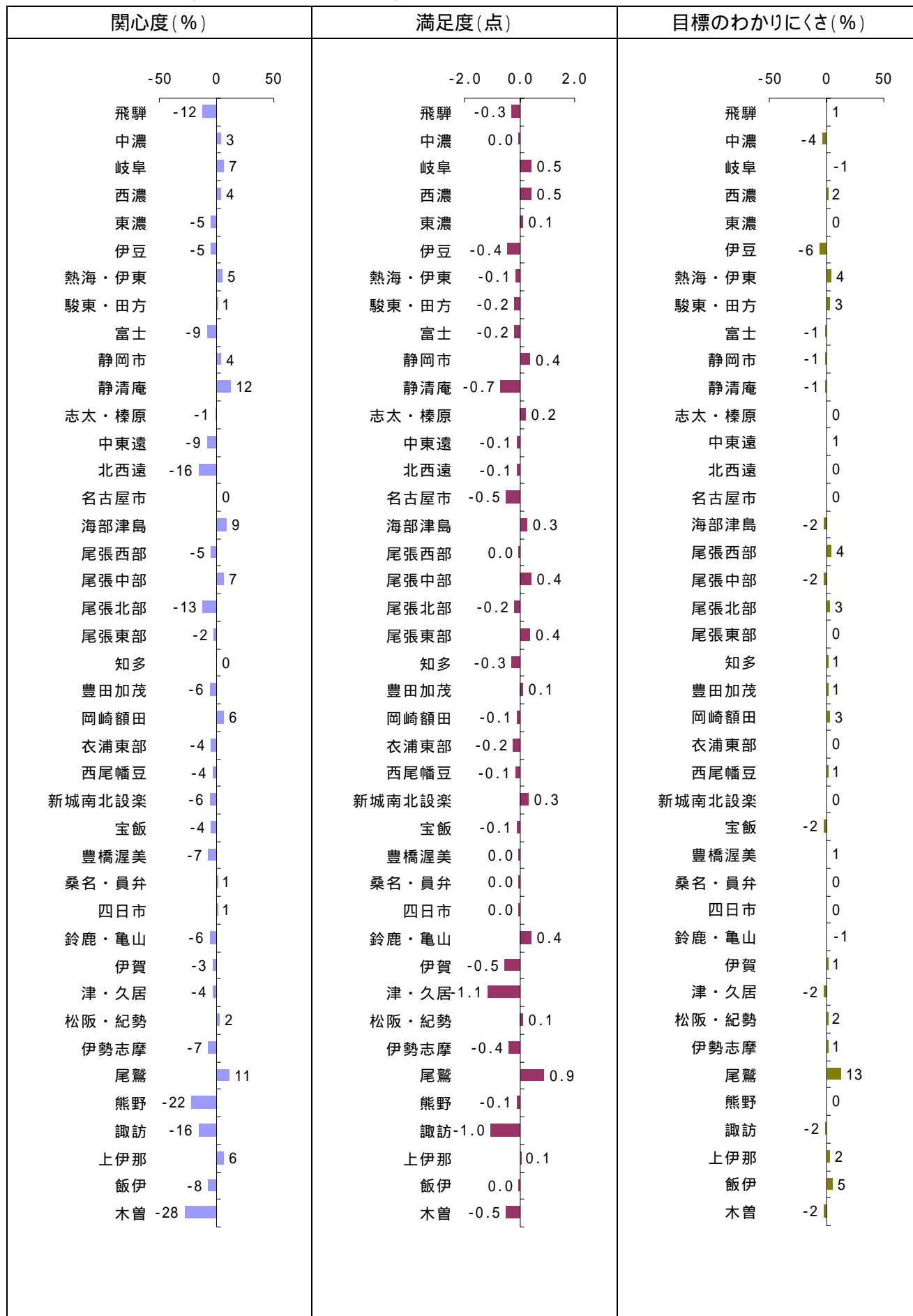
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

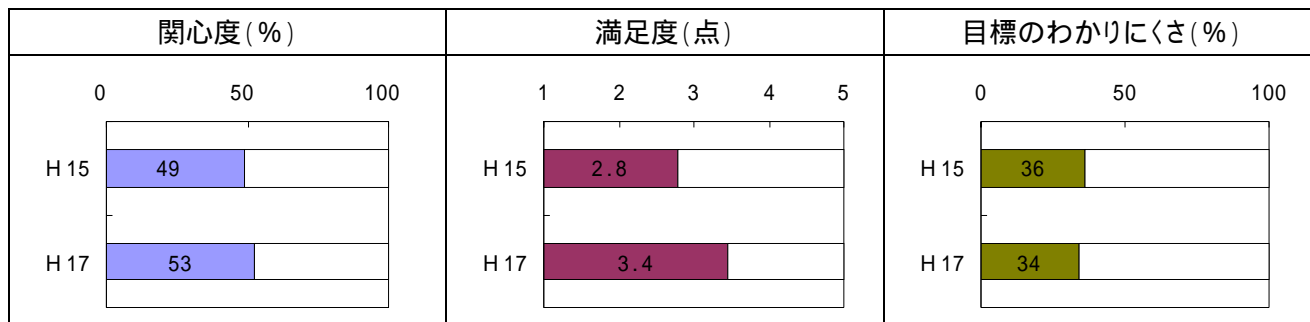


目標	- 1	環伊勢湾及び東海環状都市間のアクセス時間を短縮します
関心度設問	問 40 - 1	環伊勢湾地域内（名古屋・豊田・岐阜・四日市など）での都市と都市との間の移動のしやすさについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度設問	問 40 - 2	環伊勢湾地域内（名古屋・豊田・岐阜・四日市など）での都市と都市との間の移動はしやすいと思いますか？

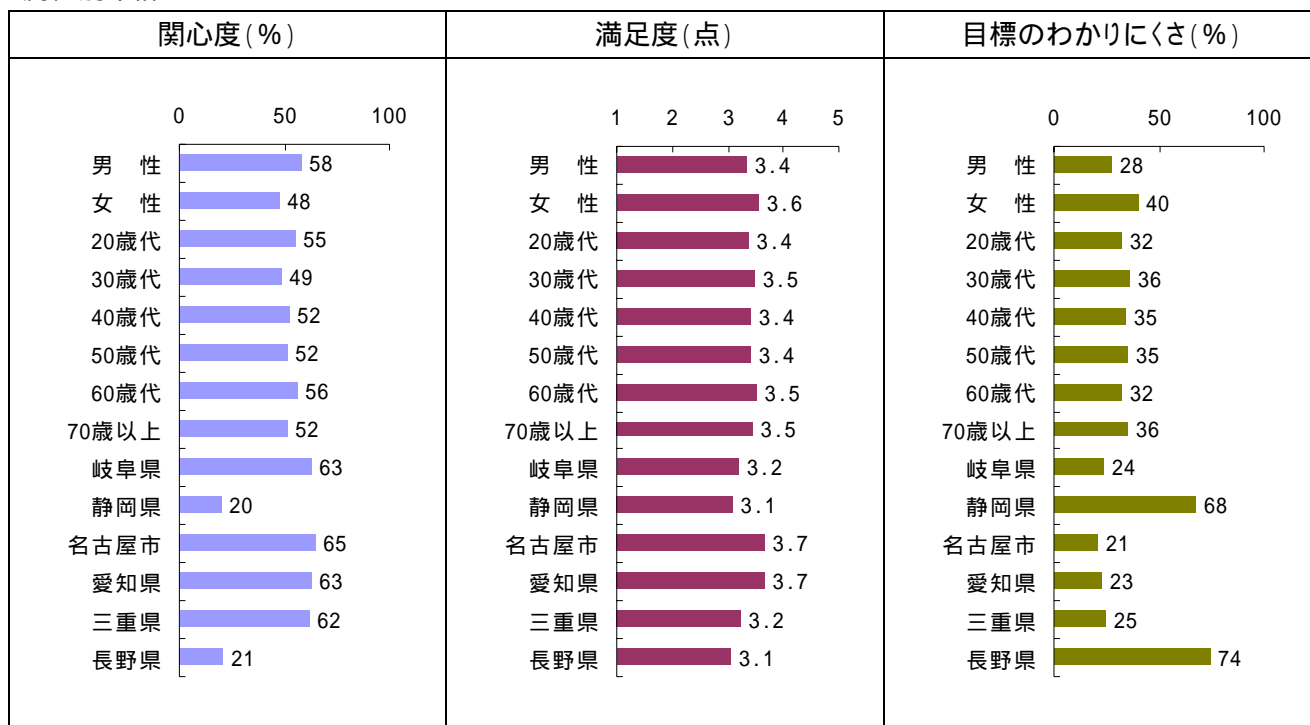
- ・ 満足度は 3.4 点と中間値である 3 点を上回っており、平成 15 年度調査と比較して 0.6 ポイントの高い増加を示しています。
- ・ 関心度は 53%と低いものの、平成 15 年度調査と比較すると 4 ポイント増加しています。
- ・ 地域別の満足度において、特に、東海環状自動車道の沿線にあたる中濃、東濃、尾張東部、豊田加茂では得点が高く、また、平成 15 年度調査と比較していずれも 1.0 ポイントと高い伸びを示しています。そのため、東海環状自動車道の開通に伴う成果が評価として現れていると考えられます。
- ・ 沿線地域以外でも、北西遠から愛知県三河部を中心とした地域、鈴鹿・亀山や津・久居など三重県において、平成 15 年度調査以降の得点の伸びが大きく、伊勢湾岸自動車道の開通も含め、その影響が満足度に反映したと考えられます。
- ・ 地域別の関心度では、飛騨、静岡県や長野県のほとんどの地域で 30%以下となっており、8 割を超える沿線地域の豊田加茂や岡崎額田、桑名・員弁と大きな差が生じています。また、こうした地域では、目標のわかりにくさが 5 割を超える地域が多くを占めており、事業推進に対して理解を深める取り組みが求められます。



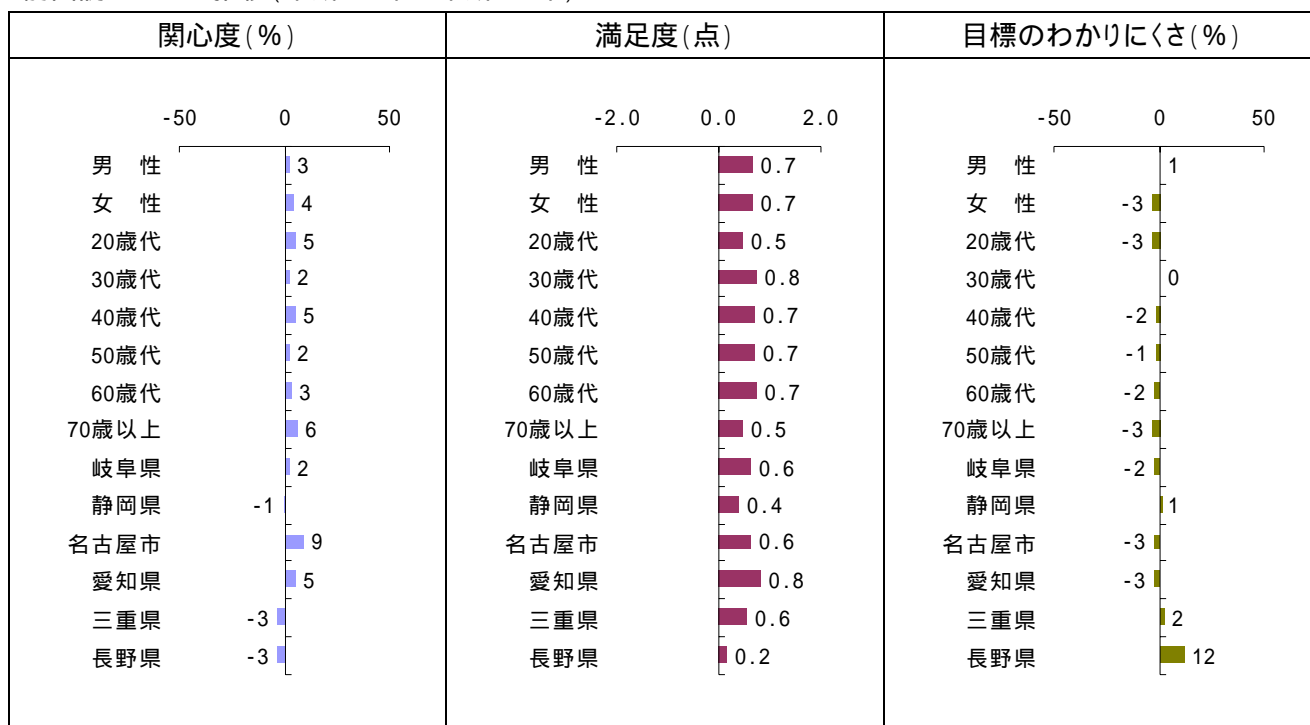
調査結果



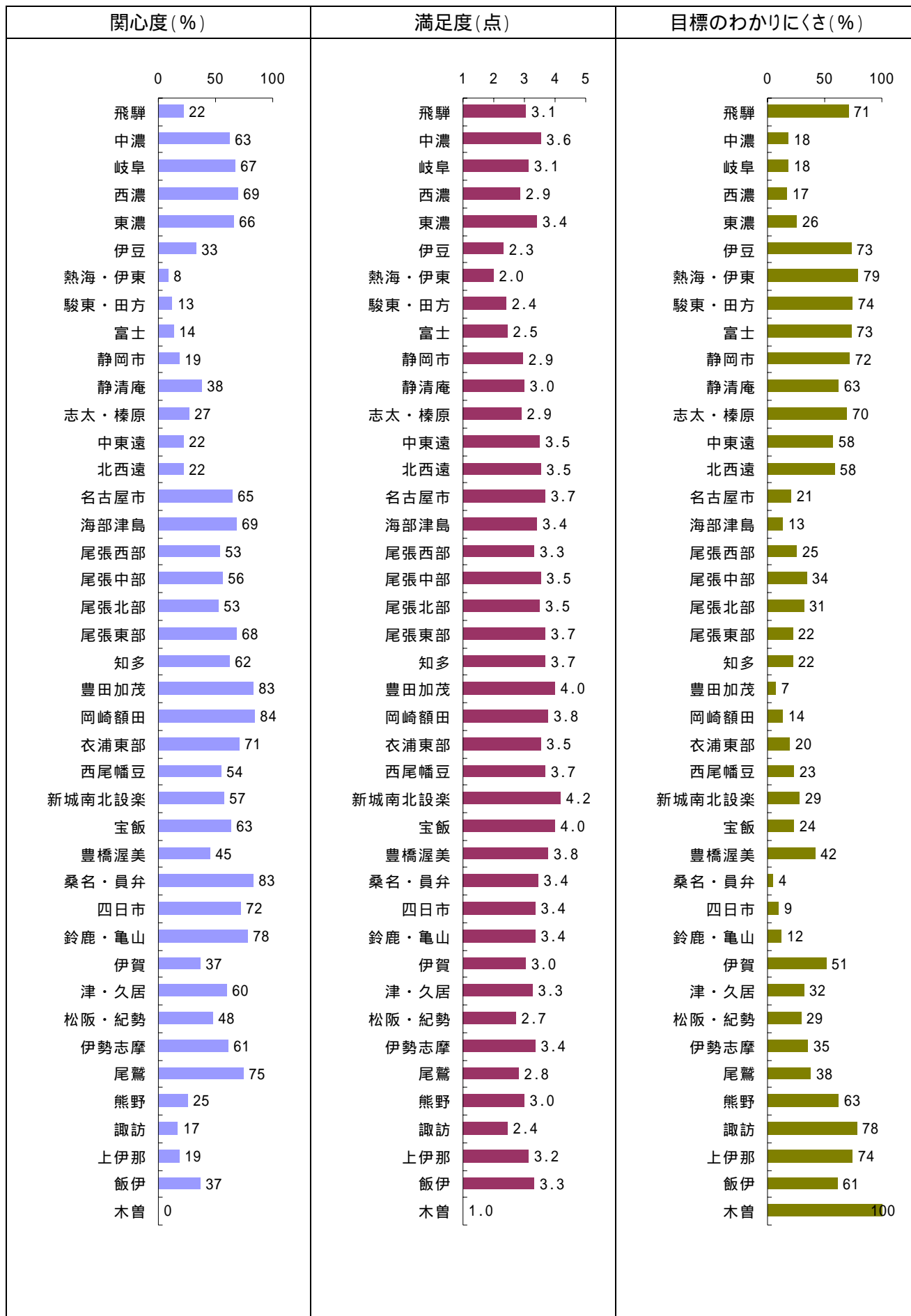
属性別集計



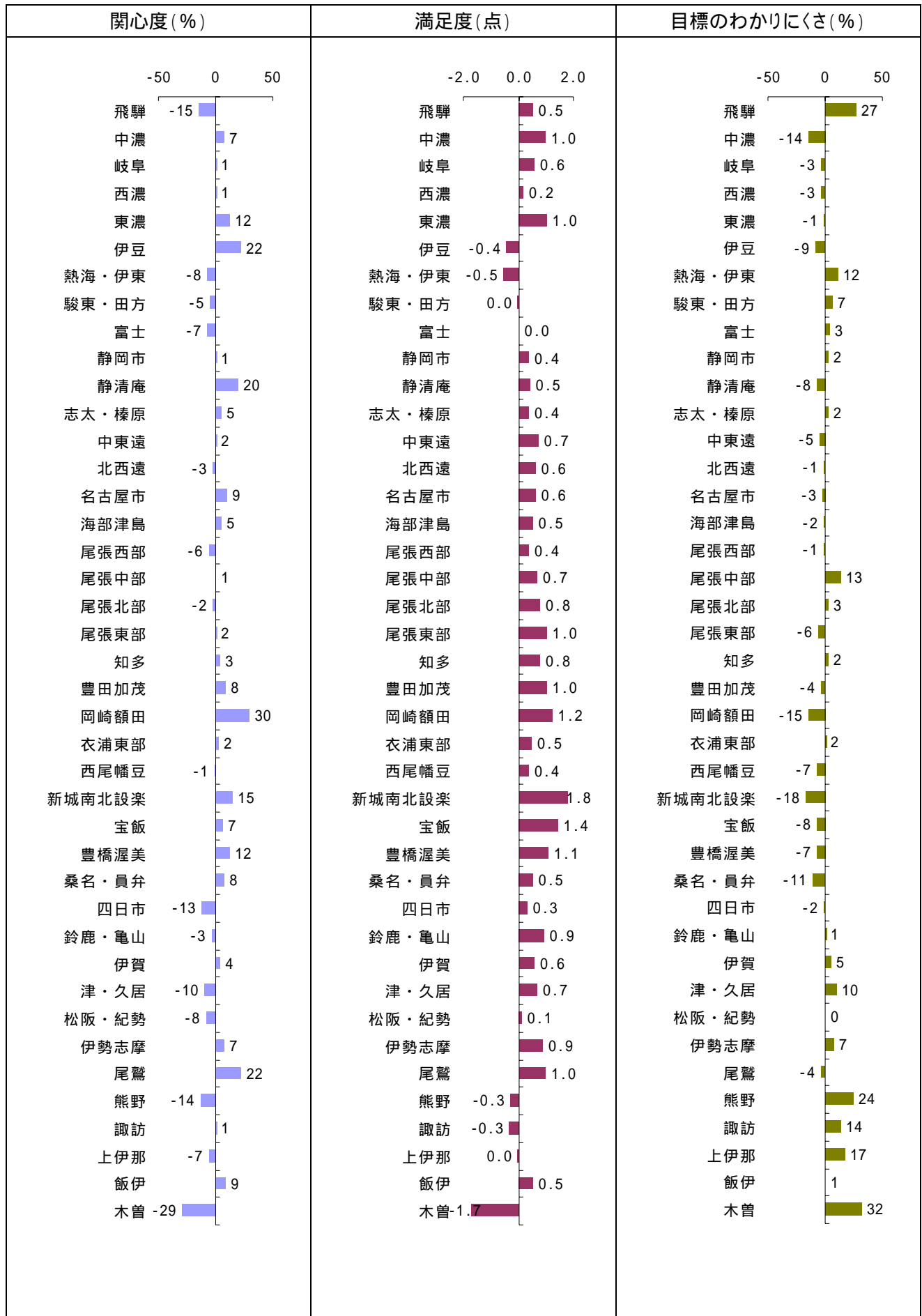
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



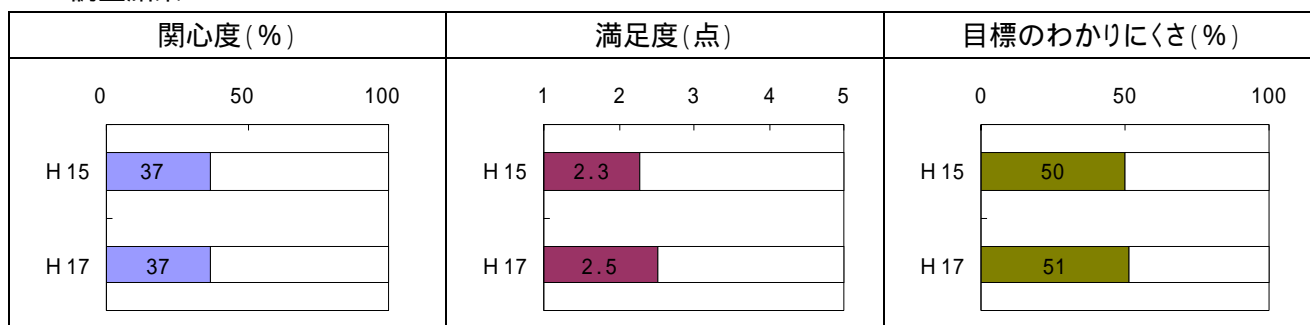
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



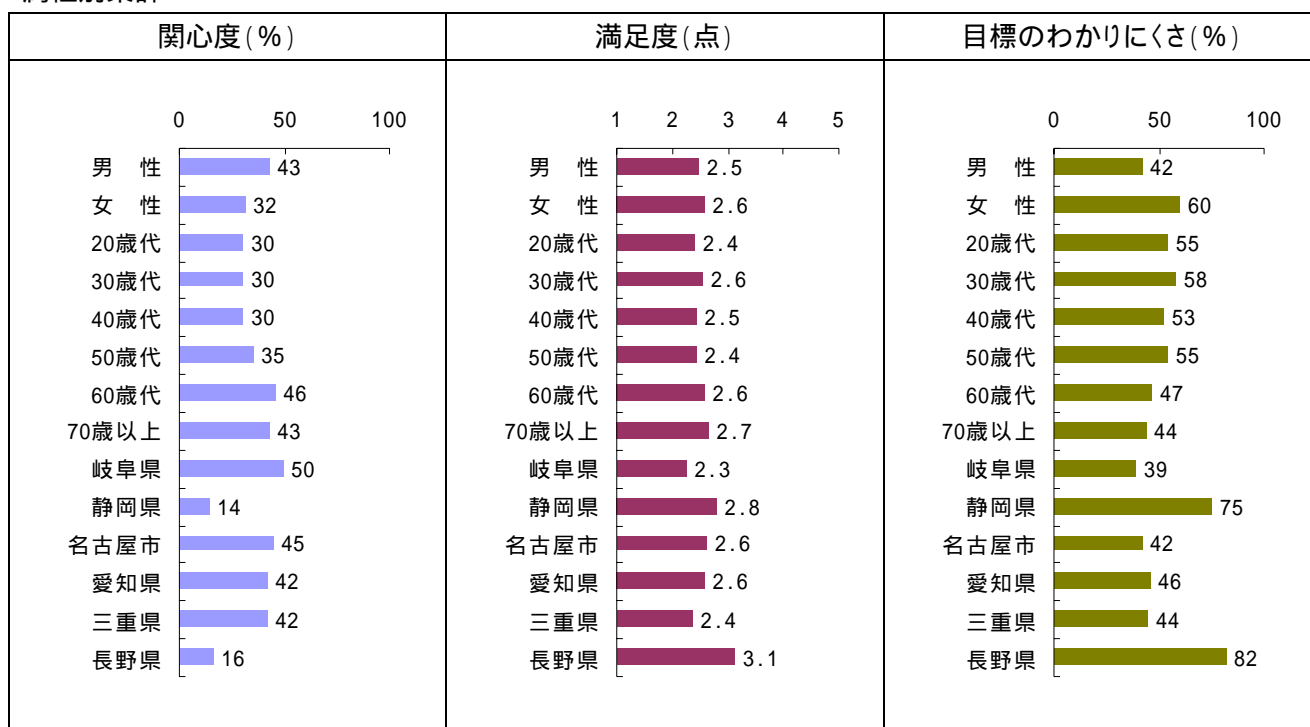
目標	- 2	環伊勢湾及び東海環状都市間の経済・社会活動の交流拡大を図ります
関心度 設問	問 41 - 1	環伊勢湾地域内（名古屋・豊田・岐阜・四日市など）での都市と都市との間の経済や文化の交流について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 41 - 2	環伊勢湾地域内（名古屋・豊田・岐阜・四日市など）での都市と都市との間の経済や文化の交流は活発であると思いますか？

- ・ 満足度は 2.5 点で中間値の 3 点を下回っていますが、平成 15 年度調査と比較して 0.2 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 37% と非常に低く、また、平成 15 年度調査以降、関心は高まっていません。
- ・ 東海環状自動車道や伊勢湾岸自動車道の沿線地域の満足度は、中濃で 2.6、東濃で 2.0、尾張東部で 2.4、豊田加茂で 2.7、知多 2.6、海部津島 2.8、桑名・員弁 2.2、四日市 2.3 点と他地域と比べて目立って高くありません。
- ・ 平成 15 年度以降、得点の伸びの大きい地域は、沿線あるいは周辺地域である海部津島、尾張中部、新城南北設楽、宝飯、豊橋渥美、鈴鹿・亀山等となっています。
- ・ 目標のわかりにくさが沿線地域でも 30% を超えており、静岡県や長野県のほとんどの地域では 70% を超えていることから、住民にとって評価の難しい目標であると考えられます。今後、事業を推進するためには、交流拡大による様々な効果について積極的な情報発信が求められます。

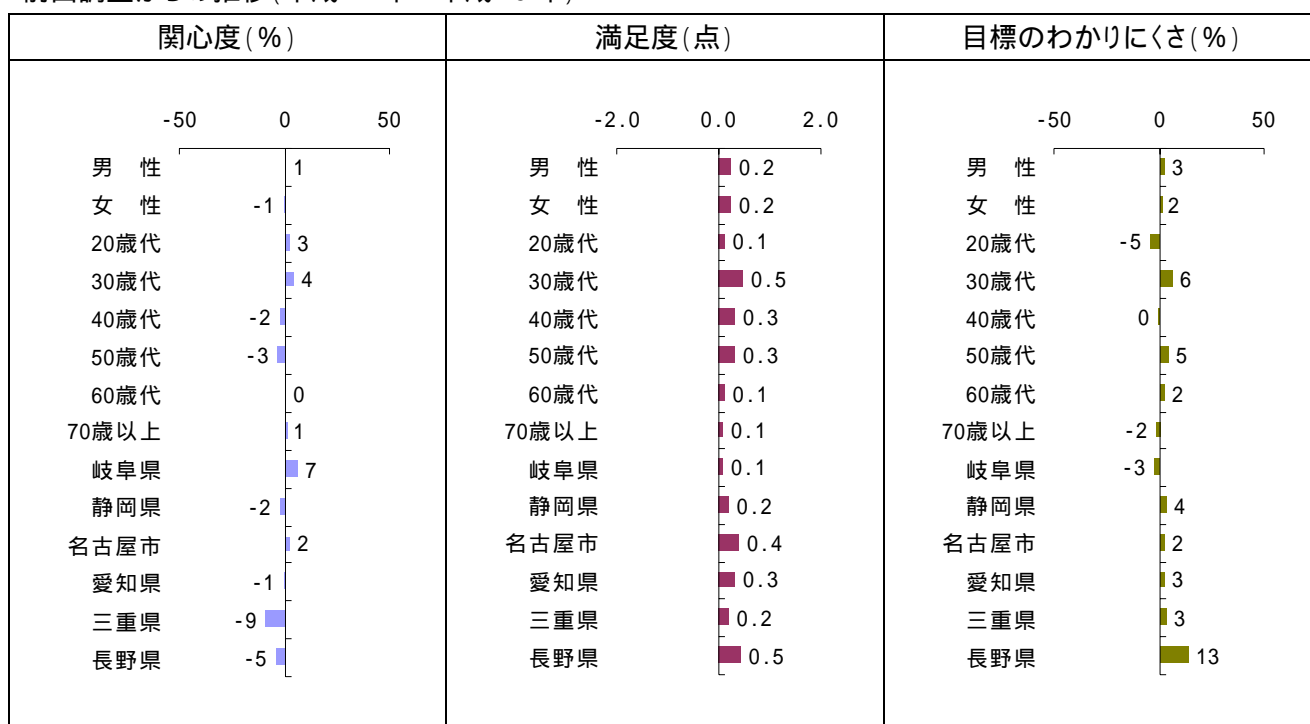
・ 調査結果



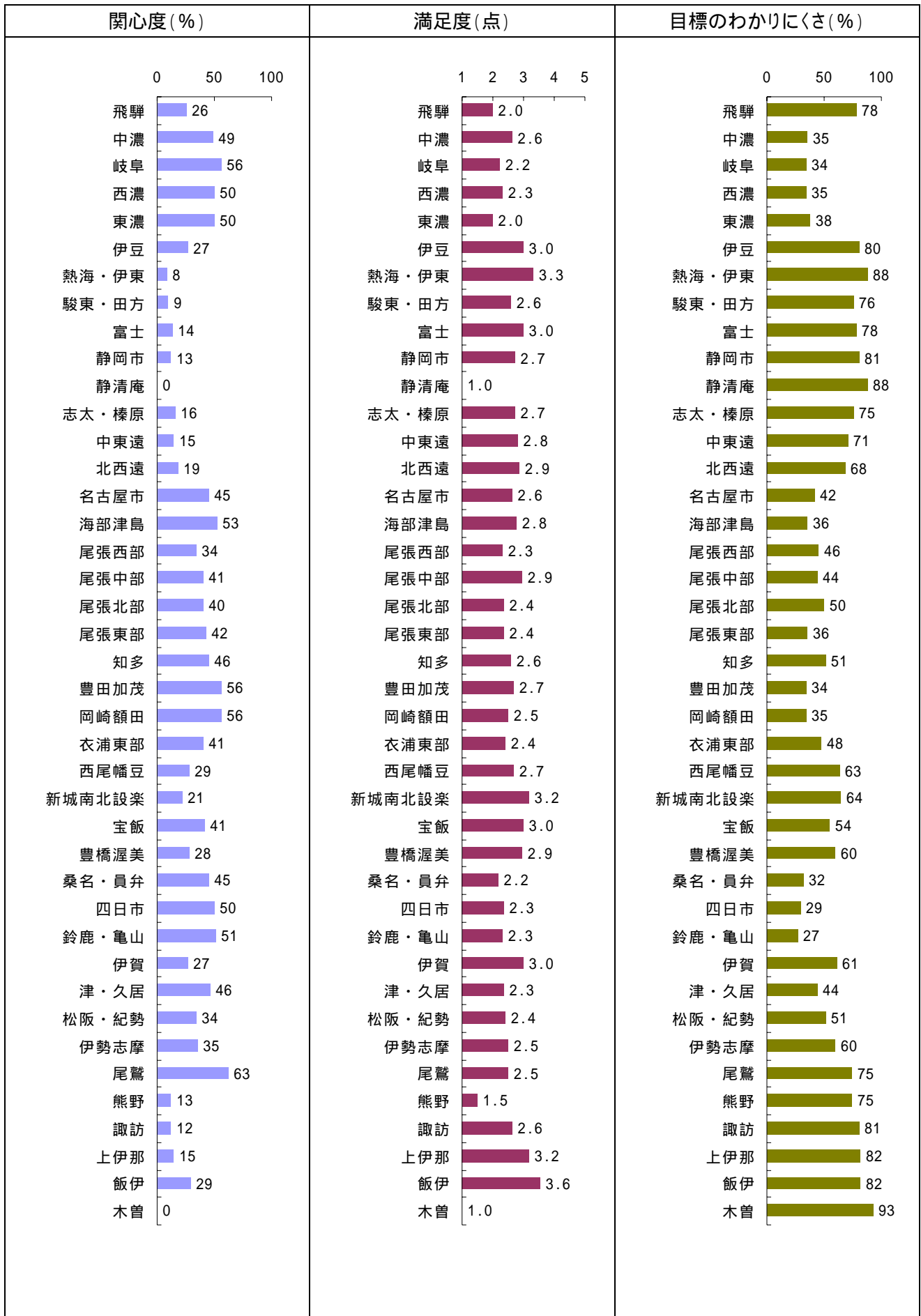
属性別集計



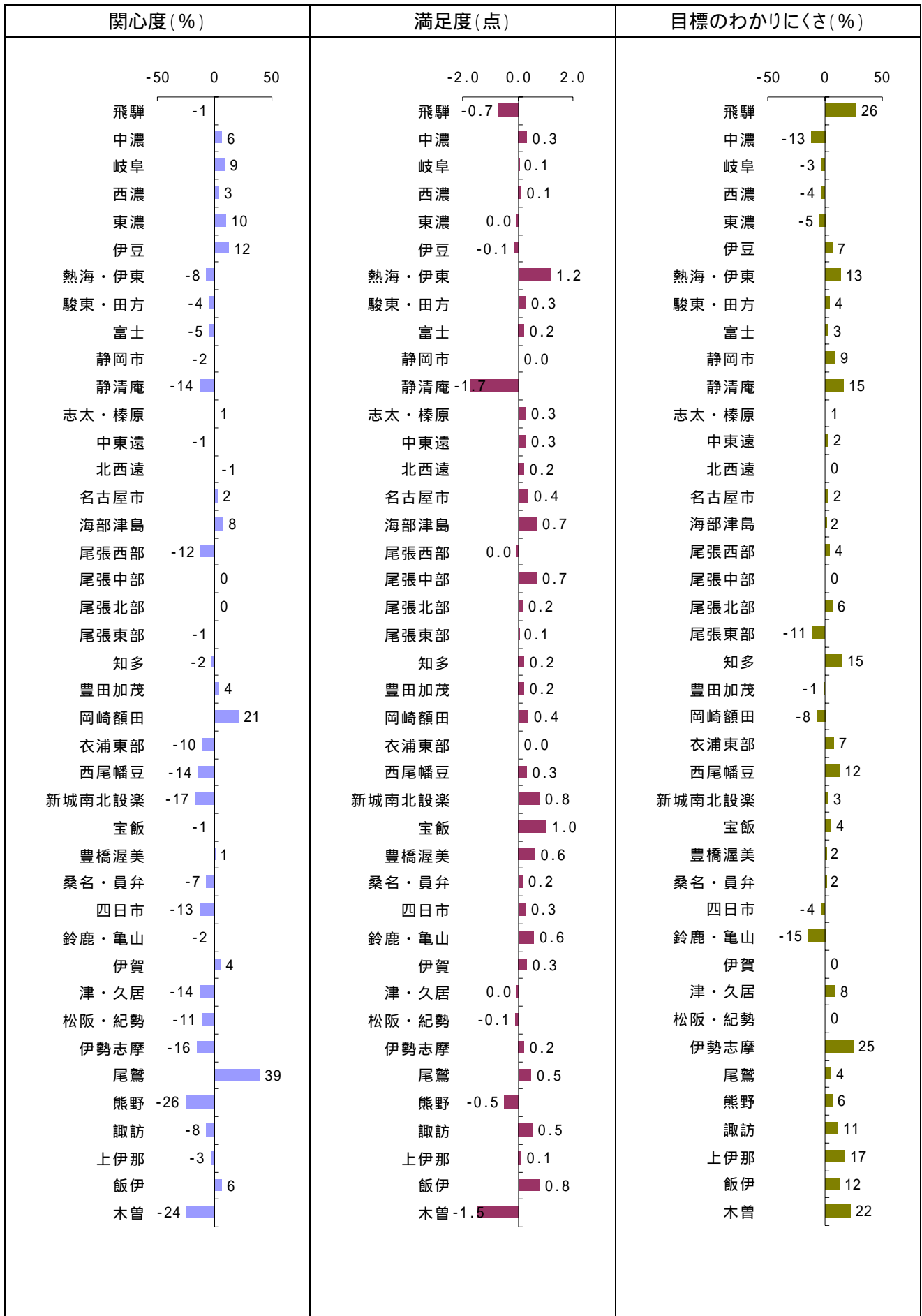
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

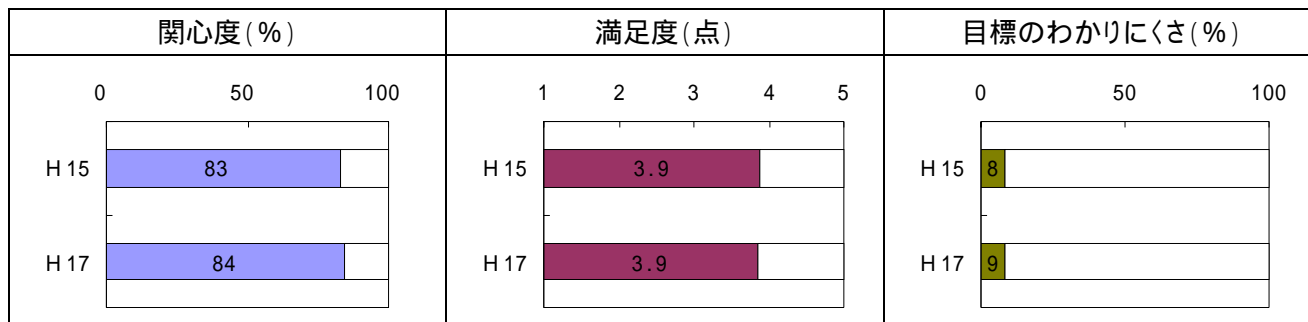


目標	- 1	日本の東西大動脈の信頼性を向上します
関心度 設問	問 42 - 1	東名・名神高速道路、東海道新幹線など、わが国の大動脈の重要性について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 42 - 2	東名・名神高速道路、ＪＲ東海道新幹線などは、わが国の大動脈として安全・円滑・快適で信頼性が高いと思いますか？

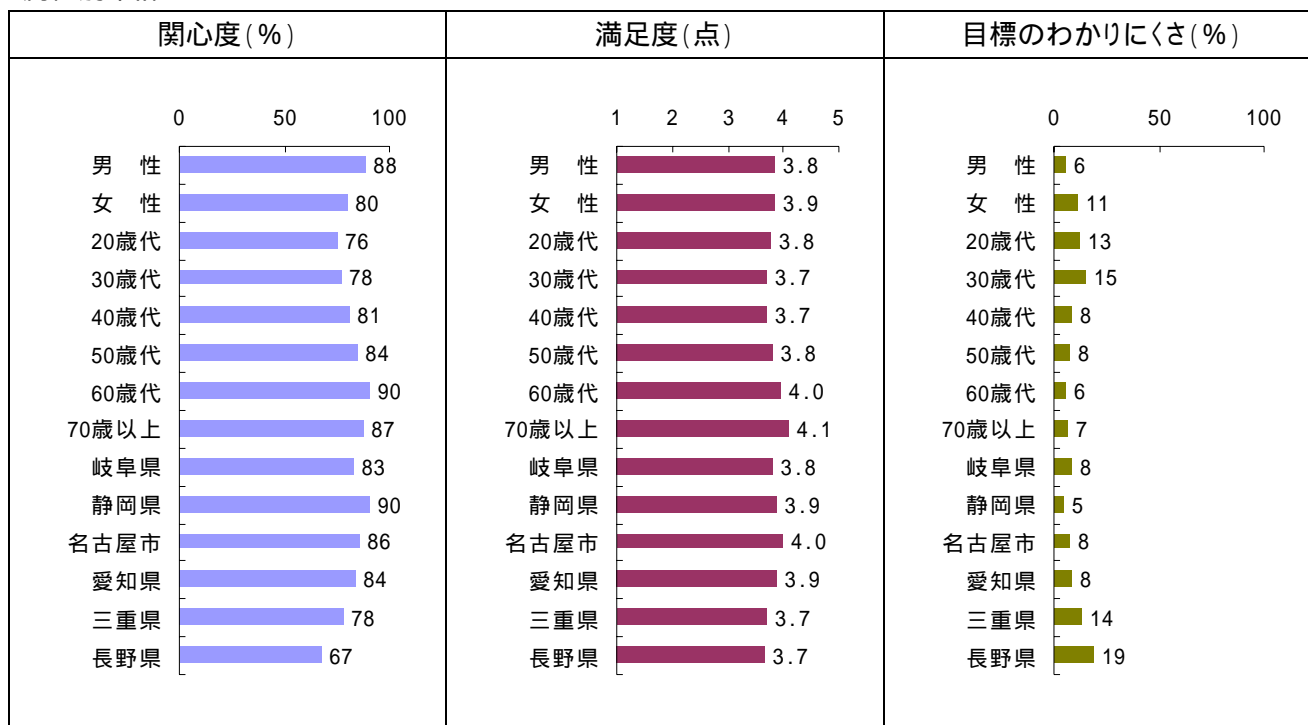
- ・ 満足度は 3.9 点と高いですが、平成 15 年度調査と比較して変化は見られません。
- ・ 関心度は 84% と高く、平成 15 年度調査と比較して 1 ポイント増加しています。
- ・ 地域別で、満足度が 4.0 点以上になったのは、熱海・伊東 (4.3)、富士 (4.1)、北西遠 (4.0)、名古屋市 (4.0)、岡崎額田 (4.0)、新城南北設楽 (4.0) の東海道沿線地域と熊野 (4.4) です。それ以外の地域では、平成 15 年調査と比較して、富士 (+0.5)、志太・榛原 (+0.5)、伊賀 (+0.3) において伸びが大きくなっています。
- ・ 一方、東海道沿線地域のうち、駿東・田方 (-0.3)、中東遠 (-0.4) で 0.3 ポイント以上減少しているほか、静岡市 (-0.2)、静岡庵 (-0.1)、鈴鹿・亀山 (-0.1) などで得点が減少しています。これらの地域はいずれも第二東名・名神が建設途上にある地域であり、交通環境の改善が強く望まれているものと考えられます。
- ・ 関心度について、平成 15 年度調査以降、松阪・紀勢 (-10)、桑名・員弁 (-8)、四日市 (-8) など三重県の多くの地域で減少傾向が見られます。



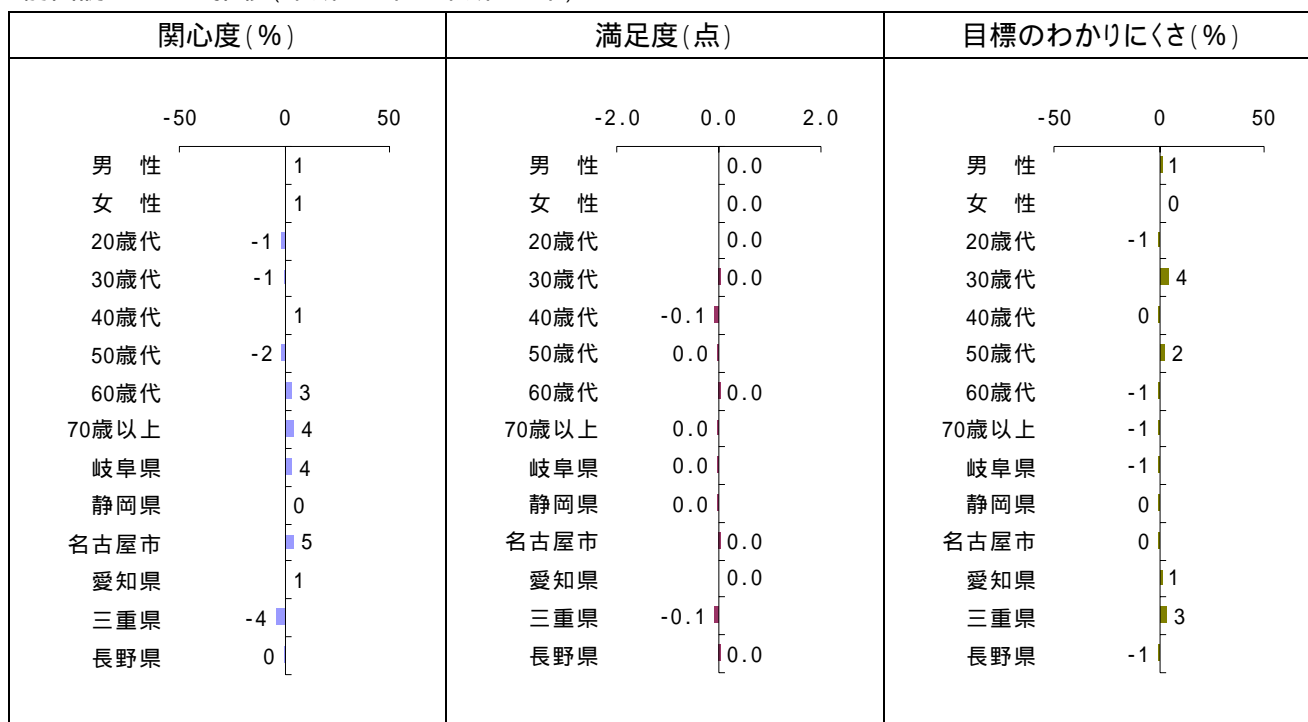
調査結果



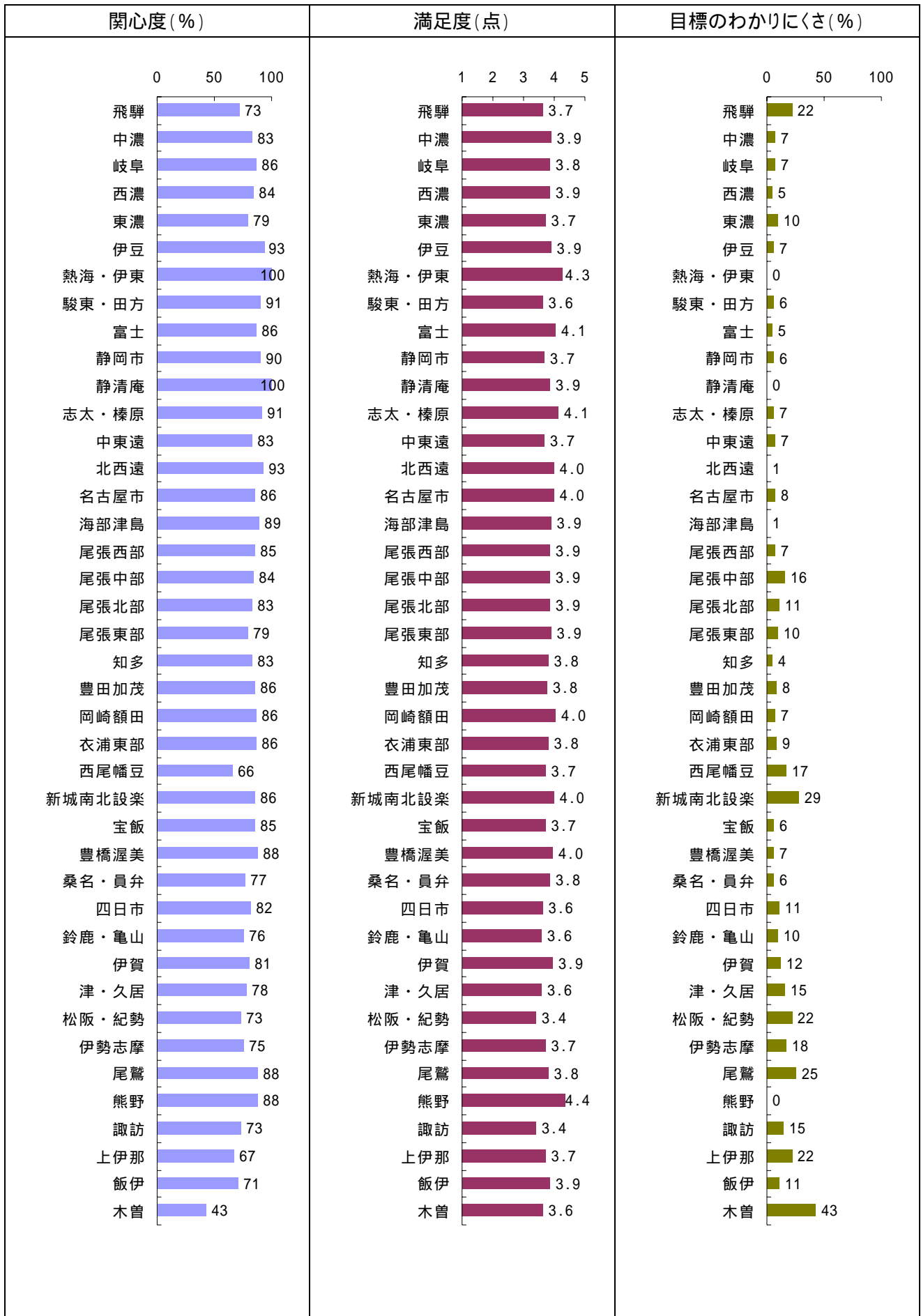
属性別集計



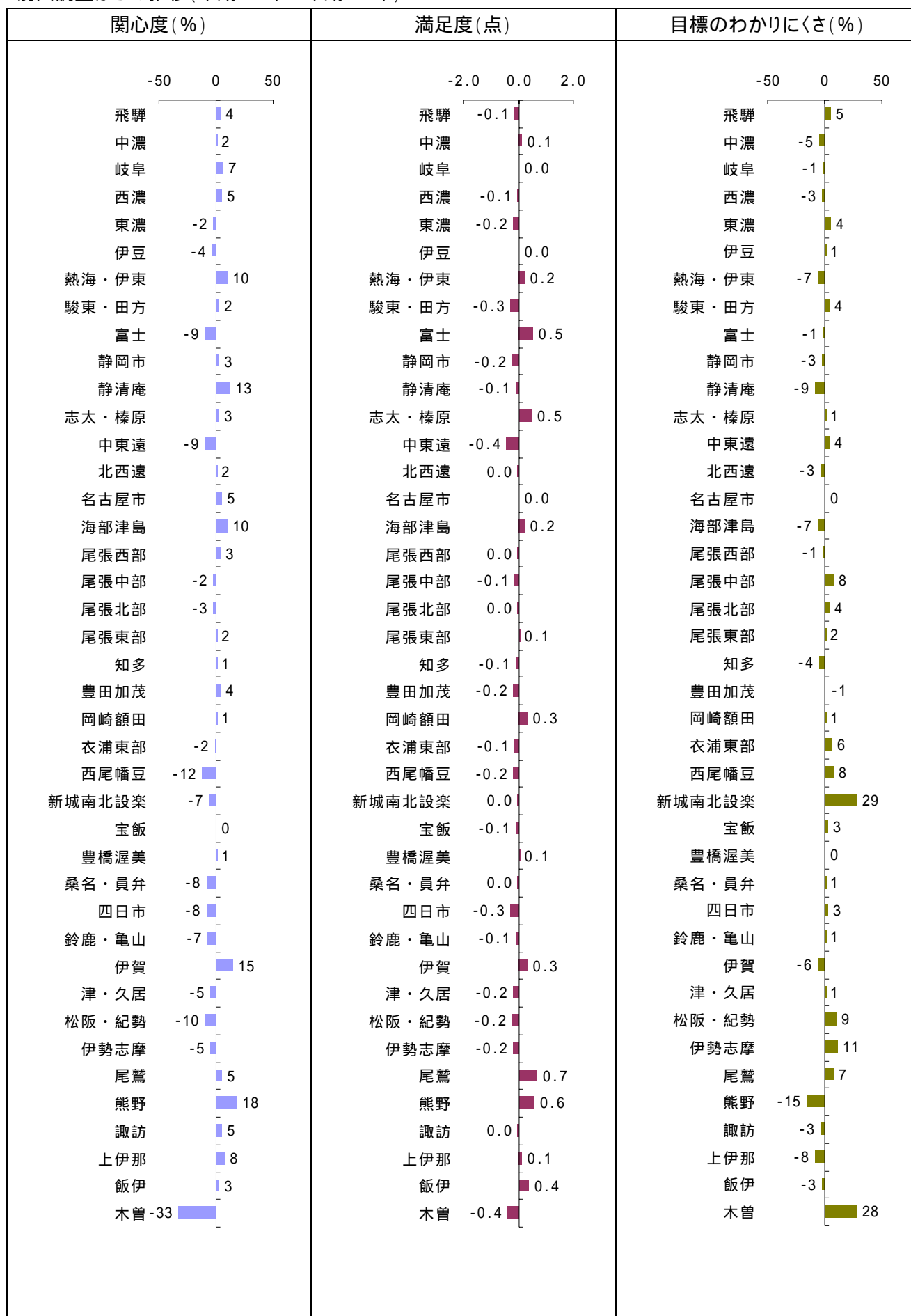
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



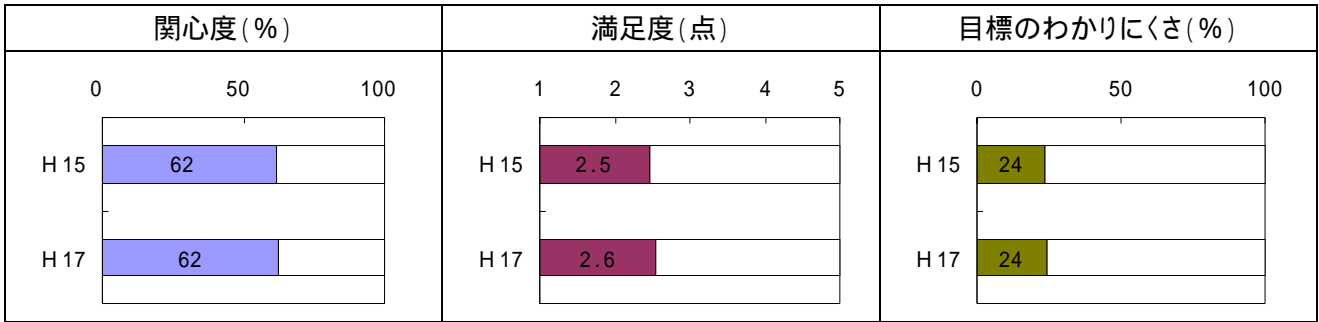
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



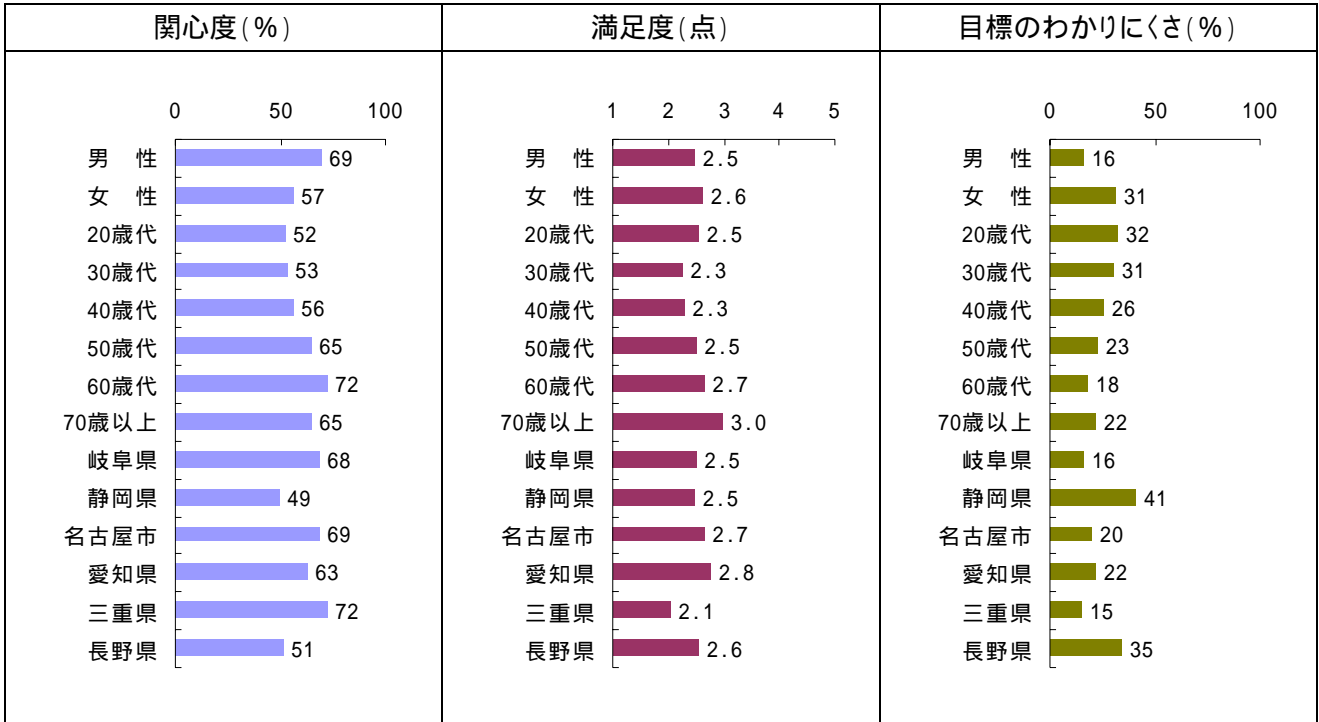
目標	- 2	南北軸のスムーズな交通環境を整備し、信頼性・快適性を確保します
関心度 設問	問 43 - 1	北陸方面や紀州方面へ向かう交通網（道路や鉄道）について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 43 - 2	北陸方面や紀州方面へ向かう交通網（道路や鉄道）は便利であると思いますか？

- ・ 満足度は 2.6 点と平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント増加しているものの、依然として中間値である 3 点を下回っています。
- ・ 関心度は 62%と低く、平成 15 年度調査から変化ありません。
- ・ 東濃を除く岐阜県の各地域の満足度は飛騨が 2.3 点、それ以外の 3 地域が 2.6 点といずれも高くありません。特に、飛騨では平成 15 年度調査から得点が 0.3 ポイント下がっており、南北軸の交通環境の向上を求めるニーズが潜在的にあるものと考えられます。
- ・ 一方、近畿自動車道紀勢線や伊勢自動車道沿線地域となる三重県南部の各地域の満足度は、津・久居（1.8）伊勢志摩（1.7）尾鷲（1.7）熊野（1.4）で 1 点台と極めて低く、関心度がいずれも 70% 以上と最も関心の高い地域となっています。特に熊野、尾鷲地域等では、地域を支える唯一の生命線といえる国道 42 号が、台風や大雨等により頻繁に通行止めになるなど、幹線道路の信頼性・快適性が強く求められている地域です。このような地域においては、近畿自動車道紀勢線など南北軸の強化に対する強い期待が結果に反映されているものと推察されます。
- ・ 他方、三遠南信自動車道沿線地域の関心度は、北西遠の 55%、豊橋渥美 60%、飯伊 47%といずれも低く、当該目標が自分たちの住む地域に関わる施策として十分に認識されていない可能性があります。

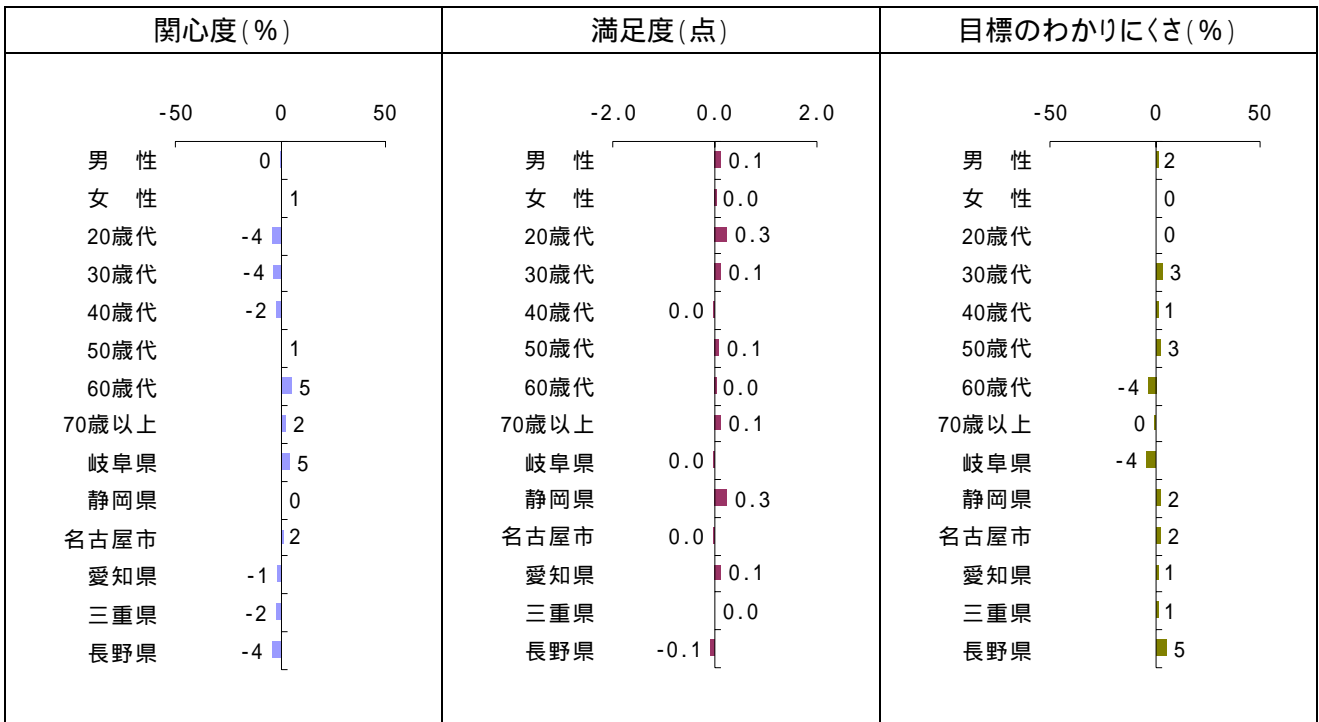
調査結果



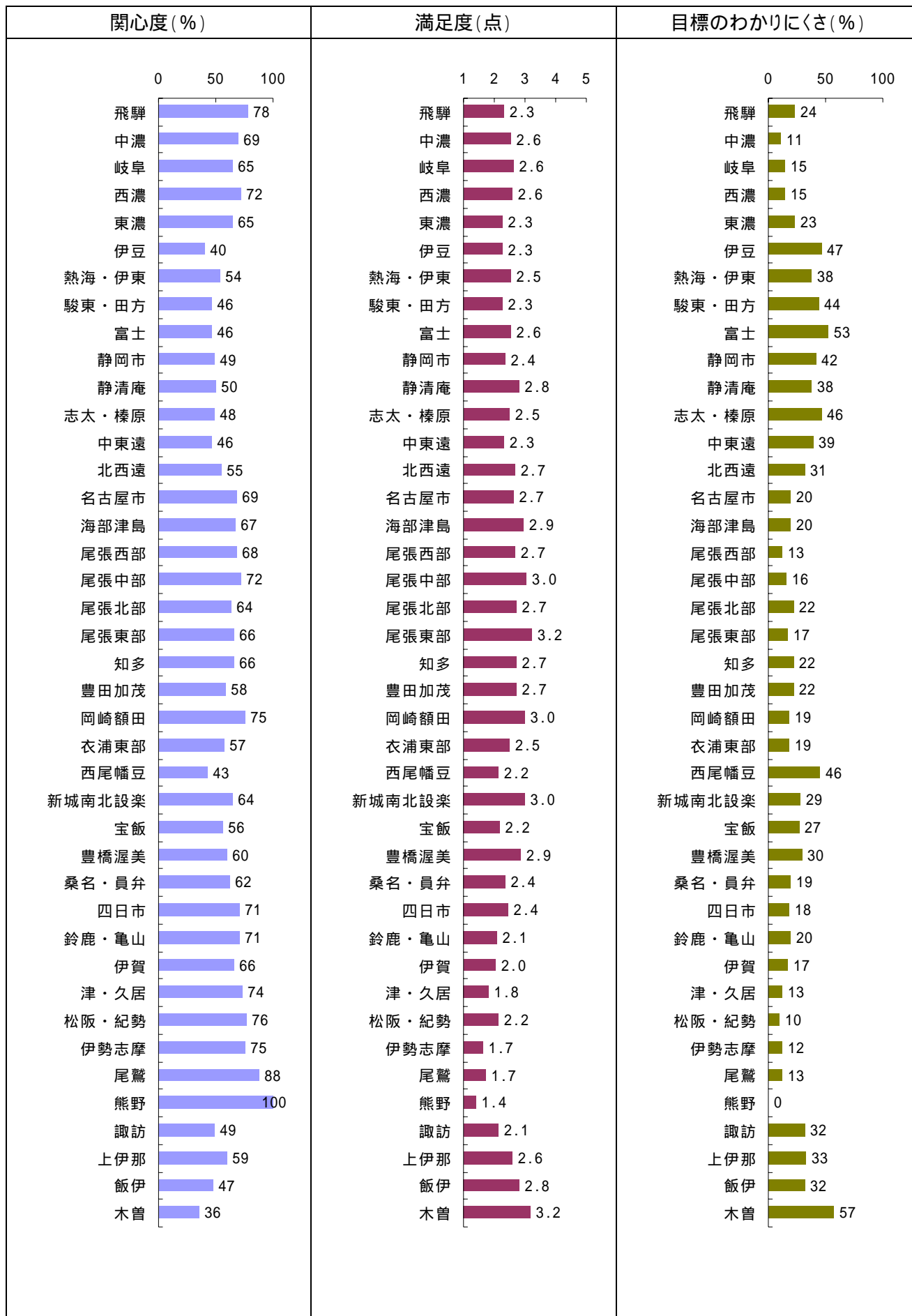
属性別集計



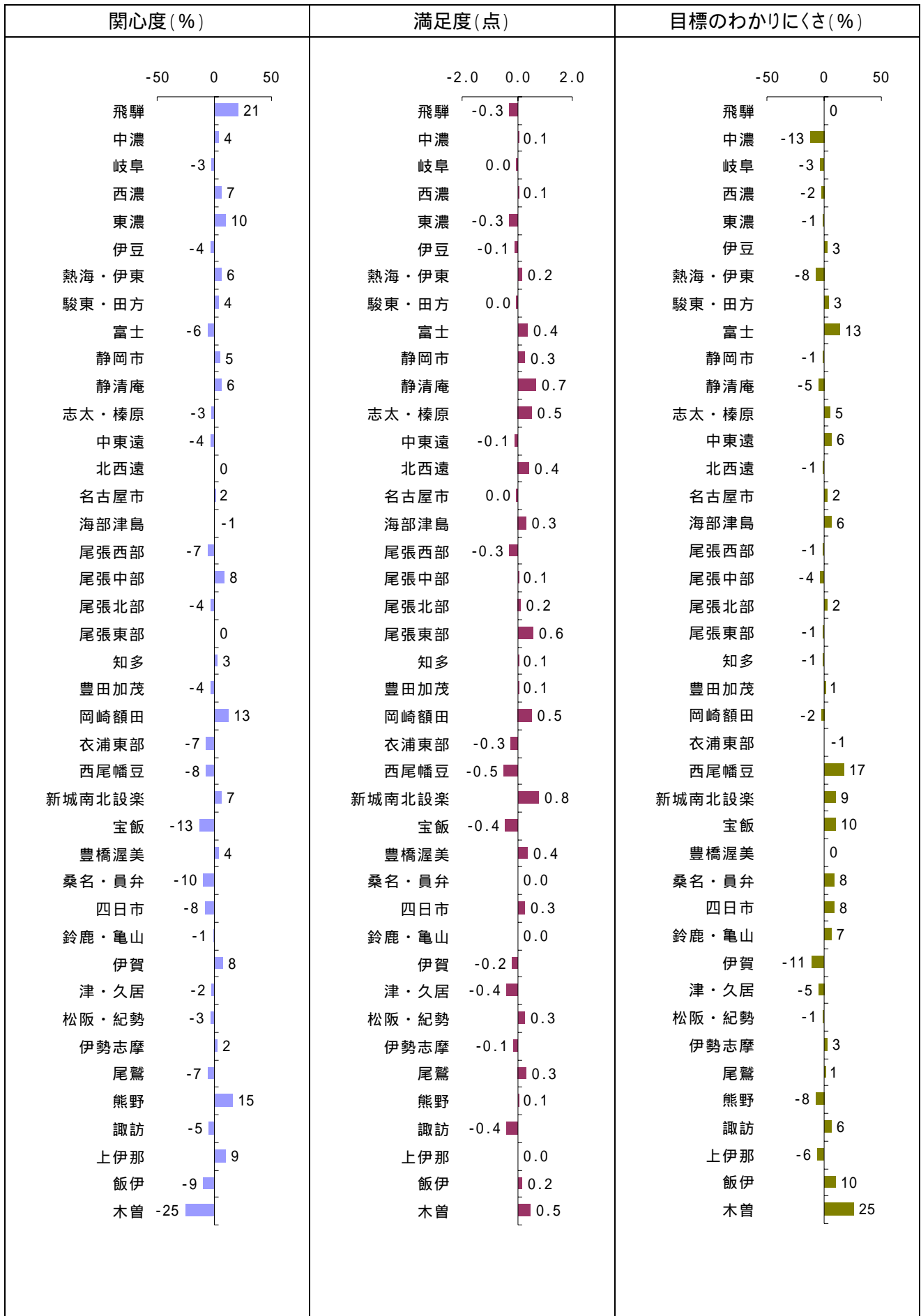
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



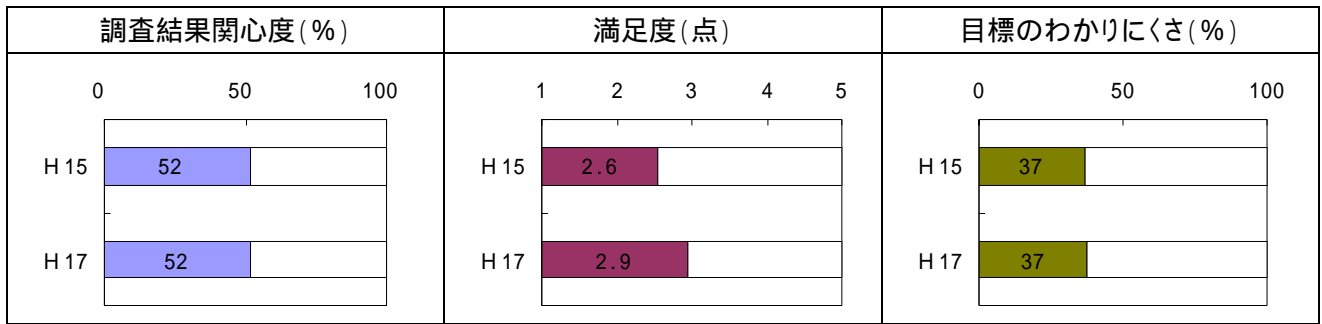
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



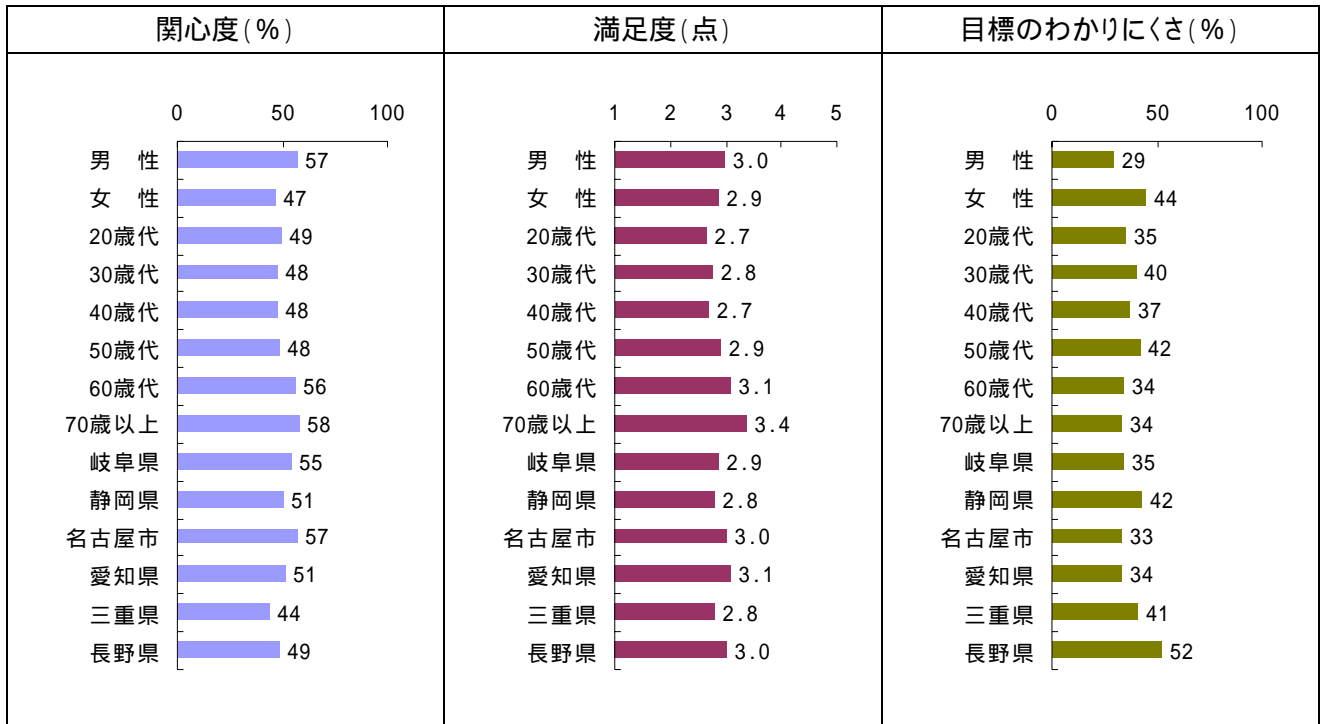
目標	- 3	東西・南北軸と国内外交流拠点を活用した、東京・大阪圏や環日本海等の国内外と中部の経済・社会活動の交流拡大を図ります
関心度 設問	問 44 - 1	東京・大阪圏や日本海側、アジアをはじめとする諸外国との経済・社会活動の交流拡大について、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 44 - 2	中部地方は、東京・大阪圏や日本海側、アジアをはじめとする諸外国との経済・社会活動の交流拡大が図られた地域であると思いますか？

- ・ 満足度は 2.9 点と中間値である 3 点を下回っているが、平成 15 年度調査と比較して 0.3 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 52%と低く、平成 15 年度調査から変化は見られません。
- ・ 満足度が 3.0 点を超えている地域は愛知県に多く、また、平成 15 年度調査と比べて得点が増加しているのは、愛知県のほか、岐阜県や三重県の地域に多い結果となりました。一方で、得点が下がっているのは、飛騨 (-0.2) のほか、静岡県の熱海・伊東 (-0.4)、静岡庵 (-0.5)、中東遠 (-0.2) の 3 地域となっています。
- ・ 地域別の関心度については、各地域で事業展開されているものの、伊勢志摩で 30%、中東遠で 42%、駿東・田方で 53%と低く、目標や設問と具体的な事業イメージが結びついていないように思われます。
- ・ また、目標のわかりにくさは、38%と高く、地域によって差は見られるものの、概ね高い割合となっています。

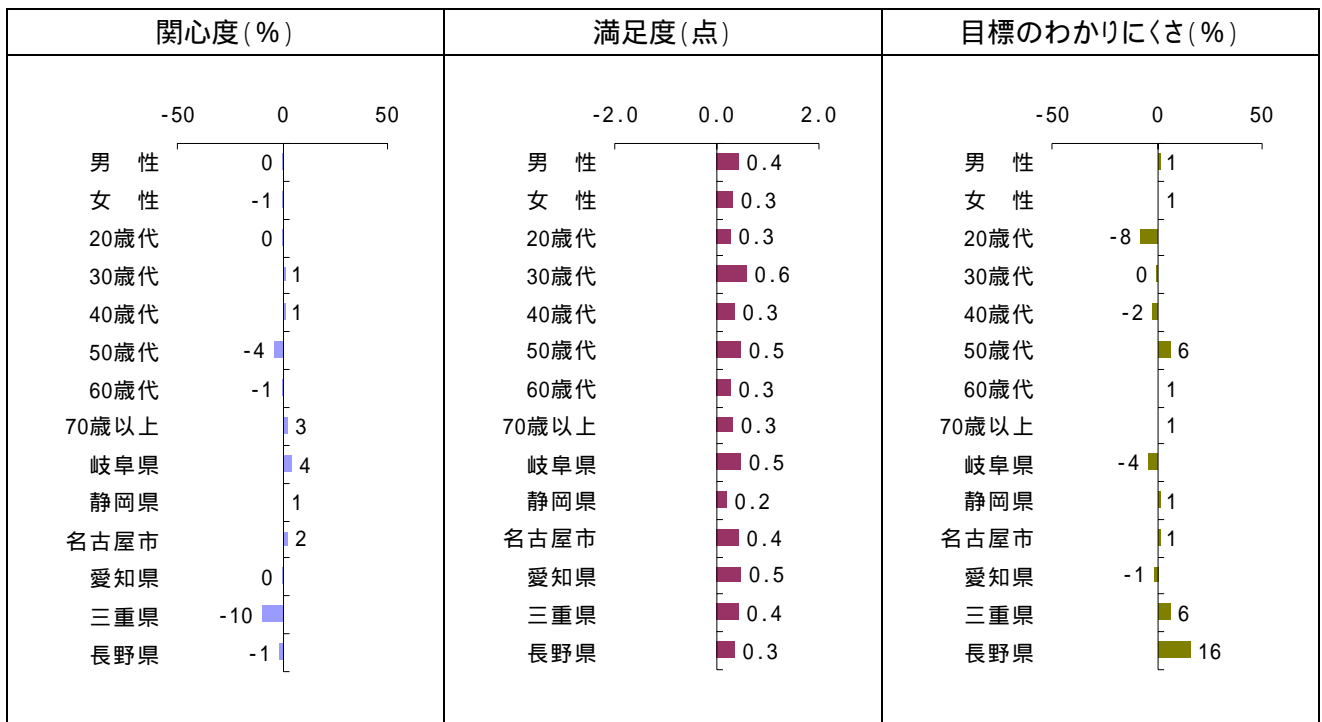




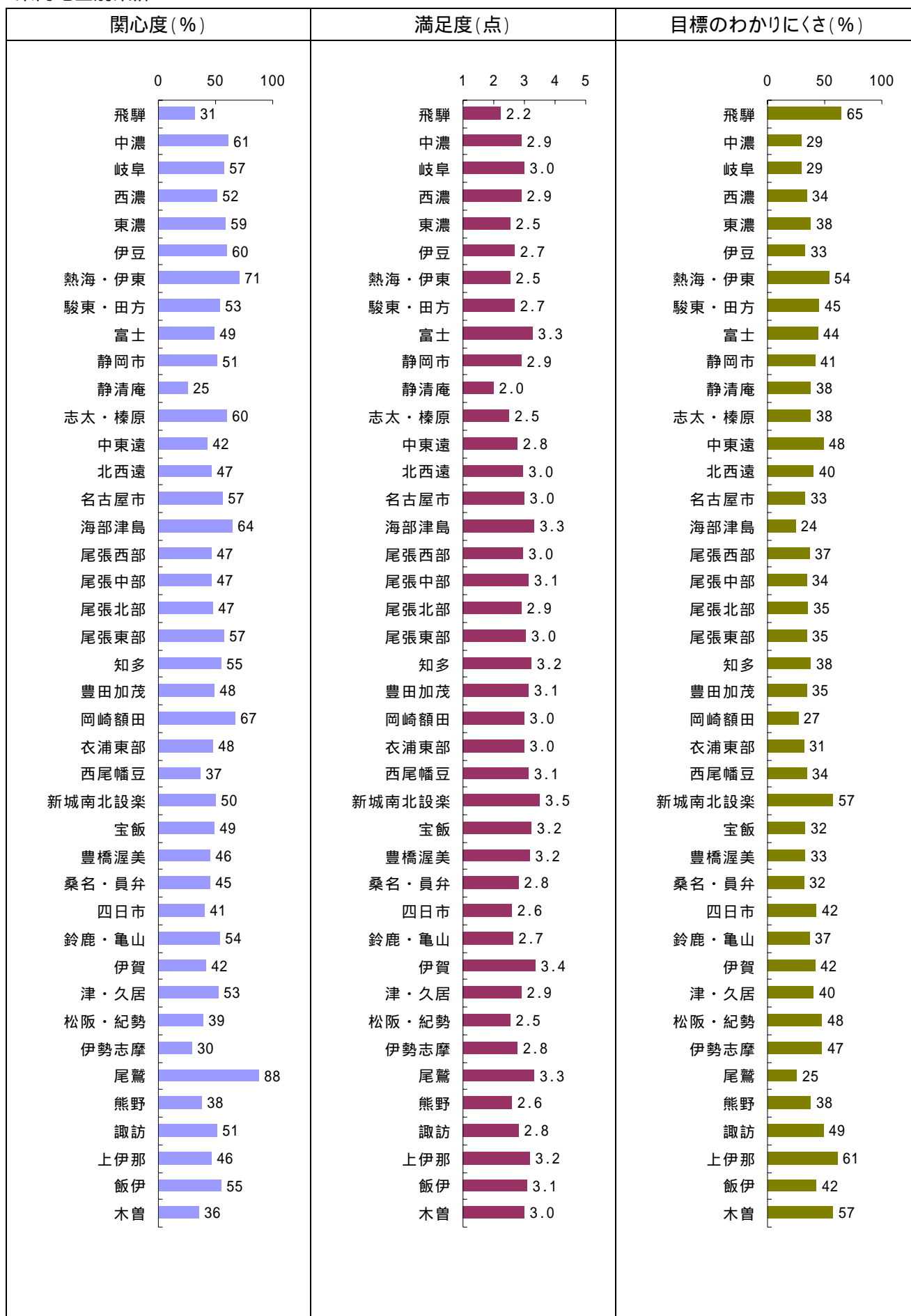
属性別集計



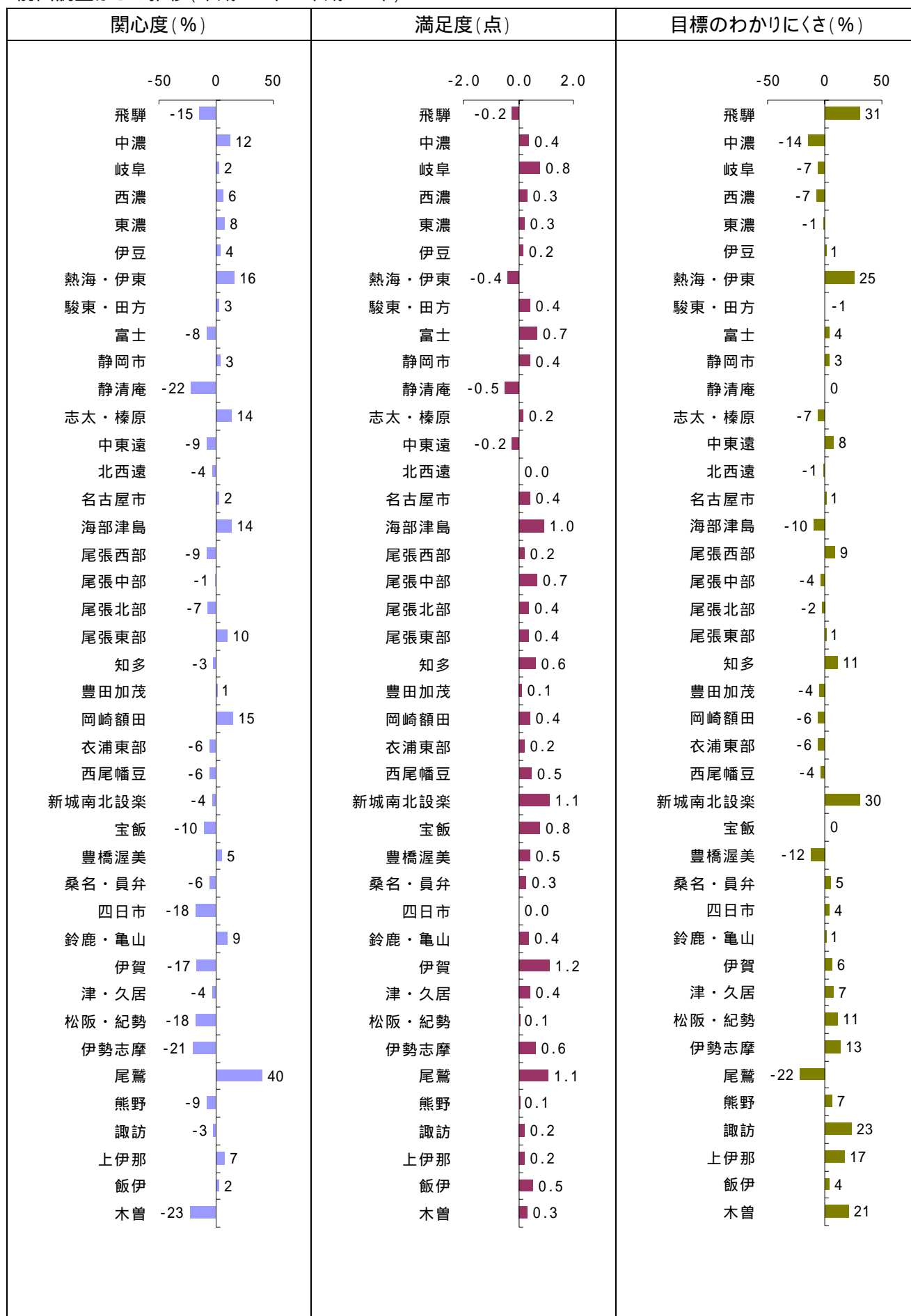
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



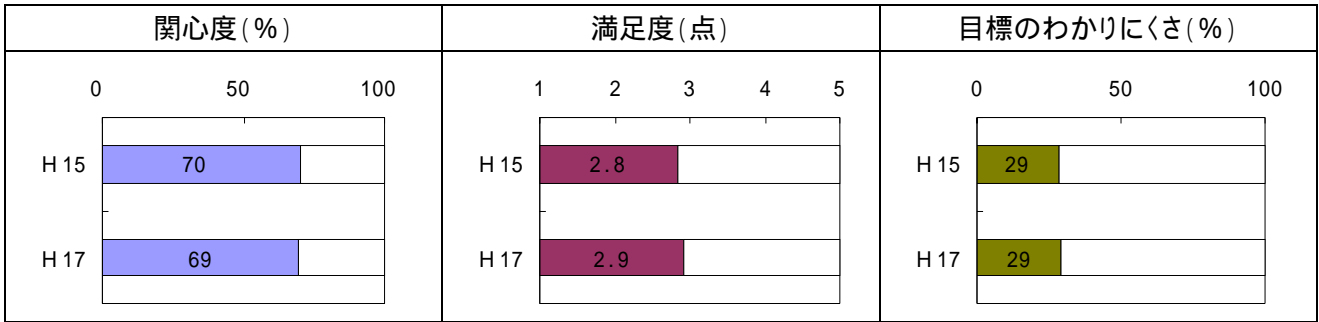
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



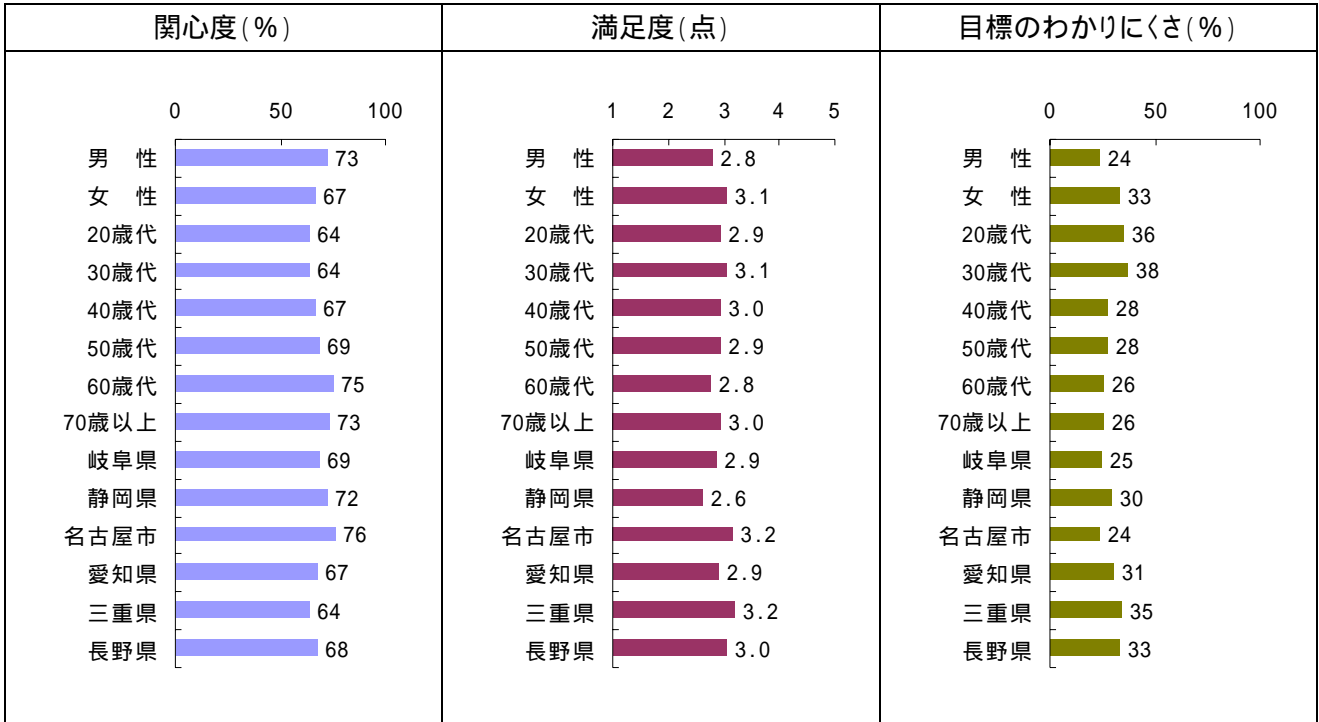
目標	- 4	旧東海道・旧中山道等のまちなみ整備により、街道沿いのまちなみを再生します
関心度 設問	問 45 - 1	旧東海道・旧中山道等における、歴史を活かしたまちづくりについて、あなたは関心をお持ちですか？
満足度 設問	問 45 - 2	旧東海道・旧中山道等においては、街道を活かしたまちづくりやまちなみ整備が進んでいると思いますか？

- ・ 満足度は 2.9 点と中間値の 3 点以下となっていますが、平成 15 年度調査と比較して 0.1 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 69%と低く、平成 15 年度調査と比較して 1 ポイント減少しています。
- ・ 満足度が 3.5 点以上となった地域は、飛騨（3.5）、静清庵（3.6）、伊賀（3.5）、津・久居（3.5）、熊野（4.0）、上伊那（3.5）といった旧街道沿いや城下町の地域であり、熊野や上伊那で平成 15 年度調査から 0.9 ポイント増加したのをはじめ、いずれの地域も 0.4 ポイント以上増加しています。
- ・ また、平成 15 年度調査から満足度が 0.5 ポイント以上低下した地域は、尾鷲（-1.0）、熱海・伊東（-0.7）、衣浦東部（-0.6）、鈴鹿・亀山（-0.5）となっています。
- ・ 関心度が 80%以上となった地域は、熱海・伊東（88%）、静清庵（100%）、岡崎額田（80%）、尾鷲（88%）、熊野（100%）の 5 か所ですが、これらのうち熱海・伊東（2.5）と豊橋渥美（2.8）の満足度が 3 点以下となっており、特に熱海・伊東では、平成 15 年度調査と比較して 0.7 ポイント下がっています。

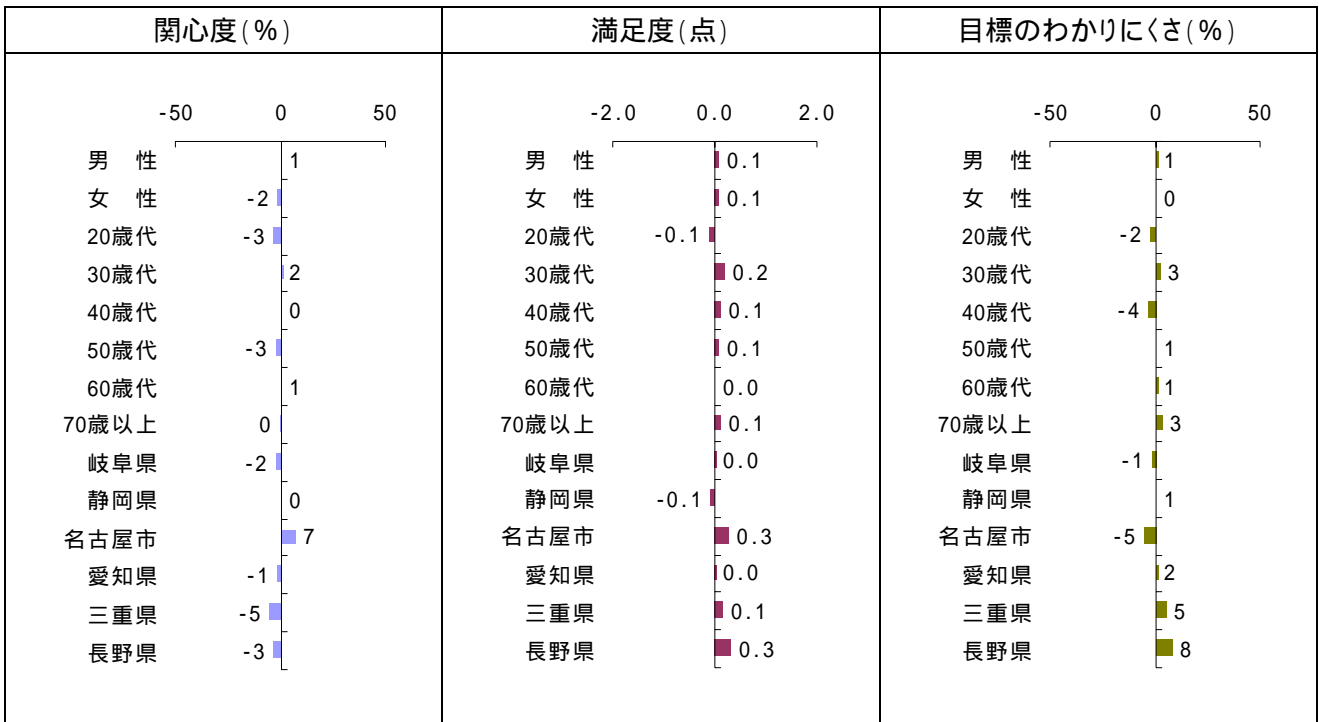
調査結果



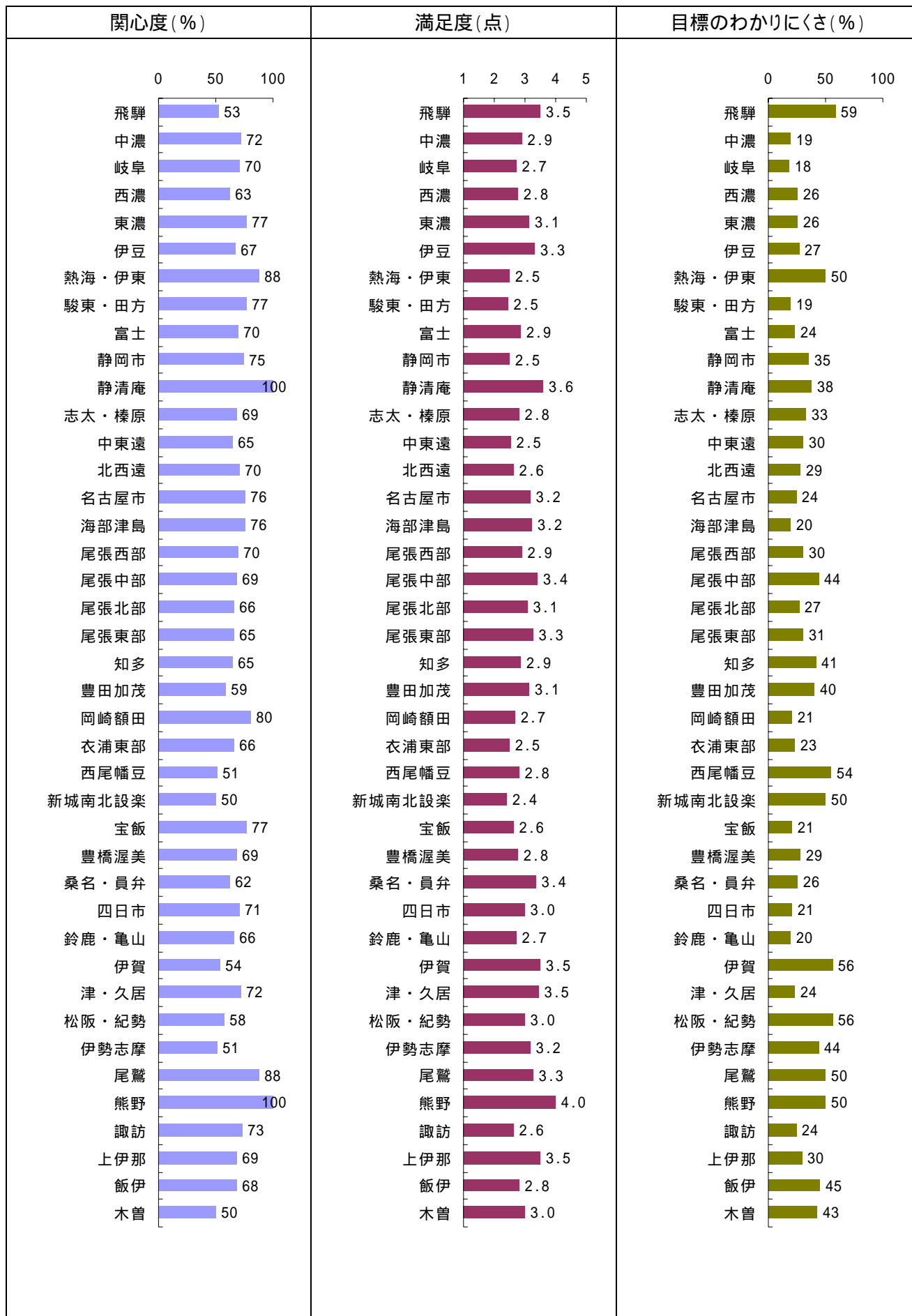
属性別集計



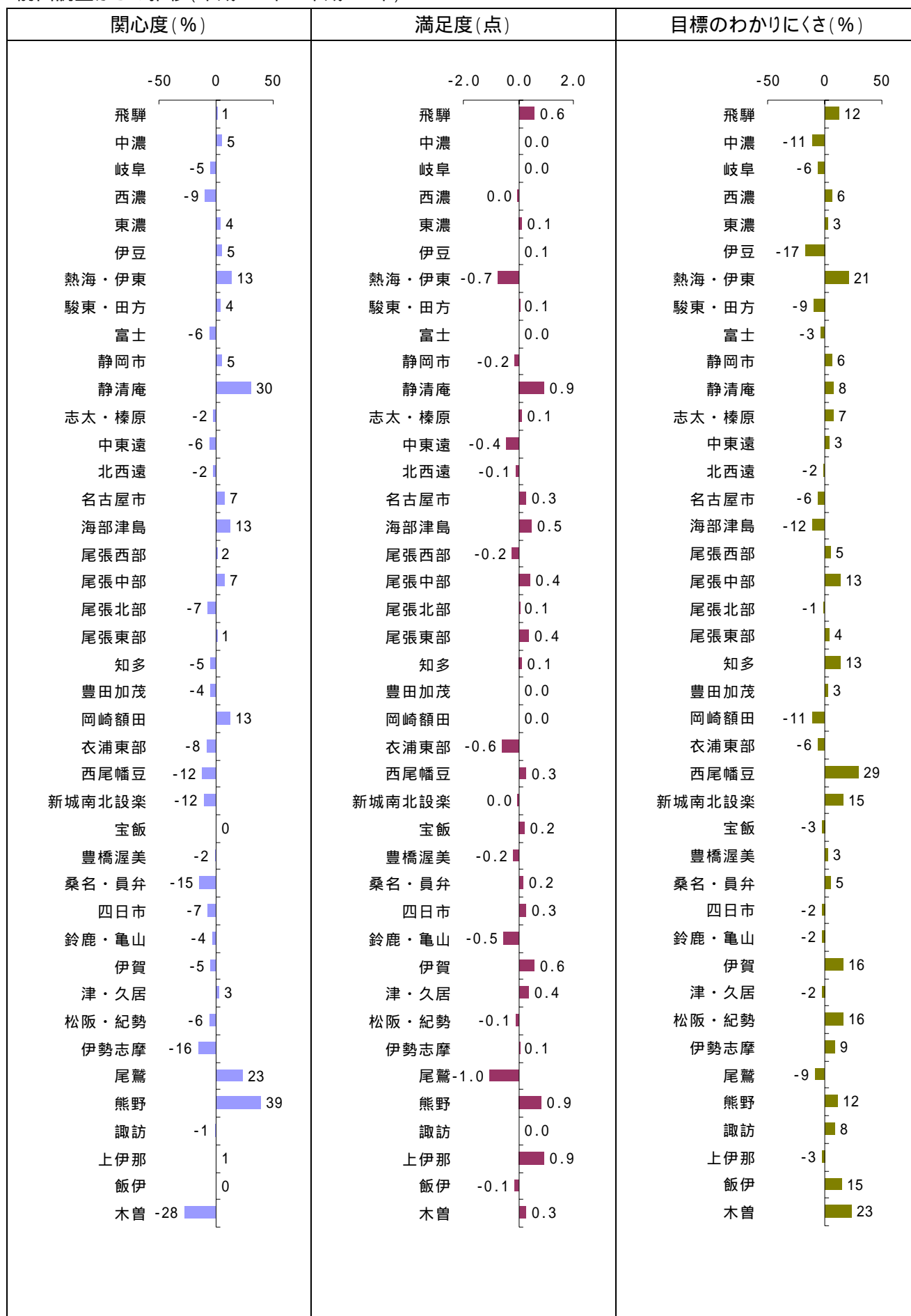
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

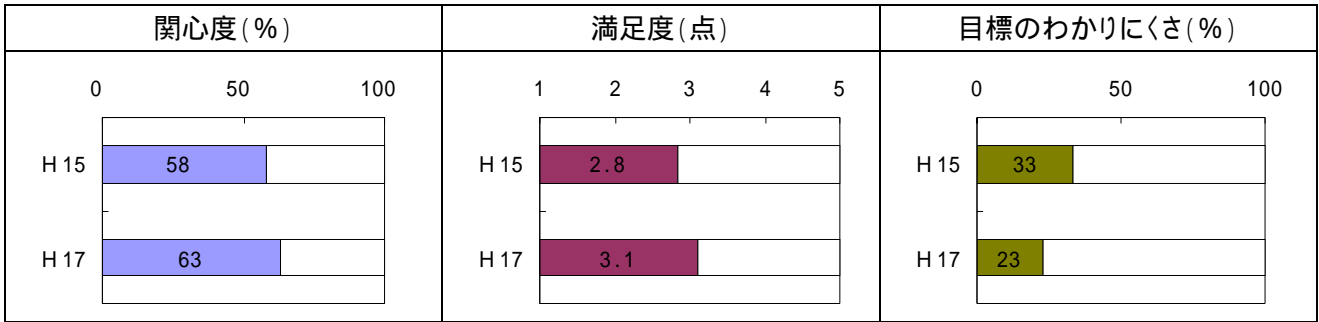


目標	- 5	「愛・地球博」来場者のスムーズな移動を実現します
関心度 設問	問 46 - 1	「愛・地球博」の会場へのスムーズな移動を実現することについて、あなたは関心をお持ちでしたか？
満足度 設問	問 46 - 2	「愛・地球博」の会場には、スムーズに移動できたと思いますか？

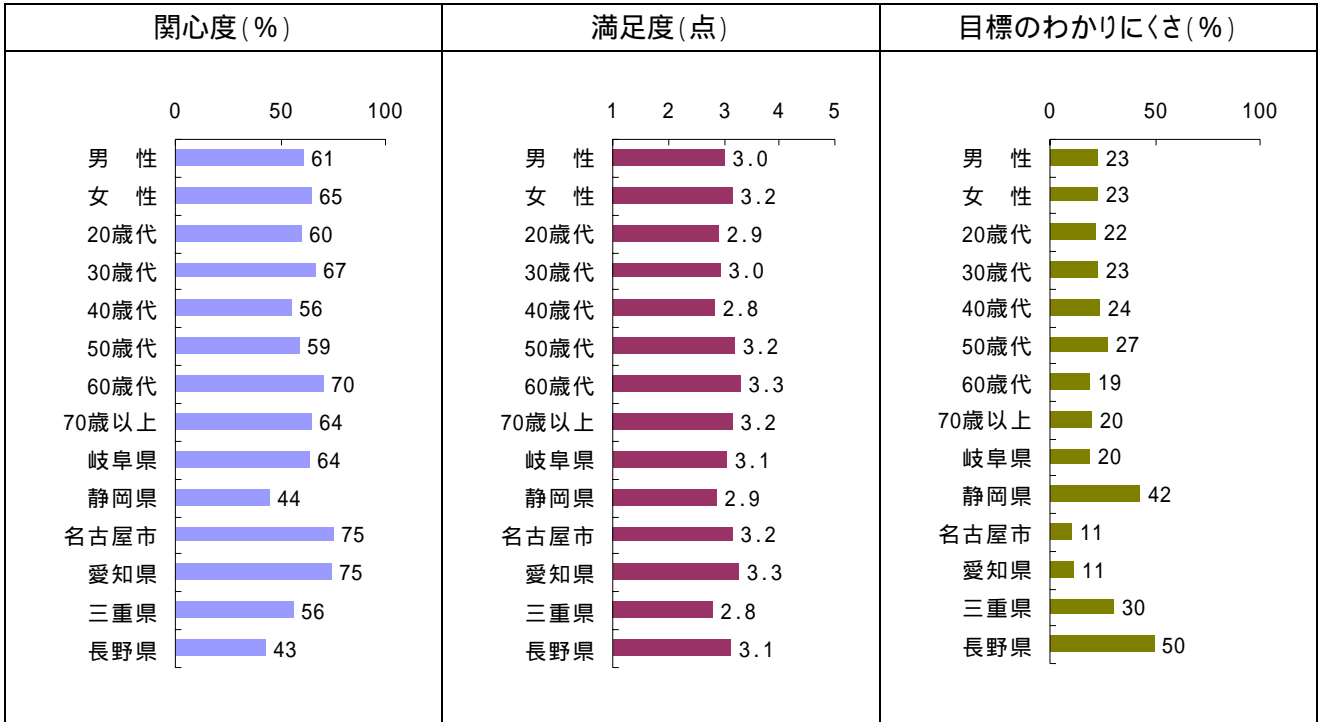
- ・ 満足度は 3.1 点であり、平成 15 年度調査と比較して 0.3 ポイント増加しています。
- ・ 関心度は 63%と低いものの、平成 15 年度調査と比較して 5 ポイント増加しています。
- ・ 「愛・地球博」の開催地周辺である尾張東部や豊田加茂の満足度が 3.4 点、名古屋市が 3.2 点であったのをはじめ、愛知県や岐阜県のほとんどの地域で 3 点以上となり、平成 15 年度調査と比較して 0.5 ポイント以上増加した地域も多く見られました。特に、尾張東部では 0.9 ポイントと全ての地域の中で最も得点が増加しました。
- ・ 一方、静岡県や三重県の多くの地域の満足度は、平成 15 年度調査から減少しており、地域によるアクセス利便性に差異があったと考えられます。
- ・ 関心度の高い地域は愛知県に集中していますが、平成 15 年度調査と比較して、静岡県や三重県の関心が高くなっており、博覧会の開催に伴い、住民の関心が中部地方全体に広がったと考えられます。



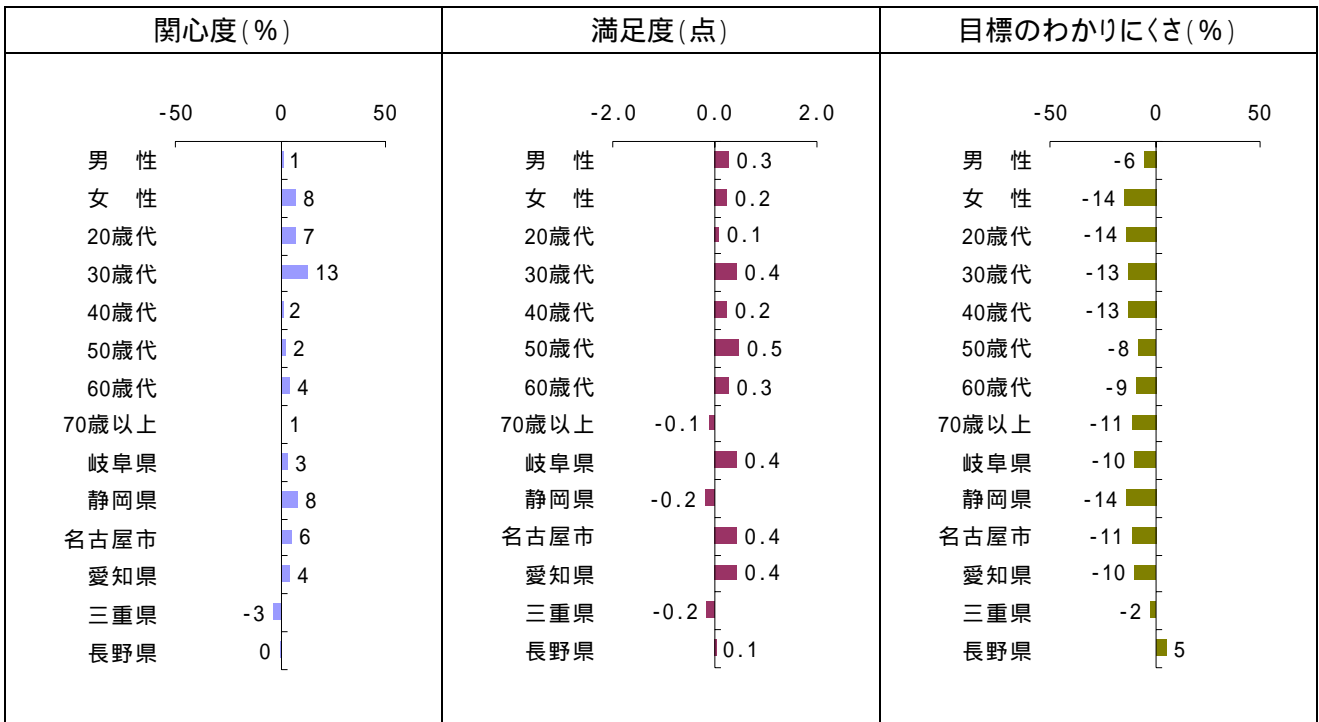
調査結果



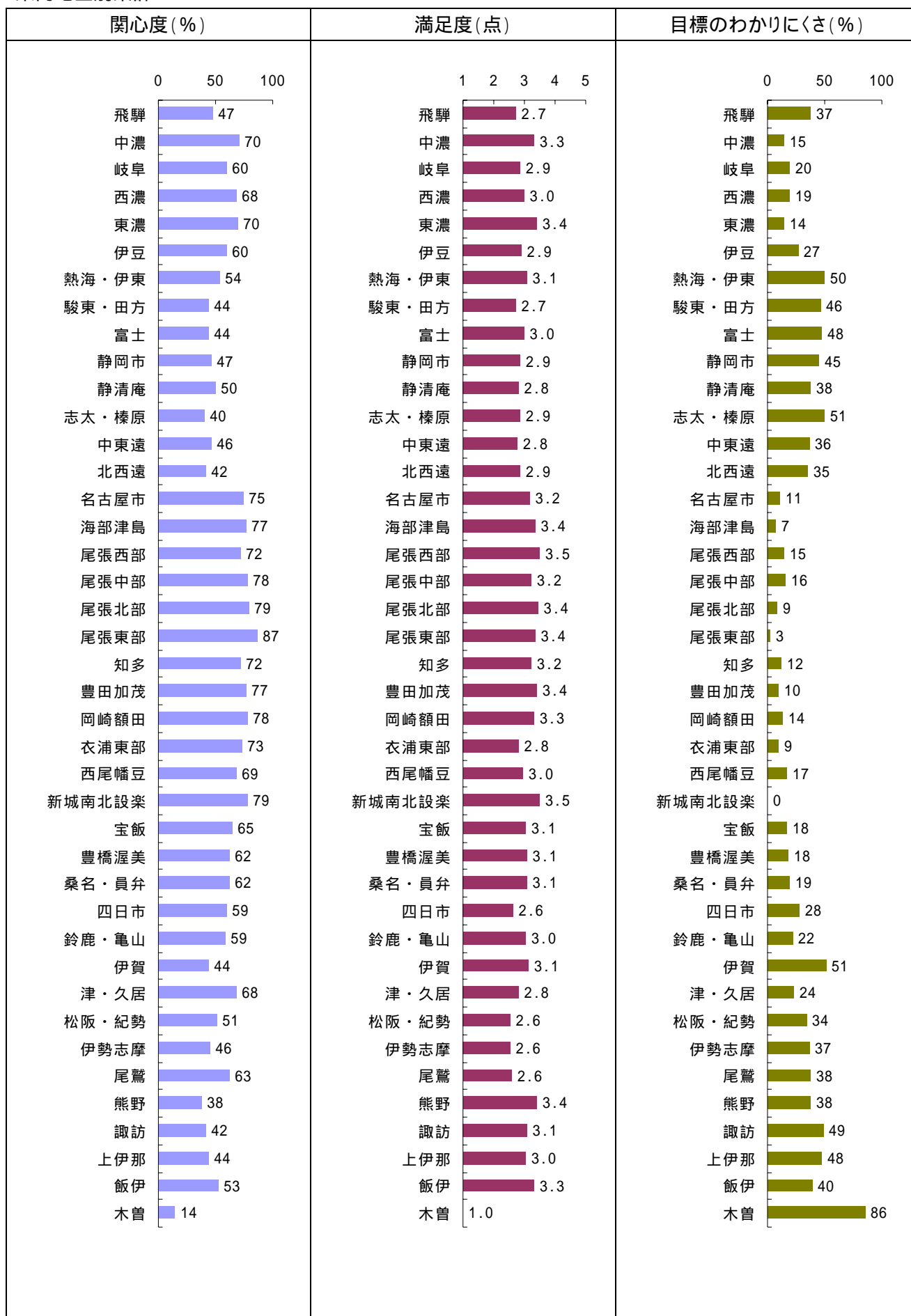
属性別集計



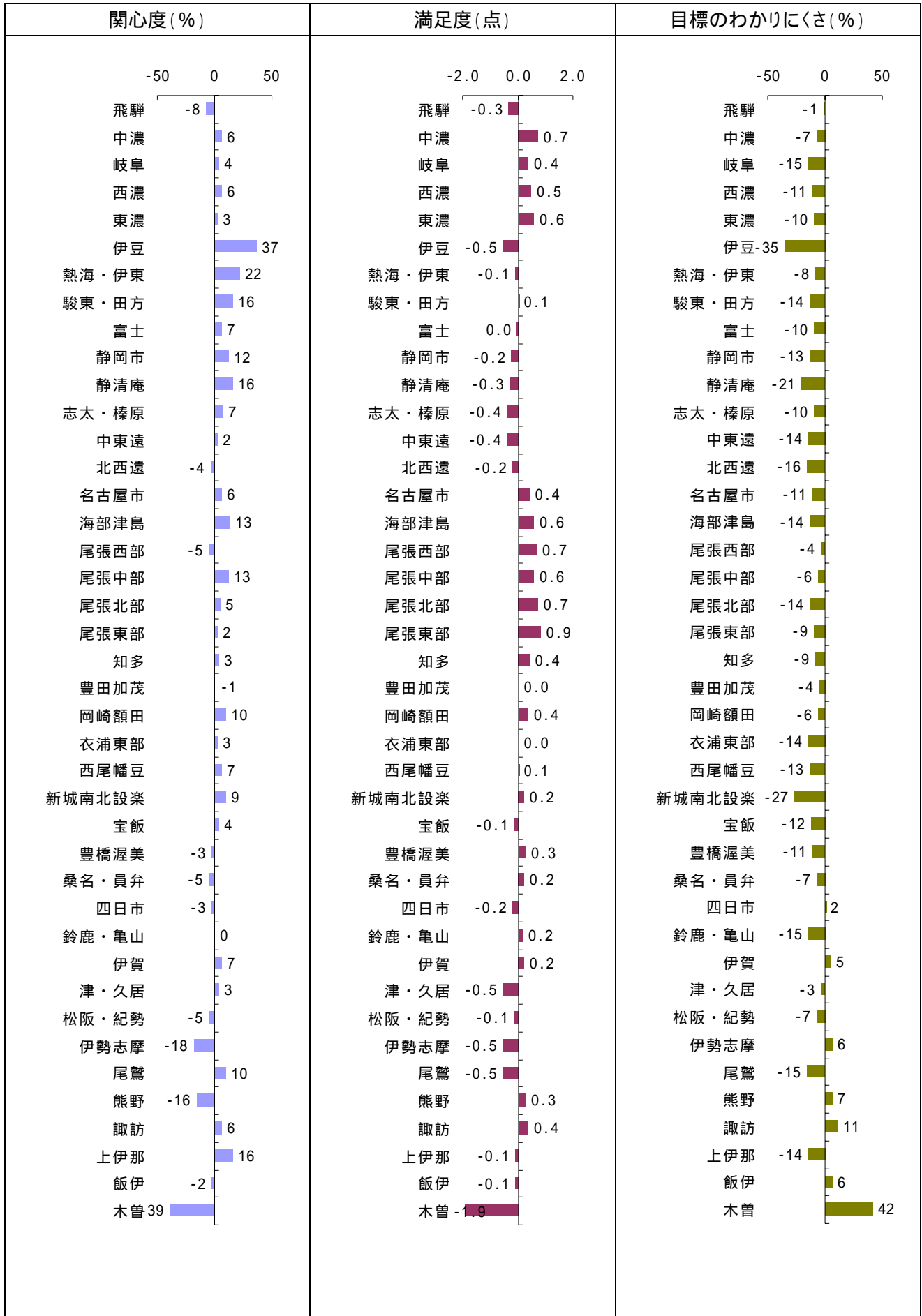
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



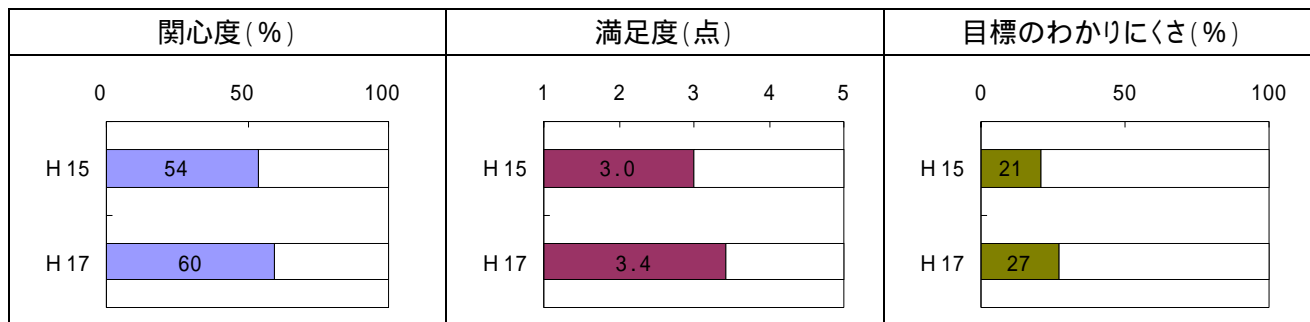
前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)



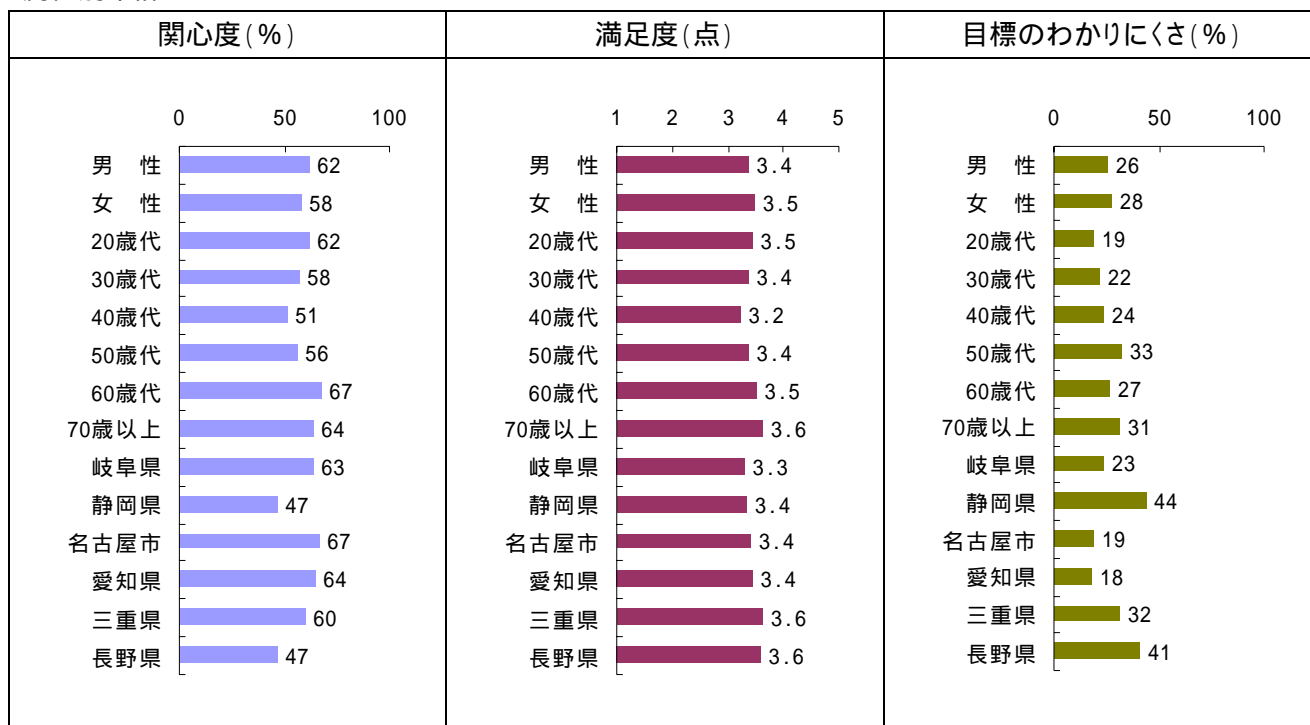
目標	- 6	中部国際空港の開港と「愛・地球博」を契機とした観光客の定着及び国内外交流の拡大を図ります
関心度設問	問 47 - 1	中部国際空港や「愛・地球博」をきっかけにして、国内外からの観光客を増やすことについて、あなたは関心をお持ちでしたか？
満足度設問	問 47 - 2	中部国際空港や「愛・地球博」をきっかけに、国内外からの観光客は増えたと思いますか？

- ・ 満足度は3.4点で中間値の3点を上回り、平成15年度調査と比較して0.4ポイント増加しています。
- ・ 満足度は、地域を問わず高く、中部国際空港の開港や「愛・地球博」の開催により中部地方への観光客が大きく増加したと見る人が多い結果となりました。
- ・ 関心度は、平成15年度調査と比較して6ポイント増加しているものの、60%と低く、観光客の増加を評価する一方で、中部地方への誘客に対する関心は低くなっています。
- ・ 特に、中部地方の主要な観光地を抱える地域のうち、飛騨（53%）や伊勢志摩（54%）、熊野（50%）の関心度は、いずれも50%台と低く、平成15年度調査から下がっています。

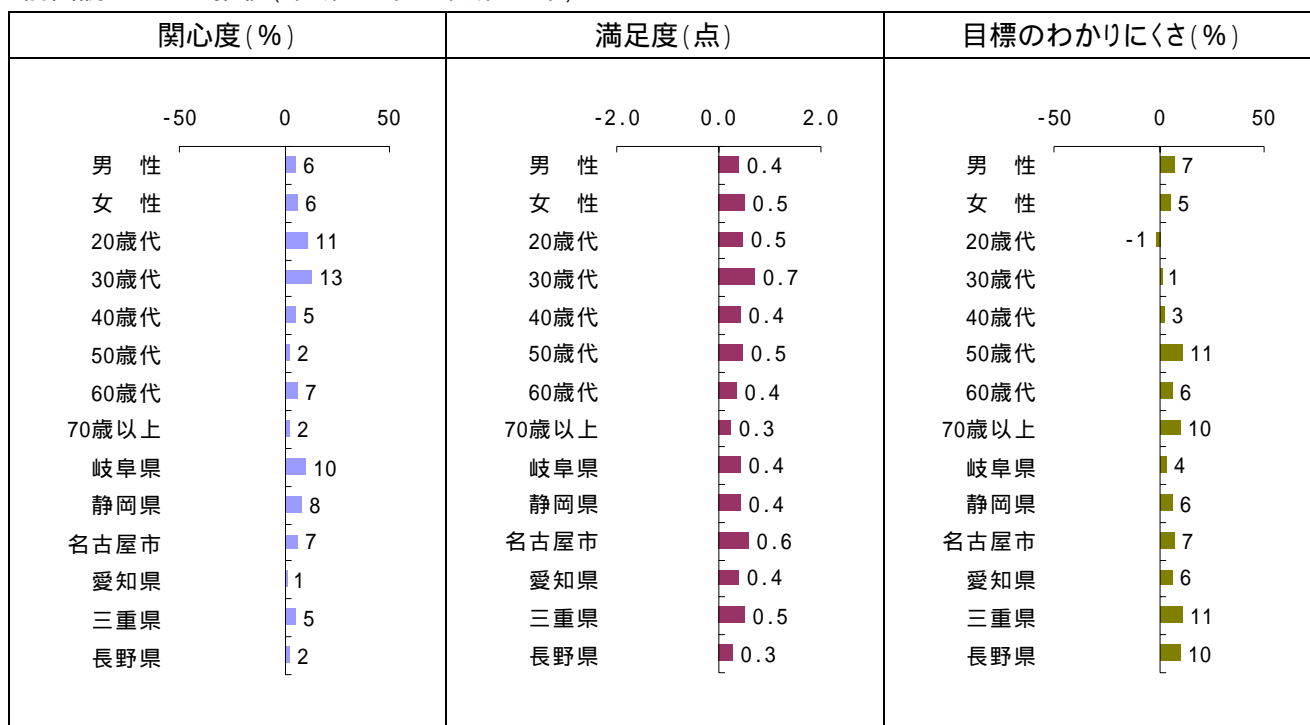
調査結果



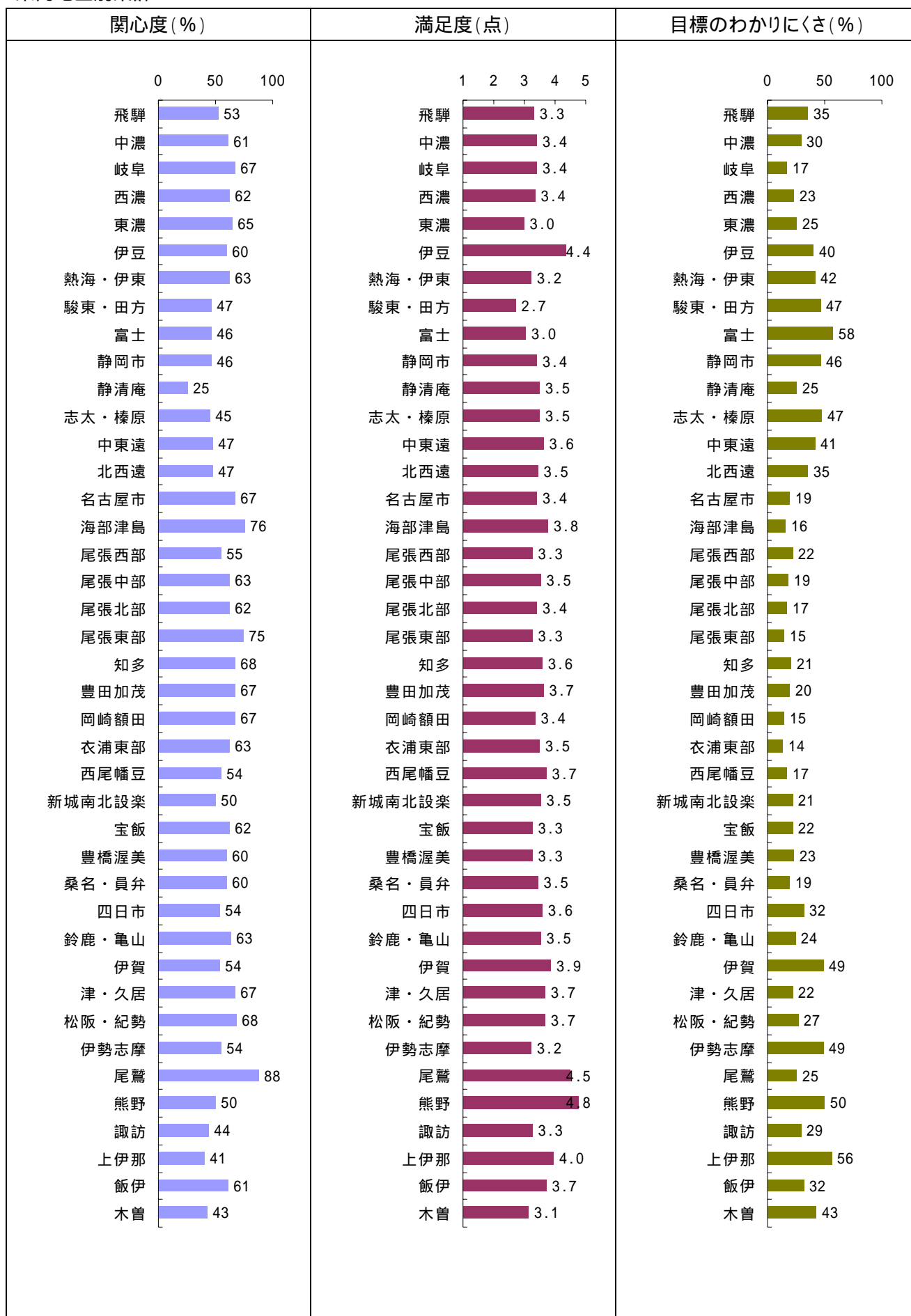
属性別集計



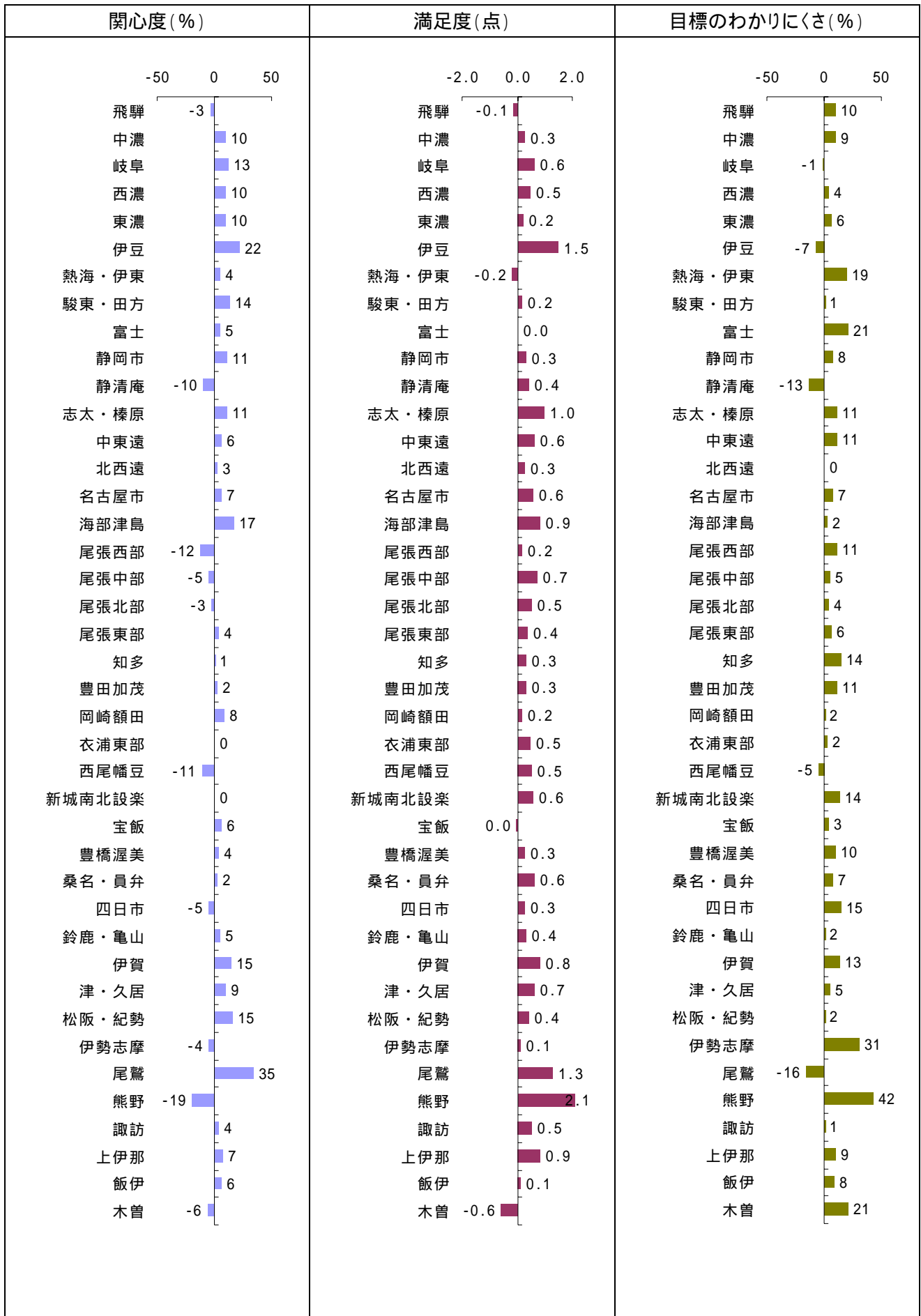
前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

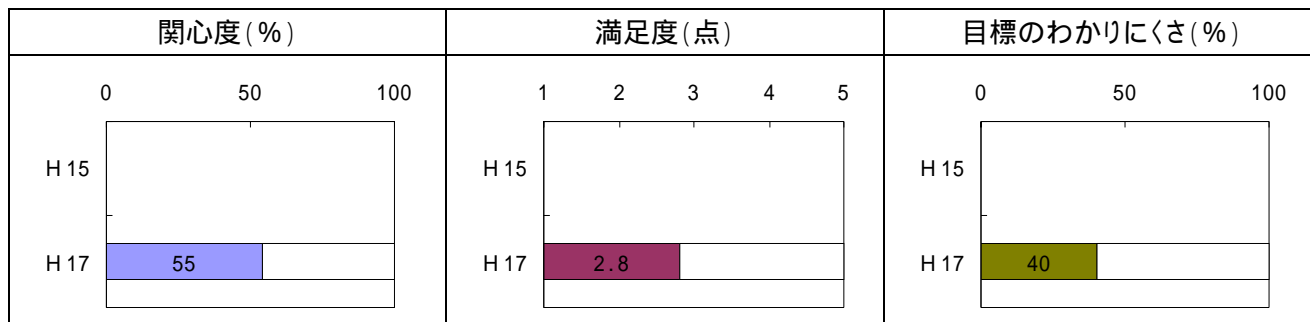


目標		(新規項目)
関心度 設問	問 48 - 1	「愛・地球博」の理念を継承した国内外との交流について、あなたは関心がありますか？
満足度 設問	問 48 - 2	「愛・地球博」の理念が継承され、国内外との交流が活発に行われていると思いますか？

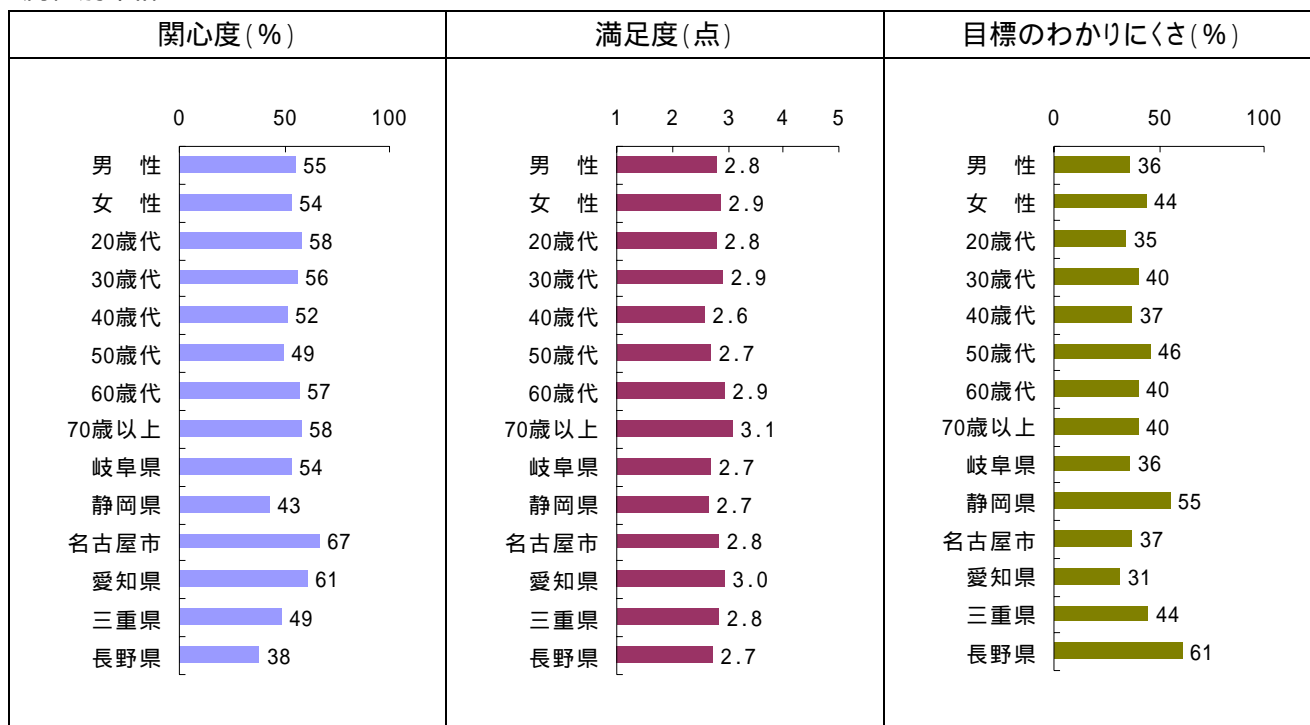
- ・ 満足度は 2.8 点と中間値である 3 点近くである一方、関心度は 55%と非常に低い。
- ・ 地域別では、伊豆（4.0）、尾張中部（3.9）、尾鷲（3.8）が高く、開催地周辺の尾張東部で 3.0 点、豊田加茂で 3.2 点、名古屋市で 2.8 点であった。
- ・ 関心度は、愛知県西部や西三河部で 60%台である一方、静岡県や三重県、長野県では 50%以下の地域が多くを占める。
- ・ 目標のわかりにくさは 40%と高く、特に、静岡県や三重県南部、長野県のほとんどの地域が 50%を超える。



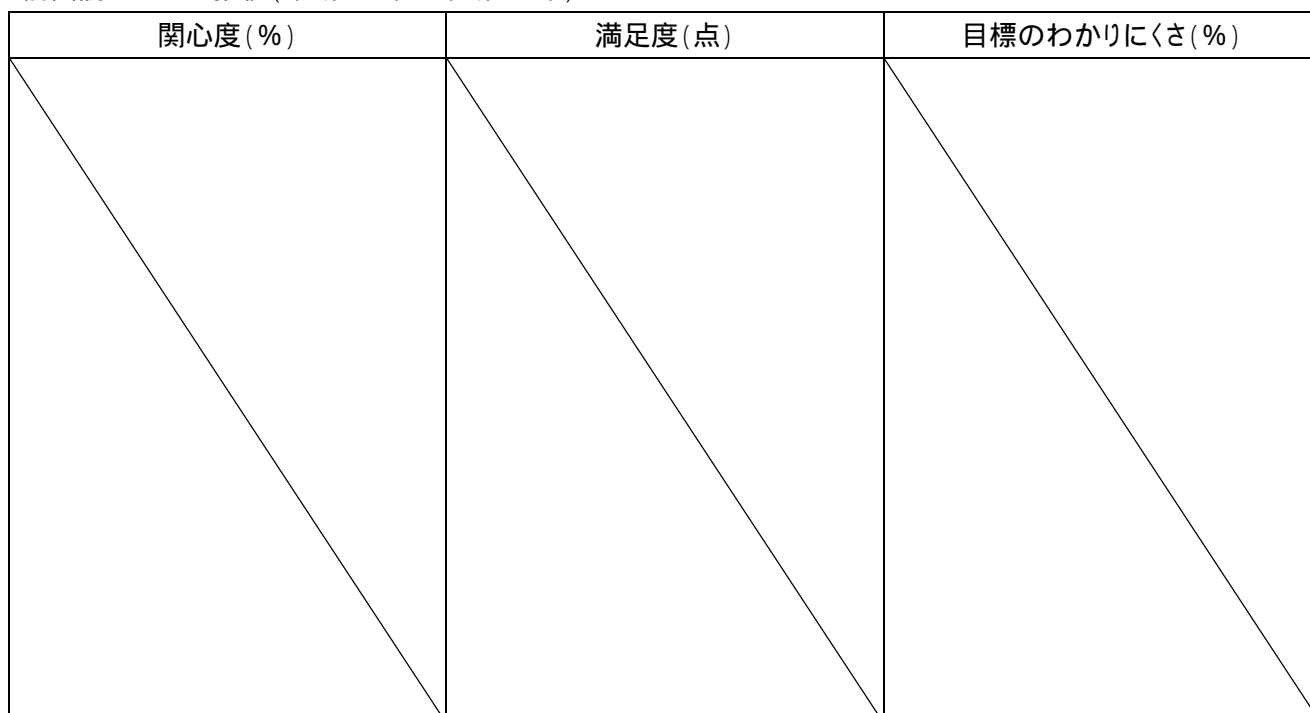
調査結果



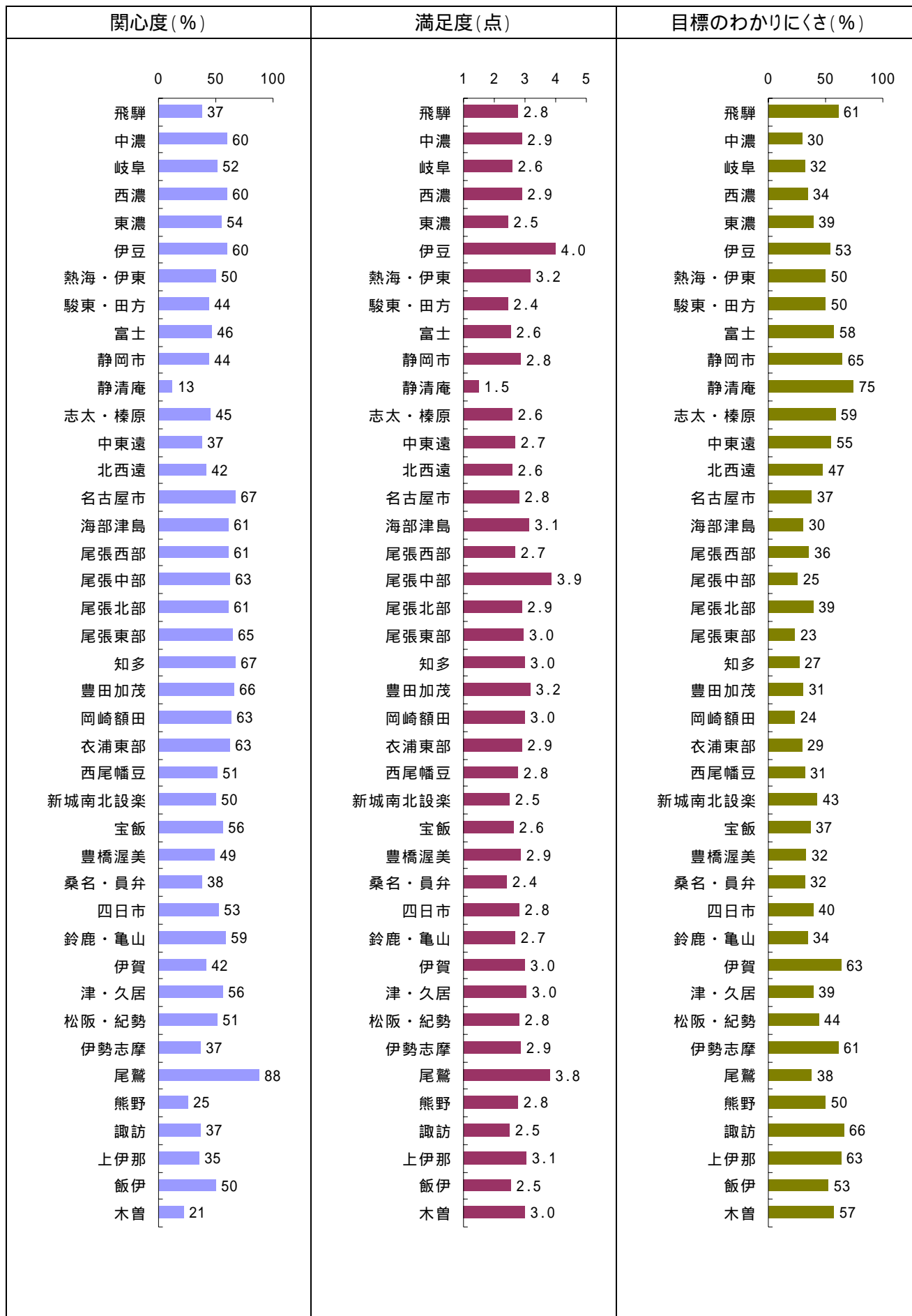
属性別集計



前回調査からの推移 (平成 17 年 - 平成 15 年)



県内地区別集計



前回調査からの推移(平成 17 年 - 平成 15 年)

関心度 (%)	満足度(点)	目標のわかりにくさ (%)